令和３(2021)年度

新見公立大学年報

新　見　公　立　大　学

巻　頭　言

昨年度に引き続きコロナに始まりコロナに終わった2021年度となりましたが、本学としては開学41年目の歩みを着実に進めた年度となりました。

新・健康科学部（1学部3学科体制）3期生の入試での志願者数は3学科ともに順調に増加し、4月時点での学生総数は前年度より134人増の650人となりました。また、12人の新任教員を迎えて教員総数は75人となり、大学設置基準、指定規則、ならびに教職課程等の要件全てを充足するとともに、地域共生推進センターに3人の研究員を配置する体制となりました。健康科学部としての教員体制の整備が完了したことで、本年度は「人と地域を創る新見公立大学 NiU」として新たなステージに向けての複数の基盤的プロジェクトが積極的に推進されました。

先ず、昨年度に評価・将来構想委員会の下部組織として立ち上げた内部質保証部会が本格的に稼働し、教育研究活動等の実施状況についての自己点検・評価書の作成を年末までに完了し、2022年2月5日に初めての第三者評価（島根県立大、岡山県立大、福山市立大、高知県立大の各外部委員とのオンライン会議）を実施することが出来ました。なお、組織としての内部質保証の根幹となる教員活動の省察を次年度から実施する計画が進み、本年報の主要掲載項目のひとつである「教員の教育・研究・社会貢献への実績」をスコア化することを基本に調書が考按されました。2005年度からの年報作成における地道な努力が具体的成果に繋がった事例として高く評価されます。

次いで、大学改革の一環として、大学院改組が具体的に協議、推進されました。最終的に、2023年4月に大学院看護学研究科から健康科学研究科に名称変更、地域福祉学専攻（修士課程）ならびに看護学専攻（博士後期課程）を新設し、看護学修士課程を博士前期課程として改組、深化させる計画を本年度末に文部科学省に申請しました。日本の中山間地域にある唯一の保健福祉系の公立大学の使命として、住み慣れた中山間で安心してこころ豊かに共に生きる社会の基盤となる全世代型地域包括ケアシステムの在り方を追求する大学院を目指していく計画です。

最後は、地域共生推進センターのスチューデント・アシスタント（SA）を中心とする学生の組織的地域貢献活動が進展したこと、ならびに待望の「NiU新見駅西サテライト」が完成したことです。SA制度は学生ファーストの大学実現を目指して、学生が非常勤職員として大学業務に参画することを目的に2020年7月に規定を制定、同年10月に地域共生推進センターのSA活動から開始しました。同SAは、2021年度には、3部門で自発的に多彩な活動をする「地域もりあげ隊」として成長し、福武教育文化振興財団からの助成金を獲得する「むすびの会」も設立されました。次年度には、約50人の学生が参画する一大組織として更なる発展が期待されます。

また、本年度末に大学の街中キャンパス構想の一環として学生居住施設“えきよこ”の1階に「NiU新見駅西サテライト」の整備が完了し、①発達支援センター「なごみ」（幼児期から青年前期の子どもと保護者への専門的支援）、②こども交流広場「ひだまり」（新しい形の多世代交流）、③スタディラウンジ「ゆめラウ」（学びと食を介する学生との交流）の３部門構成となりました。各部門の活用法、内装工事と備品、ならびに愛称は、2021年9月から5回のワークショップを開催して、2人の外部コーディネータのもとにSAを中心とする学生有志のアイデアを集約し、教職員と地域住民が協働して熟成させる手法をとりました。サテライトの管理は地域共生推進センターが担当しますが、地域に開かれた交流・協働施設として、市民ボランティアの皆様とともに学生の夢が叶えられる施設として発展していくことを確信しています。

以上、代表的なプロジェクトとその成果を中心に１年間を振り返りましたが、次年度は4期生を迎えて学年進行最終年度となります。本年度進展したプロジェクトを基盤に、新・健康科学部として当初に計画した取り組みの全てが発展的に完遂されるとともに、新しい方向性が示される年度になることを期待しています。

2022年6月1日

新見公立大学学長
公文　裕巳

令和3(2021)年度　新見公立大学年報 目次

1. 学事

1) 行事年表---1
(1) 行事年表---1
(2) 学年暦---2
2) 入学状況---4
3) 進路状況---4
4) 内部質保証---4
(1) 法人評価---4
(2) 認証評価---4
(3) 自己点検・評価---4
5) 運営組織
(1) 法人組織図---5
(2) 各種委員会---6
(3) 役職---9
(4) チューター---10
6) 教職員組織
(1) 教員---11
(2) 事務局---20
7) 収入・支出予算---22
8) 教授会
新見公立大学・新見公立大学大学院---24
9) 各種委員会・センター活動実績
(1) 評価・将来構想委員会---27
(2) 教務委員会---29
(3) FD・SD 委員会---31
(4) 教育推進委員会---31
(5) 学生生活支援センター---35
(6) 研究倫理審査委員会---37
(7) 地域共生推進センター---38
(8) 総合情報基盤センター---41
(9) 教育支援センター---44
(10) 修学・キャリア支援センター---47
(11) 保健管理センター---50
10) 教育改善の取り組み
(1) FD / SD 研修会---53
(2) 学科合同学び報告会---54
11) 広報活動
(1) 高校訪問・高校ガイダンス---55
(2) オープンキャンパス---57
(3) 学報「まんさく」---57
(4) ホームページ---58
(5) メディアでの新見公立大学---59

12) 施設の拡充
(1) コンピュータ・ネットワーク機能の充実 65
(2) 施設(設備) 拡充・充実状況 65
13) 日本学術振興会科学研究費助成事業 66
14) 学長配分研究費研究報告 68
15) 同窓会 72

2. 学科・研究科の活動
1) 健康科学部健康保育学科 73
2) 看護学科・助産学専攻科・大学院研究科 76
3) 地域福祉学科 83

3. 教員の教育・研究・社会貢献への実績 85
1) 健康保育学科 89
2) 看護学科・助産学専攻科・大学院研究科 118
3) 地域福祉学科 163
4) 地域共生推進センター 191

4. 地域及び社会貢献を含む諸活動
1) 新見市との連携 195
2) くらしきサテライト 196
3) にいみゆめのぽけっと 197
4) にいみ子育てカレッジ 197
5) 看護学セミナー 198
6) 疫学調査 199
7) 「新見船川八幡宮秋季例大祭」参加 199
8) 高大連携プログラム 199
9) 地域共生推進センター 200
(1) 地域共生推進センター鳴滝塾 200
(2) 市民公開講座 200
(3) 他大学との交流 201
(4) 地域との交流 203
(5) 教員・学生の地域貢献活動 205
(6) 学生の地域貢献活動 208
10) 新見英語サロン 209

5. 学生指導・支援
1) 卒業研究テーマ一覧
(1) 健康科学部看護学科【卒業研究】 210
(2) 助産学専攻科【助産学研究】 213
2) キャリア支援 214
3) 国家試験対策 220
4) オフィスアワー 222
5) 各種講演会 226
6) 海外研修 226

7) 奨学金・授業料免除・学生生活活動支援 ---- 227
8) 読書指導 ---- 228
9) カウンセリング ---- 230
10) 保健管理センター ---- 231

6. 学生自治活動
1) 新見公立大学学友会執行部 ---- 233
2) 鳴滝祭実行委員会 ---- 233
3) クラブ活動 ---- 234

7. 施設利用状況
1) 図書館 ---- 235
2) 修学・キャリア支援室 ---- 238
3) コンピュータ室１・２ ---- 238
4) 体育館 ---- 238
5) 学生会館 ---- 238
6) 地域共生推進センター棟 ---- 238
7) 新見美術館(利用協定締結施設) ---- 238
8) げんき広場にいみ(利用協定締結施設) ---- 238
8. 法人情報
1) 法人運営組織 ---- 240
2) 法人関係名簿 ---- 241
3) 理事会等開催記録 ---- 242
4) 重要事務手続 ---- 244
5) 主な事業 ---- 250
6) 災害等対応(新型コロナウイルス COVID-19) ---- 255
7) 施設整備 ---- 261
8) 重要指標 ---- 264
9. 巻末資料
1) 授業評価 ---- 268
2) 満足度調査 ---- 283
3) 公立大学協会関係 ---- 286
4) 行事のポスター・ちらし ---- 287

編集後記 ---- 292

1. 学事

1）行事年表

(1) 行事年表

◎令和 3(2021)年度行事年表

学期	日　程	事　項
前期	4 月 1 日（木）	前学期始
	4 月 1 日（木）	学科ガイダンス（2・3・4 年）
	4 月 5 日（月）	新入生入学日 学科ガイダンス（1 年）
	4 月 10 日（土）	入学式
	6 月 5 日（土）	開学記念日
	8 月 1 日（日）～ 9 月 30 日（木）	夏期休業
後期	10 月 1 日（金）	後学期始 後期ガイダンス
	10 月 9 日（土）～ 10 日（日）	大学祭
	12 月 25 日（土）～ 1 月 10 日（月）	冬期休業
	3 月 19 日（土）	卒業式
	3 月 15 日（火）～ 3 月 31 日（木）	春期休業

(2) 学年歴

◎令和３(2021)年度学年暦　前期

	月	火	水	木	金	土	日	行事予定
4月				1 ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ	2 健診	3	4	4/1～7　前期ガイダンス等 4/2　前期講義開始 4/5　健康診断（在学生） 4/6　健康診断（新入生） 4/7　学生交流会 4/8　前期講義開始（一部 4/7 から） 4/10　入学式 4/14　３限：学生生活講演会（1 年） 4/21　３限:学科合同学び報告会(1･2 年)
	5 ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ	6 健診	7 交流会	8 ①	9 ①	10 入学式	11	
	12 ①	13 ①	14 ①	15 ②	16 ②	17	18	
	19 ②	20 ②	21 ②	22 ③	23 ③	24	25	
	26 ③	27 ③	28 ③	29	30 ④			
5月						1	2	5/12　３限:健康教育講演会(1 年)
	3	4	5	6 ④	7 ⑤	8	9	
	10 ④	11 ④	12 ④	13 ⑤	14	15	16	
	17 補講	18 ⑤	19 ⑤	20 ⑥	21 ⑥	22	23	
	24 ⑤	25 ⑥	26 ⑥	27 ⑦	28 ⑦	29	30	
	31 ⑥							
6月		1 ⑦	2 ⑦	3 ⑧	4 ⑧	5	6	6/5　開学記念日 6/10　前期(後半)科目講義開始 6/16　３限：学生生活講演会（1 年） 6/16　４限：キャリア形成講座（1 年）
	7 ⑦	8 ⑧	9 ⑧	10 ⑨	11 ⑨	12 補講	13	
	14 ⑧	15 ⑨	16 ⑨	17 ⑩	18 ⑩	19	20	
	21 ⑨	22 ⑩	23 ⑩	24 ⑪	25 ⑪	26	27	
	28 ⑩	29 ⑪	30 ⑪					
7月				1 ⑫	2 ⑫	3	4	7/18 オープンキャンパス
	5 ⑪	6 ⑫	7 ⑫	8 ⑬	9 ⑬	10 補講	11	
	12 ⑫	13 ⑬	14 ⑬	15 ⑭	16 ⑭	17	18 オープン CP	
	19 ⑬	20 ⑭	21 ⑭	22	23	24	25	
	26 ⑮	27 ⑮	28 ⑮	29 ⑮	30 ⑮	31 補講		
8月							1	8/3～10　前期試験期間 8/9　オープンキャンパス 8/27　助産特別入試 8/29　オープンキャンパス
	2	3	4	5	6	7	8	
		前期試験期間						
	9 オープン CP	10 試験	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27 入試	28	29 オープン CP	
	30	31						8/1～9/30　夏期休業日
9月			1	2	3	4	5	9/25　大学院前期入試
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25 入試	26	
	27	28	29	30				8/1～9/30　夏期休業日

◎令和 3(2021)年度学年歴　後期

	月	火	水	木	金	土	日	行事予定
10月					1 ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ	2	3	10/1　後期ガイダンス 10/4　後期講義開始 10/7　3限：学生生活講演会（1年） 10/9～10　大学祭 10/20 3限:山陽新聞特別講演会(1年)
	4 ①	5 ①	6 ①	7 ①	8 ①	9 大学祭	10	
	11 ②	12 ②	13 ②	14 ②	15	16	17	
	18 ③	19 ③	20 ③	21 ③	22 ②	23	24	
	25 ④	26 ④	27 ④	28 ④	29 ③	30	31	
11月	1 ⑤	2 ⑤	3	4 ⑤	5 ④	6	7	11/13　助産一般入試 11/26　午前:補講　午後:全館立入禁止(～11/27) 11/27　学校推薦型選抜(地福)
	8 ⑥	9 ⑥	10 ⑤	11 ⑥	12 ⑤	13 入試	14	
	15 ⑦	16 ⑦	17 ⑥	18 ⑦	19 ⑥	20	21	
	22 ⑧	23	24 ⑦	25 ⑧	26 AM 補講	27 入試	28	
	29 ⑨	30 ⑧						
12月			1 ⑧	2 ⑨	3 ⑦	4	5	12/2　後期(後半)科目講義開始 12/4　スポーツ大会(学友会) 12/15　3限:学科合同学び報告会（1年） 12/18　クリスマス会(学友会)
	6 ⑩	7 ⑨	8 ⑨	9 ⑩	10 ⑧	11 補講	12	
	13 ⑪	14 ⑩	15 ⑩	16 ⑪	17 ⑨	18	19	
	20 ⑫	21 ⑪	22 ⑪	23 ⑫	24 ⑩	25	26	
	27	28	29	30	31			12/25～1/10　冬期休業日
1月						1	2	1/24～26　スキー実習 1/28　午前：補講　午後全館立入禁止(～1/31) 1/31　学校推薦型選抜（看・保）
	3	4	5	6	7	8	9	
	10	11 ⑫	12 ⑫	13 ⑬	14 ⑪	15	16	
	17 ⑬	18 ⑬	19 ⑬	20 ⑭	21 ⑫	22 補講	23	
	24	25 補講	26	27 金⑬	28 AM 補講	29	30	
	31 入試							12/25～1/10　冬期休業日
2月		1 ⑭	2 ⑭	3 ⑮	4 ⑭	5 補講	6	2/15～2/21　後期試験期間 2/24　午後:全館立入禁止(～2/25) 2/25　一般入試(前期)
	7 ⑭	8 ⑮	9 ⑮	10 金⑮	11	12	13	
	14 ⑮	15	16	17	18	19	20	
	21 **試験**	22	23	24	25 入試	26	27	
	28							
3月		1	2	3	4	5	6	3/7　午後:全館立入禁止(～3/8) 3/8　一般入試(中期) 3/11　午後:全館立入禁止(～3/12) 3/12　一般入試(後期) 3/19　卒業式 3/20　入試追試験
	7 入試	8	9	10	11 入試	12	13	
	14	15	16	17	18	19 卒業式	20 入試	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30	31				3/15～3/31　春期休業日

2) 入学状況

学　科　名		定　員（人）	在籍学生数（人）
健康科学部	健康保育学科	150	157
	看護学科	300	314
	地域福祉学科	150	163
助産学専攻科		5	6
大学院看護学研究科		10	10
計		615	650

令和 3(2021)年 5 月 1 日現在

3) 進路状況

学　科　名	卒業生数（人）	就　職（人）	進　学（人）	その他（人）
健康科学部看護学科	64	55	8	1
助産学専攻科	6	6	0	0
計	70	61	8	1

令和 3(2022)年 3 月 31 日現在

4) 内部質保証

(1) 法人評価

評価委員会は新見市の所管である。したがって、委員は市長から委嘱されている。

（委員長）岡﨑　平（企業経営に詳しい学識経験者）
田中　由貴子（教育面に詳しい学識経験者）
中西　崇陽（財務・監査面に詳しい学識経験者）

月　日	議　題
7 月 9 日	1. 令和 2 年度実績報告書及び財務諸表の評価について
7 月 14 日	1. 令和 2 年度業務の実績に関する評価について
7 月 29 日	市長報告

(2) 認証評価

本学は令和 5(2023)年度に大学教育質保証・評価センターの認証評価を受審する予定である。

(3) 自己点検・評価

本学は「新見公立大学教育研究活動等の点検及び評価に関する実施要領」第 6 項に基づき自己点検・評価を実施し、「新見公立大学自己点検・評価書（令和 3(2021)年 12 月)」を作成した。

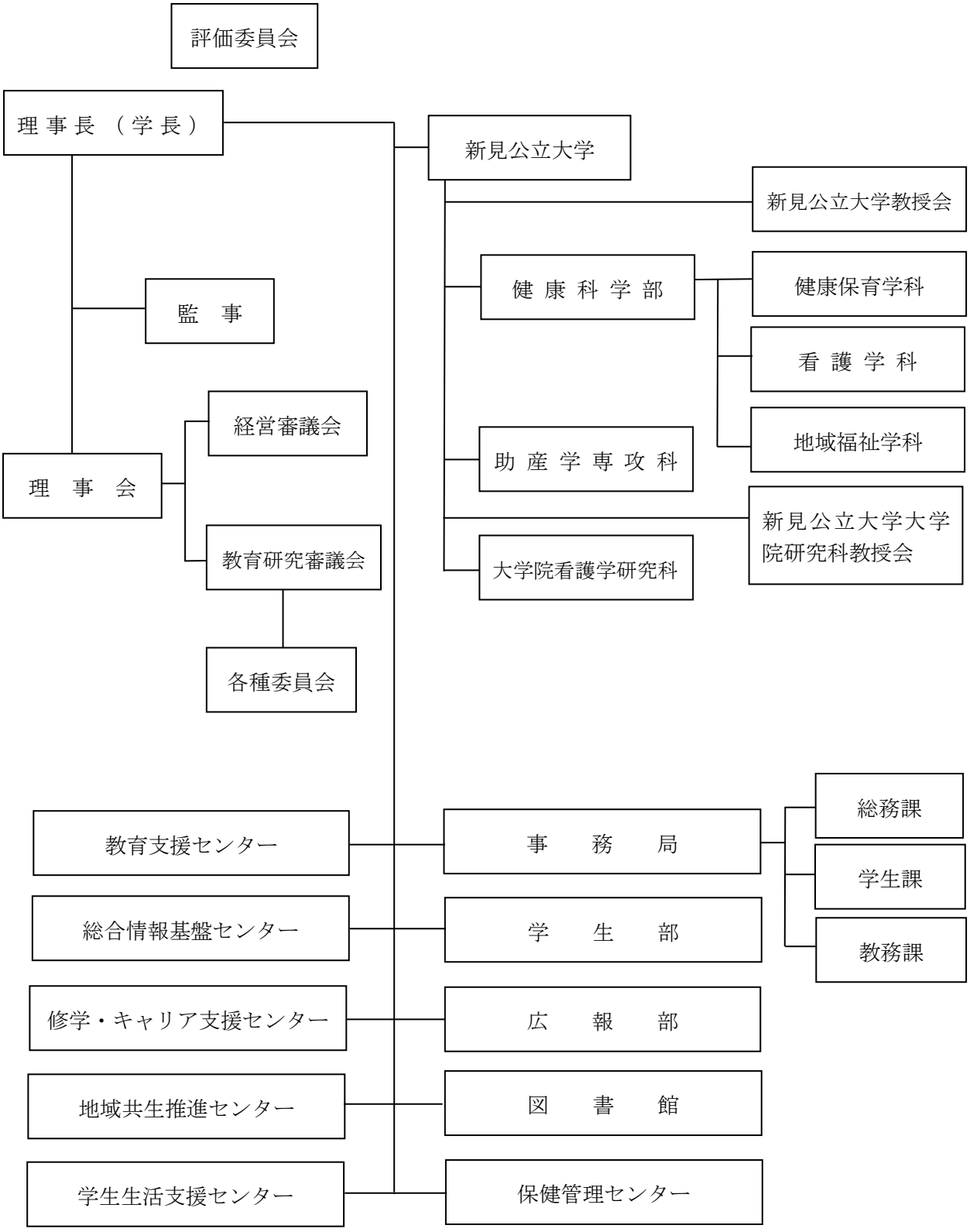
また、同要領同項に基づき、「新見公立大学自己点検・評価書（令和 3(2021)年 12 月)」についての第三者評価を実施し、「新見公立大学第三者評価報告書」を作成した。

さらに、同要領第 5 項に基づき、令和 2(2020)年度の年度計画の業務実績報告を用いて自己点検シートを作成した上で改善を継続的に行っているかを評価し、内部質保証報告書（令和 3(2021)年 6 月）を作成した。

これらの評価書や報告書を本学ホームページに掲載し、社会に公表した。本学は評価結果及び講評の内容に基づき、教育研究活動等の改善を組織的・継続的に実施するため、改善事項を令和 4(2022)年度の年度計画に取り込むことで計画的に改善に努めるとともに、その実施状況（業務実績）を令和 5(2023)年度当初に点検・評価する予定である。

5）運営組織

（1）法人組織図



(2) 各種委員会

委員会	構成員				
	役職員等	健康保育学科	看護学科	地域福祉学科	事務局
評価・将来構想委員会 (委員長:公文　裕巳)	学長 副学長 学生部長 学部長 図書館長 学生部次長 保健管理ｾﾝﾀｰ長 総合情報基盤ｾﾝﾀｰ長 教育支援ｾﾝﾀｰ長 地域共生推進ｾﾝﾀｰ長 修学・ｷｬﾘｱ支援ｾﾝﾀｰ長 学生生活支援ｾﾝﾀｰ長	学科長 副学科長	学科長 副学科長	学科長 副学科長	事務局長 総務課長 学生課長 教務課長
ＦＤ・ＳＤ委員会 (委員長:山田　雅夫)	副学長 学部長 FD･SD 委員会委員長 FD・SD 委員会副委員長	加藤　由美	安田　陽子	和田 美智代	生田　淳介 岡本　侑記 林　良之
ハラスメント等防止委員会 (委員長：小田　慈)	理事長 副学長 学生部長 学部長	岡本　直行 八尋　茂樹	金山　時恵 土井　英子	松本 百合美 小松尾 京子	総務課長 学生課長 教務課長
ハラスメント等防止委員会 相談員		渡部　昌史 本渡　葵	山本 智恵子 塩見　和子 四宮 美佐恵 矢庭 さゆり	松本 百合美 小松尾 京子	藤原　悠三 山根　智幸 古屋　祐樹
入試課題検討委員会 (委員長:斎藤　健司)	学生部長 学部長 入試委員長 学生部次長 指名: 若干名	岡本　直行	金山　時恵 四宮 美佐恵 矢庭 さゆり	松本 百合美	事務局長
入試委員会 （委員長：木下香織）	学生部長 学生部次長 学部長 入試主任 入試委員長 広報部長	岡本　直行 芝﨑　美和 竹下 可奈子	金山　時恵 土井　英子 丸山　純子	松本 百合美 三上　ゆみ 井上　信次	山根　智幸

委員会	構成員				
	役職員等	健康保育学科	看護学科	地域福祉学科	事務局
学生選抜等委員会 （委員長：斎藤健司）	学長 副学長 学生部長 学部長 入試委員長 学生部次長 入試主任	岡本　直行	金山　時恵 四宮 美佐恵 矢庭 さゆり	松本 百合美	事務局長
教務委員会 （委員長：岡　京子）	教育研究担当理事 教務委員長	広瀬　綾子 高橋　彩	礒本　暁子 山本 智恵子 真壁　五月 塩見　和子	山本　浩史 松田　実樹	教務課長 林　良之 吉尾　大輝 古屋　祐樹
教育推進委員会 （委員長:原田　信之）	図書館長 教育推進委員長	松本　好生 立浪　朋子 松島　英恵	安田　陽子 宮武　一江 平田　知子	和田 美智代 合田　衣里 朴　蕙彬	生田　淳介 安原　知章 古屋　祐樹 中西　智子
研究倫理審査委員会 （委員長:山田　雅夫）	副学長 研究倫理審査委員長	八尋　茂樹	矢庭 さゆり	鄭　丞媛	学外の有識者

センター		構成員				
		役職員等	健康保育学科	看護学科	地域福祉学科	事務局
総合情報基盤センター（センター長：梶本 佳照）	広報部門	副学長 センター長 副センター長	八尋　茂樹 久恒　拓也 入江　慶太	山野井 尚美 井上　弘子 安藤　亮	泉　宗孝 柳廻　三寛 高杉　公人	安原　知章 井上 ムツ子 古谷　明子
	ＩＲ部門	副学長 センター長 副センター長	芝﨑　美和	矢嶋　裕樹	長宗　武司	眞治　章 井上 ムツ子
	情報システム部門	副学長 センター長 副センター長	久恒　拓也	矢嶋　裕樹	長宗　武司	眞治　章 井上 ムツ子
保健管理センター （センター長：小田　慈）		センター長 副センター長 ﾒﾃﾞｨｱﾙｽﾀｯﾌ	八尋　茂樹 立浪　朋子 竹下 可奈子	矢庭 さゆり 西川 由貴子 大島　由美	岡　京子 山内　圭 合田　衣里	総務課長 学生課長 安原　知章 教務課長 林　良之

センター	構成員				
	役職員等	健康保育学科	看護学科	地域福祉学科	事務局
教育支援センター （センター長：髙月　教恵）	センター長 副センター長 センターの特任教員	岡本　直行 教育保育実習担当教員 八尋　茂樹 加藤　由美 高橋　彩 松島　英恵	金山　時恵 教育実習担当教員 郷木　義子 山本　裕子		教務課長 吉尾　大輝
修学・キャリア支援センター （センター長：渡部　昌史）	センター長 副センター長 学生部次長	加藤　由美 久恒　拓也	赤田 いづみ 中川　彩見	山本　浩史 井上　信次	安原　知章 小林　一成 佐藤　昌美
地域共生推進センター （センター長：土井　英子）	センター長 副センター長	広瀬　綾子 立浪　朋子	木下　香織 吉田　美穂	木下 由梨枝 柳迫　三寛	センター職員
学生生活支援センター （センター長：栗本　一美）	センター長 副センター長 学生部長 学生部次長	竹下 可奈子 高橋　彩	宮武　一江 難波　香	鄭　丞媛 岸本 由梨枝	岡本　侑記

(3) 役職

<table>
<tr><th colspan="4">役　職　名</th><th>氏　名</th></tr>
<tr><td colspan="4">学長（理事長）</td><td>公文　裕巳</td></tr>
<tr><td colspan="4">副学長</td><td>小田　　慈</td></tr>
<tr><td rowspan="8">大　学</td><td rowspan="7">健康科学部</td><td colspan="2">学部長</td><td>上山　和子</td></tr>
<tr><td rowspan="2">健康保育学科</td><td>学科長</td><td>岡本　直行</td></tr>
<tr><td>副学科長</td><td>芝﨑　美和</td></tr>
<tr><td rowspan="2">看護学科</td><td>学科長</td><td>金山　時恵</td></tr>
<tr><td>副学科長</td><td>山本 智恵子</td></tr>
<tr><td rowspan="2">地域福祉学科</td><td>学科長</td><td>松本 百合美</td></tr>
<tr><td>副学科長</td><td>井上　信次</td></tr>
<tr><td colspan="2">助産学専攻科</td><td>専攻科長</td><td>四宮 美佐恵</td></tr>
<tr><td colspan="2">大学院</td><td colspan="2">看護学研究科長</td><td>矢庭さゆり</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">学生部</td><td colspan="2">学生部長</td><td>斎藤　健司</td></tr>
<tr><td colspan="2">学生部次長</td><td>矢嶋　裕樹</td></tr>
<tr><td colspan="2">広報部</td><td colspan="2">広報部長</td><td>梶本　佳照</td></tr>
<tr><td colspan="2">図書館</td><td colspan="2">図書館長</td><td>原田　信之</td></tr>
<tr><td colspan="2">総合情報基盤センター</td><td colspan="2">センター長</td><td>梶本　佳照</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">教育支援センター</td><td colspan="2">センター長</td><td>髙月　教惠</td></tr>
<tr><td colspan="2">副センター長</td><td>入江　慶太</td></tr>
<tr><td colspan="2">修学・キャリア支援センター</td><td colspan="2">センター長</td><td>渡部　昌史</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">地域共生推進センター</td><td colspan="2">センター長</td><td>土井　英子</td></tr>
<tr><td colspan="2">副センター長</td><td>三上　ゆみ</td></tr>
<tr><td colspan="2">学生生活支援センター</td><td colspan="2">センター長</td><td>栗本　一美</td></tr>
</table>

(4) チューター

学　科		学年	チューター長等	
健康科学部	健康保育	1	八尋　茂樹	立浪　朋子
		2	芝﨑　美和	竹下 可奈子
		3	加藤　由美	高橋　彩
	看護	1	吉田　美穂	山野井 尚美
		2	塩見　和子	多田 めぐみ
		3	山本 智恵子	丸山　純子
		4	真壁　五月	矢庭 さゆり
	地域福祉	1	井上　信次	合田　衣里
			泉　宗孝	
		2	和田 美智代	岸本 由梨枝
			三上　ゆみ	
		3	山内　圭	山本　浩史
			岡　京子	
助産学専攻科			四宮 美佐恵	安田　陽子

6）教職員組織

（1）教員

担当科目は、「３．教員の教育・研究・社会貢献への実績」を参照。

◎大学

番号	大学職名	氏名	専門分野	法人上職名	ｾﾝﾀｰ等事務上職名
1	学長	公文　裕巳 くもん　ひろみ 2015.4.1	泌尿器科学 内視鏡学 遺伝子治療学	理事長	－
2	副学長	小田　慈 おだ　めぐみ 2019.4.1	小児科学 小児保健学 母子保健学	理事 （総務・経営）	保健管理ｾﾝﾀｰ長 ﾊﾗｽﾒﾝﾄ防止委員会委員長
3	学生部長 （健康保育学科教授）	斎藤　健司 さいとう　けんじ 1994.4.1	保育内容「環境」 生化学	理事 （教育・研究） 大学院改組部会 部会長 内部質保証部会 部会長 教学ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ部会 部会員	学生生活支援ｾﾝﾀｰ会議委員 修学・ｷｬﾘｱ支援ｾﾝﾀｰ会議委員 入試課題検討委員会委員長 学生選抜委員会委員長
4	学生部 次長 （看護学科 准教授）	矢嶋　裕樹 やじま　ゆうき 2009.4.1	保健統計学 疫学	教育研究 審議会委員 教学ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ部会 部会長 大学院改組部会 部会員 内部質保証部会 部会員	学生生活支援ｾﾝﾀｰ委員 修学・ｷｬﾘｱ支援ｾﾝﾀｰ委員 総合情報基盤ｾﾝﾀｰ 情報ｼｽﾃﾑ・IR 部門委員 FD・SD 委員会副委員長
5	広報部長 （健康保育学科 特任教授）	梶本　佳照 かじもと　よしてる 2017.4.1	教育工学 生活科 教育学	教育研究 審議会委員 教学ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ部会 部会員	総合情報基盤ｾﾝﾀｰ長 情報ｼｽﾃﾑ部門委員長 IR 部門委員長
6	図書館長 （看護学科 教授）	原田　信之 はらだ　のぶゆき 1996.4.1	日本文学（古代中世説話文学、口承文学）	教育研究 審議会委員	教育推進委員会委員長
7	健康科学学部長 （看護学科 教授）	上山　和子 うえやま　かずこ 1992.4.1	小児看護学 看護教育学	教育研究 審議会委員 大学院改組部会 部会員	－
8	看護学 研究科長 （教授）	矢庭 さゆり やにわ　さゆり 2004.4.1	公衆衛生看護学 地域看護学	教育研究 審議会委員 大学院改組部会 副部会長	保健管理ｾﾝﾀｰ委員
9	特任教授	加藤　雅彦 かとう　まさひこ 2021.4.1	公衆衛生学 応用獣医学	教学ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ 副部会長 内部質保証部会 部会員	地域共生推進ｾﾝﾀｰ研究員

※理事は教育研究審議会委員、教育研究審議会委員は、評価・将来構想委員会委員を兼ねる。

◎健康保育学科

番号	大学職名	氏名	専門分野	法人上職名	ｾﾝﾀｰ等事務上職名
10 (1)	学科長 (教授)	岡本　直行 おかもと　なおゆき 2006.4.1	美術 造形表現 図画工作	教育研究 審議会委員 内部質保証部会 部会員	教育支援ｾﾝﾀｰ委員
11 (2)	副学科長 (准教授)	芝﨑　美和 しばさき　みわ 2007.4.1	発達心理学 教育心理学 幼児心理学	教学ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ部会 部会員	総合情報基盤ｾﾝﾀｰ IR 部門委員
12 (3)	教授	松本　好生 まつもと　よしお 2019.4.1	医療福祉学 発達障害学 発達心理学等	－	－
13 (4)	特任教授	髙月　教惠 たかつき　のりえ 2017.4.1	保育学 幼児教育学	評価・将来構想 委員会委員	教育支援ｾﾝﾀｰ長
14 (5)	准教授	八尋　茂樹 やひろ　しげき 2010.4.1	社会福祉学 児童家庭福祉 教育福祉	－	保健管理ｾﾝﾀｰ委員 教育支援ｾﾝﾀｰ委員
15 (6)	准教授	渡部　昌史 わたなべ　まさし 2006.4.1	身体教育学 発育発達学 体育学	評価・将来構想 委員会委員	修学・ｷｬﾘｱ支援ｾﾝﾀｰ長
16 (7)	准教授	広瀬　綾子 ひろせ　あやこ 2019.4.1	教育学 演劇教育 身体表現	－	地域共生推進ｾﾝﾀｰ委員
17 (8)	准教授	加藤　由美 かとう　ゆみ 2016.4.1	幼児教育学 保育学 臨床心理学	－	修学・ｷｬﾘｱ支援ｾﾝﾀｰ委員
18 (9)	講師	立浪　朋子 たちなみ　ともこ 2019.4.1	特別支援教育 障害児教育史	－	保健管理ｾﾝﾀｰ委員 地域共生推進ｾﾝﾀｰ委員
19 (10)	講師	本渡　葵 ほんど　あおい 2019.4.1	国語教育 国語科教育	－	－
20 (11)	講師	竹下 可奈子 たけした　かなこ 2019.4.1	音楽学 幼児音楽教育学		保健管理ｾﾝﾀｰ委員 学生生活支援ｾﾝﾀｰ委員
21 (12)	講師	久恒　拓也 ひさつね　たくや 2019.4.1	教育学 教育史 教師教育	－	修学・ｷｬﾘｱ支援ｾﾝﾀｰ委員 総合情報基盤ｾﾝﾀｰ 広報・ｼｽﾃﾑ部門委員
22 (13)	講師	入江　慶太 いりえ　けいた 2021.4.1	保育学 心理学	－	教育支援ｾﾝﾀｰ副ｾﾝﾀｰ長
23 (14)	助教	髙橋　彩 たかはし　あやか 2019.4.1	特別支援教育 応用行動分析学	－	学生生活支援ｾﾝﾀｰ委員
24 (15)	助教	松島　英恵 まつしま　はなえ 2021.4.1	保育学 幼児教育学	－	－
25 (16)	助教	福武　幸世 ふくたけ　さちよ 2021.4.1	身体教育学 舞踊学 身体表現	－	地域共生推進ｾﾝﾀｰ研究員

◎看護学科（助産学専攻科を含む。）

番号	大学職名	氏名	専門分野	法人上職名	ｾﾝﾀｰ等事務上職名
26 (1)	学科長 (教授)	金山　時恵 かなやま　ときえ 1990.6.1	公衆衛生看護学	教育研究審議会 委員 内部質保証部会 部会員	教育支援ｾﾝﾀｰ委員
27 (2)	助産学 専攻科長 (教授)	四宮 美佐恵 しのみや　みさえ 2015.4.1	助産学 母性看護学	―	保健管理ｾﾝﾀｰ委員 地域共生推進ｾﾝﾀｰ委員
28 (4)	副学科長 (准教授)	山本 智恵子 やまもと　ちえこ 2010.4.1	基礎看護学	評価・将来構想 委員会委員 教学ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ部会 部会員	―
29 (5)	教授	土井　英子 どい　ひでこ 1996.4.1	基礎看護学 生命倫理学	評価・将来構想 委員会委員	地域共生推進ｾﾝﾀｰ長
30 (6)	教授	木下　香織 きのした　かおり 1994.4.1	老年看護学	―	地域共生推進ｾﾝﾀｰ委員
31 (7)	教授	栗本　一美 くりもと　かずみ 1996.4.1	在宅看護学	評価・将来構想 委員会委員	学生生活支援ｾﾝﾀｰ長
32 (8)	特任教授	郷木　義子 ごうぎ　よしこ 2019.4.1	学校保健	―	教育支援ｾﾝﾀｰ 教育・保育実習運営委員
33 (9)	特任教授	山田　雅夫 やまだ　まさお 2020.4.1	ウイルス学 感染症学 解剖生理学 病態生理学	内部質保証部会 副部会長 教学ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ部会 部会員	FD・SD 委員会委員長 研究倫理委員会委員長
34 (10)	准教授	礒本　暁子 いそもと　あきこ 2011.4.1	成人看護学	―	―
35 (11)	准教授	塩見　和子 しおみ　かずこ 2011.4.1	成人看護学	大学院改組部会 部会員	―
36 (12)	准教授	山野井 尚美 やまのい　ひさみ 2020.10.1	精神科看護学 地域精神保健 ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ対策	―	保健管理ｾﾝﾀｰ委員ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ
37 (13)	講師	真壁　五月 まかべ　さつき 2017.4.1	成人看護学 看護管理学	―	―
38 (14)	講師	安田　陽子 やすだ　ようこ 2017.4.1	助産学	―	―
39 (15)	講師	赤田いづみ あかだ　いづみ 2020.4.1	基礎看護学	―	修学・ｷｬﾘｱ支援ｾﾝﾀｰ委員
40 (16)	講師	丸山　純子 まるやま　じゅんこ 2013.4.1	在宅看護学	―	―
41 (17)	講師	吉田　美穂 よしだ　みほ 2013.4.1	基礎看護学	―	地域共生推進ｾﾝﾀｰ委員

番号	大学職名	氏名	専門分野	法人上職名	ｾﾝﾀｰ等事務上職名
42 (18)	助教	西川 由貴子 にしかわ　ゆきこ 2019.4.1	母性看護学	－	保健管理ｾﾝﾀｰ委員
43 (19)	助教	平田　知子 ひらた　ともこ 2019.9.1	母性看護学	－	－
44 (20)	助教	山本　裕子 やまもと　ゆうこ 2015.4.1	小児看護学	－	－
45 (21)	助教	宮武　一江 みやたけ　かずえ 2017.4.1	成人看護学	－	－
46 (22)	助教	中川　彩見 なかがわ　あやみ 2014.4.1	公衆衛生看護学	－	修学・ｷｬﾘｱ支援ｾﾝﾀｰ委員
47 (23)	助教	井上　弘子 いのうえ　ひろこ 2016.4.1	成人看護学	－	－
48 (24)	助教 ～3/31	多田 めぐみ ただ　めぐみ 2016.4.1	基礎看護学	－	－
49 (25)	助教	小林　匡美 こばやし　まさみ 2020.4.1	成人看護学	－	－
50 (26)	助教	安藤　亮 あんどう　りょう 2020.4.1	老年看護学	－	－
51 (27)	助教	長崎 恵美子 ながさき　えみこ 2021.4.1	精神看護学	－	－
52 (28)	助教	高尾　緑 たかお　みどり 2021.4.1	助産学	－	－
53 (29)	助手	難波　香 なんば　かおり 2019.4.1	老年看護学	－	－
54 (30)	助手	西村 美紗希 にしむら　みさき 2019.4.1	小児看護学	－	－
55 (31)	助手	大島　由美 おおしま　ゆみ 2020.9.1	在宅看護学	－	－
56 (32)	助手 ～3/31	津曲　真弥 つまがり　まや 2021.4.1	基礎看護学	－	－

◎地域福祉学科

番号	大学職名	氏名	専門分野	法人上職名	ｾﾝﾀｰ等事務上職名
57 (1)	学科長 (教授)	松本 百合美 まつもと ゆりみ 2003.10.1	介護福祉 高齢者介護	教育研究 審議会委員 内部質保証部会 部会員	－
67 (2)	副学科長 (准教授)	井上 信次 いのうえ しんじ 2019.4.1	社会学 社会調査法	評価・将来構想 委員会委員 大学院改組部会 副部会長 教学ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ部会 部会員	修学・ｷｬﾘｱ支援ｾﾝﾀｰ委員
58 (3)	教授	岡 京子 おか きょうこ 2013.4.1	介護福祉 高齢者介護	教学ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ部会 部会員	保健管理ｾﾝﾀｰ委員 教務委員会委員長
59 (4)	教授	山内 圭 やまうち きよし 1995.4.1	英語 アメリカ文学	－	保健管理ｾﾝﾀｰ委員
60 (5)	教授	山本 浩史 やまもと ひろふみ 2017.4.1	社会福祉学 文化科学 教育学	－	修学・ｷｬﾘｱ支援ｾﾝﾀｰ委員
61 (6)	教授	和田 美智代 わだ みちよ 2019.4.1	民法 社会保障法 家族政策	－	－
62 (7)	教授	高杉 公人 たかすぎ きみひと 2021.4.1	社会福祉学(地域福祉、国際福祉、実習教育)	－	－
63 (8)	特任教授	小山 正善 こやま まさよし 2019.4.1	公法学(憲法学、行政法学)	－	－
64 (9)	特任教授	八重樫 牧子 やえがし まきこ 2019.4.1	子ども家庭福祉 ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ演習 子育て支援	－	－
65 (10)	准教授	三上 ゆみ みかみ ゆみ 2008.4.1	介護福祉 高齢者介護	大学院改組部会 部会員	地域共生推進ｾﾝﾀｰ副ｾﾝﾀｰ長
66 (11)	准教授	鄭 丞媛 じょん すんうぉん 2019.4.1	医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ、社会疫学、地域福祉	大学院改組部会 部会員	学生生活委員会委員
68 (12)	准教授	小松尾 京子 こまつお きょうこ 2021.4.1	社会福祉学 ｽｰﾊﾟｰﾋﾞｼﾞｮﾝ 事例検討 地域福祉	－	－
69 (13)	講師	松田 実樹 まつだ みき 2020.4.1	介護福祉 障がい者福祉	－	－
70 (14)	講師	合田 衣里 ごうだ えり 2015.4.1	介護福祉 高齢者介護	－	保健管理ｾﾝﾀｰ委員
71 (15)	講師	朴 蕙彬 ぱく へびん 2021.4.1	社会福祉学 高齢者福祉 エイジズム	－	－

番号	大学職名	氏名	専門分野	法人上職名	ｾﾝﾀｰ等事務上職名
72 (16)	助教	泉　宗孝 いずみ　むねたか 2019.4.1	社会福祉学 障がい者福祉	－	－
73 (17)	助教	柳迫　三寛 やなぎさこ　みつひろ 2020.4.1	保健医療福祉 医療ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ	－	地域共生推進ｾﾝﾀｰ委員
74 (18)	助教	岸本 由梨枝 きしもと　ゆりえ 2019.4.1	公共政策学 評価学 地域福祉学		地域共生推進ｾﾝﾀｰ委員 学生生活支援ｾﾝﾀｰ委員
75 (19)	助教	長宗　武司 ながむね　たけし 2021.4.1	都市地域経済学 応用計量経済学 (統計解析) 地域公共政策	－	地域共生推進ｾﾝﾀｰ研究員

◎非常勤講師（主共通科目）

番号	氏名	担当科目
1	国崎　信江	地域防災論
2	石井　将幸	〃
3	齋藤 美絵子	〃
4	松井　一洋	〃
5	近森　秀高	〃
6	山本　仁	地域防災論、地域防災演習
7	山下　弘彦	地域防災演習、ボランティア論(看)
8	吉田　俊明	健康科学Ⅰ
9	後藤　眞己	〃　、健康科学Ⅱ、健康科学Ⅲ
10	土井　浩二	〃　、認知症の理解Ⅰ(地)
11	浜田　淳	健康科学Ⅰ
12	津崎 龍一郎	健康科学Ⅱ、健康科学Ⅳ
13	宇野　文夫	健康科学Ⅱ、自然科学Ⅰ、自然科学Ⅱ、微生物学、薬と健康、 薬と疾病(看)、統合ヘルスケア(助)
14	古田　知久	健康科学Ⅱ
15	太田　隆正	健康科学Ⅲ、 病態治療学C(単元1：呼吸器疾患、単元2：血液・造血器疾患)(看)、 療養支援看護学特論(院)
16	太田　徹	健康科学Ⅲ
17	遠藤　彰	健康科学Ⅳ
18	黒田　昌宏	〃
19	斎藤　信也	〃
20	山口　信夫	哲学
21	和田　隆夫	日本国憲法、更生保護制度(地)
22	北川　歳昭	心理学
23	大栁　　博	ＩＣＴリテラシーⅠ
24	辻極　秀次	自然科学Ⅱ
25	ｼﾞｮｱﾝ･ｴﾚﾝ･ ﾗﾝｸﾞﾚｲ	英会話1、英会話Ⅱ

◎非常勤講師（主健康保育科目）

番号	氏名	担当科目
26	井上　宏美	手話
27	住本　克彦	教育学総論、保育者論、教育相談
28	荻田 志津子	子どもの食と栄養
29	伊澤　和子	社会的養護Ⅱ
30	藤原　香織	音楽Ⅰ（幼児音楽Ⅰ）、音楽Ⅱ（幼児音楽Ⅱ）、音楽Ⅱ（幼児音楽Ⅱ）（保）
31	池本　恭子	〃　、〃　、音楽Ⅱ（幼児音楽Ⅲ）（保）
32	長谷川　諒	〃　、音楽Ⅱ（幼児音楽Ⅲ）（保）
33	山下 愛由子	〃
34	山田　愛	音楽Ⅰ（幼児音楽Ⅰ）（保）
35	栗木　深香	〃　、音楽Ⅱ（幼児音楽Ⅱ）（保）
36	平松　英子	音楽Ⅱ（幼児音楽Ⅱ）（保）
37	清水　敬子	〃
38	三宅　祐子	音楽Ⅱ（声楽）
39	藤原　あや	特別支援教育Ⅰ、特別支援教育Ⅱ、 特別な教育的ニーズの理解とその支援
40	中村 満紀男	特別支援教育総論、障害児教育の教育課程および指導法とその歴史
41	岡田 あゆみ	知的障害者の心理・生理・病理
42	赤澤　啓史	肢体不自由者の心理・生理・病理
43	大竹　喜久	知的障害者教育方法論、知的障害者教育課程論
44	岸　哲志	視覚障害者教育総論
45	福田 章一郎	聴覚　〃

◎非常勤講師（主看護科目）

番号	氏名	担当科目
46	加藤　貴之	社会福祉、高齢者の支援と介護保険制度Ⅱ（共）、社会福祉開業論（地）
47	三好　弘人	人間関係論、発達と老化の理解Ⅰ（共）、心理的支援の知識・技術（地）
48	百田 由希子	母性看護学概論
49	岡　剛史	基礎病理学Ⅰ（総論）、基礎病理学Ⅱ（各論）
50	景山　甚郷	病態治療学Ａ （単元 1：腎疾患、単元 2：内分泌･代謝疾患、単元 3：膠原病･アレルギー）
51	関戸　崇了	〃　（単元 4：泌尿器疾患）
52	真邊　泰宏	病態治療学Ｂ（単元 1：脳・神経疾患）
53	溝渕　雅之	〃　（単元 2：脳神経外科）
54	那須　義久	〃　（単元 3：運動器疾患）
55	生口　俊浩	〃　（単元 4：放射線医学）
56	市川　啓之	病態治療学Ｃ（単元 3：循環器疾患）
57	髙谷　陽一	〃
58	卜部　力	〃
59	三好 健太郎	病態治療学Ｄ（単元 1：外科各論Ａ）
60	溝尾　妙子	〃　（単元 1：外科各論Ａ）、療養支援看護学特論（院）

番号	氏名	担当科目
61	寺石　文則	〃　（単元２：外科各論Ｂ）
62	楳田　祐三	病態治療学Ｄ（単元２：外科各論Ｂ）
63	岡田　裕之	〃　（単元３：消化器疾患）
64	白羽　英則	〃
65	堀口　繁	〃
66	諏澤　憲	〃　（単元４：手術療法）
67	戸枝　満	女性の健康と疾患
68	安井 みちる	〃
69	島田　京子	〃
70	榊原　洸太	〃
71	藤本　喜史	小児の健康と疾患
72	岡本　基	心の健康と疾患
73	武田　陽子	臨床栄養学
74	松田　佳子	成人看護学援助論Ａ(慢性期)
75	源内　しの	〃
76	堀田　裕司	カウンセリング
77	樋口 まち子	国際保健論
78	日髙　正巳	地域リハビリテーション論
79	山口　立雄	運動指導論
80	渡邉 都貴子	看護管理
81	丸山　雅道	〃
82	土居　正明	救命救急医療論
83	大西 万里子	〃　、地域保健指導論Ⅰ（基礎）
84	秋川　陽一	教育制度論(養)
85	加藤　明	教育課程論
86	森　宏樹	免疫学
87	佐藤　勝	地域医療論、地域医療支援特論(院)
88	金田　道弘	地域医療論
89	本干尾 八州子	公衆衛生看護管理論
90	黒瀬 真由美	地域保健指導論Ⅱ(応用)
91	福岡　悦子	産業保健

◎非常勤講師（主地域福祉科目）

番号	氏名	担当科目
92	吉村　淳子	地域文化実習、アクティビティ活動援助法Ⅰ
93	池田　利文	地域文化実習
94	朱鷺 たたら	〃
95	中田　雅章	高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ
96	京　俊輔	障害者に対する支援と障害者自立支援制度
97	森下　康広	社会保険労務概論Ⅰ、社会保険労務概論Ⅱ
98	西村　こころ	地方行政インターンシップ、ＮＰＯ事業論
99	石原　達也	ＮＰＯ事業論

番号	氏名	担当科目
100	柴田　健志	〃
101	岩淵　泰	公共政策論
102	小川　大輔	発達と老化の理解Ⅱ
103	飯田　征二	〃
104	小田　孔明	〃
105	平　和子	こころとからだのしくみⅠ、こころとからだのしくみⅡ
106	道繁 由香里	生活支援技術Ⅱ
107	杉原　悦子	生活支援技術Ⅴ
108	正保　正惠	生活と家事の支援学
109	岩満　賢次	就労支援サービス
110	住居　広士	介護の基本Ⅳ
111	亀山　徹	〃
112	山本 百合子	生活環境支援技術
113	熊谷　昌彦	〃

◎非常勤講師（主助産科目）

番号	氏名	担当科目
114	村上　博美	ウィメンズヘルス
115	真嶋　允人	周産期ハイリスクケア論
116	堀　晋一郎	周産期医学
117	鷲尾　洋介	新生児・乳幼児学
118	金只　好永	助産診断・技術学Ⅱ(分娩期)
119	宇野　真由美	〃
120	遠藤　千穂	〃
121	美馬　千紘	〃
122	虫明 さとみ	助産管理
123	妹尾　展子	〃
124	小椋　宏美	〃

◎非常勤講師（主看護学研究科目）

番号	氏名	担当科目
125	芳賀　佳子	看護管理特論
126	小林　まり子	療養支援看護学特論
127	山下 亜矢子	精神看護ケア特論
128	水野　正憲	人間関係特論
129	井上 真一郎	療養支援看護学課題演習

(2) 事務局

令和 3(2021)年度に、組織を改編し総務課、学生課、教務課の３課体制とした。

また、事務職員について財務員を担う一般事務職員と専門事務職員に明確な事務区分を設け、事務内容ごとに主担当、副担当、助担当を定めた（担当者制度）ほか、専門事務職員の基本的な業務内容も明らかにした。なお、令和 3(2021)年度に初めて民間派遣会社からの派遣を受入れている。

◎令和 3(2021)年度事務局任用別職員数　　単位：人

種	任用	総務課等	学生課	教務課	計
A	一般事務		1		1
B	一般事務(市派遣)	5	3	4	12
C	専門事務(臨時)	6	5	7	18
D	専門事務(民間派遣)		5	1	6
E	専門事務(委託)	1			1
F	理事・審議委員	1	1		2
計		13	15	12	40

◎令和 3(2021)年度管轄別事務局担当者及び担当事務

事務内容				総務							広報	後援会	地域共生	研究
管轄	職名等	氏　名	任用	組織	点検・評価	総務	人事	経理	施設	図書館				
事務局長		田枝　修己	F	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
総務課	次長課長	石橋　博	B	★	★	★	★	★	★	★		△		
	主査	梶原　基典	〃	□	□			□	●	●				
	〃	眞治　章	〃	●	●	□	□		□	□	△	△	△	
	主任	生田　淳介	〃			●	●							
	主事	藤原　悠三	〃					●						●
	事務	南　智子	C					○						
	〃	真壁　淳子	〃			○								
	〃	忠田　淳子	〃			○								
	司書	中西　智子	〃							○				
	〃	横内　恵子	〃							○				
	〃	木山　知香	〃							○				
	事務	能勢　修	E		○									

★：課長事務、●：主担当、□：副担当、△：助担当、○：業務、・：掌理、ＣＤ：ｺﾃﾞｨﾈｰﾀｰ

事務内容				入試広報		学生支援				
管轄	職名等	氏　名	任用	入試	広報	保健衛生	修学・キャリア	学生活動	後援会	地域共生
学生課	課長	田枝　修己（兼任）	複	★	★	★	★	★	★	★
	主査	都田 里美 ～8/31	A			●		□		
	〃	山根　智幸	B	●	□					□
	主任	岡本　侑記	〃				□	●	□	●
	主事	安原　知章	〃	□	●	□	●		●	
	事務	佐藤　昌美	C				○			
	養護	吉尾　浩美	〃			○				
	〃	内田 みどり	〃			○				
	ＣＤ	福田　秀之	〃							○
	〃	郷木　章	F							○
	事務	清水　勝	C							○
	〃	小林　一成	D				○			
	〃	古谷　明子	〃	○						
	〃	上田 千賀子	〃					○		
	〃	石田 真裕子 1/1～	〃					○		
	〃	井上 ムツコ ～10/31	〃		○					

事務内容				教務						高等教育継続	研究	子育てカレッジ
管轄	職名等	氏　名	任用	学部共通	健康保育学科	看護学科	地域福祉学科	助産学専攻科	看護学研究科			
教務課	課長	吉田　征弘	B	★	★	★	★	★	★	★	★	★
	補佐	林　良之	〃	●		●		●	●	●		
	主事	吉尾　大輝	〃	□	●	□	□	□	□		△	●
	〃	古屋　祐樹	〃		□		●			□	□	□
	事務	竹崎　めぐみ	D	○								
	保育	黒川　直子	C									○
	〃	槙原　昌枝	〃									○
	〃	渡邉　恵美	〃									○
	〃	湯田　祥子	〃									○
	事務	高見　亜希子	〃									○
	〃	小松　由枝	〃									○
	〃	稲岡　淑子	〃									○

7）収入・支出予算

収入

（単位：円）

区分	予算項目	科目別	節名	令和3(2021)年度予算額	
				内訳	計
一般経費	交付金	運営費交付金	一般運営費交付金	762,685,000	992,599,000
			授業料減免費交付金	25,623,000	
			臨時運営費交付金（経常的）	35,090,000	
			臨時運営費交付金（臨時的）	169,201,000	
	学生等納付金	授業料		285,835,000	339,593,000
		入学金		44,168,000	
		検定料		9,590,000	
	財産貸付等	土地使用料	PHS 中継基地局使用料	1,000	2,101,000
		建物等使用料	体育施設使用料	300,000	
		職員宿舎使用料		1,800,000	
	手数料	手数料	各種証明手数料	40,000	40,000
	雑収入	財務収入	預金利子	10,000	160,000
		公開講座収入		30,000	
		文献複写料		20,000	
		その他雑入		100,000	
	補助金	特定協働事業団体運営費補助金		130,908,000	130,908,000
	小計			1,465,401,000	1,465,401,000
寄付	寄付金			5,000,000	5,000,000
積立金	積立金取崩	修学支援事業基金		5,000,000	5,000,000
		積立金		128,764,000	128,764,000
合計				1,604,165,000	1,604,165,000

支出

（単位：円）

予算項目	科目別	令和3(2021)年度予算額		
		一般分	特殊要因	合計
教育研究支援経費(附属図書館)	附属図書館運営費	15,627,000	－	15,627,000
一般管理費	審議会等経費	566,000	－	566,000
	広報経費	16,051,000	193,000	16,244,000
	施設等維持管理経費	24,784,000	232,559,000	257,343,000
	職員宿舎管理運営費	2,658,000	－	2,658,000
	地域共生推進センター建設経費	130,910,000	－	130,910,000
	一般管理費	71,445,000	43,130,000	114,575,000
教育経費	学生経費	50,672,000	6,814,000	57,486,000
	入学試験実施経費	6,107,000	－	6,107,000
	大学入学共通テスト実施経費	885,000	－	885,000
	保健管理費	9,756,000	804,000	10,560,000
	就職活動経費	8,342,000	－	8,342,000
	教育管理費	41,637,000	－	41,637,000
	式典費	718,000	－	718,000
	非常勤講師旅費	762,000	－	762,000
	地域共生推進センター経費	4,553,000	－	4,553,000
研究経費	教員研究費	26,500,000	－	26,500,000
人件費	役員人件費	34,344,000	－	34,344,000
	教員人件費	678,941,000	35,090,000	714,031,000
	職員人件費	155,317,000	－	155,317,000
小計	－	1,280,575,000	318,590,000	1,599,165,000
積立金	修学支援事業基金積立	5,000,000	－	5,000,000
合計	－	1,285,575,000	318,590,000	1,604,165,000

8) 教授会

新見公立大学･新見公立大学大学院

月 日	議 題
4 月 1 日 （合同）	1. 議題 1)2021 年度入学者の決定について 2)ライオンズクラブ賞及び学年成績最優秀者賞について 3)令和 3 年度新見公立大学入学式について
4 月 28 日 （合同）	1. 議題 1)既修得単位の認定について 2)2021 年度非常勤助手の採用について 2. 連絡･報告 1)令和 3 年度公立大学法人新見公立大学年度計画について 2)令和 3 年度公立大学法人新見公立大学当初予算について 3)2022 年度助産学専攻科学生募集要項について 4)「新見市 保育･教育カリキュラム」について 5)各委員会報告について （ＦＤ・ＳＤ委員会、教育推進委員会、総合情報基盤センター情報システム部門、地域共生推進センター）
5 月 26 日 （合同）	1. 議題 1)2021 年度学外実習指導講師について 2)2021 年度新見公立大学大学院長期履修申請について 2. 連絡･報告 1)2022 年度健康科学部入学者選抜要項について 2)2022 年度大学院学生募集要項について 3)コロナウイルス感染症対策について 4)内部質保証に関するＦＤ集会について 5)各委員会報告について （教育推進委員会、総合情報基盤センター情報システム部門）
6 月 23 日 （合同）	1. 議題 1)2021 年度非常勤助手の採用について 2. 連絡･報告 1)コロナウイルス感染症対策について 2)2023 年度入学者選抜の予告について
7 月 22 日 （合同）	1. 連絡･報告 1)コロナウイルス感染症対策について 2)2021 年度助産学専攻科特別選抜入試試験日程等について 3)新見公立大学 教学マネジメント基本方針について 4)各委員会報告 （教育推進委員会、総合情報基盤センター情報システム部門）

8 月 25 日 （合同）	1. 議題 1）2021 年度非常勤講師の採用について 2. 連絡・報告 1）コロナウイルス感染症対策について 2）2022 年度新見公立大学学生募集要項について 3）2022 年度大学院一般・社会人特別入試（前期）試験日程等について 4）カリキュラム・チェックリスト作成の依頼について 5）鳴滝祭について 6）各委員会報告 （総合情報基盤センター広報部門） 7）科学研究費助成事業の応募について
8 月 31 日 （大学）	1. 議題 1）2022 年度 助産学専攻科特別選抜入試合格決定について
9 月 22 日 （合同）	1. 議題 1）2021 年度非常勤講師の採用について 2. 連絡・報告 1）コロナウイルス感染症対策について 2）2021 年度自己点検評価書の作成について 3）各委員会報告 （教育推進委員会）
9 月 29 日 （大学院）	1. 議題 1）2022 年度 大学院看護学研究科 一般・社会人特別入試（前期）合格決定について
10 月 27 日 （合同）	1. 連絡報告 1）2022 年度助産学専攻科一般入試試験日程等について 2）2022 年度学校推薦型選抜（地域福祉学科）試験日程等について 3）研究資料等の保存期間と研究倫理教育について 4）各委員会報告 （総合情報基盤センターＩＲ部門）
11 月 17 日 （大学）	1. 議題 1）2022 年度 助産学専攻科一般入試合格決定について
11 月 24 日 （合同）	1. 連絡・報告 1）2022 年度看護学科選択制選考試験実施要項について 2）各委員会報告 （教育推進委員会、保健管理センター、総合情報基盤センター情報システム部門）
12 月 1 日 （大学）	1. 議題 1）2022 年度 地域福祉学科学校推薦型選抜合格決定について
12 月 22 日 （合同）	1. 議題 1）2022 年度健康科学部看護学科教員選考委員会の設置について 2）2021 年度非常勤講師の採用について 2. 連絡・報告 1）「自己点検・評価の評価結果」と「その評価に基づく改善措置」について 2）2022 年度学校推薦型選抜（看護・保育）試験日程等について

	3)授業評価の実施について 4)令和 4 年度の年度計画の作成について 5)教員の昇任に関する内規について 6)各委員会報告 (教育推進委員会)
1 月 26 日 (合同)	1.連絡・報告 1)2022 年度一般入試(前期・中期・後期日程)試験日程等について 2)健康科学部教員昇任について 3)コロナウイルス感染症対策について 4)各委員会報告 (教育推進委員会)
2 月 9 日 (大学)	1.議題 1)2022 年度 健康保育学科・看護学科学校推薦型選抜合格決定について
2 月 22 日 (合同)	1.議題 1)卒業判定及び赤木孜一賞について 2)2022 年度非常勤講師の採用について 2.連絡・報告 1)地域共生推進センター研究員の採用について 2)コロナウイルス感染症対策について 3)各委員会報告 (教育推進委員会) 4)卒業式及び入学式について
2 月 22 日 (大学院)	1.議題 1)2021 年度 大学院看護学研究科 学位授与について
3 月 2 日 (大学)	1.議題 1)2022 年度 学部一般入試合格決定について
3 月 22 日 (大学)	1.議題 1)2022 年度 学部一般入試合格決定について
3 月 23 日 (合同)	1.議題 1)2022 年度非常勤講師の採用について(追加) 2)2022 年度非常勤助手の採用について 2.連絡・報告 1)2022 年度健康科学部看護学科教員採用について 2)2022 年度の体制及び会議の開催日程について 3)第三者評価について 4)令和 3 年度の年度実績の作成について 5)教員活動の省察について 6)各委員会報告 (教育推進委員会)

9）各種委員会・センター活動実績

(1) 評価・将来構想委員会

◎令和 3(2021)年度評価・将来構想委員会開催実績（11 回）

月　日	議　題
4 月 7 日	1．議題 1）大学院の改組について 2）助産学専科の教育課程の変更について 2．連絡報告 1）学生との意見交換会の実施について 2）入学式後の講演会について 3）事務局の体制について
4 月 30 日	1．議題 1）評価・将来構想委員会教学マネジメント部会の設置について 2）評価・将来構想委員会の内部質保証部会の構成員について 3）看護学科の教育課程の変更について 4）大学祭の延期及び部活動の自粛について 2．連絡・報告 1）感染防止に対する学生への連絡体制について
6 月 9 日	1．議題 1）新型コロナウイルス感染症対策について 2）2020 年度実績報告について 3）新見公立大学教学マネジメント基本方針について 4）大学バスのデザインについて 5）研修日について
7 月 7 日	1．議題 1）新型コロナ感染症対策について 2）令和 3 年度内部質保証報告書について 3）令和 3 年度自己点検・評価書の作成と今後のスケジュールについて 2．連絡・報告 1）鳴滝祭の日程について 2）大学バスの活用について
8 月 4 日	1．議題 1）新型コロナ感染症対策について 2）カリキュラム・チエックリストについて 3）新見公立大学教員昇任に関する要項の基準について 2．連絡・報告 1）令和 2 年度業務の実績に関する評価結果について 2）新見駅西エリア整備事業について 3）オープンキャンパスについて
8 月 31 日	1．議題 1）新型コロナウイルス感染症対策について 2）修学・キャリア支援室の整備について 2．連絡・報告 1）大学院改組について

	2）新見駅西エリア整備事業について
10月5日	1．議題 1）新型コロナウイルス感染症対策について 2）教員選考要項及び昇任に関する内規について 3）研究活動に係る不正行為への対応に関する規定の改正等について 4）その他 (1) 教員の給与について (2) 大学院改組、将来構想について
11月2日	1．議題 1）兼業の基準について 2）その他 (1) 内部質保証部会の進歩状況について
12月1日	1．議題 1）研修日、兼業及び振替休日の取り扱いについて 2）自己点検・評価及び第三者評価について 3）その他 (1) キャリア支援室整備工事について (2) 新見駅西エリア整備事業について
2月2日	1．議題 1）新型コロナウイルス感染症対策について 2）2022年度の組織体制について 3）内部質保証及び教学マネジメントについて 4）その他 (1) 一般入試の志願者数について
3月2日	1．議題 1）新型コロナウイルス感染症対策について 2）令和4年度年度計画について 3）新見公立大学大学院教員の判定基準の一部改正について 4）その他 (1) 2022年入試の受験率について

(2) 教務委員会

◎令和 3(2021)年度教務委員会開催実績

月　日	議　　題
4 月 21 日	1. 議題 1) 2021 年度　在学生前期ガイダンスの反省について 2) 2021 年度　新入生ガイダンスの反省について 3) 2021 年度　非常勤助手の採用について 4) 履修登録状況について 5) 大学院の既修得単位認定について 2. 連絡・報告 1) 学生の休学・退学について
5 月 19 日	1. 議題 1) 2021 年度　履修登録状況について 2) 大学院看護学研究科の長期履修期間変更及び申請について 3) 2021 年度　前期終講試験の実施について 4) 2021 年度　後期時間割について 2. 連絡・報告 1) 障がい学生の支援について
6 月 16 日	1.議題 1) 2021 年度　非常勤助手の採用について 2) 授業進行状況について 3) 来年度の時間割について
7 月 21 日	1. 議題 1) 2021 年度　後期について ・後期ガイダンスの日程確認と履修登録期間について ・後期教科書販売の確認について ・後期時間割について 2) 来年度の時間割について 2.連絡・報告 1) 学生の休学について
8 月 18 日	1.議題 1) 前期の成績入力と学生への成績開示について 2) 2021 年度　非常勤講師について 3) 後期時間割について 4) 来年度の時間割について 2.連絡・報告 1) 学生の退学・休学について
9 月 15 日	1. 議題 1) 2021 年度　非常勤講師の採用について 2) 後期履修登録日程について 3) 後期教科書販売について 2.連絡・報告 1) 学生の休学について

10 月 20 日	1. 議題 1) 後期ガイダンスの気づきと履修状況について 2) 前期科目の成績未提出状況について 3) 履修科目の登録単位数の上限の特例について 4) 2022 年度　学生便覧の作成について 5) 教科書販売について 2. 連絡・報告 1)学生の退学・休学・復学について
11 月 17 日	1. 議題 1) 次年度前期時間割一覧表について 2) 2022 年度　学生便覧及び教務手帳の作成について 3) 2022 年度　入学式及び当初予定について 4) GPA 算出方法について 2.連絡・報告 1) 学生の休学について
12 月 15 日	1. 議題 1) 2022 年度　学年暦について 2) 2021 年度　非常勤講師の採用について 3) 2022 年度　学生便覧及び教務手帳の作成について 4) 2022 年度　入学式及び当初予定案について 2.連絡・報告 1) 学生の復学について
1 月 19 日	1. 議題 1) 2022 年度　前期時間割作成について 2) 2022 年度　非常勤講師の採用について 3) 学則改正について 4) 2022 年度　学生便覧及び教務手帳の作成について 5) 2022 年度　入学式及び当初予定案について 6) 後期成績入力期間と最終学年の成績判定について
2 月 16 日	1. 議題 1) 2022 年度　非常勤講師の採用について 2) 2022 年度　前期時間割作成について 3) 2022 年度　学生便覧及びシラバスの進捗について 4) 2022 年度　当初予定案について 5) 入学式等の日程について 6) 2022 年度　教科書の確認、販売について
3 月 16 日	1. 議題 1) 2022 年度　前期在学生ガイダンスについて 2) 2022 年度　新入生ガイダンスについて 3) 学年暦について 4) 非常勤講師・非常勤助手の採用について 5)入学式後の学長講演会について 2. 連絡・報告 1) 学生の復学・休学・退学について

(3) ＦＤ・ＳＤ委員会

◎令和 3(2021)年度ＦＤ・ＳＤ委員会活動実績

月　日	議　　題
4 月 7 日	1) FD 委員会が進めている学修成果等のアンケートについて A. 2020 年度 卒業予定者アンケート（満足度調査）及び各学年の年度末アンケートについて B. 現在進行中、今後今年度計画する学修成果等のアンケート C. 学生からの意見聴取による教育改善の常態化 2) 2020 年度 授業評価アンケートについて 3) 今年度 計画/企画 「学生参画FD・SD集会」5月28日金曜日5限終了後 FD 集会「内部質保証について」6 月 23 日水曜日教授会終了後 4) 会議開催予定　第1 水曜日16:30―（不定期）
5 月 28 日	学生参画 FD・SD 集会「教育プログラムと学生支援改善のための意見交換会について-学生参画 SD/SD をめざして」
6 月 23 日	FD・SD 集会「内部質保証について」 1部：内部質保証全般と認証評価準備 2 部：教員活動の省察（試行）
12 月 23 日	1) 2021 年度 卒業予定者アンケートについて 2) 2021 年度 授業評価アンケートについて 3) 各学科、各学年末 DP 達成度等アンケート 4) 看護学科卒業生に対するアンケートについて 5) 次年度計画 ○ 報告：大学コンソーシアム岡山共同教育委員会　オンライン
1 月 17 日	1) 関連する年度計画の作成　（メール会議で承認）

(4) 教育推進委員会

◎令和 3(2021)年度教育推進委員会開催実績

日時	議題
4 月 14 日	図書部 1)図書費予算について 2)令和 3 年度図書館年間予定 3)学生図書委員会および NewLibrary について 4)アルバイト募集について 教養教育部 1)今年度活動方針について 2)「学科合同学び報告会」について 3)令和 3 年度読書アンケートについて 年報部

	1)2020 年度年報について 紀要部 1)2021 年度紀要第 42 巻について
5 月 19 日	図書部 1)学生アルバイトの決定について 2)今年度図書の学科別集約状況について 3)新型コロナ対策　図書館の取り組みについて 4)学生図書委員会および NewLibrary について 5)図書の除籍について 教養教育部 1)「学科合同学び報告会」の反省について 2)「学科合同学び報告会」後期分について 3)教養教育の充実について 年報部 1)2020 年度年報の進行状況について 紀要部 1)2021 年度紀要第 42 巻について
6 月 16 日	図書部 1)2022 年度外国雑誌・電子ジャーナルの購入タイトル見直しについて 2)学生図書委員会および NewLibrary について 3)蔵書点検について 教養教育部 1)山陽新聞社連携協力特別講演会について 2)「学科合同学び報告会」後期分について 3)教養教育の充実について 年報部 1)2020 年度年報の進行状況について 紀要部 1)2021 年度紀要第 42 巻について
7 月 21 日	図書部 1)図書費集約状況について 2)来年度外国雑誌の購入タイトルおよび価格値上がりについて 3)メディカルオンラインの値上がりについて 4)学生図書委員会および NewLibrary について 5)蔵書点検について 6)大学夏期休業中、および後期開始時の図書館開館時間について 7)夏期休業前の延滞図書と督促について 教養教育部 1)山陽新聞社連携協力特別講演会について 2)「学科合同学び報告会」後期分について 3)教養教育の充実について 年報部 1)2020 年度年報の進行状況について

	2)2021 年度年報について 紀要部 1)2021 年度紀要第 42 巻について 2)2021 年度紀要第 42 巻 2 号について
9 月 15 日	図書部 1)学科予算図書発注状況について 2)学生図書委員会および NewLibrary について 3)蔵書点検について 4)公立大学図書館協議会中国四国地区協議会研修会について 5)学生選書ツアーについて 6)読書推進について 教養教育部 1)山陽新聞社連携協力特別講演会について 2)「学科合同学び報告会」後期分について 年報部 1)2021 年度年報について 紀要部 1)2021 年度紀要第 42 巻について
10 月 6 日	図書部 1)蔵書点検報告 2)来年度和雑誌について 3)学生図書委員会および NewLibrary について 4)読書推進について 5)来年度予算要求について 教養教育部 1)山陽新聞社連携協力特別講演会について 2)「学科合同学び報告会」後期分について 3)2021（令和 3）年度読書調査について 年報部 1)2021 年度年報について 紀要部 1)紀要第 42 巻原稿整理について 2)紀要第 42 巻査読者決定について 3)査読について 4)今後の予定について
11 月 17 日	図書部 1)来年度和雑誌について 2)学科図書購入状況 3)学生選書ツアーの報告 4)学生図書委員会および NewLibrary について 5)読書推進について 教養教育部 1)「学科合同学び報告会」後期分について 2)教員の推薦図書募集について

	3)2021（令和3）年度読書調査について 年報部 1)2021年度年報について 紀要部 1)紀要第42巻原稿整理について 2)今後の予定について
12月8日	図書部 1)学生図書委員会およびNewLibraryについて 教養教育部 1)「学科合同学び報告会」後期分について 年報部 1)2021年度年報について 紀要部 1)紀要第42巻2号原稿整理について 2)今後の予定について
12月22日	図書部 1)2022年度交流センター雑誌について 2)学生図書委員会およびNewLibraryについて 3)学術雑誌製本について 4)冬期休業中・年末年始図書館開館スケジュールについて 5)学生および教員の延滞本督促について 6)公立大学協会図書館協議会中国・四国地区協議会R4総会準備状況について 教養教育部 1)教員の推薦図書募集について 2)2021（令和3）年度読書調査について 年報部 1)2021年度年報について 紀要部 1)紀要第42巻2号原稿整理について 2)今後の予定について
1月19日	図書部 1)OPACの研究室図書状態表示について 2)学生への延滞本督促と退職教員研究室図書の返却について 3)学生図書委員会およびNewLibraryについて 教養教育部 1)教養教育の充実について 2)2021（令和3）年度読書調査について 3)2022年度前期学科合同学び報告会担当学生選定について 4)教員の推薦図書募集について 年報部 1)2021年度年報について 紀要部 1)紀要第42巻1号進行状況について 2)紀要第42巻2号進行状況について

	3)今後の予定について
2月16日	図書部 1)3月の図書館開館時間について 2)今年度の図書購入状況について 3)卒業学年の学生への延滞本督促と退職教員研究室図書の返却について 教養教育部 1)2021(令和3)年度読書アンケートについて 2)「学科合同学び報告会」について 3)教養教育の充実について 年報部 1)2021年度年報について 紀要部 1)紀要第42巻1号・2号進行状況について 2)今後の予定について
3月16日	図書部 1)卒業学年(看護4年)の図書貸出状況と退職教員研究室図書の返却について 2)『私の読書ノート』の大学ホームページへの掲載について 3)新年度の準備について 4)公大図協中四国地区協議会について 5)本学紀要へのDOI付与について 教養教育部 1)2021(令和3)年度読書アンケートについて 2)「学科合同学び報告会」について 年報部 1)2021年度年報について 紀要部 1)紀要第42巻進行状況について

(5) 学生生活支援センター

◎令和3(2021)年度学生生活支援センター活動実績

月　日	議　　題
4月7日	1)委員の確認 2)学生生活支援センターについて 3)学生生活講演会(防犯・学生生活)について 4)春の交通安全運動街頭査察について 5)各学科ガイダンスについて 6)新型コロナ感染症に関する学生対応について 7)その他(学生交流会について)
5月19日	1)春の交通安全運動街頭査察の反省について 2)学生生活講演会(防犯・学生生活)の反省について 3)学生生活講演会(薬物乱用)について 4)地域住民からの苦情について 5)障害支援の学生の駐車場について

	6)新型コロナ感染症について 7)その他(前期スポーツ大会・学友会総会について)
6 月 16 日	1)学生生活講演会(薬物乱用)の反省について 2)社会福祉協議会から食材提供について 3)学生への対応について 4)その他(後期行事・スポーツ大会について)
7 月 21 日	1)夏期休暇に向けての学生への周知について 2)地域からの苦情に対する学生への対応について 3)その他(鳥取、島根、広島豪雨被害について)
8 月 18 日	1)後期開始時の学生の交通ルールの対応について 2)その他(豪雨災害、秋の交通安全週間について)
9 月 15 日	1)後期開始時の学生の交通ルールの対応について 2)その他(秋の交通安全週間街頭査察、大学祭について)
10 月 20 日	1)令和 3 年秋の全国交通安全運動に係る街頭査察の反省について 2)後期開始時の交通指導について 3)自転車の賠償責任保険について 4)SNS・駐車場での学生の行動等について 5)2022 年度の学生生活支援センター予算について 6)その他(コミュニティカフェや食堂などのロッカーについて)
11 月 17 日	1)冬季休暇中の感染対策について 2)学生生活講演会について 3)校内でのスケートボード利用について 4)学生の SNS について 5)その他(クリスマス会、冬期休暇の感染対策について)
12 月 2 日	1)2022 年度の行事予定について 2)学生生活について 3)その他(不審者について)
12 月 15 日	1)学生生活講演会(薬物乱用)の反省について 2)2022 年度行事について 3)学生の相談フォーム設置について 4)教務システム（ユニパ）の学生カルテ活用について 5)その他(1 号館トイレのフィルム貼付について、クリスマス会について)
2 月 16 日	1)2022 年度の学生便覧の学生生活委員会修正分について 2)2022 年度からの駐車場の利用について 3)学生相談窓口フォーム設置について 4)ロッカーについて 5)自宅待機学生の食材提供について 6)その他(春期休暇中の対応について)
3 月 17 日	1)2022 年度のガイダンスについて（学生便覧） 2)学生の駐車場の利用について 3)ロッカーについて 4)その他(春期休暇中の対応、学生生活講演会、春の交通安全運動について)

【新型コロナウイルス対応について】

・保健管理センターと連携をはかり、学生へ「新型コロナウイル感染拡大防止」について注意喚起

を促した。また、食事時間の換気、座席数を減らし並列で食事がとれるようにする、アクリル板の設置など3密にならないような環境の工夫を行った。各長期休暇への対応については、保健管理センターと連携をはかり、「各長期休暇における県外移動届」および「健康観察・行動履歴」の提出を学生に求め、新型コロナウイル感染拡大防止に努めた。学生からの相談を受けやすいように学生相談窓口フォーム設置を行い、学生生活を心身共に安心・安全に送れるように環境を整えた。

・年度当初に例年実施している学生生活講演会(防犯・学生生活)、11 月の学生生活講演会(薬物乱用・自転車の乗り方)については、感染対策を講じて開催することができた。

(6) 研究倫理審査委員会

令和3(2021)年度は年間23件の倫理審査を行い、研究の質および透明性の向上を図った。

◎令和3(2021)年度研究倫理審査実績

月　日	議　　題	承認
4月7日	高等学校（後期中等教育）卒業後の知的・発達障害者の進路に関する社会福祉施設職員及び一般市民を対象にした意識調査	○
5月19日	保育者養成校の学生を対象としたダンス指導不安の探索的研究	○
6月2日	大学生の子宮頸がんワクチン接種と子宮頸がん検診の実態調査	○
7月7日	新型コロナウイルス感染症流行下で出産した母親の思い	○
7月7日	助産院に勤務する助産師が実践している母乳育児を継続させるための支援方法についての検討	○
8月4日	傾聴ボランティアによる見守り活動に関する研究	○
8月4日	中山間地域での長期就労定着に向けた外国人介護福祉士労働者支援への考察	○
8月4日	介護職員に対する移乗用福祉機器使用に関する調査	○
8月4日	終末期維持血液透析患者の医療・ケア方針の検討に関わる看護実践尺度の開発	○
8月4日	看護、福祉、教育の協働を目指した同一教材の有効性に関する検討－ヤングケアラーに着目して－	○
9月1日	新見市の保育現場における「ごっこ遊び」の実際	○
9月1日	新型コロナウイルス感染症の影響により学内実習を行った老年看護学実習の学生の学び	○
10月6日	大学生が学童期に受けた性教育の実態調査	○
11月1日	「チームアプローチ演習」における教育方法の評価―課題レポートの分析より－	○
12月1日	会話記録を活用したスーパービジョンに関する研究	○
12月1日	ソーシャルワーク実習の教育プログラム開発に関する研究－実習指導者からの指導・評価に基づく実習成果の検証－	○
12月1日	社会福祉士実習における実習生のモチベーションの変化及び影響を与える要因	○
1月5日	回復期リハビリテーション看護師が実践している脳血管疾患患者の自宅退院支援の実態調査	○
3月2日	新見市就学前親子の居場所に関するニーズ調査	○
3月2日	外国人介護通訳者の主体性と文化媒介力に関する研究～多文化共生を促進させる福祉教育・ボランティア学習の発展を目指して～	○
3月2日	在宅看護実習に関わる専門職が看護学生に伝えたい職業的魅力	○

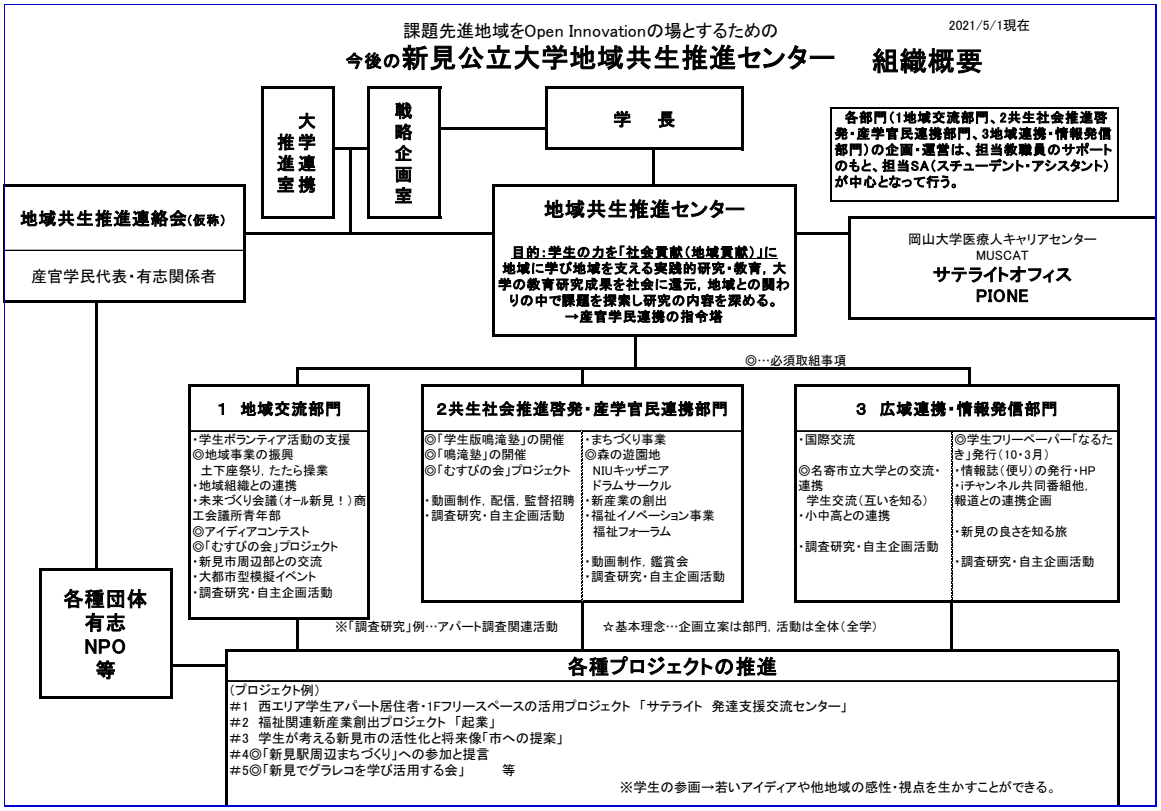
(7) 地域共生推進センター

【地域共生推進センターの目的】

これからの新見公立大学には、大学と自治体とのより明確な目的意識を共有する連携関係のもとに、中山間地域にある医療福祉系の大学として「独自の地域連携プラットフォーム」を構築し、課題先進地域・新見の地域共生社会を実現するための open innovation の場として活用することが求められている。「研究」、「教育」とならぶ、第３の大学の役割である「社会貢献（地域貢献）」は、地域に学び地域を支える実践的研究･教育そのものであり､大学の教育研究の成果を社会に還元するだけでなく、地域との関わりの中で課題を探索し教育研究の内容を学生とともに深めていくアプローチが必要である。地域共生推進センターは､「大学を活かしたまちづくり」の一環として、このアプローチを推進するとととともに､その延長 線上にある出口志向の産官学民連携の司令塔として機能し､広域連携を視野にいれた活動を目指す。

【事業の展開と課題】

地域共生推進センターの組織体制、ならびに事業内容とその展開については、基本的には走りながら考えていくスタイルをとり、新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて、事業の中止や規模縮小などを検討しながら実施した。また、センター活動には、新見市からの業務委託として実施する地域連携事業と大学独自の事業としての地域貢献のための事業があり、ともにセンター活動の目的を達成する事業として展開した。なお、令和 3(2021)年度は 25 名程度の SA が本センターの非常勤職員として活動したが、本センター研究員が中心となり SA 関係会議の質的向上を図ると共に SA 研修も併せて実施した。今年度後半にはその成果も表れ、SA 主導の会議開催や取組がみられるようになった。今後は、会議や研修の充実に加え、SA の活動環境もより整備していくことにより、更なる地域共生推進センター活動の充実を図りたいと考える。



地域共生推進センター活動日程、協議事項および活動内容は以下の通りである。地域共生推進センター会議に先立ち、戦略会議を毎月第一週目の金曜日に開催した。

◎令和3(2021)年度　地域共生推進センター活動実績

開催日	内容
4月13日（火）	「新見でグラレコを学び活用する会」の実施
4月21日（水）	地域共生推進センター会議 公文学長より「地域共生推進センターの目指すところ」の講話 1.地域共生推進センターの構成メンバーあいさつ 2.組織体制について 3.各プロジェクトと年間取り組み予定について 4.新入生へのボランティアノートの配布 5.市担当者より、新見市学校連携コーディネーターの活動等について説明
5月7日（金）	野馳小学校より遠足、来学・見学
5月20日（水）	地域共生推進センター会議 1.主催・共催事業等の取組の方向性と市との連携の可能性 2.地域共生推進センターSA(スチューデント・アシスタント)について 3.令和3年度公開講座について 4.ボランティアガイドブックについて 5.市総合政策課（大学連携室）からの報告
6月9日(水)	花いっぱい学内美化活動　健康の森学園
6月17日（水）	地域共生推進センター会議 1.地域共生推進センター主催・共催事業等の取組について 2.名寄市立大学との交流について 3.地域共生推進センターSAの活動及び賃金「申し合わせ事項」について 4.大学コンソーシアム岡山「医療・介護従事者の方々へ贈るメッセージ学生ボランティア募集」について 5.市総合政策課（大学連携推進室）からの報告
7月21日（水）	地域共生推進センター会議 1.地域共生推進センターSA活動について 2.新見庄たたら学習」の取り組みについて 3.コロナ禍におけるボランティア活動について 4.市総合政策課（大学連携推進室）からの報告
8月10日（火）	名寄市立大学との交流（看護学科と助産学専攻科の教員のWeb交流）
8月18日（水）	地域共生推進センター会議 1.新見駅西エリア：学生アパート１階フリースペースの活用について 2.新見駅周辺まちづくり検討委員会について 3.鳴滝塾について 4.市総合政策課（大学連携推進室）からの報告
9月14日（火） 9月15日（水） 9月16日（木）	LINK topos 参加:ポスターセッション LINK topos 参加: 第1日　テーマ別ワークショップ LINK topos 参加: 第2日　テーマ別発表会，全体発表会
9月15日（水）	地域共生推進センター会議 1.新見駅西エリア：学生アパート１階フリースペースの活用について

	2.新見高等学校から高大連携「総合的な探求の時間」について 3.「学長と語る会」の実施“新高会”の創設 4.LINKtopos 参加について地域共生推進センターSA について 5.R3 年度　たたら学習実行委員会主催「古代たたら操業（ミニたたら)」参加 6.名寄市立大学との学生同士の Web 交流について 7.SA 活動の現状と今後について 8.市民公開講座・鳴滝塾の実施について 9.市総合政策課（大学連携推進室）からの報告
9 月 20 日（月）	むすびの会主催「むすびの場交流会」の開催
10 月 20 日(水)	地域共生推進センター会議 1.新見駅西エリアの学生アパート１階フリースペースの活用について 2.鳴滝塾について 3.R3 年度　たたら学習実行委員会主催「古代たたら操業（ミニたたら)」参加 4.名寄市立大学との学生同士の Web 交流について 5.学生ボランティア受け入れフローについて 6.市総合政策課（大学連携推進室）からの報告
11 月 19 日（金）	地域共生推進センター会議 1.“NiU 駅西交流棟 PROJECT”ワークショップについて 2.下熊谷地区地域運営組織との連携等について 3.名寄市立大学との交流について 4.フリーペーパー作成について 5.市総合政策課（大学連携推進室）からの報告
12 月 15 日（水）	地域共生推進センター会議 1.“NiU 駅西交流棟 PROJECT”ワークショップについて 2.「鳴滝塾Ⅳ」について 3.名寄市立大学との交流について 4.フリーペーパー作成について 5.市総合政策課（大学連携推進室）からの報告
1 月 25 日（火）	地域共生推進センター会議 1.NiU 駅西 PROJECT：学生アパート１階フリースペースの活用について 2.名寄市立大学との交流について 3.鳴滝塾について 4. SA 活動の現状と今後について 5.市総合政策課（大学連携推進室）からの報告
2 月 9 日（水）	名寄市立大学との「なになに交流会　通称Ｎ会」
2 月 16 日（水）	地域共生推進センター会議 1.NiU 新見駅西サテライト 2.名寄市立大学との交流について 3.公開講座・鳴滝塾について 4. SA 活動の現状と今後について 5.市総合政策課（大学連携推進室）からの報告
3 月 17 日（水）	地域共生推進センター会議 1.NiU 新見駅西サテライトの今後の活動予定 2.鳴滝塾について

	3.SA 活動の現状と今後について 4.市総合政策課（大学連携推進室）からの報告

(8) 総合情報基盤センター

①広報部

◎令和 3(2021)年度広報部活動実績

月　日	議　　題
4 月 8 日	1)まんさくについて 2)大学案内について 3)入試説明会について 4)Web 学科説明会について 5)その他
4 月 23 日	1)まんさくについて 2)大学案内について 3)Web 学科説明会について 4)その他
5 月 14 日	1)まんさくについて 2)大学案内について 3)その他
5 月 27 日	1)まんさくについて 2)大学案内について 3)その他
6 月 4 日	1)まんさくについて 2)大学案内について 3)Web 動画大学説明会の動画作成の進捗状況について 4)その他
6 月 10 日	1)大学紹介 DVD について 2)オープンキャンパスについて 3)その他
6 月 18 日	1)大学案内について 2)オープンキャンパスについて 3)その他
6 月 24 日	1)大学案内について 2)オープンキャンパスについて 3)その他
7 月 1 日	1)オープンキャンパスについて 2)その他
7 月 8 日	1)オープンキャンパスについて 2)その他
7 月 18 日	オープンキャンパス
7 月 29 日	1)オープンキャンパスについて
8 月 9 日	オープンキャンパス
8 月 19 日	1)オープンキャンパスについて

	2)高校訪問について
8月29日	オープンキャンパス
9月28日	1)まんさくについて 2)高校訪問について
10月7日	1)まんさくについて 2)高校訪問について 3)岡山県大学ガイドの就職先について
10月28日	1)まんさくについて 2)高校訪問について 3)大学案内について 4)大学紹介DVD用の動画撮影について
11月11日	1)まんさくについて 2)高校訪問について 3)大学案内について 4)大学紹介DVD用の動画撮影について
12月2日	1)まんさくについて 2)高校訪問について 3)大学案内について 4)大学紹介DVD用の動画撮影について
12月16日	1)まんさくについて 2)高校訪問について 3)大学案内について 4)大学紹介DVD用の動画撮影について
1月6日	1)まんさくについて 2)大学案内について 3)大学紹介DVD用の動画撮影について
3月2日	1)まんさくについて 2)大学案内について 3)大学紹介DVD用の動画撮影について 4)その他
3月10日	1)大学案内について 2)高校訪問について 3)大学紹介DVD用の動画撮影について 4)オープンキャンパスの日程について
3月22日	1)大学案内について 2)高校訪問について 3)大学紹介DVD用の動画撮影について 4)オープンキャンパスの日程について

②IR部

◎令和3(2021)年度IR部活動実績

月　日	議　　題
4月9日	1)年間計画について

	2)新入生アンケートについて
4 月 23 日	1)新入生アンケート項目について校正
5 月 1 日	1)新入生アンケート項目について
6 月 3 日	1)新入生アンケート結果について
6 月 15 日	1)新入生アンケート結果について 2)2021 年度大学 IR コンソーシアム学生調査の実施について
6 月 21 日	1)新入生アンケート結果について 2)2021 年度大学 IR コンソーシアム学生調査の実施について
7 月 5 日	1)新入生アンケート結果からみる受験生へのアピール方法について 2)2021 年度大学 IR コンソーシアム学生調査の実施について
9 月 27 日	1)高校訪問及び電話訪問校の選定方法について 2)2021 年度学生調査・卒業生調査について
10 月 6 日	1)高校訪問及び電話訪問校の学科分担について 2)2021 年度学生調査・卒業生調査について
10 月 20 日	1)2010 年度大学 IR コンソーシアム学生調査（1 年生調査）の結果分析について 2)2021 年度学生調査（1 年生及び上級生調査：3 年生)・卒業生調査について
11 月 2 日	1)2020 年度１年生調査結果から、特徴的なものについて 2)2021 年度学生調査（1 年生及び上級生調査：3 年生)・卒業生調査について
1 月 17 日	1)2021 年度学生調査（1 年生及び上級生調査：3 年生）最終回答数について
3 月 1 日	1)2021 年度学生調査（1 年生及び上級生調査：3 年生）結果登録について
3 月 18 日	1)2021 年度卒業生調整設問の最終確認と配布準備

③情報システム部

◎令和 3(2021)年度情報システム部活動実績

月　日	議　　題
4 月 8 日	1)無線 LAN（Wi-Fi）の設定試験
4 月 20 日	1)Web 会議の準備
4 月 21 日	1)授業中継について
5 月 11 日	1)SINET（学術交流ネットワーク）の SINET6 への移行について
5 月 21 日	1)コンピュータ室 1 の設定について
5 月 25 日	1)LiveOn の使用方法について
5 月 28 日	1)Windows のアップデートサーバーの構築について
6 月 11 日	1)SINET（学術交流ネットワーク）の SINET6 への移行について
8 月 17 日	1)Web 会議システムのテスト
8 月 26 日	1)Web 会議システムのテスト
9 月 14 日	1)LINKtopos2021 の運営補助
9 月 15 日	1)LINKtopos2021 の運営補助
9 月 16 日	1)LINKtopos2021 の運営補助
10 月 29 日	1)大学関係者管理システムについて
11 月 17 日	1)大学関係者管理システムについて
12 月 2 日	1)SINET（学術交流ネットワーク）の SINET6 への移行について
2 月 10 日	1)高速ネットワークプリンタの設置打ち合わせ
3 月 11 日	1)Windows のアップデートサーバーの構築について

3 月 17 日	1)高速ネットワークプリンタの設置打ち合わせ
3 月 18 日	1)大学関係者管理システムについて

(9) 教育支援センター

◎令和 3(2021)年度教育支援センター活動実績

日時	議題
4 月 21 日	1) 教育支援センター本館から 3 号館への引越について 2) 業務体制について 3) その他
5 月 19 日	1) 実地体験実習について ・実習の手引きの再確認 ・対象学生と実施開始時期 ・交通費 ・事前事後指導等は単位時間に含める。 ・実地体験実習のガイダンスの時期 ・病院実習：木曜日、病児・病後児保育実習：月曜日の時間割枠 ・実地体験実習（病児・病後児保育室、新見中央病院）の昨年度の反省 2) 個人ファイルの整理について ・履修カルテについて ・報告書や自己シート等について ・実地体験実習の出席簿について ・各様式の保管について 3) その他 ・予算について ・履修カルテの自己シートについて
6 月 16 日	1) 教育支援センター予算について ・教育支援センターで管理する図書等の備品について ・パネルシアターについて 2) 実地体験実習について ・今年度の病児保育 ・3 年生の実地体験実習（新見市内保育所・幼稚園・こども園） ・ガイダンス日程とスケジュール ・施設実習前の実地体験実習の中止 3) その他（確認） ・ワクチン接種日の次の日（7/5）は実習中止→学内演習（1 日）
8 月 18 日	1) 実地体験実習について ・8 月、9 月の実地体験実習実施予定表 ・健康の森等の施設の実地体験について ・小田先生の病児保育シミュレーション実習（3 年生対象後期 1 コマ：1 グループ 10 数名で実施予定)。 ・悪天候等で中止になった場合の学生対応について ・園より、日曜日に実施される運動会等行事への実地体験実習依頼 →校種別実習に影響がないよう 45 時間内では実地体験実習時間カウント

	し、45 時間を超えればボランティアへ。但し 45 時間を超えても実習報告書は提出。 2） 教育支援センター特任教員の勤務体制について
9 月 15 日	1）実地体験実習について ・3 年生前期実地体験実習状況及び活動累計」（別表）について ・実地体験実習とボランティア（交通費、報告書、履修カルテ自己シート） ・「実地体験実習の手引き」の修正箇所について ・小田教授による「学内シミュレーション実習」は必修 ・実地体験実習「実地体験実習計画書兼出席簿」（個人情報）はレターパックで送り返してもらう。 ・途中で実地体験実習の計画を変更する場合は、「実地体験実習計画書兼出席簿」に追加記入。中止は二重線で消し、印を押す。 2）教育支援センター特任教員の勤務体制（役割分担）について ・こども課との連絡について ・役割分担（電話対応）について ・実習中は、教育支援センターは最低２人体制で勤務する。 3）その他 ・2021 前期履修カルテの取り扱いについて
10 月 20 日	1）実地体験実習について ・単位取得に必要となる時間数を超えた場合の交通費について 2）教育支援センターの前期利用状況（学年別）について 3）その他 ・島根県立大学から、本学の教育支援センターの視察要望あり。
11 月 17 日	1）実地体験実習について ・3 年生ガイダンス（11 月 4 日）後の事前訪問について ・病児・病後児保育は 3 年生実施に変更。 ・2 年生ガイダンスは 11 月 25 日 3 限目予定。 ・実地体験実習後の成果発表（学内及び実習先）について ・ポートフォリオファイルについて 2）役割分担について ・各校種別実習の主担当とフォローについて 3）その他 ・島根県立大学査察者（５名）からのお礼と感想
12 月 15 日	1)実地体験実習について ・3 年生実地体験実習の実施が見送りについて ・2 年生実地体験実習先の希望調査状況について ・実地体験実習先からの問い合わせについて 2)教育支援センター来年度の特任教員の役割等について 3)各実習で取り扱う書類について（新見市内の保育所・認定こども園・幼稚園） ・レターパックの取り扱いについて 4)学生便覧の記載事項について ・保育施設　→　保育施設（保育所、幼稚園・認定こども園） ・実地体験活動　→　実地体験実習

	5)その他 ・特任教員の個別面談について ・支援を必要とする学生の情報共有について ・12/27 実地体験実習があるため開室。その後 1/7 日までは各自必要であれば出勤。1 月 11 日から開室。
1 月 19 日	1) 実地体験実習について ・新型コロナウイルス感染拡大により、1 月・2 月中実施中止。新見市役所こども課と学生への連絡は入江先生から行う。 ・3 月は、来月協議する。 2) 実習等の出張について ・自家用車で出張する場合は、公用車願の提出をすること。 ※原則は大学の公用車を使用。実習等にかかる出張に限らない。 ・出張命令書の作成。 ・出張後の報告にかかる復命書の提出は必要ない。ただし、実習担当者への報告は必要。 3)センター教員配置の今後の構想について ・今後の教育支援センター教員配置と役割について 4)入試日について ・通常業務でよい。ただし、入館制限のため、学生の来室はない。
3 月 16 日	1)今年度の反省について ・保育実習・幼稚園教育実習：学生の様々なフォローの必要性 ・施設実習：実習時期がばらばら。実習担当教員との連携のる必要性 ・養護：手引き等の様式をほぼ完成。再度担当教員と様式等の確認と次年度から始まる実習の準備。 ・特別支援教育実習：実習実施時期がばらばらであり、実習時期不確定の実習校があって、実習校への申請等を一括できない。次年度に必要な書類準備はほぼ完成。担当教員との連携が取れているので、4 月からスムーズに実施予定。 ・実地体験実習：コロナ禍のため実施できない状態であった。来年度は 4 年生が前期までに単位認定ラインの 45 時間実施をクリアできるように実施したい。 2)令和 3 年度教育支援センター利用状況について ・次年度は実地体験実習の実施が増え、利用状況の把握にかかる事務が多くなってしまうことから、端的に的確にまとめる工夫を！ ・今年度の利用状況（別紙）について 3) 来年度の業務内容について ・次年度から実地体験実習増に伴って、実地体験実習の提出物は共通して対応するが、相談や指導については専門性が求められるため、校種別の範囲を厳守。 ・実地体験実習についての対応に困った際には入江先生に相談。 ・大学に着任予定の岡本邦広先生について 4) その他 ・4 月の園長会について ・5 月の実習連絡会について

	5) その他 ・3 月 31 日付で退職される福田先生へのお礼とご挨拶。

◎令和 3(2021)年度の市大連携の主な活動内容

日時	場所	内　容
4 月 28 日(水)	新見公立大学	・新見市保育協議会・健康保育学科合同研修会「新見市保育・教育カリキュラムについて」
7 月 21 日(水)	新見公立大学	・新見市こども園・保育所・健康保育学科合同研修会「新見市保育・教育カリキュラム 0 歳児について」
11 月 4 日(木)	新見市役所	・新見市幼児教育研修会「新見市保育・教育カリキュラムの活用について」
11 月 5 日(金)	新見公立大学	・島根県立大学教員の教育支援センター見学と研修「教育支援センターについて」
12 月 2 日(木)	新見保育所	・園内研修「新見市保育・教育カリキュラムについて」

(10) 修学・キャリア支援センター

◎令和 3(2021)年度修学・キャリア支援センター会議開催実績

月　日	議　　題
4 月 21 日	1) 体制の変更 2) 2021 年度のキャリア支援、就職支援計画 3) 4/21(水)自己分析(SPI)講座とキャリア形成講座(3)の反省 4) 4/28(水)就職先分析講座と 5/26(水)キャリア形成講座(2)の役割分担 5) 進路の手引きについて 6) 修学・キャリア支援センターの役割 7) 就職特別推薦枠について 8) 有料公務員講座について(連絡)
5 月 19 日	1) 4/28(水)就職先分析講座の反省 2) 5/26(水)キャリア形成講座(2)と 6/16(水)キャリア形成講座(1)の役割分担 3) 修学・キャリア支援センターの役割 4) 模試等の料金の取りまとめ 5) 求人情報の周知について 6) 就職特別推薦枠の学内選考に関して 7) 公務員試験対策の講話について 8) 国家試験対策講習(外部業者)開催に伴う教室利用について 9) 有料公務員講座について(連絡)
6 月 16 日	1) 後期講座の開催日程について 2) 学生相談の受付相談記録用紙の様式について 3) 大学 HP への修学・キャリア支援センターバナー設置について 4) 学費未納の対応について 5) 求人、進学、編入、留学情報の周知について 6) 授業料免除と各奨学金に関するガイダンス等について 7) リカレント教育の検討 8) 事業所による就職訪問への対応等について

	9) 学生の就職試験におけるリモート面接への支援について 10) 就学支援に必要な図書の購入について 11) インターンシップについて 12) 修学困難な学生へのアルバイトの提供について(報告) 13) 国家試験対策集中講座(夏・冬)の講義室の対応について(報告) 14) 就職特別推薦枠における学内選考基準について(連絡) 15) 国家試験対策模擬試験に関する事務局の業務について(連絡) 16) 修学キャリア支援センターの役割の確認(報告) 17) 議事録作成における表記について(報告) 18) 卒業生に対する職場からの問い合わせ対応について(報告)
7 月 21 日	1) 学生相談の受付相談記録用紙と受験報告書における Forms を使用したシステム 2) 求人、進学、編入、留学情報の周知における UNIPA を使用したシステム 3) 就職特別推薦枠における学内選考基準について 4) 就職フェア・インターシップ情報の周知方法 5) 国試試験対策模試の実施に伴う業務 6) 大学 HP の修学・キャリア支援センターの記載内容 7) 修学・キャリア支援センター室改修案 8) 修学支援に必要な図書の購入依頼(報告) 9) 各学科の就職支援状況(報告) 10)有料公務員講座の日程変更(報告)
9 月 15 日	1) 就職特別推薦枠における学内選考基準について 2) 11/10 (水) キャリア形成講座(1)、10/27 (水) キャリア形成講座(2)、10/13 (水) 公務員対策講座の役割分担 3) 学生相談予約シート、内定・進学届、受験報告書における UNIPA を使用したシステム 4) インターンシップでのフェイスガードの貸し出し 5) 2022 年度予算について 6) インターンシップ実施における事務局の対応 7) 奨学金の手続き 8) 議事録の様式 9) 2022 度の「有料公務員講座」について 10) 修学･キャリア支援センター室改修(連絡) 11) 大学 HP の修学･キャリア支援センターの記載内容(連絡) 12) 地域福祉学科国家試験対策模試の対応マニュアル(連絡)
10 月 20 日	1) 就職特別推薦枠における対応について 2) インターンシップについて 3) 10/13(水)公務員試験対策講座の反省 4) 学内企業説明会について 5) 合同企業説明会や就職フェア等の情報周知について 6) 修学・キャリア支援センター相談実績報告書(案)について 7) 修学･キャリア支援センター室改修の進捗状況について(連絡) 8) 大学 HP の修学･キャリア支援センターの進捗状況(連絡) 9) 2022 年度の有料公務員講座の実施計画の進捗状況について(連絡) 10) 求人の依頼文送付の計画(連絡)

11月17日	1) 個別のインターンシップにおける保険について 2) 10/27(水)キャリア形成講座(2)、11/10(水)キャリア形成講座(1)の反省 3) 進路の手引き 2022 4) ハローワーク新見との連携 5) 就職特別推薦枠における対応について 6) 12/8(水)就活マナー、合同企業説明会の周り方講座について 7) 2022年度前期講座の日程調整(連絡) 8) 大学HPの修学･キャリア支援センターの進捗状況(連絡) 9) 修学・キャリア支援センター相談実績報告(報告) 10) 有料公務員講座(連絡) 11) 地域福祉学科国家試験対策模試の対応マニュアル(連絡)
12月15日	1) 12/8（水）就活マナー、合同企業説明会の周り方講座の反省 2) 1月と2月開催の講座担当 3) 2022年度の前期講座の内容 4) ハローワーク新見との連携 5) 進路の手引き 2022 6) 就職特別推薦枠の学校推薦の選考 7) 学生便覧の見直し 8) 修学・キャリア支援センター相談実績報告(報告) 9) 2022年度前期講座の日程調整(報告) 10) 修学･キャリア支援センターHPの進捗状況(連絡) 11) 有料公務員講座の日程調整(連絡) 12) 第三期中期目標に係る2022年度計画の策定について(連絡) 13)「学生便覧」と「進路のてびき」との関係性について(報告) 14) 修学・キャリア支援センターの移転について(連絡)
1月19日	1) 休講に伴う「就活準備講座（1/12(水)3限2年生対象)」「エントリーシート、履歴書、小論文対策講座(1/12(水)4限3年生対象)」の変更 2) 進路の手引き 2022 3) 有料公務員講座の日程調整 4) 就職特別推薦枠の学内選考に係る基本スケジュール 5) 修学・キャリア支援センター相談実績報告(報告) 6) 修学・キャリア支援センター室での活動(報告) 7) キャリア支援に係る情報開示（企業説明会、奨学金情報、自治体インターンシップ情報）(報告) 8) 議事録について(報告) 9) 第3期中期計画に伴う2021年度実績の作成について(報告)
2月16日	1) 「就活準備講座（2/2(水)4限2年生対象)」「面接対策講座(2/2(水)2限3年生対象)「エントリーシート、履歴書、小論文対策講座(2/2(水)3限3年生対象)」の反省 2) 進路の手引き 2022 3) 有料公務員講座の日程調整 4) エントリーシート・小論文等の添削に関する相談について 5) 修学・キャリア支援センター相談実績報告(報告) 6) 修学・キャリア支援センター室(報告)

	7）大学コンソーシアム岡山令和 3 年度第 24 回就職委員会(報告)
3 月 16 日	1）有料公務員講座 2）進路の手引き 2022 3）2022 年度前期講座の役割 4）修学・キャリア支援センターの HP 開設 5）修学・キャリア支援センター相談実績報告(報告) 6）2022 年度の委員と第 1 回開催日時の確認(連絡)

(11) 保健管理センター

◎令和(2021)年度保健管理センター会議開催実績

月　日	議　　題
4 月 14 日	1）新型コロナウイルス感染症の状況と対策について 2）保健管理センター職員・規定について 3）2020 年度活動報告 4）2021 年度活動計画 5）ガイダンス、定期健康診断等の実施・評価について 6）献血について 7）健康教育講演会について 8）学生保健委員会（前期）の開催について 9）抗体検査等証明書、心とからだの総合相談（精神科医によるカウンセリング）について 10）障害学生支援記録について
5 月 12 日	1）新型コロナウイルス感染症の状況と対策について 2）定期健康診断の事後措置について 3）健康教育講演会について（報告） 4）学生保健委員会について 5）障害学生支援について 6）その他（「学生連絡」の方法について）
6 月 9 日	1）新型コロナウイルス感染症の状況と対策について 2）予防接種の接種状況について 3）障害学生支援について 4）その他（新型コロナウイルス対策について）
7 月 14 日	1）新型コロナウイルス感染症対策の現状と今後の対応について ・1 回目のワクチン接種について ・2 回目のワクチン接種の予定とその後の休講について ・夏休みの感染対策について 2）B 型肝炎検査結果について 3）学生保健委員作成のポスターについて
8 月 11 日	1）新型コロナウイルス感染症対策の現状と今後の対応について 2）夏期休暇前後の対応について 3）各学科への学生対応・連絡について 4）インフルエンザ予防接種について

	5）次年度健康診断の委託機関の検討
9月8日	1）新型コロナウイルス感染症対策について ・夏期休暇に係る対応について ・９月以降の体制について 2）カウンセリングについて 3）来年度健康診断について 4）学生保健委員会（後期）について
10月13 日	1）新型コロナウイルス感染症対策について 2）インフルエンザワクチン接種状況の報告 3）小児感染症ワクチン接種状況について 4）学生保健委員会について（報告） 5）その他（障害学生支援セミナーのお知らせ）
11月10日	1） 新型コロナウイルス感染症対策について 2） インフルエンザ予防接種状況について 3） 小児感染症ワクチン接種状況について 4） 学生保健委員作成のポスター掲示について 5） その他（カウンセリングルームの新設について）
12月8日	1） 新型コロナウイルス感染症対策について（冬期休暇前後の対応等） 2） インフルエンザワクチン接種状況の報告 3） 小児感染症ワクチン接種状況について 4） 2022 年度学生便覧ついて 5） 2022 年度定期健康診断について 6） 2022 年度健康教育講演会について
1月12日	1） 新型コロナウイルス感染症対策について（冬期休暇後の対応等） 2） インフルエンザワクチン接種状況の報告 3） 小児感染症ワクチン接種状況について 4） 2022 年度定期健康診断について 5） カウンセリングについて（スタッフの紹介）
2月9日	1） 新型コロナウイルス感染症対策について （大学で実施の3回目ワクチン接種について） 2） 小児感染症ワクチン接種状況について 3） 2022 年度定期健康診断・ガイダンスについて 4） その他 ・インフルエンザ予防接種について ・障害学生支援について（支援記録の提出） ・新入生について（4月3日までに来新、6日から登校開始）
3月 9日	1） 新型コロナウイルス感染症対策について ・3回目ワクチン接種について ・春期休暇前後の対応について 2） 2022 年度定期健康診断およびガイダンスについて 3） 新入生配布文書について 4） 令和4年度保健管理センター委員について

	5） その他（健康教育講演会について）
3 月 30 日	1） 新型コロナウイルス感染症対策について 2） 2022 年度ガイダンス配布物について 3） 定期健康診断について ・役割分担 ・健診の流れ ・会場設営 4）令和 4 年度保健管理センター委員

10）教育改善の取り組み

(1) FD/SD 研修会

令和 3(2021)年度新見公立大学 FD/SD 集会

例年実施されてきた、学外講師を招いての教育改善を目指す FD 研修会、人権啓発講演会等は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から昨年度に引き続いて中止となった。以下に本年度の実績を示す。

教育プログラムと学生支援改善のための意見交換会－学生参画FD･SDシステムの構築をめざして－

1. 日時：令和3(2021)年5月28日（金）午後6時20分～7時20分
2. 場所：新見公立大学地域共生推進センター棟1階　コミュニティカフェ
3. テーマ： 学生参画 FD・SD システムの構築をめざして
4. 参加者：学生教職員　約 60 名
5. 研修内容

学生の意見を大学の教育や運営に反映させる取り組みは、学生生活実態調査の実施や、学友会と学生部・事務局の協議を行うことで長年進めてきた。令和 3(2021)年度は学生部・事務局の協議をバージョンアップし、新企画『教育プログラムと学生支援改善のための意見交換会ー学生参画 FD・SD システムの構築をめざしてー』を 5 月に開催した。この企画では、話し合う内容が施設改善に偏らないように、教育プログラムや学生支援などのテーマも取り扱った。また、学生および教職員が希望すれば自由に参加できるようにし、学長や副学長などのトップ層には出席を要請した。その結果、学生と教職員約 60 名が討論に参加した。司会は、斎藤学生部長と中村学友会長がつとめた。

第 1 部では学友会が集めた学生意見に大学側が回答した。意見の中で一番多かったものは、本学の新型コロナウイルス感染症対策に関するものであった。遠隔授業に関する否定的な意見も含まれていたが､全学を対象とするアンケート調査では､多くの学生が好意的に受け入れていることがわかった。

第 2 部では、年度末に実施した学修成果達成度アンケートの結果を学生と共有し、本学の「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）に対する共通理解を深めた。

さらに第 3 部では、学生相談の窓口の利便性、本年学年進行で開始された 3 学科共通科目「チームアプローチ演習」の受け止めなどが学生と教職員の間で活発に議論され、最後に学長から学びの質の向上について提案があった。

この企画は、次年度以降も開催していく予定で、将来的には、学生自身が企画・運営する「学生参画 FD・SD」の実現をめざし、大学側も FD・SD による教職協働を推進していく。

内部質保証に関する FD・SD 集会

1. 日時：令和3(2021)年6月23日（水）教授会終了後　午後4時30分～5時30分
2. 場所： 新見公立大学学術交流会館　交流ホール
3. テーマ： 内部質保証体制と教員活動の省察について
4. 参加者：教授会構成員＋事務職員若干名
5. 研修内容

これまで評価・将来構想委員会内部質保証部会で検討してきた内部質保証体制と教員活動の省察について、共通理解を深め意見交換を行った。講師は同部会の斎藤部会長と山田副部会長が務めた。

今回、①本学の理念・目標実現のための方針の一つとして、内部質保証の方針が定められたこと、②これに基づいて毎年度「内部質保証報告書」を作成、定期的に「自己点検・評価報告書」を作成と外部評価を行うこと、③これらを背景に大学教育質保証・評価センターの認証評価を受審すること及

びその評価の特徴、④教育の質保証の一環として教員活動の省察を令和3(2021)年度から試行すること、またその実施の流れなどが紹介された。

(2) 学科合同学び報告会

教育推進委員会教養教育部では、学生の教養教育の一環として「学科合同学び報告会」を毎年行っている。「学科合同学び報告会」は、3学科の学生たちの「学び」をお互いに「学びあう」ことを目的としている。令和3(2021)年度は前期に1回実施され、例年行っていた後期はコロナ禍のため中止された。

前期は令和3(2021)年4月21日（水）3時限に体育館で開催され、3学科の1年次生全員と2年次生担当者が参加した。3学科の1年次生全員に対し、地域福祉学科2年次生、健康保育学科2年次生、看護学科2年次生の担当者がそれぞれの学びを15分報告した。コロナ禍のため、後半のグループディスカッションの部は割愛した。最後にアンケートを実施した。

「学科合同学び報告会」前期実施概要

開催日時：令和3(2021)年4月21日（水）3限（13:20～14:20）
開催場所：体育館
13：15　集合(1年次生全員、2年次生担当者)
13：20　開会
13：20～13：25　学長挨拶
趣旨説明（教養教育委員会委員長）
13：25～13：40　地域福祉学科の学び
進行係：生原温人　タイムキーパー：松本優太
報　告：「地域福祉学科1年間の学びの振り返り
―基礎ゼミの活動を通して―」
松本優太、深谷大輝、生原温人、久山晴大、岡本純菜
13：40～13：55　健康保育学科の学び
進行係：三川和紗　タイムキーパー：立石紗也
報　告：「健康保育学科の学び」
江角彩花、上條友香、河上樹博、下山千晴
13：55～14：10　看護学科の学び
進行係：竹内優奈　タイムキーパー：齋藤美咲
報　告：「学生生活」岡澤歩美、岡本春愛
「実習について」木村美咲、横田里奈
「講義について」森崎莉菜、山本美桜
14：10～14：20　学び報告のアンケート記入

アンケートの結果をみると、各学科の学生の感想はほとんど好意的な内容であり、他学科の学生たちの「学び」をお互いに「学びあう」ことが教養教育として有効であることが確認された。アンケートからは、新入生も報告を担当した2年次生も共に、目標がより明確になりモチベーションのアップにつながったことを読み取ることができた。

後期は令和3(2021)年12月15日（水）3時限に開催を予定していたが、コロナ禍のため中止された。

11）広報活動

(1) 高校訪問・高校ガイダンス

1. 教職員による高校訪問

令和 3(2021)年度の高校訪問の実績及び担当者は以下のとおりである。

◎都道県別高校訪問校数

全体順番	都道府県名 地域順	都道府県名 名称	校数（校）
1	1	北海道	2
2	2	茨城県	1
3	3	栃木県	1
4	4	群馬県	1
5	5	埼玉県	1
6	6	千葉県	1
7	7	東京都	1
8	8	新潟県	1
9	9	石川県	6
10	10	福井県	5
11	11	長野県	6
12	12	岐阜県	3
13	13	静岡県	8
14	14	愛知県	6
15	15	三重県	5
関東・中部			48

全体順番	都道府県名 地域順	都道府県名 名称	校数（校）
16	1	滋賀県	1
17	2	京都府	4
18	3	大阪府	3
19	4	兵庫県	31
20	5	奈良県	1
21	6	和歌山県	3
22	7	鳥取県	13
23	8	島根県	16
24	9	岡山県	41
25	10	広島県	34
26	11	山口県	6
27	12	徳島県	8
近畿・中国			161

全体順番	都道府県名 地域順	都道府県名 名称	校数（校）
28	1	香川県	16
29	2	愛媛県	18
30	3	高知県	6
31	4	福岡県	3
32	5	佐賀県	1
33	6	長崎県	6
34	7	大分県	7
35	8	宮崎県	5
36	9	鹿児島県	3
37	10	沖縄県	1
四国・九州			66

全国（計）	275

◎学科別高校訪問担当者

全体順番	学科名	学科順番	氏名
1	健康保育	1	岡本　直行
2		2	松本　好生
3		3	梶本　佳照
4		4	八尋　茂樹
5		5	芝﨑　美和
6		6	渡部　昌史
7		7	広瀬　綾子
8		8	加藤　由美
9		9	立浪　朋子
10		10	本渡　葵
11		11	竹下 可奈子
12		12	久恒　拓也
13		13	入江　慶太
14		14	高橋　彩
15		15	松島　英恵
16		16	福武　幸世

全体順番	学科名	学科順番	氏名
17	看護	1	上山　和子
18		2	金山　時恵
19		3	土井　英子
20		4	塩見　和子
21		5	栗本　一美
22		6	礒本　暁子
23		7	山本 智恵子
24		8	山野井 尚美
25		9	中川　彩見
26		10	井上　弘子

全体順番	学科名	学科順番	氏名
17	地域福祉	1	松本 百合美
18		2	井上　信次
19		3	岡　京子
20		4	鄭　丞媛
21		5	三上　ゆみ
22		6	山内　圭
23		7	山本　浩史
24		8	高杉　公人
25		9	和田 美智代
26		10	小松尾 京子
27		11	朴　憲彬
28		12	松田　実樹
29		13	合田　衣里
30		14	泉　宗孝
31		15	岸本 由梨枝
32		16	柳廼　三寛

2. 学生による母校訪問

新型コロナウイルス感染拡大の影響により今年度は実績なし。

3.進学ガイダンス等

令和3(2021)年度に参加した進学ガイダンス・相談会等は、下表のとおりである。

◎ガイダンス参加状況

番号	開催日		ガイダンス種類		担当者	
			会場高等学校名	その他会場	氏名	人数
R3(2021) 年						
1	4	19 (月)		岡山ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝｾﾝﾀｰ	泉　宗孝	1
2		27 (火)	邑久		松本 百合美	1
3		28 (水)	井原		竹下 可奈子、井上　弘子	2
4	5	8 (土)	開星		山内　圭	1
5	6	3 (木)	就実		中川　彩見、広瀬　綾子	2
6		8 (火)	鳥取城北		本渡　葵	1
7		10 (木)	高梁		松本　好生	1
8		14 (月)	岡山一宮		塩見　和子	1
9		15 (火)	加古川南		井上　弘子	1
10		17 (木)	柏原		高橋　彩	1
11			玉島		中川　彩見	1
12		22 (火)	綾部		加藤　由美	1
13		24 (木)	東城		松本 百合美	1
14	7	10 (土)	東洋大学附属姫路		入江　慶太	1
15		13 (火)	津山東		金山　時恵	1
16		14 (水)	加古川北		久恒　拓也	1
17			総社南		山本 智恵子、安藤　亮	2
18		15 (木)	高梁		上山　和子	1
19			明誠学院		井上　弘子	1
20			佐用		中川　彩見	1
21		18 (日)	八鹿		土井　英子	1
22	8	4 (水)	笠岡		芝﨑　美和	1
23	9	16 (木)	津山東		三上　ゆみ	1
24		17 (金)	新見		松本　好生、山本　浩史、矢庭 さゆり、真壁　五月	4
25		21 (火)	明誠学院		赤田 いづみ	1
26			御調		広瀬　綾子	1
27		22 (水)	鳥取敬愛		吉田　美穂	1
28		29 (水)	勝山		栗本　一美	1
29	10	1 (金)	清心女子		山野井 尚美	1
30		5 (火)		岡山ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝｾﾝﾀｰ	八尋　茂樹	1
31			倉敷鷲羽		三上　ゆみ	1
32		7 (木)	就実		井上　弘子	1
33		19 (火)	井原		中川　彩見	1
34		28 (木)	光		八尋　茂樹	1
35	11	2 (火)	岡山学芸館		礒本　暁、岡　京子	2
36		16 (火)	瀬戸南		立浪　朋子	1
37	12	1 (水)	倉敷		八尋　茂樹	1
38		17 (金)	社		立浪　朋子	1
39		21 (火)	生野		井上　弘子	1
R4(2022) 年						
40	3	2 (水)	鳴尾		高杉　公人	1
41		3 (木)		玉野市産業振興ビル	松田　実樹	1
42		4 (金)	夢野台		鄭　丞媛	1
43		14 (月)	岡山県共生		小松尾　京子	1
44		16 (水)	佐用		井上　弘子	1
45		17 (木)	相生		加藤　由美	1
計			42校	3箇所	36人	52

4. 入試説明会

新型コロナウイルス感染拡大の影響から今年度は未実施。

(2) オープンキャンパス

令和 3(2021)年度は計３回のオープンキャンパスを実施した。

◎令和 3(2021)年度オープンキャンパス参加者数　　単位：人

	第 1 回	第 2 回	第 3 回
開催日	7/18（日）	8/9（月）	8/29（日）
看　護 学　科	74［69］	88［80］	56［52］
健康保育 学　科	16［14］	30［25］	10［10］
地域福祉 学　科	15［6］	25［16］	14［15］
合　計	105［89］	143［121］	80［77］

※[　]内の数は参加保護者等人数

(3) 学報「まんさく」

令和 3(2021)年度は、大学としての広報誌と位置付け、次の日程および内容で各 6,700 部発行し、同窓生および在学生の保護者に送付するとともに市内の事業所等に置いていただいた。発送のための封入作業については、61 号は看護学科 2 年生に、62 号は各学科希望者に協力を得た。また、大学関係者にも適宜配付を行った。

61 号　R3(2021).6　発行

・特集：令和２年度新見公立大学卒業証書・学位記授与式
　　令和３年度新見公立大学入学式
　　タイムカプセル開封式開催
　　学内の美術作品紹介
・各学科から
・同窓会だより
・研究紹介
・News & Events(ふるさと納税のお願い、入試日程ほか)

62 号　R4(2022).3　発行

・特集：令和３年度の新見公立大学の学びと行事を紹介
・各学科から
・同窓会だより
・研究紹介
・News & Events(スポーツ大会、クリスマス会ほか)

(4) ホームページ

大学のホームページの最も大きな役割はブランディングであり、どのような取り組みを行っているか、どんな学校行事があるかなどを知ってもらうということが非常に重要であるため、本学においてもホームページ（https://www.niimi-u.ac.jp）を開設して、受験生や保護者、一般市民に本大学の魅力を伝え、活動への信頼と理解を得るとともに、在学生にはタイムリーな情報を提供している。特に、受験シーズンである11月～3月と入学直後の4月にアクセス数が増加する傾向があるため、入試情報、修学情報、生活情報など学生ニーズに対応した内容を魅力的に紹介できるよう各学科を中心に計画的かつ速やかな情報更新に努めている。

また、学校教育法、地方独立行政法人法等の法令に基づき、業務内容（方法）、理事の任解、報酬・給与・手当、中期計画、年度計画、財務諸表、自己点検・評価結果、中期計画期間実績、年度実績、認証評価など、多くの情報について公開が義務付けられており、これらの公開を行う最大の手段（ツール）としてホームページを利用するとともに、教職員募集などの法人としての必要な社会に対する手続の透明性確保においても最大限活用しており、非常に重要な役割を担っている。

◎令和3(2021)年度のホームページアクセス数　　単位：件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
109,721	72,252	68,235	74,840	65,393	61,828	57,740	105,954	113,639

1月	2月	3月	計
196,498	146,846	141,911	1,214,857

(5) メディアでの新見公立大学(令和3(2021)年4月～令和4(2022)年3月)

報道者別件数

備北民報　82件、山陽新聞　27件、市報にいみ　12件、読売新聞　1件

【市報にいみ】「新見での学生生活」
健康保育学科3年高橋さん　　4月号

「情報紙「なるたき」第2号配布」フリーペーパー「なるたき」第2号の配布が始まった。
2021.4.2 備北民報

「新見公立大生フリーペーパー第2号」フリーペーパー「なるたき」第2号の配布が始まった。
2021.4.8 山陽新聞

「情報で公立大生を応援」新見市の情報ポータルサイト「まいぷれ新見市」に学生アルバイトの求人等を掲載。
2021.4.9 備北民報

「新見市コロナ対策本部会議開催」新見市コロナ対策本部会議が開催され、ワクチン接種対策室アドバイザーに山野井准教授が就任。
2021.4.10 備北民報

「新見公立大205人が第一歩」4/10新見公立大学入学式を実施。
2021.4.11 山陽新聞

「新入生205人を迎える」4/10新見公立大学入学式を実施。
2021.4.13 備北民報

「議論や対話を図や絵で表現」4/13「新見でグラレコを学び、活用する会」設立。
2021.4.19 備北民報

「地域共生推進センター「鳴滝塾」Ⅲ」5/15地域共生推進センター「鳴滝塾」Ⅲ開催。
2021.4.21 備北民報

「「むすびの会」立ち上げ式」4/22公立大の学生有志が「むすびの会」設立。
2021.4.23 備北民報

「花の種まきとポットへ移植」4/24田治部みらい会が旧田治部小学校プールで花の種まきとポットへの移植を行い、公立大生も参加。
2021.4.28 備北民報

【市報にいみ】「新見での生活」
地域福祉学科3年松本さん　　5月号

【市報にいみ】「助産師になるために…」
助産学専攻科1年大上さん　　6月号

「地域商品券配り全学生サポート」6/1から数日に分け、5千円分の商品券を全学生へ配布。
2021.6.4 山陽新聞

「コロナ対応支援で商品券」6/1から数日に分け、5千円分の商品券を全学生へ配布。
2021.6.7 備北民報

「フードドライブで学生支援」6/9コロナで経済的に困っている学生へ新見市社協が食料品を提供。
2021.6.11 備北民報

「新見公立大生へ支援を」6/9コロナで経済的に困っている学生へ新見市社協が食料品を提供。
2021.6.12 山陽新聞

「新見公立大学NiU」保育、看護、福祉の高度専門職育成。
2021.6.20 山陽新聞

「假屋崎さん技“伝授”」6/27新見公立大で市民らの生けた花を華道家：假屋崎省吾さんが審査。
2021.6.28 山陽新聞

「華道家の假屋崎さんが市民と交流」6/27新見公立大で市民らの生けた花を華道家：假屋崎省吾さんが審査。
2021.6.28 備北民報

【市報にいみ】「新見で送った学生生活を振り返って」
看護学科4年久保田さん　　7月号

「専門職の心構え伝える」7/8新見市教育委員会の正村教育長が公立大で看護学科3年生を対象に講義を実施。
2021.7.14 備北民報

「新見市の先進的教育を紹介」7/8新見市教育委員会の正村教育長が公立大で看護学科3年生を対象に講義を実施。
2021.7.15 山陽新聞

「大学生が食の大切さ伝える」7/12公立大地域福祉学科の2年生が高尾小の児童に食の大

切さを伝えた。

2021.7.17 備北民報

「学科の特色や実習室など紹介」7/18 新見公立大オープンキャンパスを実施。

2021.7.19 備北民報

「新見美術振興財団と公立大が連携協定」

7/19 新見美術館を運営する新見美術振興財団と新見公立大学が連携協定を結んだ。

2021.7.20 備北民報

「アートで地域振興推進」7/19 新見美術館を運営する新見美術振興財団と新見公立大学が連携協定を結んだ。

2021.7.27 山陽新聞

「子供取り巻く問題と支援は」7/20 公立大の小田副学長が児童生徒の健全育成、非行防止を推進する市内の 2 団体の合同研修会で講義を実施。

2021.7.27 備北民報

「公立大の特色紹介」7/28 公立大の公文学長が新見高校で 2 年生を対象に講演会を実施。

2021.7.31 山陽新聞

【市報にいみ】「その一瞬に感謝して」

健康保育学科 2 年三川さん　　8 月号

「古里どうするか考えて」7/28 公立大の公文学長が新見高校で 2 年生を対象に講演会を実施。

2021.8.3 山陽新聞

「新型コロナにも対応し成果」7/29 新見市地方独立行政法人評価委員会が新見公立大学の昨年度の実績を評価。

2021.8.5 備北民報

「新型コロナにも対応し成果」7/29 新見市地方独立行政法人評価委員会が新見公立大学の昨年度の実績を評価。

2021.8.5 備北民報

「古里へリンドウお届け」備中県民局は新見公立大生に代わって新見市特産のリンドウを祖父母へ 9 月上旬から随時発送。

2021.8.10 備北民報

「新見公立大へ演台」東亜電工は山陰合同銀行とともに新見公立大へ木製の演台を寄贈。

2021.8.17 山陽新聞

「公立大に司会者台を寄贈」東亜電工は山陰合同銀行とともに新見公立大へ木製の演台を寄贈。

2021.8.18 備北民報

「市成人式実行委が動画制作」8/25 まなび広場にいみで新成人による式典動画の収録会を実施。

2021.8.31 山陽新聞

【市報にいみ】「出会いに感謝して」

看護学科 3 年長谷川さん　　9 月号

「グラレコ学ぶプレ講座」8/22「グラレコを学び、活用する会」がオンラインでプレ講座を実施。

2021.9.1 備北民報

「大切な人に和紙カードを」新見公立大学むすびの会は 9/20 駅前交流センターでむすびの場交流会を開催。

2021.9.7 備北民報

「市民と工作楽しみ交流」新見公立大学むすびの会は 9/20 駅前交流センターでむすびの場交流会を開催。

2021.9.8 山陽新聞

「新見公立大“よそもの視点”でレポート」

9/14 新見公立大生が千屋地域でフィールドワークを実施。

2021.9.16 備北民報

「千屋地区盛り上げる」9/14 新見公立大生が千屋地域でフィールドワークを実施。

2021.9.18 山陽新聞

「健康学ぼう」9/24 から公立大で市民公開講座を開催。

2021.9.18 備北民報

「活躍する卒業生」2019 年看護学科卒業生が県内の医療機関で活躍。

2021.9.19 山陽新聞

「むすびの会で市民と交流」9/20 むすびの場交流会を実施、市民と親睦を深めた。

2021.9.22 備北民報

「市民ら 30 人が情報交換」9/22 地域福祉センターで認知症カフェ「ピオーラカフェ」を開催、新見公立大生 4 人が参加。

2021.9.24 備北民報

「お店の野菜よりおいしそう」9/17 高尾小 4 年生が自分たちで育てた野菜やハーブを新見公立大生と収穫した。

2021.9.25 備北民報

「体動かし心身リフレッシュ」9/24 公立大で市民公開講座を開催。

2021.9.25 備北民報

【市報にいみ】「新見での大学生活」
地域福祉学科2年舟木さん　　10月号

「地域共生推進センター「鳴滝塾」Ⅲ」10/23 地域共生推進センター「鳴滝塾」Ⅲ開催。

2021.10.2 備北民報

「授業でごみ収集を体験」地域福祉学科の学生15人が一般廃棄物の収集業務を体験した。

2021.10.7 備北民報

「土下座まつりの意味学ぶ」10/6 地域福祉学科2年生が土下座まつりについて担い手から学んだ。

2021.10.14 備北民報

「コロナ禍から一歩踏み出す」10/9,10 学内に限定し、鳴滝祭を実施。

2021.10.15 備北民報

「きれいなアジサイ咲いて」10/16,17 済渡寺で公立大生有志らがアジサイの摘み取りを体験。

2021.10.20 備北民報

「森のゆうえんち」11/7 に新見公立大学体育館で木の良さを知ってもらうイベント「森のゆうえんち」を開催。

2021.10.23 備北民報

「病院改革の清野さん講演」10/23 地域共生推進センター棟講堂で「鳴滝塾」Ⅲを開催。

2021.10.27 備北民報

「香りで健康に」10/22 公立大で市民公開講座を開催。

2021.10.28 備北民報

「新見は「人が優しい」」新見公立大の学生有志が、本年度入学生にアンケートを実施、新見市のいいところ2位に「人が優しい」。

2021.10.29 備北民報

「楽しさ感じてほしい」10/27 新見公立大学地域福祉学科3年生8人で組織された「やさしさ介護実行委員会」が市内2高校と5中学校を訪問、11/20 開催の介護技術研修会参加を促した。

2021.10.29 備北民報

【市報にいみ】「将来を見据えた学び」
健康保育学科1年渡邉さん　　11月号

「新見産リンドウも活用」10/22 新見公立大学健康保育学科1年生が学内で生け花のフラワーアレンジメントを体験。

2021.11.1 備北民報

「皮膚の健康、予防が肝心」10/26 地域運営組織、菅生をよくする会が旧菅生中学校で新見公立大学看護学科生による介護要望事業「菅生サテライト・デイ」を開催。

2021.11.2 備北民報

「情報紙「なるたき」第3号配布」フリーペーパー「なるたき」第3号の配布が始まった。

2021.11.5 備北民報

「駅西エリア施設1階を活用」11/2「NiU 駅西交流棟プロジェクト」のワークショップを開催。

2021.11.6 備北民報

「ストレス対処で健康に」10/29 公立大で市民公開講座を開催。

2021.11.8 備北民報

「新見市の魅力を知って」11/6 新見 YEG、新見商工会議所青年部が新見公立大生を対象にバスツアーを実施。

2021.11.8 備北民報

「2年ぶりに操業再現」11/6,7 新見庄たたら製鉄体験学習実行委員会が神郷公民館高瀬分館裏の炉で古代のたたら製鉄操業を再現、新見公立大学の看護学科、地域福祉学科の学生と教員が参加した。

2021.11.9 備北民報

「遊びや体験から木に親しむ」11/7 新見公立大学体育館で木の良さを知ってもらうイベント「森のゆうえんち」を開催。

2021.11.12 備北民報

「旧校舎の有効活用に意見交換」11/12,14 地域運営組織、下熊谷をはぐくむ会が旧下熊谷小学校舎の活用方法について同校で意見交換会を開催、新見公立大学1年生7人が参加。

2021.11.18 備北民報

「高校生ら「楽ワザ介護」体験」11/20 新見公立大学地域福祉学科3年生8人で組織された「やさしさ介護実行委員会」が同大学地域共生推進センター棟で介護技術研修会を開催。

2021.11.24 備北民報

「困った時の育児をお手伝い」11/16 新見公立大学で子育て中の保護者の急用や病気、残業など困った時に育児のお手伝いをする保育サポーターの養成講座が開講した。

2021.11.25 備北民報

「学生の案内で学内ツアー」11/24 新見公立大学地域福祉学科 1 年生が交流のある高尾学区の住民らを招いて学内を案内した。

2021.11.27 備北民報

「地域共生推進センター「鳴滝塾」Ⅳ」12/11 地域共生推進センター「鳴滝塾」Ⅳ開催。

2021.11.29 備北民報

【市報にいみ】「周りの支え」
看護学科 2 年森﨑さん　　12 月号

「学校推薦型選抜で 18 人」12/3 学校推薦型選抜のうち地域福祉学科の合格発表を実施。

2021.12.4 備北民報

「昔ながらの餅つきで交流」12/1 新見公立大学地域福祉学科がキャンパス内で神郷高瀬地域の人らと昔ながらの餅つきで交流した。

2021.12.4 備北民報

「一足早くクリスマス」12/4 大佐田治部でクリスマス会が開かれ、地元の小学生が一足早くクリスマスを楽しんだ。新見公立大学地域福祉学科２年生の学生３人も協力。

2021.12.6 備北民報

「コロナテーマ藻谷さん講演」12/11 地域共生推進センター「鳴滝塾」Ⅳ開催。

2021.12.7 備北民報

「初の実行委形式で集大成」12/11 新見公立大学で第 30 回表現発表会「にいみゆめのポケット 2021」を開催。

2021.12.7 備北民報

「設計建築士に思い伝える」11/29 来春、JR 新見駅西エリアにオープンする学生向けの居住施設 1 階にあるフリースペースの利用について考える「NiU 駅西交流棟プロジェクト」の第 4 回ワークショップを開催。

2021.12.9 備北民報

「認知症のより良い対応学ぶ」12/11 高尾学区連合町内会は新見公立大学地域福祉学科と共催で、認知症患者へのより良い対応を学ぶ研修会を学内で実施。

2021.12.16 備北民報

「まちも気持ちも明るく彩る」12/14 キャンパス内に設置したイルミネーションの点灯式を実施。

2021.12.16 備北民報

「学びの成果に大きな拍手」12/11 新見公立大学で健康保育学科の第 30 回表現発表会「にいみゆめのポケット 2021」を開催。

2021.12.16 備北民報

「キャンパスに優しい光」12/14 キャンパス内に設置したイルミネーションの点灯式を実施。

2021.12.17 山陽新聞

「地方の可能性明らかに」12/11 地域共生推進センター「鳴滝塾」Ⅳ開催。

2021.12.18 備北民報

「出張教室で健康指導」市内の交通不便地域計 4 か所で年に 4 回ずつ、看護学科の学生が出向き、健康づくりの支援を目的に出張講座を実施。

2021.12.19 山陽新聞

【市報にいみ】「大学での学び」
地域福祉学科 1 年和田さん　　1 月号

「木のおもちゃの会がウッドデザイン賞」「木育」に取り組む、にいみ木のおもちゃの会が「ウッドデザイン賞」を受賞、新見公立大学の学生も地元産木材で弦楽器のバンドーラを制作する活動に参加。

2022.1.7 備北民報

「お囃子と備中神楽を発表」1/22 新見公立大学地域福祉学科の第 13 回地域文化実習発表会を開催、2 年生 52 人が授業で学んだお囃子と備中神楽を披露。

2022.1.19 備北民報

「「新見公立大・共通テスト未受験」個別試験などで判定」1/21 新型コロナウイルスの影響で大学共通入学テストを受けられなかった受験生について、個別試験の 2 次試験などで総合的に合否を判定することを発表。

2022.1.22 山陽新聞

「学生居住施設 1 階名称は「NiU 新見駅西サテライト」」1/21 今春、JR 新見駅西エリアにオープンする学生向けの居住施設 1 階にあるフリースペースを活用・運営する「NiU 駅西交流棟プロジェクト」を進めている新見公立大学が完成予想図を公表。

2022.1.25 備北民報

「高齢者理解に役立てよう」1/22 新見公立大学地域福祉学科の第 13 回地域文化実習発表会を開催、2 年生 52 人が授業で学んだお囃子と備中神楽を披露。

2022.1.19 備北民報

【市報にいみ】「新見で学ぶ」
看護学科１年桂さん　　２月号

「健康保育 1.1 倍、看護 2.6 倍」1/31 新見公立大学健康保育学科と看護学科の学校推薦型選抜を実施。

2022.2.1 備北民報

「認知症への理解深めて」1/26 地域福祉センターで認知症カフェ「ピオーラカフェ」を開催、新見公立大生 3 人が参加。

2022.2.5 備北民報

「講話と体操で和やかに」2/2 新見市社会福祉協議会がまなび広場にいみでサロン研修会を開催、新見公立大学地域福祉学科の山本浩史教授が「サロンや集いの場の役割と意義について」と題して講話した。

2022.2.5 備北民報

「国公立大２次 4.2 倍」2/4 文部科学省が国公立大２次試験の出願最終日となる同日午後３時現在の志願状況を発表、新見公立大学は 4.7 倍。

2022.2.5 山陽新聞

「相次ぐ還付金詐欺に注意を」新見警察署は県内で相次ぐ「還付金詐欺」に注意するよう呼び掛けている。県内では 65 歳以上の高齢者が被害に遭うケースが多く、新見公立大学地域福祉学科の松本百合美教授は「家族や周りの人とつながっていてほしい」と語った。

2022.2.7 備北民報

「コロナで困窮の学生を支援」2/4 コロナで困窮する学生の支援として、新見ロータリークラブは新見公立大学の女子学生に生理用品を贈った。

2022.2.9 備北民報

「新見公立大に生理用品」2/4 コロナで困窮する学生の支援として、新見ロータリークラブは新見公立大学の女子学生に生理用品を贈った。

2022.2.10 山陽新聞

「駅西サテライト運営に力貸して」退職公務員連盟新見支部はこのほど、新見公立大学の公文学長を招き、講演会を開催。

2022.2.12 備北民報

「健康保育と看護に各 25 人」2/11 学校推薦型選抜のうち健康保育学科と看護学科の合格発表を実施。

2022.2.12 備北民報

「NPO の事業構想をプレゼン」2/21「NPO 事業論」を学んできた新見公立大学地域福祉学科３年生が社会課題の解決に向き合う事業構想をプレゼンテーションした。

2022.2.23 備北民報

「学生や教職員の接種率 90％」新見公立大学と新見市は 2/21 から学生の新型コロナウイルス感染リスク低減のため、学内で３回目のワクチン接種を始めた。

2022.2.23 備北民報

「2 次試験準備整う」2/25 に始まる国公立大２次試験の前期日程を控え、県内の３大学が 2/24、会場の準備を整えた。

2022.2.25 山陽新聞

「小論文と面接に 215 人」2/25 新見公立大学健康科学部３学科の一般選抜入試の前期日程を実施。

2022.2.26 備北民報

「国公立大入試県内でも２次」2/25 国公立大の２次試験の前期日程が始まり、新見公立大学健康科学部３学科は 215 人が受験。

2022.2.26 読売新聞

「3400 人“春”へ最終関門」2/25 国公立大の２次試験の前期日程が始まり、新見公立大学健康科学部３学科は 215 人が受験。

2022.2.25 山陽新聞

【市報にいみ】「実習を通して改めて感じたこと」
健康保育学科３年八木さん　　３月号

「地域課題解決策 NPO 通じ提示」2/21「NPO 事業論」を学んできた新見公立大学地域福祉学科３年生が社会課題の解決に向き合う事業構想をプレゼンテーションした。

2022.3.5 山陽新聞

「新見公立大 137 人“春”」3/5 新見公立大で一般入試・前期日程の合格発表を実施。

2022.3.6 山陽新聞

「3 学科 137 人に“春”」3/5 新見公立大で一般入試・前期日程の合格発表を実施。

2022.3.7 備北民報

「手作りバンドーラ演奏」3/8 新見公立大学と健康の森学園が今年度からにいみ木のおもちゃの会と連携して取り組んでいる「大学と特別支援学校をつなぐバンドーラプロジェク

ト」の演奏会を実施。

2022.3.10 備北民報

「国公立大２次後期試験開始」3/12 国公立大の２次試験の後期日程が始まり、新見公立大学健康保育学科と看護学科は 38 人が受験。

2022.3.13 山陽新聞

「学び胸に成長し続ける」3/19 新見公立大の卒業式が開催され、大学院生を含めた 75 人が希望を胸にキャンパスを巣立った。

2022.3.20 山陽新聞

「75 人の門出を祝う」3/19 新見公立大の卒業式が開催され、大学院生を含めた 75 人が希望を胸にキャンパスを巣立った。

2022.3.21 備北民報

「岡山大最後の後期 206 人合格」3/21 岡山大は最後となった一般入試・後期日程の合格者を発表、新見公立大は 3/23 中期・後期の合格者を発表する。

2022.3.22 山陽新聞

「発達に応じた接し方を」3/17 新見公立大学で地域子育て支援講座「泣く力・気持ちを育む子育て」が開かれ、地域福祉学科の八重樫牧子特任教授が子供の発達段階に応じたより良い接し方について助言した。

2022.3.23 備北民報

「新見公立大に電子ピアノ」3/22 正田の東亜電工と高尾に新見支店があるトマト銀行は連名で新見公立大学に電子ピアノ１台を寄贈した。

2022.3.30 備北民報

「持ち運び楽々「お絵かきボード」」3/22 新見公立大学は新見保育所と共同開発したお絵かきボードを園児らに披露した。

2022.3.30 備北民報

12) 施設の拡充

(1) コンピュータ・ネットワーク機能の充実

1. 学内の情報機器及びネットワークシステムの更新
   ・学内の無線 LAN アクセスポイントを増設し、通信環境の改善を図った。

2. 学術情報ネットワークＳＩＮＥＴ６への移行
   学術情報ネットワークＳＩＮＥＴは、日本全国の大学、研究機関等の学術情報基盤として、国立情報学研究所が構築、運用している情報通信ネットワークであり、従来の学術情報基盤であるＳＩＮＥＴ５を発展させたＳＩＮＥＴ６は、世界最高水準の４００Gbps 回線ネットワークで有機的につながるハイレベルな学術情報基盤である。令和 4(2020)年４月から本格稼働するＳＩＮＥＴ６への移行を実施し、研究・教員のＩＣＴ環境の充実を図った。

3. 高速プリンター複合機の整備
   本館内へ高速プリンター複合機を整備し、授業資料等の作成作業の効率化を図った。

(2) 施設(設備)拡充・充実状況

1. 施設整備
   ・本館カウンセリング室整備工事
   ・本館キャリア支援室整備工事
   ・本館駐車場花壇散水ホース改修工事
   ・１号館２階エアコン改修工事
   ・２号館食堂手洗器取替工事
   ・５号館３階ゼミ室ロールスクリーン設置工事
   ・ＮｉＵ新見駅西サテライト整備工事
2. 設備整備
   ・学用バスの購入
3. 環境整備
   ・グラウンド及び学舎周辺の草刈、庭木の剪定
   ・構内、倉庫等不要物品廃棄

13) 日本学術振興会科学研究費助成事業

◎令和 3(2021)年度日本学術振興会科学研究費助成実績内容

研究代表者	採択年度	分類	研究課題
山本 智恵子	平成 29(2017)－令和 4(2022)	基盤 C 一般	チーム医療の成果に関する実証研究：感染対策チームを対象とした調査
芝﨑　美和	〃	基盤 C 一般	幼児期の感情コンピテンスを支える文化的要因の検討－感情表出機能に着目して－
松田　実樹	〃	基盤 C 一般	重度障害者の地域移行成立要件の検討
加藤　由美	平成 30(2018)－令和 4(2022)	基盤 C 一般	人間関係力を育む保育者養成教育のあり方に関する実践的研究
赤田　いづみ	〃	基盤 C 一般	看護基礎教育における卒後の組織社会化促進に向けた予期的社会化尺度の開発
入江　慶太	〃	基盤 C 一般	病棟保育士の専門性の特定と新しい病棟保育士養成カリキュラムの開発
長崎 恵美子	〃	基盤 C 一般	心疾患をもつ高齢者の DNAR 選択に対する看護師の意思決定コーチングの教育開発
木下　香織	平成 31(2019)－令和 5(2023)	基盤 C 一般	小規模病院の連携で創る中山間地域の看護師の継続教育プログラムとその評価
井上　信次	平成 31(2019)－令和 4(2022)	基盤 C 一般	知的障害・発達障害児者のインクルーシブ教育の制度刷新にむけた国際比較研究
髙橋　彩	平成 31(2019)－令和 3(2021)	研究活動スタート支援	特別なニーズのある子どもを含む集団への包括的支援：子ども同士の相互作用に注目して
真壁　五月	令和 2(2020)－令和 4(2022)	基盤 C 一般	看護職の介護離職防止対策－看護職が介護離職を選択する要因－
八重樫 牧子	〃	基盤 C 一般	地域の児童館の子育ち・子育て支援におけるソーシャルワークに関する実証的研究
髙月　教惠	〃	基盤 C 一般	戦後の保育所「若竹の園」にみる幼保一体化カリキュラム・保育実践に関する歴史的研究
広瀬　綾子	令和 2(2020)－令和 6(2024)	基盤 C 一般	ドイツの学校教育における演劇教育の研究
芝﨑　美和	令和 2(2020)－令和 4(2022)	基盤 C 一般	幼児期の感情コンピテンスを支える環境的要因の検討－居場所感の獲得プロセスから
井上　弘子	〃	基盤 C 一般	臨床研究コーディネーターにおけるモラルディストレス尺度を用いた倫理的悩みの検証
三上　ゆみ	〃	基盤 C 一般	中山間地域での長期就労定着に向けた外国人介護労働者支援プログラムの検討
鄭　丞媛	令和 3(2021)－令和 7(2025)	基盤 B 一般	Age Friendly Cities 指標を用いた介護予防政策評価と社会実装研究
原田　信之	令和 3(2021)－令和 6(2024)	基盤 C 一般	南西諸島における祭事説明伝説の調査研究
矢嶋　裕樹	令和 3(2021)－令和 6(2024)	基盤 C 一般	被援助志向性の低い高齢者の実態把握と支援方策の検討

本渡　葵	令和 3(2021)- 令和 5(2023)	基盤 C 一般	児童心理治療施設併設校の国語科教育カリキュラム開発に向けた基礎研究

◎令和 3(2021)年度日本学術振興会科学研究費助成採択及び実績人数　　単位：人

実施年度 採択年度	H29 (2017) 年度	H30 (2018) 年度	H31 (2019) 年度	R2 (2020) 年度	R3 (2021) 年度	R4 (2022) 年度	R5 (2023) 年度	R6 (2024) 年度	R7 (2025) 年度
H26(2014)	1								
H27(2015)	4	4	1						
H28(2016)	2	2							
H29(2017)	4	4	4	4	3	3			
H30(2018)		5	5	4	4	4			
H31(2019)			5	4	3	2	1		
R02(2020)				7	7	7	1	1	
R03(2021)					4	4	4	3	1
計	11	15	15	19	21	20	6	4	1

14）学長配分研究費研究報告

◎岡本　直行（健康保育　教授）：子どもの描画表現を引き出すクレヨンの活用方法―キットパスを画材とした楽しい落書き遊びの環境づくり―

こどもの描画表現に適した固形画材「キットパス」を使用し、子どもの落書き遊びが展開される環境づくりを新見市内の保育士とともに実践し、子どもの描画活動に使用する画材の知識の共有や画材の活かし方と指導法について探求することを目的に実践している。環境づくりでは「にいみゆめのぽけっと」のお絵かきコーナーで使用してきた「落書きボード」を、①保育現場の環境に適した構造であること、②保育士教諭や子ども達が簡単に組み立てられること、③子どもの安全が確保できること、等に焦点をあてて改良し、新見保育所に設置した。子どもの描画活動では、子どもたちの活発な活動や子どもの絵と絵が対話しているかのような「描画による対話」が見られ、保育教諭の先生方からも「お絵かきボード」による環境づくりや子どもの活動を活発にする取り組みに対して高い評価を得ることができている。今後も継続して取り組んでいきたいと考える。

◎梶本　佳照（健康保育学科　特任教授）・吉田　美穂（看護学科　講師）・中川　彩見（看護学科　助教）・柳廸　三寛（地域福祉学科　助教）：「対面授業」と「遠隔・オンライン教育」との「ハイブリッド型授業」の事例開発と効果検証

本研究の目的は、「対面授業」と「遠隔・オンライン教育」との「ハイブリッド型授業の事例を開発し、その効果を確かめることをことである。事例１：グループ内での意見交換をハイブリッド型授業としてオンライン上で,UNIVERSAL PASSPORT の掲示板機能を使用し文字によるチャット形式でおこない、その効果を調べた。その結果、文字による意見交換の方が、口頭よりし易いと回答した人数は、36 人中 21 人で、その理由としては文字をゆっくりと読むことができるので意見を理解しやすい。自分の意見をまとめやすい。ゆっくりと自分の考えを整理することができる。口頭で伝えるのが苦手なので文字の方が考えを伝えやすい。等であった。このことにより、文字によるグループ内での意見交換には、相手の発言が理解し易いとともに自分の意見も発言し易く、意見交換の質を上げることができる効果があり、特に、口頭での意見交換が得意でない学生には、利点が多いことが示唆された。事例２：演習の授業において、技術を解説して教師作成の動画視聴を家庭での事前学習とし、技術操作のポイントへの理解を深める効果があるかどうか確かめた。その結果、事前学習に、担当教員が作成した動画を用いることで、学生は援助内容のイメージを持って演習に臨むことができ、教員がまず手本を見せるという時間が不要になり、ディスカッションの時間を十分にとることができた。以上のことによる授業効果として、教員を頼らなくなり、自分達なりに考え、より良い援助を考えて実践しようとする授業態度が身に付いた。

◎小松尾　京子（地域福祉学科　准教授）・山本　浩史（地域福祉学科　教授）・高杉公人（地域福祉学科　教授）・八重樫　牧子（地域福祉学科　特任教授）・朴　蕙彬（地域福祉学科　講師）・泉　宗孝（地域福祉学科　助教）・柳迫　三寛（地域福祉学科　助教）・岸本　由梨枝（地域福祉学科　助教）：地域共生社会の実現を志向したコミュニティ・ソーシャルワーク実習に関する研究－教材開発を中心に－

本研究の目的は、地域共生社会の実現を志向したコミュニティ・ソーシャルワーク実習の教材研究と開発を行うことである。本研究は2か年計画であり、2021年度は、実習教育プログラム及び教材開発を担当するAチームと実習指導・演習の教育プログラムおよび教材開発を担当するBチームの2チーム体制をとり、研究を進めた。Aチームは、第1期生の実習記録および実習評価から実習における学びの内容を分析した。さらにその具体的な内容を解明するために、実習指導者に対しインタビュー調査を実施し、分析を進めている。Bチームは実習のモチベーションに影響した内容について、KJ法を参考に分析した。この分析結果をもとに、実習内容とモチベーションの関連について実習生11名に対しインタビュー調査を実施し、分析を進めている。2022年度はこれまでの研修成果をもとに、コミュニティ・ソーシャルワーク実習の効果検証を行うことで、2か所実習の一貫性と継続性について検討できる見込みである。さらに一貫性と継続性を担保する教育内容を検討することで、学びの進化に向けた教育プログラムを提示したい。

◎芝崎　美和（健康保育学科　准教授）・中川　彩見（看護学科　助教）：児童期を対象としたSSTプログラムの開発

本プロジェクトの目的は、児童期を対象にセルフモニタリングという視点からSSTプログラムを開発することである。昨年度に引き続き、発達障がい児の社会的スキル（以下、SST）に関するツール開発を行った。10のターゲットスキルのうち、本年度は4つの課題(仲間関係の維持、聞く・話す１、聞く・話す２、状況理解)について課題内容と振り返りシートのアニメーション化を外部協力者とともに進めた。また、特別支援学級をもつ小学校の教諭にヒアリング調査を行いながら課題内容の精緻化を図った。今後も、特別支援学級教諭からの継続的なヒアリングを重ねつつ、ツール化を進めて行く。

◎高杉　公人（地域福祉学科　教授）：社会福祉法人の地域における公益的な取組を促進する資源マネジメントに関する研究

本研究では、社会福祉法人が所有する福祉施設による「地域における公益的な取組」の推進に、施設内外の社会資源の活用状況を示す「資源マネジメント」がどのように影響しているかを検証することを目的とした。分析焦点者は、「社会福祉法人の公益的な取組として資源マネジメントを行うコーディネーター」とし、施設職員と社会福祉協議会職員を総計10人選定した。コーディネーターに対して、半構造化面接（オンライン・面接を含む）を実施した。インタビューデータに対してM-GTAを用いて分析を行い、データを概念化し、生成された概念同士の関連性を検討した。結果、生成された概念は37概念で、カテゴリーは［取組の必要性への認識］、［連携組織の形成］［取組の企画・実施］［社会資源の活用・調整］［取組の効果認識］［後方支援］の6つにまとめられた。これらを整理しなおすと、社会福祉法人が地域における公益的な取組を促進させるために必要な資源マネジメントとは、「組織マネジメント」「プロジェクトマネジメント」「場のマネジメント」「資源の活用・調整」の4つの構成要素が重なり合って機能しているものであり、施設のコーディネーターと社協のコーディネーターとでは、要素の比重に違いあることが判明した。　本研究結果は、学長配分研究費と共に採択された「2020年度公益財団法人大同生命厚生事業団　地域保健福祉研究助成」の研究報告書にまとめられた。また、論文を、日本社会福祉学会中国四国ブロックの学会誌「中国四国社会福祉研究第10号」に投稿し、現在査読を受けている最中である。

◎中川　彩見（看護学科　助教）・矢嶋　裕樹（看護学科　准教授）：乳幼児をもつ母親の育児情報リテラシーと育児不安及び精神的健康との関連～育児情報リテラシー尺度開発に向けて～

近年、インターネットを情報源に育児情報を収集する保護者が多くなっているが、インターネットから正しい情報を取捨選択し、利活用していくためには、リテラシーを高める必要がある。しかし、リテラシーに関して、母親を対象とした、育児情報に関する研究は少なく、さらに母親の育児不安や精神的健康との関連を明らかにしたものはない。

そこで、本研究は乳幼児をもつ母親の育児情報リテラシーの測定とともに、育児情報リテラシーと育児行動および精神的健康との関連を明らかにすることを目的とした。2022 年 1 月に A 市内に住む乳幼児の母親全 415 人を対象にオンラインアンケートを実施した。

調査内容は、母親の基本属性や子どもに関する内容および育児情報リテラシー、育児行動、K6 とした。育児情報リテラシーについては、機能的リテラシー、相互作用的リテラシー、批判的リテラシーの 3 領域全 14 項目からなる自作の尺度により測定した。調査の結果、119 名から回答を得た(回収率 28.7%)。育児情報リテラシー得点の平均は 56.1 点、領域別平均は機能的リテラシー21.9 点、相互作用的リテラシー18.9 点、批判的リテラシー15.1 点であった。今後も分析を続け、学会発表、論文投稿等で成果を公表していく。

◎長宗　武司（地域共生推進センター研究員、地域福祉学科 助教)・福武　幸世（地域共生推進センター 研究員、健康保育学科 助教)・土井　英子（看護学科 教授)・三上　ゆみ（地域福祉学科 准教授)・福田　秀之（地域共生推進センター コーディネーター）：新見市の地域経済構造及び、新見公立大学が地域経済に与える経済的影響に関する実証分析

本研究の目的は、①新見市の産業構造を詳細に分析し、市の地域経済活性化の方向性を検討・提言すること、②本学学生の消費活動による市内への経済波及効果を算出し、本学の経済的貢献を把握すること、③上記の分析内容を本学学生と共有し、経済面をはじめ市全体の活性化の方策を検討することの３点である。今年度は、①②について、(一財)岡山経済研究所、岡山大学中村良平研究室との共同研究により、新見市の産業連関表の作成及び、本学学生の消費活動の調査結果を報告書にまとめ、新見市産業振興会議にて報告を行った。次年度は、分析結果を地域共生推進センターSA(スチューデントアシスタント)と共有し、新見市の地域経済活性化プロジェクトとして学生目線での地域活性化策の検討を進めていく。

◎原田　信之（看護・教授）：新見地域および中国地方の文化的研究

新見地域には、多数の興味深い伝説が伝承されている。それらの伝説群のうち、全国的に著名な人物や事物にまつわる伝説としては、南都法相宗興福寺の高僧であった玄賓(734-818)僧都の伝説、後醍醐天皇(1288-1339)の伝説、『義経記』などに登場する平安時代末期の伝説的人物である金売吉次の伝説、全国的に分布が確認される人柱の伝説などがある。報告者はこれまで長年にわたってこれらの伝説群の調査研究を行ってきたわけであるが、今年度はこれまでの研究成果と新しい研究成果をまとめる研究を集中的に行った。

◎広瀬　綾子（健康保育学科　准教授)：特別支援教育における表現活動に関する研究―岡山県健康の森学園支援学校における弦楽器「バンドーラ」の制作と演奏および新見公立大学学生との交流活動を中心に―

本研究は、特別支援教育における表現活動（弦楽器の制作とその演奏活動）の教育的効果および意義について明らかにすることである。岡山県健康の森学園支援学校の生徒たちが約 1 年間をかけて、

弦楽器「バンドーラ」の制作と演奏を行い、本学健康保育学科の学生と共同で「バンドーラプロジェクト」に取り組んだ。学生たちは、特別支援教育における表現活動のあり方について理解を深め、実践力を身につけることができた。特別支援学校における弦楽器「バンドーラ」の制作と演奏、および大学生との交流は、国内でも例を見ない先進的な教育活動であり、その取り組みが高く評価され、「ウッドデザイン賞 2021」を受賞した。

◎松島　英恵（健康保育学科　助教）・髙　月教惠（健康保育学科　特任教授）・小藤　信子（教育支援センター　特任講師）：保育現場における１歳児クラスの「ごっこ遊び」の実際

少子高齢化が進んでいる現代において、人間関係を築く力を育む「ごっこ遊び」を系統的に保育に取り入れる意義は大きい。「ごっこ遊び」を系統的に保育に取り入れていくということは、１歳児期の「ふり行為」を支え、イメージして遊ぶ経験を保障していくことから始まると考える。本研究では保育施設における１歳児クラスの「ごっこ遊び」の芽生えの様子から実態を把握し、どのような環境や援助によって行為や遊びが生まれ、発展しているのかを明らかにすることを目的とし、A 保育所の１歳児クラスの「ごっこ遊び」の観察研究を行った。今後、観察で見られたエピソードを事例化し、分析を進める。

◎八重樫　牧子（地域福祉学科　特任教授）・髙月　教惠（健康保育学科　特任教授）・長宗　武司（地域共生推進センター研究員、地域福祉学科 助教）・小藤　信子（教育支援センター　特任講師）：「新見市就学前親子の居場所」に関するニーズ調査

子育て家庭の子育て不安感や孤立感等を軽減するために、2015 年から子ども・子育て支援法が施行され、地域子ども・子育て支援事業が展開されている。新見市においても地域子育て支拠点事業（にいみ子育てカレッジ「にこたん」）が実施されているが、その利用率は低い。そこで、本研究では、「にこたん」を利用している保護者を対象に「就学前親子の居場所に関する質問紙調査」を実施し、子育て状況や就学前親子の居場所ニーズを明らかにし、新見市の「就学前親子の居場所」のあり方を検討したい。2021 年度の「にこたん」利用登録者中、質問紙調査に協力してもらえる 154 人に調査用紙を郵送するための準備を行った（4 月に発送予定）。

◎山野井　尚美（看護学科　准教授）・郷木　義子（看護学科　特任教授）・栗本　一美（看護学科　教授）・三上　ゆみ（地域福祉学科　准教授）：看護、福祉、教育の協働を目指した同一教材の有効性に関する検討　－ヤングケアラーに着目して－

近年子どもをめぐる問題として「ヤングケアラー」が大きな課題となってきているが、家庭内の問題であり、介入の困難さ、本人や家族の認識の低さなどから支援が必要性は表明化しにくいとの指摘がある。そこで、本学の看護と地域福祉学科の講義の中で「ヤングケアラー」を共通教材として使用し、支援の在り方を各専門性の中で共通認識として持ち、教育・福祉・看護との異同性を明確にした多職種連携や、統合の在り方を推進していくための基礎資料とすることを目的に実施している。まずは、研究者間で共通認識をもつため、文献研究を行い、論文投稿するとともに、学生へのヤングケアラーの認識調査を実施したほか、県内の先進的取り組みを行っている自治体への聞き取り調査を実施した。さらには、年度末には、新見市内の養護教諭のつどい、スマイルソーシャルワーカーにいみ、新見市役所職員の参加を得て、第１回となる当事者の語りから現状や必要についての勉強会を開催した。今後は、当日参加された多職種の関係職員との課題共有を図り、新見市内の実態を把握し、看護・福祉・養護教諭の各分野別の一歩踏み込んだ対応やこの地域だからこそできる活動に繋がるよう継続して取り組んでいきたいと考える。

15）同窓会

令和3(2021)年度においては、新見公立大学看護学部看護学科（9期生）64人及び助産学専攻科（7期生）6人の合計70人が卒業した。これにより本学は、昭和56(1981)年度に新見女子短期大学の１期生(幼児教育学科）が卒業してから数え、大学と短期大学（いずれも専攻科を除く）を合わせて41年間で5,592人に達する学科卒業生（専攻科及び研究科の延べ数を加算すると5,802人）を送り出したこととなる。

その学科別等の内訳としては、下記に示すとおりであり、令和4(2022)年4月現在での同窓会員数として取り扱って、各学年・学科ごとに近郊に在住する卒業生を中心として２名の評議員を定めて総会組織を形成し、毎年度評議員会を開催して活動を行っている。（令和3(2021)年度は、中止した。）

新見公立大学・短期大学同窓会としての具体的な取組としては、卒業生と本学の絆を強めるため、同期生会の幹事からの連絡により、同窓会事務局から会員や教員（旧教員含む）への開催案内を発送し、出欠の取りまとめを行うなどの同期生会（クラス会）の開催の支援を行っている。令和 3(2021)年度は、令和 2(2020)年度に引き続いて新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、同窓会の開催を支援した実績は、計上することができなかった。

なお、今後のキャリア支援及びＩＲ活動等で卒業生等との連携強化が必要であるとの認識のもと、同窓会誌として発刊してきた「まんさく」については、内容の拡充を図り大学自体の広報誌としての位置付けに変更しており、その他の活動や運営についても評議委員会等で検討する予定である。

◎令和3(2021)年度末　学科別等卒業生数　　単位：人

分類	区分	学科	期間（年度）	期数	人数	期数平均卒業生数
短期大学	学科	幼児教育学科	S56(1981)～R02(2020)	40	2,062	51.6
		看護学科	S57(1982)～H23(2011)	30	1,805	60.2
		地域福祉学科	H09(1997)～R02(2020)	24	1,166	48.6
		計	S56(1981)～R02(2020)	40	5,033	125.8
	専攻科	地域看護学専攻科	H16(2004)～H24(2012)	9	140	15.6
	計		S56(1981)～R02(2020)	40	5,173	129.3
大学	学科	健康保育学科	R04(2022)～			
		看護学科	H25(2013)～R03(2021)	9	495	55.0
		地域福祉学科	R04(2022)～			
		計	H25(2013)～R03(2021)	9	559	62.1
	専攻科	助産学専攻科	H27(2015)～R03(2021)	7	40	5.7
	計		H25(2013)～R03(2021)	9	599	66.6
計	学科計		S56(1981)～R03(2021)	41	5,592	136.4
	専攻科計		H16(1981)～R03(2021)	16	180	20.0
	計		S56(1981)～R03(2021)	41	5,772	140.8
大学院	研究科	看護学研究科　※	H27(2015)～R03(2021)	6	30	4.3
合計			S56(1981)～R03(2021)	41	5,802	141.5

※期間は7年間であるが、R2(2020)年度の卒業生がいなかったため期数は１期減としている。

2. 学科・研究科の活動

1）健康科学部健康保育学科

令和 3(2021)年度は 4 年制大学移行後 3 年目の年度にあたり、学生数は 1 年次生 53 名、2 年次生 57 名、3 年次生 47 名、計 157 名となった。授業については、保健管理センターからの指示を厳守したコロナ感染症対策を行い、ほとんどの授業を対面で実施した。実習時期の延期等スケジュールの調整が必要な学年もあったが、各学年ともにカリキュラムの計画通りに学修を進めることができた。

健康保育学科の令和 3(2021)年度学科運営目標は以下の 7 点である。

①学生が、就学前教育・保育に関心を持ち、資格取得に向けて着実に学修できるように、教育、保育、福祉、心理、障がい分野を中心に重層的なカリキュラムを設定し、質の高い保育学教育を実施する。

（実績）

１年生は共通科目や専門科目の学修に加え、フィールドを学修の場として教養や感性を高め、２年次は専門科目の学修に加え、保育所の実習などを通して教育・保育・福祉に関する高度な知識と技術を、３年生は進化した専門科目の学修や施設、幼稚園の実習、インターンシップなどを積み重ねることで、こども理解を深め保育実践の力を身につけさせることができた。また、令和 4(2022)年度以降のカリキュラムの整備計画に取り組み始めた。

②教育支援センターやにいみ子育てカレッジと連携しながら、「実地体験実習」など、地域をフィールドとした授業や行事等を実施して地域ニーズを把握し、課題を解決する能力や方法を学修する。

（実績）

コロナ禍のため、地域をフィールドとした授業や行事の実施については、一部延期となった。実施可能であった、にいみ子育てカレッジを活用した授業や、地域にある小児科や病児保育所をフィールドとした「実地体験実習」では、地域の子どもの姿や家族、支援者との触れ合いによる学修成果が見られた。

③チューター制の利点を生かして学修指導や学生相談を定期的実施するとともに、修学・キャリア支援センターと連携して「公務員講座」を実施し、学生の適性や希望に応じた就職支援を行う。

（実績）

チューター制度を活用した個別相談等を丁寧に繰り返すことによって、各々の夢を叶え、人生・社会を生き抜くための基盤を確立できるように支援を行った。また、「就活準備講座」や「キャリア支援講座」「公務員講座」「キャリア支援セミナー」等、学生自身の将来を見据えた講座を多く開講し、理想の保育専門職として社会に出る準備を進めることができた。

④チューター制を活用した定期的な修学支援や生活相談を実施し、そのデータを教育改善や学生指導に活かし、卒業時に学生全員が新見公立大学こども発達支援士に求められる 5 つの力を修得し、称号を取得することを目指す。

（実績）

チューターによる個別指導の際に、「こどもの発達の多様性の科学的、実践的な理解」「保育者に求められる障がいに関する専門的知識」「こどもの発達の多様性に応じた保育環境の創造」「こどもの発達にあわせた遊びや音楽療育の考案」「こどもの病気と病児保育に関する医学的な知識」の修得を意識した履修指導や学修支援、相談を、丁寧、かつ適切に実施し、新見公立大学こども発達支援士の称号取得に向けた支援を行った。

⑤チューター全員が連携して基礎ゼミナールを開講し、個別指導や全体指導を計画的に進め学問を学ぶ姿勢と学修力（学修の基盤となるアカデミックスキル）の育成を図る。

（実績）

基礎ゼミナールでは，アカデミックスキルを培う内容を学修内容に盛り込み、ゼミ間で共通認識を持ちながら計画的に個別指導、全体指導を実施することができた。また、「子どもに関するニュース」から研究テーマを設定した文献研究を行い、子どもを取り巻く問題の抽出や課題に対する解決方法の提案、解決までの見通し等についてパワーポイントを用いて発表を行う等、学問を学ぶ姿勢の習得と学修力の育成を図ることができた。

⑥大学、保育現場、行政が連携して作成した「新見市保育・教育カリキュラム」を活かし、実習体制を強化することによって、質の高い保育者養成を実践する。

（実績）

新見市内のこども園・幼稚園・保育所 13 園で使用されている「新見市保育教育プログラム」を実習指導の授業や実習時に活用することによって、各年齢の保育実践の内容やこどもの様子、ねらいなど実際のこどもの生活や保育を想定したプログラムの理解力が向上し、学修内容の充実や技術の習得に結び付いている。

⑦子どもの生活の場を対象とした実地体験活動や実習を進めるために、教育支援センターを基盤とした実習施設との連携を図り、学生の実習効果が向上する実施体制の調整や計画を行う。

（実績）

教育支援センターを中心に、大学、実習施設、実習指導者が連携した実習体制の強化を図った。また、保育現場で使用される「新見市保育・教育カリキュラム」を大学の授業で使用することによって実習での学びの充実を図り、理想の保育専門職としての姿勢や優れた保育の方法等を学修させた。

◎令和 3(2021)年行事（健康科学部健康保育学科）

実施日	活動内容
4 月 14 日	基礎ゼミナール開始（1 年次生）
4 月 21 日	自己分析講座・キャリア形成講座（3 年次生）
4 月 28 日	就職先分析講座（3 年次生）
5 月 19 日	公務員講座開始（3 年次生）
6 月 16 日	にいみゆめのぽけっと説明会
7 月 6 日～7 月 19 日	保育実習Ⅰ（保育所）（2 年次生）
7 月 6 日～7 月 14 日	保育実習Ⅰ（施設）（3 年次生）
7 月 18 日	第 1 回オープンキャンパス
7 月 21 日	プティ・コンセール
7 月 30 日	キャリア支援セミナー
8 月 9 日	第 2 回オープンキャンパス
8 月 29 日	第 3 回オープンキャンパス
10 月 1 日～ 10 月 29 日	幼稚園教育実習（3 年次生）
10 月 9 日～ 10 月 10 日	鳴滝祭
10 月 13 日	卒業研究ガイダンス（2 年次生）
10 月 16 日	いもほり（2 年次生）
10 月 27 日	キャリア支援講座（2 年次生）
11 月 10 日～ 11 月 18 日	保育実習Ⅱ（2 年次生）
11 月 12 日	学内シュミレーション実習開始（3 年次生）
11 月 17 日	卒業研究テーマ発表会（3 年次生）
11 月 25 日	実地体験実習ガイダンス（2 年次生）
12 月 4 日	中・四国保育学生研究大会参加（オンライン）（2 年次生 11 名）
12 月 4 日	スポーツ大会
12 月 8 日	キャリア支援講座（3 年次生）
12 月 11 日	にいみゆめのぽけっと 2021
12 月 18 日	クリスマス会
1 月 26 日	卒業研究訪問ゼミ開始（2 年生）
1 月 31 日	学校推薦型選抜入試
2 月 1 日	3 年生実習報告会（2・3 年次生）
2 月 2 日	キャリア支援講座（3 年次生）
2 月 25 日	一般前期入試
3 月 8 日	一般後期入試

2）看護学科・助産学専攻科・大学院研究科

(1) 看護学科

令和元(2019)年度から健康科学部3学科体制となり、令和3(2021)年度で、定員80人となった3年度目（大学の看護学科としては12年目）を迎えた。学生数は4学年で計313人である。令和3(2021)年も令和2(2020)年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの対面授業を行った。臨地実習は、3年後期および4年次前期の領域実習では臨地に出向くことができたものの、一部が学内にてシミュレーションを用いた学内実習を行った。

保健師助産師看護師法施行規則の一部改正による看護師教育の内容が改正されるに伴い、令和4(2022)年度入学生からのカリキュラム改正を行い、さらなる看護師教育の充実を図ることとなった。主な改正点は、看護師教育課程では総単位数を現行の97単位から102単位へ、保健師教育課程では総単位数を現行の28単位から31単位へとなった。本学では、すでに総単位数は十分に満たしており、大きな変更点はないが、看護師教育課程では、基礎看護学10単位を11単位へと充実させるなど教育内容の充実を図った。

学科運営の目標は以下の8点である。

①学生が充実感を持って学修に取り組むよう、教育内容や教育方法の改善に努め、より質の高い看護学教育を実施する。

（実績）

9期生から12期生の授業進行に沿って、各教員は熱心に教育指導に取り組んだ。教育内容や教育方法の改善についてWebなどあるいは学内での研修会への参加、学修のリフレクションなどをとおして、より質の高い看護学教育を実施した。

②10期生からカリキュラム改正の進行を効果的に行い、保健師教育課程、養護教諭養成課程および訪問看護・地域看護コースの選択制の適切な実施と評価を行う。

（実績）

9期生の保健師教育課程選択コースの順調な実施により、保健師国家試験へ17人全員が取り組んだ。

また、11期生は3月15日に行われた選択制選考試験において、保健師教育課程20人、養護教諭養成課程10人、訪問看護・地域看護コース4人の履修が確定した。

③10期生からの看護学コア・カリキュラムの順調な進行を行う。

（実績）

10期生から3学科体制に伴う定員80人となったカリキュラム改正の時間割進行において、学生への十分な説明と同時に、きめ細かな指導助言を行い、順調に履修を支援できた。

④臨地実習指導担当教員は、現場の実習指導者と緊密に連携を図り、学生の実習効果が最大限になるよう環境調整を行う。

（実績）

3 年次の領域看護学実習前に例年開催している臨地実習施設連絡会議は、新型コロナウイルス感染症により令和 2(2020)年度に引き続き開催できなかった。臨地実習担当教員はこれまでどおり実習指導者と緊密に連携を図り、学生の実習効果を最大限に発揮できるよう双方向で指導の強化を図った。学生は臨地実習でしか学べない実習経験をとおして、学内実習に取り組み看護の魅力や深さを学ぶことができた。学内でシミュレーターを用いた演習を行い、看護過程を展開することで知識や技術の修得につながった。

⑤「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」を学生が主体的に創造的に取り組めるよう、各領域のゼミ担当教員の連携を強化し、質の高い研究発表ができるよう指導する。

（実績）

「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」では、10 月 22 日に 64 人全員が卒業研究発表会を行った。卒業研究発表会は、学生はオンデマンドより事前に公開し、在学生などからの質問や意見交換は teams を活用することでスムーズに行うことができた。論文集の編纂においても、各領域のゼミ担当教員の指導のもとで、質の高い論文を仕上げることができた。

⑥看護師、保健師国家試験の合格に向けて、支援体制を整え、全員の合格を目指す。

（実績）

看護師、保健師国家試験の合格に向けた取り組みは、4 年次チューターアドバイザーを中心に適宜指導を行い、支援体制の強化を図った。新型コロナウイルス感染症により密を避けながら学内での模擬試験は例年どおりには実施できなかった。学生の主体的な学修力を引き出しながら、成績不良者にはチューターアドバイザー、チューターが適宜指導を行った。地域共生推進センター棟のイノベーションルームには、オゾン発生装置が完備され、学生は安心した環境の中、国家試験の勉強に取り組むことができた。その結果、看護師国家試験、保健師国家試験は、平成 30(2018)年度入学で令和 3(2021)年度に卒業した学生は全員合格することができた。

⑦学生の進路選択･決定に、学生の適性や希望に応じたキャリア支援をきめ細かく行う。

（実績）

学生の進路選択･決定に際しては、学生個々の志望を大切にしながらチューターアドバイザー、チューターが連携をしながら支援を行った。病院などへ看護職として 41 人、保健師として 14 人、助産学専攻科へ進学 4 人、養護教諭特別別科 2 人、助産専攻 1 人、その他 2 人と、志望の進路に進み、岡山県内を中心とした実習病院、新見市内の病院への就職事例もみられた。

⑧教員一人ひとりが教育の質向上に向けて、学部内外の研修・研究の取り組みを継続する。地域貢献活動も積極的に行う。

（実績）

教員の専門領域における学会参加はほとんどが WEB 開催となったものの、積極的に参加することができた。学科内では、FD3 回、研究力向上のための研修会 7 回、教員相互の交流と教育力、研究力の質向上を図ることができた。

◎令和 3(2021)年度行事（健康科学部看護学科）

月日	学科行事
4 月 14 日	基礎ゼミナール開始(1 年次生)
4 月～8 月	臨地実習再開(4 年次生)
7 月 18 日	第 1 回オープンキャンパス
8 月 9 日	第 2 回オープンキャンパス
8 月 23 日～27 日	基礎看護学実習Ⅱ(2 年次生)
8 月 29 日	第 3 回オープンキャンパス
9 月 6 日～10 日	基礎看護学実習Ⅱ(2 年次生)
9 月 8・9・10 日	卒業研究中間発表会(3 年次生)
9 月 17 日・24 日	基礎看護学実習Ⅰ　施設見学実習(1 年次生)
10 月 1 日	後期開始
10 月 4 日	臨地実習(3 年次生)
10 月 9 日・10 日	鳴滝祭(全)
10 月 22 日	卒業研究発表会(4 年次生)オンデマンド、teams による質疑応答
11 月 17 日	看護学セミナー(2 年次生)
11 月 22 日～26 日	基礎看護学実習Ⅱ(2 年次生)
令和 4(2022)年	
1 月 24 日～26 日	スポーツ実習 A スキー実習(1 年次生)宿泊なし、バスによる移動
2 月 2 日	先輩と語る会(3 年次生)オンデマンド、ZOOM による質疑応答
2 月 11 日	保健師国家試験(4 年次生)
2 月 13 日	看護師国家試験(4 年次生)
3 月 15 日	保健師教育課程、養護教諭養成課程、訪問看護・地域看護コース選考試験
3 月 25 日	看護師、保健師国家試験合格発表
	保健師教育課程、養護教諭養成課程、地域看護・訪問看護コース選考結果発表

看護学科　ＦＤ活動

1.活動目標

1)教育や研究に活用できる知識や技術の向上を目指した活動を支援する。
2)継続的に研究活動を行い、科研費の申請や研究業績を増やす。
3)学科内外の教員相互および実習病院との学術的交流を深める。
4)地域の看護職への先進的知識を提供し、地域に貢献する。

2.活動内容

●看護教育 FD および研究力向上研修会

看護教育 FD の開催

日時：隔月　奇数月最終金曜日 16:40～17:40、場所：会議室 B

研究力向上研修会の開催

日時:隔月　偶数月第 3 水曜日 16:40～、場所:会議室 B

英語論文勉強会の開催、日時：毎月第 3 水曜日 12:30～13:15
（英語論文勉強会、3 学科合同研修として開催）
場所：会議室 B

〈看護教育 FD〉

回数	月　日	担当者	テーマ	参加人数（人）
1	5 月 28 日	原田　信之	小論文の添削について	23
2	10 月 22 日		卒業研究(グループ研究における現状と課題)	26
3	12 月 22 日	コース担当者	保健師教育課程、養護教諭養成課程 訪問看護・地域看護コースの学修状況	31

＜研究力向上研修会＞

回数	月　日	担当者	テーマ	参加人数（人）
1	6 月 4 日	矢嶋　裕樹	EZR について	23
2	6 月 25 日	山田　雅夫	科学研費採択に向けて	21
3	7 月 30 日	矢嶋　裕樹	EZR について	23
4	9 月 24 日	〃	〃	12
5	11 月 26 日	〃	〃	10
6	1 月 27 日	〃	〃	7
7	3 月 25 日	〃	〃	7

※EGR､EZR は、メニュー操作で R の統計解析ができるフリーソフト

●臨地実習指導者連絡会議および看護教育・研究発表会

令和 3(2021)年度も令和 2(2020)年度に引き続き、コロナ禍のため中止とした。

(2) 助産学専攻科

助産学専攻科は、修業期限1年で5人の学生を確保し、以下の2 点が目標である。

①助産学専攻科の教育目的・教育目標を達成するために、1年間の教育計画を効果的に実施する。

(実績)

学部内進学希望者4人、他大学の入学希望者2人、計6人の入学生を迎え授業と臨地実習を行った。

②助産師国家試験の合格に向けて、支援体制を整え、全員合格を目指す。

(実績)

7期生の国家試験は6人全員合格であった。

◎令和3(2021)年度行事

実施日	活動内容	備　考
令和3(2021)年		
4月5日	ガイダンス・基礎知識確認テスト	
	授業開始	
7月2日	授業終了	
7月7日	臨地実習開始判定試験（知識・技術）	
7月9日	実習オリエンテーション（学内）	個人面接
	実習オリエンテーション（学外）	
7月12日～12月24日	臨地実習	
	助産学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	
8月20日～12月24日	助産師国家試験対策（講義・模擬試験）	
令和4(2022)年		
1月7日～2月5日	助産師国家試験対策（講義・模擬試験）	個人面接
2月10日	助産師国家試験	
2月11日～3月4日	研究論文作成	
3月25日	助産師国家試験合格発表	

(3) 大学院看護学研究科

平成 26(2014)年度に開設した看護学研究科(修士課程)では、教員一同以下の 4 点を目標としている。

①研究科の教育目的・教育目標を達成するために、2 年間の教育計画を効果的に実施する。

(実績)

令和 3(2021)年度新たに 8 期生 3 人を迎え、7 期生 5 人、6 期生 1 人、5 期生 1 人を加えて計 10 人の大学院生への指導を行った。8 期生全員が社会人であり、入学後に 2 人が 3 年間の長期履修を申請し、各自の履修スケジュール計画に基づいて主指導教員ならびに副指導教員の指導を受け履修を進めていった。今年度の大学院開講は、主に毎週金曜日の夕方から土曜日の終日であり、社会人大学院生に配慮した教育計画を実施した。

②大学院生の学修環境を整え、修士論文作成に向けて研究活動への支援を十分に行う。

(実績)

5 期生と 6 期生の 2 人、7 期生の 3 人は、令和 3(2021)年度において計画的に研究を進め修士論文審査に合格し、全ての履修単位を修得し 5 人揃って修了を迎えた。

新館に設置された院生室を土日や夜間に有効に活用し、研究が進めやすい院生室の学修環境を整えることが出来た。また、従来より「くらしきサテライト」会場を活用し大学院生への利便性を図っているが、コロナ禍の影響もあり、オンライン授業やオンデマンド授業等遠隔授業と対面授業の併用により、1 年次、2 年次に予定されていた学修を全て終えることが出来たと評価する。

③研究科担当教員の連携と相互の研鑽を図り、研究科の教育内容の充実と評価を行う。研究指導の質向上に向けて研修を行う。

(実績)

月 1 回の大学院会議では、研究指導の進め方や教育内容の充実のために様々な検討を行った。次年度に向けて、各教員は指導計画修正や課題を共有しながら取り組んだ。研究指導においては、平成 30(2018)年度より、主指導教員と副指導教員の 2 人指導体制としており、研究構想発表に向けて「特別研究」などを通して定期的に助言できる機会を設けた。さらに、「地域生活支援看護学領域」「療養支援看護学領域」各領域の課題演習を通して、領域に属する複数の教員からの助言や指導を受ける機会を得て、多角的な視点で研究計画を立案することにつながった。各教員は研究力向上のために関連学会主催の研究手法の研修、学会参加を通してスキルアップを目指した。

④大学院再編に向けた検討および認可申請手続き

（実績）

令和 4(2022)年度は、1 学部 3 学科体制の完成年度となり、令和 5(2023)年度 4 月には大学院設置から 10 年を迎える。このことから、今後の大学院のあり方を検討することを目的として、令和 3(2021)年 4 月に本学大学院再編に向けた改組部会を立ち上げ、本格的に大学院改組に向けた検討をスタートさせた。6 月以降は(一財)日本開発構想研究所の支援を受け、3 月設置許可申請書提出まで、わずか 10 カ月間で再編計画の策定を円滑に進めることができた。その間、定期的に改組部会を開催するとともに、定例会議に加えて合計 25 回の大学院会議を開催し、研究科教員間の情報共有、意見聴取を行うとともに協議を重ねた。

令和 3(2021)年 10 月には文部科学省に研究科名称変更に関する事前相談書類を提出し、12 月中旬には令和5(2023)年4月時点での研究科名称変更手続きが可能であるとの伝達を受けた。その後、3 回にわたる文部科学省大学設置室事務相談を経て、令和 4(2022)年 3 月 17 日には、地域福祉学専攻修士課程ならびに看護学専攻博士後期課程設置申請を行い、令和 4(2022)年 3 月 30 日には、教職課程認定申請（養護教諭専修免許状）を提出することができた。通常の学部教育、大学院教育を行いながらの認可申請書類作成作業であった。

令和 5(2023)年 4 月には大学院設置から研究科名称を看護学研究科から健康科学研究科に変更すると共に、修士課程に新たに地域福祉学専攻(仮称)を設置し、看護学専攻との 2 専攻とする予定である。さらに、看護学専攻に養護教諭専修免許を取得するコースを設置予定である。併せて健康科学研究科に看護学専攻博士後期課程(仮称)を設置予定である。中山間地域にある公立大学として、さらなる発展に向けて全世代型地域包括ケア看護学および福祉学の探究を目指し、高度専門職者・研究者の育成を目指すこととしている。

◎令和 3(2021)年度行事（大学院看護学研究科）

実施日	活動内容
令和 3(2021)年	
4 月 10 日	ガイダンス、授業開始
9 月 14 日	M2 中間発表会(2 年次生)
10 月 29 日	修士論文題目提出
12 月 27 日	研究計画書提出（1 年次生）
	修士論文提出(2 年次生)
令和 4(2022)年	
1 月 11 日	研究構想発表会（1 年次生）
1 月 18 日	修士論文審査
2 月 8 日	修士論文公開発表会

3) 地域福祉学科

地域福祉学科は令和3(2021)年度、新たに四年制大学3期生59人を迎え、3学年で159人の学生が修学した。本学科の特徴として掲げている地域をキャンパスにした学びについては、コロナ禍の影響も残る中、新見市内3地域での基礎ゼミナールでの活動、共生社会実践演習における2地域での学修を継続している。

その他、令和3(2021)年度の学科運営の主な目標は以下の4点であった。

①社会福祉士養成の令和 3(2021)年度改正カリキュラムに沿った教育を開始する。また、学生が希望する複数の学びについて、学科内規定等の課題を抽出し、必要な検討を行う。１期生（３年次）の国家試験や公務員試験等の対策講座を修学・キャリア支援センターとの連携のもとに実施する。

（実績）

社会福祉士のカリキュラム改正に伴う教育カリキュラムを実施した。旧カリキュラムと新カリキュラムが同時に進行している時期であり、学期初めの履修ガイダンスでの丁寧な説明を行った。また、介護福祉士資格のみを目指す学生が履修できる副専攻地域介護専門士科目について、介護福祉士と社会福祉士の両資格を目指しつつ当該科目を履修している学生がおり、できるだけ学生の希望に沿うよう引き続き検討していく。

1期生の介護福祉士及び社会福祉士の国家試験対策講座を後期から計画的に実施した。修学・キャリア支援センターでは公務員試験対策講座が実施され、本学科1期生の約半数が受講している。また、社会福祉士の主な就職先をピックアップし求人情報を頂けるように依頼を送った結果、徐々に求人情報が届いており、修学・キャリア支援センターによる学生への周知が行われている。

②初年次教育充実のため、「基礎ゼミナール」にアサーショントレーニングを取り入れ、令和3(2021)年度は、2年次生（令和2(2020)年度入学生）に対しても実施する。これを通して、学生の自己肯定感の向上、他者との円滑なコミュニケーション能力の向上を目指す。

（実績）

1年次生に加え、令和2(2020)年度にコロナ感染拡大予防のために実施できなかった2年次生にも実施した。学生のリアクションペーパーからは、相手に対するより良いコミュニケーションの参考にしたい、自分の意見もうまく伝えるコミュニケーションについても着目する学生が多かった。

③基礎ゼミナールにおける地域住民との交流活動や地域文化実習について、単なる交流、人的資源としての参加に留まらず、人や生活文化の理解を基盤においた福祉人材としての学びを深めるよう、事前学習・事後学習等の工夫を行う。

（実績）

1月22日に地域文化実習発表会、2月2日基礎ゼミナール及び共生社会実践演習Ⅰの発表会を実施した。地域文化実習では土下座祭り（今年度も中止）前に行う特別講義に、船川八幡神社の宮司、祭り実行委員長と本年度から新たに御殿町地区の若連中頭取を招き、より地域住民の視点から祭りがもつ意味を話していただいた。学生のレポートからは、地域福祉推進において地域理解や生活文化を大切にする必要性への気づきを述べた学生が多かった。

④社会福祉士、介護福祉士の国家試験合格を目指した対策指導、講座等を実施する。社会保険労務士、防災士、行政書士、社会調査士、介護予防運動指導員、アクティビティワーカー等、技能を強化する資格や学びの組み合わせについて、引き続き学生の個々の状況に合わせた相談・指導を継続する。

（実績）

防災士は資格取得希望した全員が試験に合格した。他の資格については、学科内に各資格対策の担当者を配置し、福祉2資格について模擬試験を実施した。社会保険労務士、行政書士については、3 年次生からの受験を推奨し、新学期ガイダンスで令和 3(2021)年度の具体的な受験手続等の説明を行った。また、1 期生の受験動向調査を行った。これらの結果をもとに次年度当初にチューター面接を行い、各学生の希望に応じた資格取得や就職支援を行っていく。

◎令和3(2021)年度行事

実施日	活動内容等
令和3(2021)年	
4月1日	前期各資格説明・履修ガイダンス(2・3年次生)
4月5～6日	新入生ガイダンス
6月28日	介護福祉実習Ⅱ（2年次生）
～7月24日	
7月19日	資格取得ガイダンス（1年次生）
9月21日～30日	福祉サービス入門実習（1年次生）
10月 1日	後期各資格履修ガイダンス（2年次生）
令和4(2022)年	
1月22日	地域文化実習発表会
2月2日	基礎ゼミ・共生社会実践演習発表会（1・2年次生）
2月9日	資格説明（1年次生）
	就職活動・支援ガイダンス（3年次生）
2月28日	介護福祉実習Ⅰ（1年次生）
～3月12日	

3. 教員の教育・研究・社会貢献への実績

学長　公文裕巳

教育活動

専門分野

医学全般，遺伝子治療，泌尿器科学

担当科目

・健康科学Ⅰ：健康科学部3学科1年，前期2時間必修
・健康科学Ⅲ：健康保育学科1年，地域福祉学科1年，後期6時間必修，看護学科1年，後期6時間選択，116人
・健康科学Ⅳ：健康保育学科1年，地域福祉学科1年，後期4時間必修，看護学科1年，後期4時間
・医療概論：看護学科1年，必修

その他の教育活動

1)本学における活動
・大学全体の教育活動の管理・運営
・全学生に対する読書指導
・地域共生推進センターにおける「鳴滝塾」などの企画・運営
・NiU駅西サテライトの企画

研究活動

学術論文

1)Araki K, Yamamuro N, Tomonobu N, Kumon H: REIC/Dkk-3 Gene Therapy Induces Immunogenic Cell Death in a Mouse Model of Malignant Mesothelioma. Anticancer Res. 41(10):4837-4855, 2021.

2) Maruyama Y, Araki M, Wada K, Yoshinaga K, Mitsui Y, Sadahira T, Nishimura S, Edamura K, Kobayashi Y, Watanabe M, Watanabe T, Monga M, Nasu Y, Kumon H: Long-term ureteroscopic management of upper tract urothelial carcinoma: 28-year single-centre experience. Jpn J Clin Oncol.51(1):130-137, 2021

3) Fujita H, Habuta M, Hattori T, Kubota S, Kumon H, Ohuchi H: UCP1 expression in the mouse adrenal gland is not upregulated by thermogenic conditions. Biochem Biophys Res Commun. 566:184-189, 2021.

4) Xue R, Lin W, Fujita H, Sun J, Kinoshita R, Ochiai K, Futami J, Watanabe M, Ohuchi H, Sakaguchi M, Tang Z, Peng H, Nasu Y, Kumon H: Dkk3/REIC Deficiency Impairs Spermiation, Sperm Fibrous Sheath Integrity and the Sperm Motility of Mice: Genes.13:285(1-12), 2022.

外部資金獲得状況

1)令和元年度～令和3年度　日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究B）研究課題「腫瘍免疫活性化遺伝子 REIC による肺癌の革新的免疫療法の開発」課題番号19H03667，研究代表者：木浦 勝行，研究分担者： 公文裕巳，他2名

2)令和元年度～令和3年度　特別電源所在県科学技術振興事業（岡山県）新産業の創出につながる基盤技術研究（委託事業グループ研究）研究課題「がん免疫サイクルの観点からみたAd-REICと分泌REICタンパク質の分子機構の解明と新規創薬」研究代表者：阪口政清，研究アドバイザー：公文裕巳，分担研究者： 二見淳一郎，大内淑代，黄 鵬，木下理恵

社会的活動

講演・研修会

1)公文裕巳：「新見高校の皆さんへのメッセージ-ともに新見の未来を拓こう-」. 県立新見高校, 2021.7.28.

2)公文裕巳：「新見公立大学が目指すところ -NiU駅西交流棟プロジェクトの位置づけ-」 岡山県退職公務員連盟新見支部, 2022.1.28

3)公文裕巳:「新見公立大学と新見市の未来に向けて - 新見公立大学防災拠点化推進議員連盟に期待すること - 新見市議会, 2022.3.2

役職

1)一社団法人公立大学協会 第２委員会 委員
2)地域共生推進センター「鳴滝塾」 塾長
3)岡山大学ナノバイオ標的医療イノベーションセンター長（岡山大学特命教授）
4)岡山県医用工学研究会 名誉会長
5) NPO法人アジア太平洋遺伝子細胞治療コンソーシアム 理事
6)公益財団法人 両備てい園記念財団 評議員
7)両備てい園記念財団 助成金 選考委員

8)排尿と泌尿器科疾患に関する臨床懇話会 代表
　世話人
9)新見市国際交流協会 顧問
10)新見市子育てカレッジ運営協議会 会長
11)社会福祉法人健康の森学園 評議員
12)新見市医師会介護老人保健施設等管理運営委
　員会 委員
13)新見中央病院 理事
14)新見クアオルト推進協議会 顧問
15)岡山県大学人の会 会長

副学長・特任教授　小田　慈

教育活動

専門分野

小児科学、小児保健、母子保健、血液・腫瘍学、感染免疫学、移植医療学

担当科目

・小児の健康と疾患：看護学科２年、前期３時間、必修
・子どもの保健: 健康保育学科１年, 前期２２．５時間, 必修
・新生児・乳幼児学: 助産学専攻１年, 前期６時間, 必修
・健康科学Ⅰ（健康・医療論）：健康科学部１年、前期１．５時間、必修（健康保育学科、地域福祉学科）、選択（看護学科）
・健康科学Ⅲ（基礎病態学）：健康科学部１年、前期３時間、必修（健康保育学科、地域福祉学科）、選択（看護学科）
・健康科学Ⅳ（病気の治療）：健康科学部１年、前期１．５時間、必修（健康保育学科、地域福祉学科）、選択（看護学科）
・病弱児の心理・生理・病理：健康保育学科２年、後期１３．５時間、必修
・重度・重複障害者教育総論：健康保育学科３年、後期３時間、必修（特別支援学校教諭養成課程履修生必修科目）
・実地体験実習：健康保育学科３年、シュミレーション実習、後期７．５時間（１．５時間、５回）必修

その他の教育活動

1)本学における活動
・副学長
・理事（総務担当）
・理事会・経営審議会・教育研究審議会委員
・大学経営戦略室
・教員選考・評価委員会（教員再任委員会）委員
・評価・将来構想委員会委員
・ＦＤ・ＳＤ委員会委員
・ハラスメント等防止委員会委員長
・保健管理センター　センター長
・学生選抜等委員会委員
・研究倫理審査委員会委員
・地域共生推進センター会議
・にいみ子育てカレッジ運営委員会

2)その他
・岡山大学名誉教授、岡山大学医学部特命教授
・岡山大学医学部保健学科講義：看護と病態生理Ⅳ（ＷＥＢ講義　７時間）
・岡山大学医学部医学科臨床コメンテイター：基礎病態演習（ＷＥＢ　３時間）
・ノートルダム清心女子大学研究倫理審査委員会外部委員

研究活動

学術論文

1)Masako Niinuma, Megumi Oda : Awareness regarding caring for sick children in childcare majors. Journal of Preventive Medicine, 15(3), 54-57, 2021.
2)Yoshihiro Takahashi, Tatsutoshi Nakahata, Megumi Oda, 他２１名: JACLS ALL-02 SR protocol reduced-intensity chemotherapy produces excellent outcomes in patients with low-risk childhood acute lymphoblastic leukemia. Inter Journal of Hematology,doi.org/10.1007/s12185-022-03315-x.Published on line:08 March 2022.

外部資金獲得状況

1)平成２８年度～令和３年度、国立研究開発法人日本医療研究開発機構　新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業「ワクチンの実地使用下における有効性、安全性及びその投与方法に関する基礎的・臨床的研究」（研究開発協力者）：小田　慈
2)令和２年度～、国立研究開発法人日本医療研究開発機構　革新的がん医療実用化研究事業「小児およびAYA世代の横紋筋肉腫およびユーイング肉腫患者に対するリスク層別化臨床試験実施による標準的治療法の開発」（研究開発協力者）：小田　慈
3)令和２年度～、国立研究開発法人日本医療研究開発機構　革新的がん医療実用化研究事業「小児急性リンパ性白血病に対する標準的治療法の確立：フォローアップ課題」（研究開発協力者）：小田　慈

社会的活動

講演・研修会

1)小田　慈：子育て支援活動（談話）、BABY すくぅーる．新見市役所健康づくり課（４回）
2)小田　慈：子育て支援活動（談話）子育てサロン（１０回）、教育従事者対象医療講習会（２回）．井原市、井原市民病院、毎月１回（一部ＷＥＢ）
3)小田　慈：子育て支援活動（談話）、にっこりサロン“ヘルス編”．鳥取県日南町子育て支援センター、毎月１回（一部ＷＥＢ、あるいはコロナ禍のため中止）
4)小田　慈：保育サポーター養成講座．子どもの身体の発達と病気（その１、その２）．新見公立大学
5)にいみ子育てカレッジ（談話）、ハートフルサロン．にこたん（新見公立大学内）（コロナ禍のため２回）
6)小田　慈：講演　卓話：「アメリカとの付き合い－半世紀」、岡山中央ロータリークラブ、岡山、2022.3.11.

役職

1)日本小児科学会　専門医、指導医、名誉会員
2)日本小児保健協会　編集委員会委員、前理事、前岡山県支部長
3)日本小児血液・がん学会　名誉会員、小児血液・がん暫定指導医
4)日本小児感染症学会　名誉会員
5)日本血液学会　専門医、指導医
6)日本造血・免疫細胞療法学会　功労会員
7)日本感染症学会　ＩＣＤ制度協議会インフェクションコントロールドクター
8)日本がん治療認定医機構　暫定教育医
9)日本小児白血病研究会（JACLS）名誉会員
10)日本小児白血病・リンパ腫治療研究グループ(JPLSG)名誉会員
11)日本小児がん研究グループ(JCCG)設立メンバー、監査委員会委員（相談役）
12)特定非営利活動法人　日本クリニクラウン協会　理事
13)岡山県社会福祉審議会　委員、職務代理者
14)岡山県社会福祉審議会児童福祉専門分科会　委員長
15)岡山県難病対策委員会　委員
16)岡山県感染症対策委員会　委員
17)岡山市予防接種健康被害調査委員会　委員
18)岡山県診療報酬請求書審査委員会　委員(2021 年 5 月まで)
19)岡山県・岡山市・倉敷市小児慢性特定疾病審査委員会　委員長

1）健康保育学科

学科長・教授　岡本直行

教育活動

専門分野

美術，造形表現，図画工作

担当科目

・美術：健康科学部共通科目，前期 30 時間，選択，履修者 13 人
・にいみ地域協同演習：健康科学部共通科目，前期 30 時間，選択，履修者 66 人
・にいみの保健医療福祉：健康科学部共通科目，後期 30 時間，必修，
・基礎ゼミ：健康保育学科 1 年，前期 30 時間，必修
・図画工作Ⅰ：健康保育学科 1 年，通年 30 時間，必修
・図画工作Ⅱ：健康保育学科 2 年，通年 30 時間，必修
・卒業研究Ⅰ:健康保育学科3年，前期30時間，必修
・卒業研究Ⅱ:健康保育学科3年，後期30時間，必修

その他の教育活動

1)本学における活動
・評価・将来構想委員会　委員
・健康保育学科長
・部局会議　委員
・教育支援センター　委員
・教育・保育実習運営委員会　委員
・ハラスメント等防止委員会　委員
・入試課題検討委員会　委員
・入試委員会　委員
・学生選抜等委員会　委員
・美術部　顧問
・保育実習巡回指導

2)高校訪問等
・岡山県内高校を 6 校訪問，2021.11.9.
・愛媛県内高校を 4 校訪問，2021.11.19.

研究活動

学術論文（論文，演奏，作品による発表）

学術論文

1）上山　和子，岡本　直行，金山　時恵，松本百合美，芝崎　美和，山本　智恵子，井上信次，斎藤　健司，COBID-19 による新しい生活様式とマスク着用による心身への影響の実態調査(その 1)－新しい生活様式に対する学生の認識の変化―．新見公立大学紀要 42(1)，67-72，2021.
2）上山　和子，岡本　直行，金山　時恵，松本百合美，芝崎　美和，山本　智恵子，井上信次，斎藤　健司，COBID-19 による新しい生活様式とマスク着用による心身への影響の実態調査(その 2)－新しい生活様式に対する学生の認識の変化―．新見公立大学紀要 42(2)，43-48，2021.

作品

1)岡本直行：旅立（53×15×12・ポリエステル樹脂）．選抜，　広島日展小品展，福屋八丁堀本店 7 階画廊，2021.4.22-4.28.
2)岡本直行：まるいかたち（32×30×28・石膏）．かたち展 2021，銀工房しろがねや（今治市），2021.8.15-9.11.
3)岡本直行：まるいかたちⅡ（25×25×25・石膏）．かたち展 2021，銀工房しろがねや（今治市），2021.8.15-9.11.
4)岡本直行：まるいかたちⅢ（30×30×10・石膏，木）．かたち展 2021，銀工房しろがねや（今治市），　2021.8.15-9.11.
5)岡本直行：かたちの重（40×15×10・石膏）．かたち展 2021，銀工房しろがねや（今治市），2021.8.15-9.11.
6)岡本直行：かたちの連（120×40×40・ポリエステル樹脂）．選抜，　第 33 回広島日展会展，広島県立美術館（広島市），2021.10.5-10.10.
7)岡本直行：陰と陽Ⅲ（110×20×20・ポリエステル樹脂）．選抜，　第 17 回広島日展会総合小品展，美術館あーとあい・さき（三次市），2021.11.14-12.19.

学会発表

1)岡本直行：野外彫刻を対象とした鑑賞教育について 4．令和 3 年度広島日展会研究会，広島県立美術館，2022.3.6.

社会的活動

講演・研修会

1) ノートルダム清心女子大学児童学科特別講演「舞台装置製作の素材と技術について」ノートルダム清心女子大学（岡山市），2021.7.20.
2) かたち展 2021 対談「立体表現の魅力とは」，銀工房しろがねや（今治市），2021.8.15-8.16.
3) ノートルダム清心女子大学音楽研究室特別講演「クリマスコンサートに向けての大道具制作指導」，ノートルダム清心女子大学（岡山市），2021.11.26.
4) 子どもの描画に関する研修「キットパスを用いた描画活動」，新見保育所（新見市），2022.3.15, 2022.3.22.

役職

1) 日展　会友
2) 広島日展会　会員
3) 新見市文化財保護審議会　委員
4) 新見市産業振興会　委員
5) 中・四国保育士養成協議会　委員
6) 西日本公立大学保育士養成所長会議　委員
7) 岡山県保育養成協議会　理事
8) 新見市雇用対策協議会委員会　委員
9) 新見美術館に関する懇話会　委員

その他

1) 新見市文化財保護審議会会議
2021.7.13.　2022.1.26.
新見市教育委員会生涯学習課
2) 新見美術館に関する懇話会
2021.10.1.　2021.10.21.　2021.11.2.
新見市建設部建設課

教授　斎藤健司

教育活動

専門分野

保育内容「環境」, 生化学

担当科目

・保育内容「環境」: 健康保育学科 1 年, 後期 30 時間, 必修
・保育内容「環境」の指導法: 健康保育学科 2 年, 前期 30 時間, 必修
・生活: 健康保育学科 1 年, 後期 10 時間, 選択, 19 人
・自然科学 I: 共通科目, 前期 10 時間, 選択, 36 人
・自然科学 II: 共通科目, 後期 10 時間, 選択, 84 人
・生命活動と代謝: 看護学科 1 年, 後期 30 時間, 必修

その他の教育活動

1)本学における活動
・理事（教育・研究担当）
・学生部　部長
・経営審議会　委員
・教育研究審議会　委員
・評価・将来構想委員会　委員
・評価・将来構想委員会内部質保証部会　部会長
・評価・将来構想委員会教学マネジメント部会　委員
・評価・将来構想委員会大学院改組部会　部会長
・学生選抜等委員会　委員長
・入試課題検討委員会　委員長
・入試委員会　委員
・教務委員会　委員
・学生生活支援センター会議　委員
・キャリア支援センター会議　委員
・教育・保育実習連絡協議会　委員
・教員選考委員会　委員
・再任審査委員会　委員
・ハラスメント等防止委員会　委員
・障害者差別解消の推進　総括監督責任者
・個人情報保護委員会　委員
・個人情報保護　副管理者
・特定個人情報　監査責任者
・奨学基金審査委員会　委員
・ふるさと育英奨学金審査委員会　委員長
・災害対策本部　副本部長
・新型インフルエンザ等発生による休講等の学内対策委員会　委員
・自動車事故等処理審査会　委員
・業者等指名審査委員会　委員
・財産管理補助者
・施設管理者　学生会館、部室
・学生会館管理運営委員会　委員長
・海外派遣研修学生選考会　委員
・後援会　理事
・課外活動顧問　バスケットボール部
・課外活動顧問　スキー部
・課外活動顧問　華道部

2)その他
・大学教育質保証・評価センター主催「大学機関別認証評価実務説明会」, 2021.6.14. オンライン会議
・公立大学協会主催「令和３年度入学者選抜に関する協議会」, 2021.6.30. オンライン会議

研究活動

著書

1) 高内正子, 上中修, 斎藤健司, 他 39 人 : 保育実践に生かす保育内容「環境」. 分担執筆（第 10 章 4 節担当), 上中　修編, 教育情報出版社, 大阪, 2021.

学術論文

1) 上山 和子, 岡本 直行, 金山 時恵, 松本 百合美, 芝﨑 美和, 山本 智恵子, 井上 信次, 斎藤健司, COVID-19 による新しい生活様式とマスク着用による心身への影響の実態調査（その 1）―新しい生活様式に対する学生の認識の変化―. 新見公立大学紀要 42(1), 55-60, 2021.
2) 郷木 義子, 斎藤健司, 養護教諭の実践能力を高めるための学習展開 (1) ―学校環境測定演習を通して―. 新見公立大学紀要 42(1), 67-72, 2021.
3) 上山 和子, 岡本 直行, 金山 時恵, 松本 百合美, 芝﨑 美和, 山本 智恵子, 井上 信次, 斎藤健司, COVID-19 による新しい生活様式とマスク着用による心身への影響の実態調査

（その２）―マスク着用中の生理的変化の測定―. 新見公立大学紀要 42(2), 43-48, 2022.

社会的活動

役職

1)岡山・産学官連携推進会議　幹事
2)岡山県立新見高等学校 学校評議員
3)岡山県立新見高等学校 学校関係者評価委員
4)岡山県立新見高等学校 教科用図書選定委員
5)岡山大学医学部分子医化学同門会 会長
6)明日の新見高校を考える会 委員
7)大学連携事業推進会議 委員

その他

1)交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2021.4.14, 2021.9.24.

教授　松本好生

教育活動

専門分野

医療福祉学, 発達障害学, 発達心理学, 臨床心理学, 障害児保育, 重度・重複障害学, 特別支援教育学, インクルーシブ教育, 知的障害学, 肢体不自由者の心理学, 病弱者の心理学

担当科目

・知的障害者の心理・生理・病理：健康保育学科 2 年, 前期 16 時間, 選択, 履修者数 56 人
・肢体不自由者の心理・生理・病理：健康保育学科 2 年, 後期 20 時間, 選択, 履修者数 56 人
・病弱者の心理・生理・病理：健康保育学科 2 年, 後期 12 時間, 選択, 履修者数 56 人
・重度・重複障害者教育総論：健康保育学科 3 年, 後期 26 時間, 必修
・発達障害者教育総論：健康保育学科 3 年, 後期 14 時間, 必修
・特別支援教育実習指導: 健康保育学科 3 年, 前期 30 時間, 選択, 履修者数 42 人
・基礎ゼミナールB: 健康保育学科 1 年, 通年 30 時間, 必修, 履修者数 4 人
・卒業研究Ⅰ: 健康保育学科3年, 前期30時間, 必修, 履修者数 3 人
・卒業研究Ⅱ: 健康保育学科 3 年, 後期 30 時間, 必修, 履修者数 3 人

その他の教育活動

1) 本学における活動

・教育推進委員会　委員
・職員代表者委員会　委員
・実習運営委員会　委員

2) 岡山県における活動

・大学コンソーシアム岡山　障がい学生支援委員会　委員
・岡山県保養協養護実習委員会　委員
・岡山県教育保育実習連絡協議会　委員
・岡山県教育保育実習運営協議会　委員
・岡山県養護実習委員会　委員

3) 高等学校訪問

①高等学校訪問

・岡山県立瀬戸高等学校, 2021.11.12.（対面）
・岡山県立和気閑谷高等学校, 2021.11.12.（対面）

②高等学校進路指導室電話訪問

・長野県内の高校(6 校), 2021.11.9.（電話）
・岐阜県内の高校(3 校), 2021.11.9.（電話）

4) 高校進学ガイダンス

・岡山県立高梁高等学校　2021.6.10.（WEB）
・岡山県立新見高等学校　2021.9.17.（WEB）

5) その他

・環太平洋大学 IPU 次世代教育学部こども発達学科 2 年（障害児保育）前期・講義(30 時間)
・環太平洋大学 IPU 次世代教育学部教育経営学科 3 年（特別支援教育論B）後期・講義(30 時間)
・環太平洋大学 IPU 次世代教育学部こども発達学科 3 年（特別支援教育論B）後期・講義(30 時間)

研究活動

著書

1) 小池将文・内田富美江・森　繁樹（監修）松本好生：第 5 章　認知症による生活障害、心理・行動の特徴と支援の基本（分担執筆.34 ページ）, 実務者研修テキスト 7 ,老年期の疾病と認知症・障害の理解(全 505 ページ), 196-230, 2022 年 2 月 17 日.

2)小池将文・内田富美江・森　繁樹（監修）　松本好生：第 6 章　認知症とは（分担執筆：50 ページ）, 心理・行動の特徴と支援の基本, 実務者研修テキスト 7, 老年期の疾病と認知症・障害の理解（全 505 ページ）, 230-280, 2022 年 2 月 17 日.

外部資金獲得状況

1) 科学研究費助成事業･基盤研究（C）課題番号 95303-061-08020-0001 研究課題名「新型コロナウィルスが知的障害者施設にもたらした影響の学際的及び国際的研究」研究代表者:末光　茂 研究分担者：松本好生　他, 2021.

社会的活動

講演・研修会

1) 松本好生:発達障害者自身に対するアンガーマネジメント, 岡山市放課後児童クラブ発達障害児対応専門研修会.
2) 松本好生:支援者自身に対するアンガーマネジメント, 岡山市放課後児童クラブ発達障害児対応専門研修会.
3) 松本好生：落ち着のない子どもの支援のための「裏技・うらわざ」,にいみ子育てカレッジ, 2021 年度子育て支援者に対する研修（領域別：発達障害）.

役職

1) 中国四国心理学会　理事
2) 学校法人旭川荘　評議員

特任教授　髙月教恵

教育活動

専門分野

保育学，幼児教育学

担当科目

・保育原理：健康保育学科1年，前期30時間，必修，53人
・保育・教育課程論:健康保育学科 2 年，前期 30 時間，必修，56人
・教育学総論：健康保育学科2年，前期14時間，必修，履修者56人
・保育実習指導Ⅰ：健康保育学科 2 年，前期 30 時間，必修，履修者56人
・保育実習Ⅰ:健康保育学科2年，前期90時間，必修，履修者56人
・保育内容総論:健康保育学科1年，後期16時間，必修，53人
・保育実習指導Ⅱ:健康保育学科2年，後期30時間，選択，55人
・保育実習Ⅱ：健康保育学科 2 年，後期 90 時間，選択，55人
・乳児保育Ⅱ：健康保育学科1年，後期30時間，必修，53人
・幼児理解の理論及び方法：健康保育学科 2 年，後期10時間，必修，56人
・卒業研究Ⅰ:健康保育学科3年，前期30時間，必修，3人
・卒業研究Ⅱ:健康保育学科3年，後期30時間，必修，3人

その他の教育活動

1)本学における活動
・教育支援センター長
・評価・将来構想委員会委員
・保育・教育実習運営委員会委員
2)その他
・ノートルダム清心女子大学特別講義「教師論―モンテッソーリ教育の理論と実際」(4時間)

研究活動

学会発表

1)髙月教恵：戦後の教育課程の変遷(2)－昭和30年代の奈良女子大学附属幼稚園を中心に一，第74回日本保育学会，富山大学，2021.5.15（オンライン）.

外部資金獲得状況

1)令和2年度～令和4年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤 C)研究課題「戦後の「若竹の園」にみる幼保一体化カリキュラム・保育実践に関する歴史的研究」，課題番号 20K02432，研究代表者：髙月教恵

その他

1)髙月教恵，上田博文，太田好江，小藤信子，清水里香他 80 名：新見市保育・教育カリキュラム，新見市・新見市教育委員会，1-2（単）・17－111(共)，2021.3.

社会的活動

講演

1)髙月教恵：新見市保育・教育カリキュラムについて，新見市保育協議会・新見公立大学健康保育学科合同研修会，新見公立大学，2021.4.28.
2)髙月教恵：新見市保育・教育カリキュラムの活用について，新見市教育委員会幼児教育研修会，新見市役所，2021.11.4.
3)髙月教恵：講評．子どもの“やってみたい”“またしたい”“もっとしたい”を育む環境を考える，第1回公開研究会，福山市立大学附属こども園，2021.11.19
4)髙月教恵:子どもの姿をとらえるカリキュラム，広島県教育委員会乳幼児教育支援センター，広島県福山庁舎（オンライン），2022.2.10.

研修・研究会指導

1)髙月教恵：新見市保育・教育カリキュラム0歳児，新見市こども園・保育所・健康保育学科合同研修会，新見公立大学，2021.7.21.
2)岡本直行，髙月教恵，入江慶太，小藤信子:教育支援センターについて，島根県立大学・新見公立大学合同研修会，新見公立大学，2021.11.5.
3)髙月教恵：新見市保育・教育カリキュラムについて，園内研修，新見市立新見保育所，2021.12.2.

4) 髙月教惠：コメント･助言.「遊び　学び　育つ　ひろしまっ子！」推進プラン（第2期），広島県・広島県教育委員会，2022.3.

役職

1)にいみ子育てカレッジ運営委員会委員
2)岡山県保育実習委員会委員
3)広島県教育委員会乳幼児教育支援センター　アドバイザリーボード委員
4)社会福祉法人「若竹の園」(倉敷市)理事
5) 日本保育学会第74回大会口頭発表座長（保育思想・保育理論・保育史）

教授　梶本　佳照

教育活動

専門分野

教育工学，生活科，教育学

担当科目

・基礎ゼミナールB：健康保育学科1年，通年30時間，必修，3人
・自然科学Ⅰ：教養科目，前期10時間，選択，36人
・ICTリテラシーⅠ：健康保育学科1年，前期30時間，必修，53人
・ICTリテラシーⅠ：看護学科1年，前期30時間，必修，84人
・ICTリテラシーⅠ：地域福祉学科1年，前期30時間，必修，59人
・ICTリテラシーⅡ；全学科1年，後期30時間，選択，10人
・生活：健康保育学科1年，後期20時間，選択，19人
・教育方法・技術論：健康保育学科3年，前期30時間，必修，
・教育方法・技術論：看護学科養護教諭養成課程3年，前期30時間，必修，46人
・卒業研究Ⅰ：健康保育学科3年，前期30時間，必修
・卒業研究Ⅱ：健康保育学科3年，後期30時間，必修

その他の教育活動

1）本学における活動
・広報委員会　部長
・総合情報基盤センター　長
・IR委員会　長
・情報システム委員会　長
・入試委員会　委員
・評価・将来構想委員会　委員
・公立大学法人新見公立大学教育研究審議会　委員

2）高校訪問
・兵庫県内の高校(2校電話訪問)，2021.12.3.
・兵庫県内の高校(2校電話訪問)，2021.12.9.

3）その他
・次期SINETに係る参加５大学との意見交換会，2021.5.11，6,11，12.2,
・環太平洋大学次世代教育学部教育経営学科自然の理解講義（30時間）
・学長配分経費研究ハイブリッド型授業プロジェクトミーティング，2021.10.7，10.21，11.4，1.20，1.28，2.18，3.10，3.23，3.30.

研究活動

著書

1)平井総一郎編著，梶本佳照　他計32人：GIGAスクール構想で進化する学校､取り残される学校，教育開発研究所，249-256，2021.
2)梶本佳照　他計8人：「GIGAスクール」を失敗させないー過剰な制限を見直し、より効果的な利用につなげるー，教職研修，21-23，2021.

動画教育教材

1)梶本佳照：ネット社会の歩き方動画教材，一人で悩まず助けを求めよう，一般社団法人　日本教育情報化振興会，2021

学術論文

1)梶本佳照：話し合いを家庭での課題としたハイブリッド型授業の提案ー文字によるチャット形式によるグループ内での意見交換の取り組みー，新見公立大学紀要.42(2)，63-68，　2022.

その他

1)梶本佳照，吉田美穂，中川彩見，柳迫三寛:「対面授業」と「遠隔・オンライン教育」との「ハイブリッド授業」の事例研究. 2021年度学長配分研究費

社会的活動

講演・研修会

1）第46回全日本教育工学研究協議会全国大会大阪大会研究発表座長，2021.11.19，20.
2）第46回全日本教育工学研究協議会全国大会大阪大会閉会式司会，2021.11.19.20
3）榎本竜二，高橋邦夫，梶本佳照，他2名:ネット社会の歩き方情報モラルセミナー.第47回全日本教育工学研究協議会全国大会．大阪教育大学，2021.11.20.
4）文部科学省委託「ICT活用教育アドバイザー事業：GIGAスクール構想の全体像や最新の動向

（海南市教育委員会），2021.12.6

役職

1)日本教育工学協会(JAET)理事
2)第 46 回全日本教育工学研究協議会全国大会大阪大会企画委員
3)学校情報化認定委員会委員(日本教育工学協会)
4)ICT 活用教育アドバイザー（文部科学省）
5)「ネット社会の歩き方」情報モラルセミナー」検討委員会委員（一般財団法人日本教育情報振興会)
6)新見市報道委員

准教授　八尋茂樹

教育活動

専門分野

社会福祉学(児童家庭福祉,教育福祉)

担当科目

・社会福祉:健康保育学科1年，前期30時間，必修
・社会的養護Ⅰ:健康保育学科1年，後期30時間，必修
・子育て支援:健康保育学科3年，後期30時間，必修
・保育実習Ⅰ(施設):健康保育学科3年，前期90時間，必修
・保育実習Ⅲ:健康保育学科3年，前期90時間，選択必修，1人
・保育実習指導Ⅰ:健康保育学科3年，前期90時間，必修
・保育実習指導Ⅲ:健康保育学科3年，前期90時間，選択必修，1人
・卒業研究Ⅰ:健康保育学科3年，前期15時間，必修　3人
・卒業研究Ⅱ:健康保育学科3年，後期15時間，必修　3人
・基礎ゼミナールB:健康保育学科1年，通年30時間，必修　4人
・地域防災論:健康保育学科2年（必修），地域福祉学科2年（必修），看護学科2年（選択），集中30時間，154人
・地域防災演習:健康保育学科2年（必修），地域福祉学科2年（必修），看護学科2年（選択），集中15時間，152人

その他の教育活動

1)　本学における活動
・広報委員会　委員
・保健管理センター　委員
・教育支援センター　委員
・研究倫理審査委員会　委員
・健康保育学科卒業研究　委員
・軟式野球部　顧問
・ドラムサークル・サークル　顧問

2)高校訪問
・広島県内の高校(4校訪問)，2021.11.21.
・静岡県内の高校(2校訪問)，2021.10.16.
・進学ガイダンス，山陽新聞進学ガイダンス，ママカリフォーラム，2021.4.18.
・進学ガイダンス，山口県立光高校ガイダンス(WEB開催)，2021.10.28.
・進学ガイダンス，高大接続フェア，倉敷高校，2021.12.1.

3)その他
・新見公立大学軟式野球部大会引率（Mizuno CUP SS AUTUMN HEROES 2021，美作市勝田総合運動公園)，2021.11.13-11.14.
・新見公立大学軟式野球部大会引率（Mizuno CUP SS SPRING HEROES 2022，美作市英田トレーニングセンター野球場)，2022.3.7-3.8.

研究活動

学術論文

1)Shigeki YAHIRO, Dustin KIDD: The Trends of Composition Content of Publications as Seen through an Analysis of Title of Books Published in Japan Regarding *Hikikomori* (Withdrawal from Society): The Relationship between *Hikikomori* and *Futoukou* (School Non-Attendance)，日本国内で出版されたひきこもりに関する書籍タイトルの分析からみた書籍の内容の傾向：ひきこもりと不登校の関係性. 新見公立大学紀要，42，73-80，2021.

2)八尋茂樹：新見市令和元年9月集中豪雨災害における局所災害支援活動報告：大学ゼミ研究室の災害時における地域貢献方略に向けて(3). 新見公立大学紀要，42，103-107，2021.

3)Dustin KIDD, Shigeki YAHIRO: A Memorandum Regarding the State of Support for Day Care Centers Following a Heavy Rainfall Disaster(2)，保育所への豪雨災害後の支援の在り方についての覚書(2). 島根県立大学松江キャンパス研究紀要，61，109-116，2022.

4)八尋茂樹，李鵬飛訳：游戏论・他山之石　宫泽贤治与《理想乡物语》：文学、幻想、治愈. 澎湃新闻(WEB版)，2022.

その他

・学長配分研究費

1)　八尋茂樹：本学保育学生と高校生の協働による障害児者福祉の学び.2021.

社会的活動

講演・研修会

1)八尋茂樹, 松久拓未: 不登校児童支援団体・にいみのすみっこ相談業務, 岡山県備北県民局新見支所, 2021.4.1-2022.3.31(5回).

役職

1)岡山県保育養成協議会養護実習委員会　委員
2)岡山県健康の森支援学校評議員　学校評議委員
3)新見市思春期心の健康相談員
4)新見市不登校・ひきこもり者地域支援会委員
5)新見市不登校・ひきこもり者支援団体顧問
6)大学コンソーシアム岡山地域貢献委員会 委員

その他

・社会貢献活動

1)不登校児童・ひきこもり青年・非行少年家庭支援(新見市, 岡山市, 総社市, 高梁市, 藤枝市(WEB), 浜松市(WEB), 豊橋市(WEB), 21回)
2)思春期の心の健康相談, 岡山県備北県民局新見支所, 2021.4.1-2022.3.31.(5回)
3)令和元年新見市集中豪雨災害支援活動, 2021.4.1-2022.3.31.(52回)
4)東日本大震災震災遺児・孤児支援活動(笑顔の連鎖・チャリティ活動), 西方公民館他, 2021.4.1-2022.3.31.(5回).
5)平成30年倉敷市真備町豪雨災害支援用ラバーバンドおよびステッカー(ロックバンドELLEGARDEN高橋宏貴とのコラボ)作成・配布活動, 2021.4.1-2022.3.31.
6)令和元年新見市豪雨災害支援用ラバーバンド(株式会社岩下食品・岩下の新生姜とのコラボ)作成・配布活動, 2021.4.1-2022.3.31.
7)東日本大震災風化防止活動(ISHINOMAKI BUCHI ROCKとのコラボ), 2021.8.15-9.30.
8)北海道飲食店新型コロナウィルス感染症対策支援活動・ISARIBI HOKKAIDO, 2021.6.18-8.1.
9)令和元年新見市豪雨災害支援用ラバーバンドおよびステッカー(松竹芸能・チキチキジョニーとのコラボ)作成・配布活動, 2021.4.1-2022.3.31.
10)#サポウィズ熊本県豪雨災害支援寄付活動(MAN WITH A MISSIONとのコラボ・災害用ヤッケ作成・配布活動), 2021.4.1-2022.3.31.
11)令和2年7月熊本豪雨災害支援活動, 2021.4.10-4.15.
12)令和元年新見市豪雨災害支援用ラバーバンド(広島県立廿日市高等学校とのコラボ)作成・配布活動, 2021.4.1-2022.3.31.
13)宮城県石巻市での新見市豪雨災害支援募金活動(珈琲工房いしかわとのコラボ), 宮城県石巻市北村字小崎一, 2021.4.1-2022.3.31.
14)石井麻木SAVE THE LIVEHOUSE新型コロナウィルス感染症対策飲食関連事業支援活動(写真家石井麻木とのコラボ), 2021.4.1-11.1.
15)石井麻木写真展 3.11からの手紙, 音の声, 復興ブース, 道の駅なみえ, 2022.3.6-3.13.
16)石井麻木写真展 3.11からの手紙, 音の声, SONG OF THE EARTH FUKUSHIMA ３１１復興ブース, Ｊヴィレッジ, 2022.3.11.
17)新見市飲食店新型コロナウィルス感染症対策支援活動(名代中華そば山金とのコラボ), 2022.3.20.
18)東京都飲食店新型コロナウィルス感染症対策支援活動(アーノルドフジタカムラとのコラボ), 千葉フルルガーデン八千代, 西船橋ペリエ, 新船橋イオン, 2021.10.25-10.26.
19)大阪府飲食店新型コロナウィルス感染症対策支援活動(大阪喫茶部とのコラボ), 大阪梅田, 2021.4.1-2022.3.31.
20) 天王山冬まつり駄菓子屋ブース運営, 静岡県島田市川根町, 2021.12.19.
21)ウクライナ応援活動・STAND WITH UKRAINE, 2022.3.6-3.15.
22)障害児者交流活動(缶バッジ制作ワークショップ), 放課後等デイサービス・ホハル, 小田郡矢掛町, 2021.11.11.
23)岡山児童文化継承活動, 坪井商店, 岡山市東区, 2021.11.20.
24) トンガ大洋州噴火津波救援活動(募金活動及び日本赤十字社寄付),2022.1.16-2022.1.20.
25)新見市病児病後児保育室たんぽぽ寄付活動(白米30kg寄付), 2021.4.1-2022.3.31.
26) 若者の投票率向上のための選挙啓発支援活動(WEB), 2021.10.18-10.20.

・メディア出演・掲載

1) BEAKのドタバタ8ビート!!, FMふくろう, 2021.11.23放送.

准教授　芝﨑　美和

教育活動

専門分野

発達心理学, 教育心理学, 幼児心理学

担当科目

・保育の心理学: 健康保育学科 1 年, 前期 30 時間, 必修
・子ども教育心理学: 健康保育学科 2 年, 前期 30 時間, 必修
・子ども家庭支援の心理学: 健康保育学科 1 年, 後期 8 時間, 必修
・保育内容「人間関係」: 健康保育学科 2 年, 必修, 後期 30 時間, 必修
・子ども理解の理論及び方法: 健康保育学科 2 年, 後期 20 時間, 必修
・基礎ゼミナール B: 健康保育学科 1 年, 通年 30 時間, 必修, 履修者数 3 人
・卒業研究 : 健康保育学科 3 年, 通年 30 時間, 必修, 履修者数 4 人

その他の教育活動

1)本学における活動
・副学科長
・入試委員会　委員
・評価・将来構想委員会委員
・評価・将来構想委員会教学マネジメント部会委員
・総合情報基盤センターIR 部門　委員
・発達障がい児支援プロジェクト　委員
・保育実習巡回指導

2)高校訪問
・進学ガイダンス
　笠岡高等学校, 2021.8.4.
・岡山県内の高校（3 校訪問）, 2021.11.26.

3)その他
・発達障がい児支援プロジェクトミーティング, 2021.4.17, 5.22, 11.13, 11.21, 12.5, 12.19, 1.9, 1.30, 2.13, 2.20, 2.27, 3.6, 3.13, 3.20.
・発達障がい児支援プロジェクトミーティング(本郷小学校）, 2021.7.12.

研究活動

著書

1)芝﨑美和 : 第 2 章人間の発達と教育. 外山美樹・湯澤正通（編）, 新・教職課程演習第 5 巻 教育心理学. 協同出版, 28-34, 2021.

2)芝﨑美和 : 第Ⅲ部　子ども理解の理論と方法に基づく援助　第 10 章　「この育ち」と「集団の育ち」に基づく援助 : 子どものつまずき・葛藤. 入江慶太（編）, 新・子ども理解と援助 : その理論と方法. 教育情報出版, 105-114, 2021.

学術論文

1)芝﨑美和・芝﨑良典： 謝罪についての被害者の認知 : 加害者の謝罪に関する情報と被害者のパーソナリティに着目して. 新見公立大学紀要, 42, 23-29, 2021.
2) 福武幸世、芝﨑美和、渡部昌史 : 保育者養成校の学生を対象としたダンス指導の困難さと改善方法-A 大学 1 年生を中心に-. 新見公立大学紀要 42(2)、35-42, 2022.

学会発表

1) 芝﨑美和・芝﨑良典 : 被害者は加害者をいかに認知するか:2 つの謝罪情報の処理に着目して, 日本教育心理学会第 63 回総会（オンライン開催）, 2021.8.21-8.30.
2)芝﨑良典・芝﨑美和 : 休日の座位時間が認知機能に及ぼす影響, 日本教育心理学会第 63 回総会（オンライン開催）, 2021.8.21-8.30.

外部資金獲得状況

1)2017～2022 年度日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究（C））「幼児期の感情コンピテンスを支える文化的要因の検討 : 感情表出機能に着目して」, 研究代表者:芝﨑美和.
2)2020～2023 年度日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究（C））「幼児期の感情コンピテンスを支える環境的要因の検討 : 居場所感の獲得プロセスから」, 研究代表者:芝﨑美和.

その他

1)学長配分助成金「児童期を対象とした SST(ソーシャルスキルトレーニング)プログラムの開発」, 研究代表者 : 芝﨑美和, 研究分担者 : 中川彩見.

社会的活動

講演・研修会

1)芝﨑美和 : 子どもの育ちを支えるもの・守るもの岡山県青少年相談員　新見・高梁地区研修会, 新見市役所, 2021.10.21.

2)芝﨑美和 : 感情にまつわる諸問題 : 感情コンピテンスという見方. にいみ子育てカレッジ専門研修, 新見公立大学, 2021.11.5.

3)芝﨑美和 : 心の発達とその問題. 保育サポーター養成講座, 新見公立大学, 2021.11.16.

4)芝﨑美和 : 今、ことばの力を考える. 新見市立思誠小学校人権教育講演会, 新見市立思誠小学校, 2022.1.18.

准教授　渡部昌史

教育活動

専門分野

身体教育学，発育発達学，体育学

担当科目

・スポーツ実習 A：全学科 1 年対象，後期 30 時間，84 人
・スポーツ実習 B：健康保育学科 1 年，前期 30 時間，必修
・生涯スポーツ論：全学科 1 年対象，前期 15 時間，66 人
・基礎ゼミナール B：健康保育学科 1 年，通年 30 時間，必修
・保育内容「健康」：健康保育学科 1 年，後期 30 時間，必修
・保育内容「健康」指導法：健康保育学科 2 年，前期 30 時間，必修
・卒業研究Ⅰ：健康保育学科3年，前期30時間，必修
・卒業研究Ⅱ：健康保育学科3年，前期30時間，必修

その他の教育活動

2)本学における活動
・修学・キャリア支援センター長
・評価・将来構想委員
・ハラスメント等防止委員会相談員
・大学コンソーシアム岡山就職支援委員会
・オープンキャンパス模擬講義担当
・保育園教育実習巡回指導
・幼稚園教育実習巡回指導
・大学共通テスト試験補助

2)高校訪問
・兵庫県内の高校を 3 校訪問
　2021.11.16.，11.30
・高校生対象 Web 個別面談
　2021.8.11.
・電話による訪問 8 件
　2021.11.8.，11.10

3)その他
・豊岡短期大学通信教育部こども学科教職専門科目「こどもの指導法」7.5 コマ

研究活動

学術論文

1) 渡部昌史，矢嶋裕樹，古田康生，青木謙介，土田豊:保育施設における障害の発生状況の特徴．新見公立大学紀要 42(1)，31-36，2021.
2) Kensaku Sasayama, Masashi Watanabe, Takashi Ogawa：Walking to/from school is strongly associated with physical activity before and after school and whole-day in schoolchildren:A pilot study. Journal of Transport & Health21、Article number 101077, 2021.
3) 渡邊祐三、渡部昌史、髙橋敏之：親子で一緒に身体を動かして遊ぶ頻度と子どもの心身状態との関連．日本幼少児健康教育学会誌 6(2)、121-125，2021.
4) 福武幸世、芝﨑美和、渡部昌史：保育者養成校の学生を対象としたダンス指導の困難さと改善方法-A 大学 1 年生を中心に-．新見公立大学紀要 42(2)、35-42，2022.

学会発表

1) 笹山健作、渡部昌史、小川孝司：徒歩通学時間は始業前、放課後、1 日全体の身体活動量と関連する．日本発育学会第 20 回大会，(開催場所：女子栄養大学)，2022.3.20-21.

社会的活動

講演・研修会

1)岡山県環境文化部スポーツ振興課令和 3 年度
　スポーツ活動奨励事業.
　スポーツ教室「陸上競技」指導者
　新見市立千屋小学校
　第 1 回「短距離」2021.9.2.
　第 2 回「走り幅跳び・ハードル走・その他」
　　2021.10. 11.
2)岡山県環境文化部スポーツ振興課令和 2 年度スポーツ活動奨励事業.
　スポーツ教室「陸上競技」指導者
　新見市立草間台小学校
　第 1 回「短距離」2021.9.30.
　第 2 回「走り幅跳び・ハードル走」2021.10.7.

3) 岡山県環境文化部スポーツ振興課令和 2 年度
スポーツ活動奨励事業.
スポーツ教室「陸上競技」指導者
真庭市立美甘小学校
第 1 回「走りの基本」2021. 9. 28.
4) 岡山県環境文化部スポーツ振興課令和 2 年度
スポーツ活動奨励事業.
スポーツ教室「陸上競技」指導者
高梁市立宇治小学校
第 1 回「走りの基本」2021. 10. 12.

役 職

1)岡山体育学会(日本体育学会岡山地域)理事
2)日本幼児体育学会理事
3)新見市スポーツ推進委員(新見市教育委員会)
4)岡山県陸上競技協会学童部会部員

准教授　広瀬綾子

教育活動

専門分野

教育学, 演劇教育, 身体表現

担当科目

・保育内容「表現」(身体表現): 健康保育学科 1 年, 前期 30 時間, 必修
・保育内容「表現」(身体表現) の指導法: 健康保育学科 1 年, 後期 30 時間, 必修
・基礎ゼミナール B: 健康保育学科 1 年, 通年 30 時間, 必修
・卒業研究 I : 健康保育学科3年, 前期30時間, 必修
・卒業研究Ⅱ: 健康保育学科3年, 後期30時間, 必修
・道徳教育の理論と実践: 看護学科 3 年, 前期 30 時間, 選択
・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法: 看護学科 3 年, 前期 30 時間, 選択

その他の教育活動

1)本学における活動
・教務委員会　委員
・地域共生推進センター　委員
・入試委員会　副主任
・保育実習巡回指導
・幼稚園実習巡回指導
・にいみゆめのぽけっと 2021, 新館講堂, 演劇指導, 2021.12.11

2)高校訪問
・岡山県内の高校(3 校訪問), 2021.10.29.（対面）
・石川県の高校（6 校訪問）, 2021.11.29.（電話）
・進路ガイダンス
　就実高校, 2021.6.3.（対面）
　広島県立御調高校, 2021.9.21.（WEB）

研究活動

学術論文

1) 広瀬綾子 :「総合的な学習の時間」における道徳性の育成 ―東広島市立西条小学校におけるオペラ「白壁の街」と, 小原國芳の『学校劇論』を中心に―. 新見公立大学紀要 42(2), 9-19, 2022.

出演

1）DANCE COLLABORATION vol.18, 兵庫県尼崎青少年創造劇場, 2022.3.26.

外部資金獲得状況

1)2020 年度～2024 年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C)研究課題「ドイツの学校教育における演劇教育の研究」, 課題番号 20K02458, 研究代表者: 広瀬綾子.

その他

1)2021 年度　新見公立大学学長配分研究費「特別支援教育における表現活動に関する研究―岡山県健康の森学園支援学校における弦楽器「バンドーラ」の制作と演奏および新見公立大学学生との交流活動を中心に―」研究代表者: 広瀬綾子, 2021.4.～2022.3.
2)2021 年度　新見公立大学学科長配分研究費「学生たちによる表現発表（劇、歌、楽器演奏、ダンス、リズムあそびなど）および多様な表現方法の獲得に関する研究」研究代表者: 広瀬綾子, 2021.5.～2022.3.

社会的活動

講演・研修会

1) 新見でグラフィック・レコーディング（略称＝グラレコ）を学び活用する会代表（2021.4.～2022.3.）
2) 新見でグラレコを学び活用する会プレ講座（オンライン）, 新見公立大学, 2021.8.22.
3) 岡山県健康の森学園支援学校高等部　バンドーラサークルにおける弦楽器「バンドーラ」制作指導監修, 2021.5.～2022.3.
4) 弦楽器・バンドーラ制作サークル, 制作指導, 京田辺市立中部住民センター, 2021.7.4.
5) 環境学習のための人型ロボット「ロボ木ー」プロジェクト (島根大学, 美作大学, 新見公立大学）, ダンス指導, 2021.9.～2021.11.
6) 岡山県健康の森学園支援学校高等部　バンドーラ制作活動交流会, 2021.11.5.
7) 森のゆうえんち in にいみ 2021（新見市木育普及活動事業（一般社団法人にいみ木のおもちゃの会主催））大会運営, 新見公立大学体育館, 2021.11.7.

8) 「大学と特別支援学校をつなぐバンドーラプロジェクト」ウッドデザイン賞 2021 受賞（JAPAN WOOD DESIGN AWARD 2021：一般社団法人日本ウッドデザイン協会），2021.11.24.
9) 岡山県健康の森学園支援学校高等部　バンドーラサークルにおける「卒業バンドーラコンサート」，演奏指導監修, 2022.3.8.

役職

1)岡山県保育士養成協議会保育士養成研究会 委員

その他

1)「伝え方の選択肢を広げよう―グラレコの会を設立―」（備北民報, 2021 年 4 月 19 日付）
2)「オンライン会議で利点体感：グラレコ学ぶプレ講座」（備北民報, 2021 年 9 月 1 日付）
3)「学びの成果に大きな拍手―保育力向上の表現発表会―」（備北民報, 2021 年 12 月 16 日付）
4)「木のおもちゃの会がウッドデザイン賞：バンドーラプロジェクトなど 3 事業」（備北民報, 2022 年 1 月 7 日付）
5)「手作りバンドーラ演奏―新見公立大学と健康の森学園支援学校―」（備北民報, 2022 年 3 月 10 日付）

准教授　加藤由美

教育活動

専門分野

幼児教育学，保育学，臨床心理学

担当科目

・保育者論：健康保育学科1年，前期8時間，必修，履修者53人
・保育方法論:健康保育学科3年，前期15時間，選択，履修者47人
・教育実習指導:健康保育学科3年，通年15時間，選択，履修者45人
・教育実習:健康保育学科3年，後期180時間，選択，履修者45人
・保育内容総論:健康保育学科1年，後期7時間，必修，履修者53人
・チームアプローチ演習：健康保育学科3年，前期
8時間，必修，履修者46人
・卒業研究Ⅰ・Ⅱ：健康保育学科 3 年，通年 30 時間，必修，履修者4人
・基礎ゼミナールB：健康保育学科1年，通年15時間，必修，履修者4人

その他の教育活動

1)本学における活動
・FD・SD委員会　委員
・修学・キャリア支援センター　委員
・にいみ子育てカレッジ　運営委員
・教育支援センター教育保育実習運営委員会　委員
・保育実習 巡回指導 新見市内の認定こども園(2園訪問)，2021.7.8，11.9.
・教育実習 巡回指導 新見市内の認定こども園 (8園訪問)，2021.10.12，14，15.
・「2021年度幼稚園教育実習の手引」編著

2)高校訪問
・進学ガイダンス，京都府立綾部高等学校 ZOOMガイダンス，2021.6.22.
・電話による訪問9校，2021.11.4，5.
・愛媛県内の高校を3校訪問，2021.11.25.
・進路ガイダンス，兵庫県立相生高等学校，2022.3.17.

3)その他
・九州保健福祉大学社会福祉学部通信教育部「発達心理学」添削指導(通年)

研究活動

著書

1) 加藤由美　他28名：コンパス教育相談．第11章 教師のメンタルヘルス対策と教育相談 2.教師のストレッサーとそのコーピング 3.教師のメンタルヘルス，建帛社，112－117，2022.

学術論文

1) 加藤由美 ・安藤美華代：若手保育者の離職防止に向けて―園長を対象とした質問紙調査から―.保育学研究，59(1)，117―130，2021.

学会発表

1)加藤由美：保育者養成や若手保育者の育成において大切な事―園長へのインタビュー調査から―．日本保育学会第74回大会，オンライン開催，2021.5.15-16.

外部資金獲得状況

1)平成30年度～令和3年度日本学術振興会科学研究費助成事業（基盤研究 C）研究課題「人間関係力を育む保育者養成教育のあり方に関する実践的研究」，課題番号 18K03163，研究代表者：加藤由美，研究分担者： 安藤美華代・住本克彦.

社会的活動

講演・研修会

1)加藤由美：第1回地域子育て支援者カレッジ研修会　地域子育て支援における基本的視点，新見公立大学，2021.6.30.
2)加藤由美：第2回地域子育て支援者カレッジ研修会　各ひろばの紹介―各ひろばの特色や取組みを知り合う―，新見公立大学，2021.9.29.
3)加藤由美：第1回保育サポーター養成講座　保育サポーターとしての心構え，新見公立大学，2021.11.16.
4)加藤由美：第3回地域子育て支援者カレッジ研修会　子育て広場を利用する子育て世代の目線で考えてみよう，新見公立大学，2021.12.1.

5)加藤由美：第4回保育サポーター養成講座　ファミサポの実際と親支援，新見公立大学，2021.12.9.
6)加藤由美：にいみ子育てカレッジ子育て支援者専門研修会　家庭で育む子どもの非認知能力，新見公立大学 2021.12.22.
7)加藤由美：第4回地域子育て支援者カレッジ研修会　1 年間の取り組みを振り返って，新見公立大学，2022.3.16.

役職
1)新見市子ども・子育て会議　委員

その他
1)交通安全街頭査察，西方小学校前交差点，2021.4.6，9.21.

講師　立浪朋子

教育活動

専門分野

特別支援教育, 障害児教育史

担当科目

・基礎ゼミナール B: 健康保育学科 1 年, 通年 30 時間, 必修, 3 人
・特別支援教育総論: 健康保育学科 1 年, 後期 20 時間, 必修
・子ども家庭支援の心理学: 健康保育学科 1 年, 後期 4 時間, 必修
・障害児教育の教育課程および指導法とその歴史: 健康保育学科 2 年, 前期 10 時間, 選択, 56 人
・特別支援教育(幼・保) Ⅰ: 健康保育学科 2 年, 後期 10 時間, 必修
・特別支援教育(幼・保) Ⅱ: 健康保育学科 3 年, 後期 10 時間, 必修
・特別な教育的ニーズの理解とその支援: 健康保育学科 3 年, 前期 16 時間, 必修
・特別支援教育: 看護学科 3 年, 前期 20 時間, 選択, 8 人
・卒業研究 Ⅰ: 健康保育学科 3 年, 前期 30 時間, 必修, 2 人
・卒業研究Ⅱ: 健康保育学科 3 年, 後期 30 時間, 必修, 1 人

その他の教育活動

1)本学における活動

・保健管理センター　委員
・地域共生推進センター　委員
・教育推進委員会　委員
・健康保育学科 1 年　チューター・アドバイザー
・保育実習巡回指導
・NiU 新見駅西サテライト検討部会　委員

2)高校訪問

・兵庫県内の高校(1 校訪問), 2021.11.26.（対面）
・兵庫県内の高校(1 校訪問), 2021.11.8.（電話）
・北海道内の高校(2 校訪問), 2021.11.25.（電話）
・茨城県内の高校(1 校訪問), 2021.11.25.（電話）
・栃木県内の高校(1 校訪問), 2021.11.25.（電話）
・群馬県内の高校(1 校訪問), 2021.11.25.（電話）
・埼玉県内の高校(1 校訪問), 2021.11.25.（電話）
・千葉県内の高校(1 校訪問), 2021.11.29.（電話）
・東京都内の高校(1 校訪問), 2021.11.29.（電話）
・新潟県内の高校(1 校訪問), 2021.11.29.（電話）
・高校ガイダンス
　瀬戸南高校, 2021.11.16.（対面）
　社高校, 2021.12.17.（対面）

研究活動

著書

1)立浪朋子, 他 29 人: 特別支援教育コーディネーターによる支援. コンパス教育相談. 建帛社, 32, 2022.

学術論文

1)立浪朋子 : 戦前期石川県の感化院における実科の特徴とその意義. 福祉心理学研究, 18(1), 83-94, 2021.

外部資金獲得状況

2)令和 2 年度～令和 4 年度日本学術振興会科学研究費助成事業（基盤研究C）研究課題「戦後の保育所「若竹の園」にみる幼保一体化カリキュラム・保育実践に関する歴史的研究」, 課題番号 20K02432, 研究分担者: 立浪朋子.

社会的活動

講演・研修会

1)立浪朋子: 障害教育と戦争―2021 年度にいみ子育てカレッジ子育て支援者に対する研修, 新見公立大学, 2022.1.14.

その他

1)交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2021.9.27.

講師　本渡葵

教育活動

専門分野

国語教育, 国語科教育

担当科目

・基礎ゼミナール: 健康保育学科 1 年, 前期 30 時間, 必修
・ 卒業研究Ⅰ: 健康保育学科 3 年, 前期 30 時間, 必修
・ 卒業研究Ⅱ: 健康保育学科 3 年, 後期 30 時間, 必修
・ 国語表現法B: 健康保育学科1年, 前期30時間, 選択, 47 人
・ 国語表現法C: 地域福祉学科1年, 前期30時間, 選択, 59 人
・ 国語: 健康保育学科 1 年, 前期 10 時間, 選択, 43 人
・保育内容「言葉」: 健康保育学科 1 年, 後期 30 時間, 必修
・保育内容「言葉」の指導法: 健康保育学科 2 年, 前期 30 時間, 必修
・地域防災論: 健康保育学科 2 年（必修）, 地域福祉学科 2 年（必修）, 看護学科 2 年（選択）, 集中 30 時間, 154 人
・地域防災演習: 健康保育学科 2 年（必修）, 地域福祉学科 2 年（必修）, 看護学科 2 年（選択）, 集中 15 時間, 152 人

その他の教育活動

1)本学における活動
・ハラスメント相談員
・野外活動研究部　顧問

2)高校訪問
・ 大分県内の高校(5 校訪問), 2021.11.16.
・ 鹿児島県内の高校(3 校訪問), 2020.11.24.
（以上電話訪問）
・ 愛媛県の高校(3 校訪問), 2021.11.18.
・ 広島県の高校訪問(2 校訪問), 2021.11.30,12.13.

3)その他
・ 広島大学「初等国語科教育法」(30 時間)
・ 長野県松本市立岡田小学校･女鳥羽中学校あさひ分校指導助言
・ 進学 WEB 個別相談, 2021.6.23.

研究活動

著書

1) 難波博孝, 小池陽慈, 本渡葵 他 5 人: 論理力ワークノート　ネクスト（改訂 2 版）. 第一学習社, 2021.
2)難波博孝, 篠崎祐介, 本渡葵, 他 1 人: 論理力ワークノート（改訂 2 版）. 第一学習社, 2021.
3)米田宏樹, 川合紀宗編著, 新･教職課程演習第 6 巻 特別支援教育. 協同出版, 2022.

学術論文

1)本渡葵 : 児童心理治療施設併設校での言葉にかかわる教育–A 校の事例–. 国語科教育研究課題研究報告, 2022.

外部資金獲得状況

1)令和 3 年度～令和 5 年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C)研究課題「児童心理治療施設併設校の国語科教育カリキュラム開発に向けた基礎研究」, 課題番号 21K02607, 研究代表者: 本渡葵.
2)令和 3 年度～令和 5 年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 B)研究課題「小学校国語科におけるデジタル端末で「深く読む」ための調査・実践研究」, 課題番号 21H00866, 研究代表者: 難波博孝.
3)令和 3 年度～令和 5 年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C)研究課題「論理を教える国語の先生をどう育てるか : 国語科教育学研究者によるセルフスタディ」, 課題番号 21K02456, 研究代表者: 幸坂健太郎.

その他

1) こころもち学習ネットワーク: デジタル化する学校教育を生き抜くために, 広島大学教育学部（ハイブリッド開催）, 2021.5.15.
2) こころもち学習ネットワーク: 「きく」という教授スタイルの提案-「幼小接続期」から展望する- ／ 高校現代文を再起動する-『「国語の時間」と対話する』以後, 広島大学教育学部（ハイブリッド開催）, 2021.8.21.
3) こころもち学習ネットワーク: 2022 年に向け

て、意識と行動の変容をプロデュースする-「スイミー」と「オープンウィンドウ 64」を使ったワークショップ-, 広島大学教育学部（ハイブリッド開催）, 2021.12.18.

講師　竹下可奈子

教育活動

専門分野

音楽学, 幼児音楽教育学

担当科目

・基礎ゼミナールB: 健康保育学科1年, 前期30時間, 必修, 3人
・音楽: 看護学科1年, 前期30時間, 選択, 17人
・音楽Ⅰ（基礎音楽）: 健康保育学科1年, 前期30時間, 必修
・音楽Ⅰ（幼児音楽Ⅰ）: 健康保育学科1年, 通年30時間, 必修
・音楽Ⅰ（幼児音楽Ⅱ）: 健康保育学科2年, 通年30時間, 選択, 57人
・音楽Ⅰ（幼児音楽Ⅲ）: 健康保育学科3年, 通年30時間, 選択, 45人
・卒業研究Ⅰ: 健康保育学科3年, 前期30時間, 必修, 3人
・卒業研究Ⅱ: 健康保育学科3年, 前期30時間, 必修, 3人

その他の教育活動

1)本学における活動

・健康保育学科2年　チューター長
・学生生活支援センター　委員
・入試委員会　委員
・保健管理センター　委員
・吹奏楽部　顧問
・軽音サークル　顧問
・プティ・コンセール, 2021.7.21.
・第62回中・四国学生研究大会, （オンライン）, 歌唱指導
・にいみゆめのぽけっと2021, 実行委員, 2021.12.11.

2)高校訪問

・岡山県内の高校(1校訪問), 2021.11.9.（対面）
・香川県内の高校(2校訪問), 2021.11.16.（対面）
・広島県内の高校(8校訪問), 2021.12.6., 12.17.（電話）
・進学ガイダンス
　井原高等学校, 2021.4.28.

社会的活動

講演・研修会

1)竹下可奈子: 楽器の奏法とアンサンブル. 子育て支援者研修, 新見公立大学多目的ホール, 2021.12.8.

その他

1)リズム遊びだ！1・2・3. 子育て広場にこたん, 新見公立大学リズム教室, 2021. 4.16., 5.14., 7.16., 8.20., 10.15., 11.12., 12.17., 2022.1.21., 3.18.
2)交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2021.4.9, 9.21.

講師　久恒拓也

教育活動

専門分野

教育学, 教育史, 教師教育

担当科目

・基礎ゼミナール: 健康保育学科 1 年, 通年 30 時間, 必修, 3 人
・教育原理: 看護学科 3 年, 前期 30 時間, 必修
・教育学: 共通, 後期 30 時間, 選択
・教職基礎論: 看護学科 1 年, 後期 30 時間, 必修
・ 卒業研究Ⅰ: 健康保育学科 3 年, 前期 30 時間, 必修, 3 人
・ 卒業研究Ⅱ: 健康保育学科 3 年, 後期 30 時間, 必修, 3 人

その他の教育活動

1)本学における活動
・修学・キャリア支援センター　センター員
・総合情報基盤センター広報部門　委員
・総合情報基盤センター情報システム部門　委員
・保育実習巡回指導
・教育実習巡回指導

2)高校訪問
・愛媛県の高校(2 校訪問), 2021.11.30.（対面）
・山口県の高校(4 校訪問), 2021.11.15, 11.25.（電話）

研究活動

学術論文

1)久恒拓也 : 「保育原理」テキストの教授内容に関する考察－保幼小連携の取り扱いの分析から－. 新見公立大学紀要, 42(1), 81-87, 2021.
2)久恒拓也: 戦後保育雑誌における健康保育の思想に関する考察－昭和 20 年代『幼児の教育』誌の連載「幼児の健康保育」から－. 新見公立大学紀要, 42(2), 101-105, 2022.
3) 久恒拓也: 教師教育におけるコンテンツとコンピテンシーの関係性の歴史的研究（2）－新制東北大学の教師教育者高橋金三郎の事例から－. 教育学研究紀要（CD-ROM 版）, 67, 206-211, 2022.

学会発表

1)久恒拓也: 教師教育におけるコンテンツとコンピテンシーの関係性の歴史的研究（2）－新制東北大学の教師教育者高橋金三郎の事例から－. 第 73 回中国四国教育学会大会, 山口大学(山口市・WEB), 2021.11.27.

外部資金獲得状況

1) 平成 31 年度～令和 5 年度 日本学術振興会科学研究費助成課題（基盤研究 C)「コンピテンシー重視の時代における教師教育と教育学の在り方に関する日独比較研究」, 課題番号 19K02506, 研究代表者: 鈴木篤, 研究分担者: 久恒拓也.

社会的活動

講演・研修会

1)久恒拓也: 〈意欲をもっていきいきと活動する児童委員会活動を目指して〉に関する講演. 新見市教育研修所養護研究部研修会, 阿新教育会館, 2021.12.17.

役職

1)岡山県・岡山市教員等育成協議会　委員

その他

1) 研究指導講師
・新見市教育研修所養護研究部研究指導. 阿新教育会館, 新見公立大学, 2021.7.20, 7.27.

2)交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2021.9.30.

講師　入江慶太

教育活動

専門分野

保育学，心理学

担当科目

・基礎ゼミナール: 健康保育学科 1 年, 前期 20 時間, 必修, 3 人
・乳児保育Ⅰ: 健康保育学科1年, 前期30時間, 必修
・保育実習Ⅰ(保育所): 健康保育学科 2 年, 前期 90 時間, 選択, 55 人
・実地体験実習: 健康保育学科 2 年, 後期 45 時間, 選択, 55 人
・保育実習Ⅱ: 健康保育学科2年, 後期90時間, 選択, 55 人
・卒業研究Ⅰ: 健康保育学科3年, 前期30時間, 必修, 2 人
・卒業研究Ⅱ: 健康保育学科3年, 後期30時間, 必修, 2 人

その他の教育活動

1)本学における活動
・教育支援センター　副センター長
・広報委員会　委員

2)高校訪問
・広島県内の高校(4 校訪問), 2021.11.22.（対面）
・福井県内の高校(5 校訪問), 2021.11.29.（電話）
・進学ガイダンス
　東洋大学附属姫路高等学校, 2021.7.10.（対面）

3)その他
・岡山県立大学保健福祉学部保健福祉学科（非常勤講師）
　「保育内容指導法」(30 時間)
・川崎医療福祉大学医療福祉学部子ども医療福祉学科（非常勤講師）
　「保育内容総論Ⅰ」(2 時間)
　「乳児のケアと発達支援Ⅰ」(10 時間)
　「保育の心理学」(16 時間)
　「幼児理解の理論と方法」(2 時間)
・川崎医療福祉大学免許法認定講習（講師）
　「幼児理解の理論と方法」(4 時間)
　「保育内容の理論と方法」(6 時間)

研究活動

著書

1)入江慶太：第 2 章 Q4「ピアジェの考えによると、子どもはどのように発達するのか述べなさい」, 第 2 章 Q6「初期の言語習得における生得性と母子の相互作用のそれぞれの役割と意義について論じなさい」, 第 2 章 Q11「青年は自己の生き方（アイデンティティ）をそのように模索し、確立するか論じなさい」. 外山美樹, 湯澤正通（編）, 他 19 人, 新・教職課程演習第 5 巻教育心理学. 協同出版, 19-22, 26-27, 38-40, 2021.
2)入江慶太：1 章「現代における子ども理解と、その意義」, 8 章「子ども理解のためのさまざまな方法ー観察・記録・省察・評価ー」, 9 章「子ども理解の実践」, 14 章「保護者の心情と、基礎的な対応方法に基づく援助」. 入江慶太（編）, 他 12 人, 新・子ども理解と援助ーその理論と方法ー. 教育情報出版, 13-22, 85-94, 95-102, 143-151, 2021.

学術論文

1)入江慶太: 小児病棟に勤務する保育士の専門性に関するアンケート調査ー業務の重視度と自由記述の分析からー. 新見公立大学紀要, 42(2), 21-26, 2021.

学会発表

1)中川智之, 重松孝治, 藤澤智子, 松本優作, 種村暁也, 大江由美, 入江慶太, 荻野真知子, 橋本勇人: 360 度カメラを用いた省察力向上のための教材の開発. 日本保育学会第 74 回大会, WEB 学会, 2021.5.16.
2)重松孝治, 橋本勇人, 中川智之, 入江慶太, 藤澤智子, 松本優作, 種村暁也: 保育者における ICT 機器を用いた講習の実施と効果. 日本保育学会第 74 回大会, WEB 学会, 2021.5.16.
3)藤澤智子, 尾崎公彦, 青井則子, 入江慶太: 総合表現「オペレッタ」における ICT 活用の試み. 日本保育学会第 74 回大会, WEB 学会, 2021.5.16.

外部資金獲得状況

1)2018 年度～2021 年度日本学術振興会科学研究

費補助金(基盤研究 C)研究課題「病棟保育士の専門性の特定と新しい病棟保育士養成カリキュラムの開発」, 課題番号 18K02512, 研究代表者: 入江慶太.

2)2017 年度～2021 年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C)研究課題「保育者における省察の構造の検討と養成・研修で利用し得る演習教材の開発」, 課題番号 17K04664, 研究代表者: 中川智之. 研究分担者: 入江慶太, 他 12 人.

3)2020 年度～2024 年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C)研究課題「就学前の医療的ケア児と家族を支援するシステムの基盤構築に関する調査と研究」, 課題番号 20K02718, 研究代表者: 笹川拓也. 研究分担者: 入江慶太, 他 7 人.

4)2021 年度～2023 年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C)研究課題「保育所の事業継続マネジメントによるソーシャル・キャピタル醸成手法の開発」, 課題番号 21K02372, 研究代表者: 森本寛訓. 研究分担者: 入江慶太, 他 2 人.

社会的活動

講演・研修会

1)入江慶太: 目に見えない「つながり」を理解する大切さ. 津山市における就学前教育・保育カリキュラム研修会, 津山市中央公民館, 2021.10.13.

役職

1)日本医療保育学会　理事

2)社会福祉法人にじのこ福祉会　理事

3)日本医療保育学会機関誌編集委員会　委員

4)岡山県保育士養成協議会保育実習委員会　委員

5)第 27 回日本医療保育学会総会・学術集会　実行委員

6)幼保連携型認定こども園しらゆり幼稚園公開保育　講師

その他

1)交通安全街頭査察, 新見 I.C.口交差点, 2021.9.28.

助教　高橋　彩

教育活動

専門分野

特別支援教育, 応用行動分析学

担当科目

・基礎ゼミナール: 健康保育学科 1 年, 通年 30 時間, 必修, 3 人
・卒業研究Ⅰ: 健康保育学科3年, 前期30時間, 必修, 4 人
・卒業研究Ⅱ: 健康保育学科 3 年, 後期 30 時間, 必修, 4 人
・特別支援教育（幼・保）Ⅰ: 健康保育学科 2 年, 後期 10 時間, 必修
・知的障害者教育方法論：健康保育学科 2 年, 後期 20 時間, 必修
・知的障害者教育課程論：健康保育学科 3 年, 前期 20 時間, 選択, 46 人
・特別支援教育: 看護学科 3 年, 前期 10 時間, 選択, 8 人
・発達障害者教育総論: 健康保育学科 3 年, 後期 16 時間, 必修
・特別支援教育（幼・保）Ⅱ: 健康保育学科 3 年, 後期 10 時間, 必修
・特別支援教育実習指導: 健康保育学科 3 年, 前期 30 時間, 選択, 42 人

その他の教育活動

1)本学における活動
・健康科学部健康保育学科 3 年　チューターアドバイザー
・教務委員会　委員
・学生生活支援センター　委員
・保育・教育実習運営委員会　委員
・アコギサークル　顧問

2)高校訪問
・兵庫県内の高校(2 校訪問), 2021.11.19.（対面）
・長崎県内の高校(3 校電話訪問)
・進学ガイダンス
　兵庫県立柏原高等学校, 2021.6.17.（WEB）

3)その他
・関西福祉大学社会福祉学部社会福祉学科・教育学部児童教育学科講義「心理学基礎論」（遠隔授業）非常勤講師（10 時間）

研究活動

著書

1)高橋彩, 他 28 人:コラム―合理的配慮と教育相談―. コンパス教育相談. 建帛社, 118, 2022.

学術論文

1)高橋彩, 澤山郁夫, 丹治敬之:障害児者とのかかわり経験と授業中の「気になる」行動に対する許容度の関連―教育・福祉職を志望する大学生を対象とした検討―. 新見公立大学紀要, 42(1), 109-114, 2021.

学会発表

1)高橋彩, 澤山郁夫, 丹治敬之: 授業中の子どもの諸行動に関する大人の認識: 教育・福祉職を志望する大学生を対象とした予備的検討. 日本発達障害学会第 56 回研究大会(オンライン開催), 2021.10.30-31.

外部資金獲得状況

1)令和元年度日本学術振興会科学研究費助成事業（研究活動スタート支援）研究課題「特別なニーズのある子どもを含む集団への包括的支援：子ども同士の相互作用に注目して」, 課題番号 19K23320, 研究代表者: 高橋彩.
2)令和 2 年度～令和 4 年度日本学術振興会科学研究費助成事業（基盤研究C）研究課題 「戦後の保育所「若竹の園」にみる幼保一体化カリキュラム・保育実践に関する歴史的研究」, 課題番号 20K02432, 研究分担者.

社会的活動

講演・研修会

1)高橋彩: 気になる子どもの理解. 気になる子どもとの関わり方. にいみファミリー・サポート・センター保育サポーター養成講座, 2021.11.30.
2)高橋彩: 特別なニーズのある子どもたちへの支援に関する最近の話題.子育てカレッジ専門研修, 2022.1.20.

その他

1)交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2021.4.8, 2021.9.29.

助教　松島　英恵

教育活動

専門分野

保育学, 幼児教育学

担当科目

・子ども家庭支援の心理学: 健康保育学科 1 年, 後期 14 時間, 必修
・基礎ゼミナール B: 健康保育学科 1 年, 通年 30 時間, 必修, 3 人
・保育・教育課程論: 健康保育学科 2 年, 前期 30 時間, 必修
・保育実習指導Ⅰ: 健康保育学科 2 年, 前期 30 時間, 選択, 56 人
・保育実習Ⅰ: 健康保育学科2年, 前期90時間, 選択, 55 人
・保育実習指導Ⅱ: 健康保育学科 2 年, 後期 30 時間, 選択, 54 人
・保育実習Ⅱ: 健康保育学科2年, 後期90時間, 選択, 54 人
・乳児保育Ⅱ: 健康保育学科1年, 後期30時間, 必修

その他の教育活動

1)本学における活動
・保育・教育実習運営委員会　委員
・教育推進委員会　委員
・保育実習巡回指導
・幼稚園実習巡回指導
・「夢のポケット 2021」WG
2)高校訪問
・岡山県内の高校(3 校訪問), 2021.11.26.（対面）
・大阪府内の高校(3 校訪問), 2021.11.30.（電話）
・和歌山県内の高校(1 校電話訪問), 2021.11.30.（電話）
・奈良県内の高校(1 校訪問), 2021.12.1.（電話）

研究活動

学術論文

1)柳沢卓, 飯島貴子, 松島英恵, 髙月教惠: 翻刻「昭和 24 年度試案　保育計画(一)」奈良女子大学奈良女子高等師範学校附属幼稚園. 教育システム研究, 16, 奈良女子大学, 153-164, 2021.
2)松島英恵 : 奈良女子高等師範学校附属幼稚園の保育観－大正 13 年～昭和 14 年の「うなゐの園生」を中心に－.新見公立大学紀要, 42(1), 115-120, 2021.
3)松島英恵: 大正から昭和初期の幼稚園の「ごっこ遊び」－奈良女子高等師範学校附属幼稚園の事例を通して－. 武庫川女子大学大学院修士学位論文, 2021.

その他

1)松島英恵・髙月教惠・小藤信子: 令和 3 年度学長配分研究課題「保育現場における 1 歳児クラスの「ごっこ遊び」の実際」

社会的活動

講演・研修会

1)松島英恵: 子育て支援実習・地域子育て支援事業拠点事業について－にいみ子育てカレッジ・親子交流広場「にこたん」の取組を中心に－. 保育サポーター養成講座講師, 新見公立大学リズム教室(新見市), 2021.12.9.

役職

1)岡山県保育実習委員会　委員

その他

1)新見市ウッドスタート事業木育円卓会議参加, 新見市役所, 2021.7.1.
2)交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2021.9.24.

2) 看護学科・助産学専攻科・大学院研究科

学部長・教授　上山和子

教育活動

専門分野

小児看護学，看護教育学

担当科目

・小児看護学概論：看護学科 2 年，前期 30 時間，必修
・小児看護学援助論：看護学科 2 年，後期 45 時間，必修
・小児看護学実習：看護学科 4 年，前期 90 時間，必修
・小児看護学実習：看護学科 3 年，後期 90 時間，必修
・看護生涯教育論：看護学科 3 年，前期 15 時間，選択，26 人
・継続看護論：看護学科3年，前期15時間，選択，55 人
・インターンシップ実習：看護学科 4 年，通年 45 時間，選択，0 人
・卒業研究Ⅰ（基礎編）：看護学科 3 年，前期 30 時間，必修，4 人
・卒業研究Ⅱ（実践編）：看護学科 4 年，通年 30 時間，必修，8 人
・基礎ゼミナール：看護学科 1 年，前期 30 時間，必修，8 人
・親子関係論：助産学専攻科，前期 15 時間，選択，6 人
・特別研究Ⅱ：看護学研究科 1 年，通年 60 時間，必修，1 人
・育成看護支援特論：看護学研究科 1 年，前期 30 時間，選択，2 人
・看護学の動向と展望：看護学研究科 1 年，前期 30 時間，選択，3 人
・療養支援看護学課題演習：看護学研究科 1 年，後期 30 時間，選択，2 人

その他の教育活動

1)本学における活動
・健康科学部長
・新見公立大学教育研究審議会
・新見公立大学評価・将来構想委員会
・新見公立大学 FD・SD 委員会　委員
・新見公立大学ハラスメント防止委員会　委員
・大学院改組部会委員

2)高校訪問
・岡山県立高梁高校進学ガイダンス，2021.7.15.
・岡山県立高校 5 校訪問（朝日高校，操山高校，芳泉高校，城東高校，一宮高校），2021.11.9.

研究活動

学術論文

1)西村美紗希，上山和子：医療的ケアを必要とする子どもと家族への退院支援に関する文献レビュー．インターナショナル Nursing Care Research 研究会，20 (2)，91-100，2021.
2)上山和子，岡本直行，金山時恵，松本百合美，芝崎美和，山本智恵子，井上信次，斎藤健司：COVID-19 による新しい生活様式とマスク着用による心身への影響の実態調査―新しい生活様式に対する学生の認識の変化―．新見公立大学紀要，42，55-60 ，2021.
3) Taeko MIZOO, Yasuhiro MANDAI, Kazuko UEYAMA, 5 Others: Practice and the Efficiency of Simulation Training for Nurses in a Rural Mountainous Area. Journal of Medical Education and Training, 6(1), 2022.
4)上山和子，岡本直行，金山時恵，松本百合美，芝崎美和，山本智恵子，井上信次，斎藤健司：COVID-19 による新しい生活様式とマスク着用による心身への影響の実態調査―マスク着用中の生理的変化の測定―．新見公立大学紀要，42-2，43-47 ，2022.
5)山本裕子，上山和子，西村美紗希：小児看護学領域におけるシミュレーション教育からの学び-4 疾患の看護事例-．新見公立大学紀要，42-2，107-112 ，2022.

その他

1) 上山和子，栗本一美 ：地域医療を担う看護師を育てる滋賀医科大学医学部プロジェクトー未来を創る力になる人材育成―意見交換会（指定発言者）．日本地域看護学会第 24 回学術集会（on-line），東邦大学(東京都)，2021.9.11-12.

社会的活動

講演・研修会

1) 上山和子: 子どものケアについて. 令和3年度保育サポータ養成講座継続研修, 新見公立大学学術交流ホール, 2021.11.26.

2) 上山和子: 日々の保育と感染予防. 令和3年度にこたん専門研修会講演, 新見公立大学多目的ホール, 2021.12.2.

役職

1) 日本看護系大学協議会 委員

2) 日本公立大学協議会 委員

3) インターナショナル Nursing Care Research, 評議員・査読委員

4) 新見市地域医療ミーティング推進協議会

5) 新見市クアオルト推進協議会　会長

その他

1) コロナ感染症による遠隔授業期間中の学修支援　2021.5.26-6.8

助産学専攻科長・教授　四宮美佐恵

教育活動

専門分野

助産学, 母性看護学

担当科目

・助産学概論:助産学専攻科, 前期 15 時間, 必　修
・性と生殖の形態機能 : 助産学専攻科, 前期 15 時間, 必修
・生殖医療と生命倫理 : 助産学専攻科, 前期 15 時間, 必修
・助産診断・技術学Ⅱ : 助産学専攻科,前期 30 時間,必修
・助産管理学 : 助産学専攻科,前期 30 時間,必修
・助産学研究 : 助産学専攻科,前期 30 時間,必修
・統合ヘルスケア : 助産学専攻科,前期 15 時間, 必修
・助産学実習Ⅰ : 助産学専攻科,通年 90 時間,必修
・助産学実習Ⅱ : 助産学専攻科,通年 360 時間,必修
・助産学実習Ⅲ : 助産学専攻科,通年 45 時間,必修
・助産学実習Ⅳ : 助産学専攻科,通年 45 時間,必修
・療養支援看護学課題演習 : 看護学研究科 1 年, 後期 30 時間,選択必修,2 人
・看護学の動向と展望 : 看護学研究科 1 年,前期 30 時間,選択,3 人
・特別研究Ⅰ : 看護学研究科 1 年,通年 60 時間, 必修,1 人

その他の教育活動

1)本学における活動
・助産学専攻科　科長
・助産学専攻科　チューター
・学生選抜等委員会　委員
・国家試験対策委員会　委員

研究活動

学術論文

1)岸本長代, 四宮美佐恵 : 女性看護師が子育てしながら働き続けられる要因ー夫が行っている家事・子育ての現状よりー. インターナショナル Nursing　Care Research, 20(1), 45-52, 2021.
2)新居涼子, 四宮美佐恵 , 安田陽子, 高尾緑, 金山時恵: 助産師が性教育で児童生徒に伝えたいこと. 岡山県看護研究会誌, 44(1), 13-20, 2021.
3)四宮美佐恵 , 安田陽子, 髙尾緑, 平田知子: 看護大学生の「親になること」に関する意識. 新見公立大学紀要 42(1), 61-66, 2021.
4)平田知子, 四宮美佐恵 , 安田陽子, 髙尾緑, 新居涼子: 助産師が性教育で生徒に伝えたい思い. 新見公立大学紀要, 42(1), 89-93, 2021.

学会発表

1)四宮美佐恵, 安田陽子, 高尾緑, 平田知子: 看護大学生の「親になること」に関する意識. 第 62 回日本母性衛生学会総会・学術集会 WEB 開催(岡山市),2021.10.15-16.
2)平田知子, 四宮美佐恵, 安田陽子, 高尾緑, 新居涼子: 助産師が性教育で生徒に伝えたいこと. 第 62 回日本母性衛生学会総会・学術集 WEB 開催(岡山市), 2021.10.15-16.

社会的活動

講演・研修会

1)四宮美佐恵 :　人権教育推進委員会共催事業, 人権学習講演会, 講師, 西方公民館, 2022.1.22.

役職

1)岡山県看護協会　理事
2)岡山県看護研究会　役員
3)全国看護・保健科学研究誌　査読委員

その他

1)交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2021. 4.8, 9.27.

研究科長・教授　矢庭さゆり

教育活動

専門分野

公衆衛生看護学，地域看護学

担当科目

・公衆衛生看護学概論：看護学科 2 年，後期 14 時間，選択必修
・保健医療福祉行政論：看護学科 3 年，前期 45 時間，必修
・地域保健指導論Ⅰ(基礎)：看護学科 3 年，後期 26 時間，選択必修，20 人
・地域保健指導特論Ⅱ(応用)：看護学科 4 年，前期 10 時間，選択必修，17 人
・地域ケアシステム論：看護学科 4 年，後期 30 時間，選択必修，17 人
・疫学調査・疫学演習：看護学科 3 年，前期 30 時間，選択必修，20 人
・基礎ゼミナール：看護学科 1 年，前期 30 時間，必修，9 人
・卒業研究Ⅰ（基礎編）：看護学科 3 年，通年 45 時間，必修，6 人
・卒業研究Ⅱ（実践編）：看護学科 4 年，通年 30 時間，必修，5 人
・卒業研究Ⅰ（基礎編）：「量的調査研究」講義，看護学科 3 年，通年 2 時間，必修
・公衆衛生看護学実習Ⅰ(基礎)：看護学科 4 年，通年 45 時間，必修，6 人
・公衆衛生看護学実習Ⅱ(応用)：看護学科 4 年，通年 180 時間，選択必修，7 人
・看護研究特論：看護学研究科，1 年，前期 24 時間，必修，3 人
・療養支援看護学特論：看護学研究科，1 年，前期 6 時間，選択，3 人
・地域ケアマネジメント特論：看護学研究科，1 年，前期 30 時間，選択，3 人
・地域生活支援看護学課題演習：看護学研究科，1 年，後期 30 時間，選択必修，1 人
・特別研究Ⅰ：看護学研究科，1 年，通年 60 時間，必修，1 人
・特別研究Ⅱ：看護学研究科，2 年，通年 45 時間(前期)，必修，1 人
・看護学の動向と展望：看護学研究科，1 年，後期 30 時間，選択，3 人
・家族と社会：助産学専攻科，前期 15 時間，必修，6 人

その他の教育活動

1) 本学における活動
・新見公立大学大学院看護学研究科　研究科長
・教育研究審議会　委員
・評価・将来構想委員会　委員
・保健管理センター　委員
・研究倫理審査委員会　委員
・ハラスメント等防止委員会　相談員
・入試課題検討委員会　委員
・学生選抜等委員会　委員
・大学院改組部会　副部会長
・大学院看護学研究科入学資格審査会　会長
・2021 年度大学院修士論文審査委員会　委員（主査・副査）
・2021 年度保健師教育課程履修等に係る選考委員会、養護教諭養成課程専攻委員会、訪問看護・地域看護コース選考委員会　委員
・岡山県看護教育施設代表者　本学担当
・看護学科 4 年次(9 期生)　副チューターアドバイザー
・看護学科チューター：　看護 1 年(4 人)，看護 2 年(6 人)，看護 3 年(6 人)，看護 4 年(5 人)
・看護学科国家試験対策委員会　委員
・訪問看護・地域看護コースプロジェクト　メンバー
・大学を活かしたまちづくり～市民の健康維持・増進、介護・介護予防事業～メンバー
2) 高校訪問
・模擬授業，岡山県立新見高等学校(2 回)，2021.9.17(WEB).
3) その他
・オープンキャンパス(個別進学相談)：2021.8.9.

研究活動

論文

1) 矢庭さゆり：質の高いケアマネジメントに対する主任介護支援専門員の認識とケアマネジメントにおける課題．看護・保健科学研究誌，22，52-63，2022.
2) 矢庭さゆり，矢嶋裕樹：中山間地域在住高齢者における地域愛着への関連要因．新見公立大学紀要，42(2)，49-53，2022.

3) 中藤香織, 矢庭さゆり : 産業看護職の役割ストレスと心理的エンパワメントとの関連. インターナショナルNursing Care Research, 20(4), 30-39, 2021.
4) 金山時恵, 矢庭さゆり, 中川彩見:保健師学生が体験した母子保健見学実習からの学び. インターナショナルNursing Care Research, 20(2), 145-153, 2021.
5) 山野井尚美, 矢庭さゆり, 大田好江, 梶原幸子, 柴田千賀子, 阿部珠美, 藤野莉沙:新見市国民健康保険データヘルス計画から地域精神保健活動のニーズを考える（第1報）. 新見公立大学紀要, 42(2), 131-135, 2022.

報告書

1) 渡辺修一郎, 藤原佳典, 矢庭さゆり他: 2020/2021 年度公衆衛生モニタリング・レポート報告). 日本公衆衛生学会, 2021.12.

学会発表

1) 安西将也, 石崎達郎, 植木省三, 渡辺修一郎, 奥村二郎, 矢庭さゆり, 甲斐一郎: 高齢者の市中肺炎の危険因子とインフルエンザワクチンの効果-新型コロナウイルス感染症が日本の高齢者の健康と生活に及ぼした影響. 第 80 回公衆衛生学会拡大モニタリング委員会, 2021.12.22.

外部資金獲得状況

1) 令和3年度～令和7年度 日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究 C）, 研究課題「被援助志向性の低い高齢者の実態把握と支援方策の検討」, 課題番号21K11090, 研究代表者：矢嶋裕樹, 研究分担者: 矢庭さゆり.

その他

1) 日本公衆衛生看護学会第 10 回学術集会,高齢者保健・福祉～第 11 分科会. 座長, 2022.1.8-9(WEB).
2) 第15回全国介護支援専門員協会研究大会 第3分科会. 助言者(講評), 2021.8.29(WEB).
3) 矢庭さゆり: 日本公衆衛生学会認定専門家;健康危機管理モニタリング活動, 高齢者のQOLと介護予防, 高齢者の医療と福祉領域研究活動, 2021.
4) 保健師等人材育成ガイドライン(2022年3月暫定版). 発行, 岡山県保健師教育研究会, 2022.3.

社会的活動

講演・研修会

1) 矢庭さゆり: 岡山県介護支援専門員実務研修.
・「ケアマネジメントの知識・技術・展開」「アセスメント総合演習・振り返り・ネットワークづくり」. 2021.4.8, 5.14(WEB).
・「ケアマネジメントのプロセス・専門職への説明と同意」. 2022.1.15, 1.16(WEB).
・「相談援助専門職としての基本姿勢・相談援助技術の基礎・面接技術」. 2022.2.3, 2.4(WEB).
・「自立支援のためのケアマネジメント」「ケアマネジメント総合演習・振り返り・ネットワークづくり」. 2022.2.28(WEB).
2) 矢庭さゆり: 岡山県相談援助技術研修会スーパーバイザー養成コース. きらめきプラザ(岡山市), 2021.5.24～2022.2.27(一部WEB).
3) 矢庭さゆり: 岡山県専門研修
・「対人個別援助技術・相談援助面接・地域援助技術」. 2021.5.25(WEB).
・「家族支援に必要な理論と実践技術」. 2021.7.1(WEB).
・「家族支援に必要な理論と展開」. ターミナルスクエア(岡山市), 2021.8.19, 9.13.
4) 矢庭さゆり: 「対人個別援助技術と地域援助技術」. 香川県主催講演会, 香川県健康福祉研修センター(高松市), 2021.6.24(WEB).
5) 矢庭さゆり:「新見地域で行なう事例検討会」. 新見市地域福祉センター, 2021.6.29, 12.20, (WEB).
6) 矢庭さゆり: 「家族支援に必要な理論と実践技術」. 岡山県相談援助研修会, 2021.10.4(WEB).
7) 矢庭さゆり: 「対人個別援助技術・スーパービジョン実践」「実践振返り」, 岡山県相談援助研修会, ターミナルスクエア(岡山市), 2021.10.7, 10.12, 11.4, 11.11.
8) 矢庭さゆり:「包括的･継続的ケアマネジメント業務」. 岡山県地域包括支援センター協議会基礎研修会, きらめきプラザ(岡山市), 2021.10.25(WEB).

9) 矢庭さゆり：「地域援助技術-コミュニテイソーシャルワーク-」「対人援助職の基本的技術」「スーパービジョンと事例検討」，「事例研究の方法」．岡山県相談援助研修会，ターミナルスクエア（岡山市），2021.12.9，2022.1.6，1.20，2.10（一部WEB）．
10) 矢庭さゆり：「利用者理解のための基本的視点～相談援助面接の展開」．岡山県社会福祉協議会相談援助技術研修会，きらめきプラザ（岡山市），2021.12.21.
11) 矢庭さゆり：令和3年度第47回岡山県看護協会真庭支部看護研究発表会・講評．岡山県看護協会真庭支部研究会，2022.2.10（WEB）．

役職

1) 新見市高齢者虐待防止　アドバイザー
2) 新見市障害者虐待防止　アドバイザー
3) 新見地域在宅医療連携実務者協議会　委員
4) 新見市社会福祉協議会法人後見（成年後見）運営委員会　副委員長
5) 新見市社会福祉協議会権利擁護支援検討委員会　副委員長
6) 新見市権利擁護委員会　副委員長
7) 岡山県地域包括・在宅介護支援センター協議会　研修委員
8) 岡山県認知症対策連携会議　委員
9) 岡山県介護支援専門員研修向上委員会　委員
10) 岡山県介護支援専門員指導者
11) 岡山県介護支援専門員協会　副会長，研修担当理事
12) 岡山県介護支援専門員協会新見支部　顧問
13) 岡山県介護支援専門員協会倫理審査会　会長
14) 岡山県対人援助職スーパーバイザー養成研修修了者組織パレットの会　代表
15) 岡山県公衆衛生看護学教育　ワーキングメンバー
16) 岡山県看護協会学会委員会　委員
17) 社会福祉法人恵愛会　評議員
18) 日本公衆衛生看護学会　学会誌査読委員
19) 日本公衆衛生学会 認定専門家健康危機管理モニタリングレポート委員会　メンバー
20) 日本地域看護学会　代議員
21) 日本地域看護学会　学会誌査読委員/　優秀論文表彰委員
22) 日本在宅ケア学会　代議員
23) 日本在宅ケア学会　学会誌査読委員
24) 日本公衆衛生看護学会第10回学術集会一般演題抄録査読委員
25) 日本地域看護学会第24回学術集会一般演題抄録査読委員
26) 日本地域看護学会次世代研究活動推進チーム地域看護学研究ロードマップパネル調査担当
27) 第5回岡山県地域包括ケアシステム学会学術大会実行委員会　委員
28) 岡山県保健師教育研究会　メンバー
29) 新見市保健活動検討会 メンバー
30) 岡山市事業所対応講師派遣事業 講師

その他

1) 交通安全街頭査察，西方小学校前交差点，2021.4.9，9.27.
2) 新見市認知症キャラバメイト
3) 岡山市保健所新型コロナウイルス保健･衛生対策本部保健師教員応援派遣対応

学科長・教授　金山時恵

教育活動

専門分野

公衆衛生看護学

担当科目

・にいみの保健医療福祉: 全学科 1 年, 後期 15 時間, 必修
・基礎ゼミナール: 看護学科 1 年, 前期 30 時間, 必修, 8 人
・公衆衛生看護学概論: 看護学科 2 年, 後期 16 時間, 必修
・公衆衛生看護活動展開論: 看護学科 3 年, 前期 30 時間, 必修
・健康教育論: 看護学科 3 年, 前期 15 時間, 必修
・地域保健指導論Ⅰ(基礎): 看護学科 3 年, 後期 4 時間, 必修
・保健医療福祉法制: 看護学科 2 年, 後期 15 時間, 必修
・地域医療論: 看護学科 3 年, 前期 6 時間, 必修
・卒業研究Ⅰ (基礎編) : 看護学科 3 年, 前期 30 時間, 必修, 6 人
・卒業研究Ⅱ (実践編) : 看護学科 4 年, 後期 15 時間, 必修, 7 人
・疫学調査・疫学演習: 看護学科 3 年, 前期 30 時間, 選択, 20 人
・公衆衛生看護学実習Ⅰ: 看護学科 4 年, 通年 45 時間, 必修, 6 人
・公衆衛生看護学実習Ⅱ: 看護学科 4 年, 通年 180 時間, 4 人
・地域母子保健: 助産学専攻科 1 年, 前期 15 時間, 必修
・健康支援活動特論: 看護学研究科 1 年, 前期, 30 時間, 選択, 2 人
・地域医療支援特論: 看護学研究科 1 年, 後期 30 時間, 必修, 3 人
・看護学の動向と展望: 看護学研究科 1 年, 後期 30 時間, 選択, 3 人

その他の教育活動

1)本学における活動
・看護学科　学科長
・同窓会新見支部長
・選択制選考委員会　委員長
・新見公立大学大学院修士論文審査　委員

2)高校訪問等
・高校ガイダンス, 津山東高等学校, 2021.7.13.

3)その他
・くらしき作陽大学, 子どもの健康と安全, 16 時間
・美作短期大学, 子どもの保健, 14 時間.
・高校生・教員 WEB 個別相談会, 2021.6.17, 12.21.

研究活動

著書

1)髙内正子編著: 子どもの保健と安全第 3 版, 教育情報出版(大阪市), 金山時恵 : 第 3 章 4 節子どもの心身の健康状態とその把握, 39-41, 第 10 章 1 節子どもの健康と保育の環境, 116-117, 2021.

学術論文

1)金山時恵 , 矢庭さゆり, 中川彩見: 保健師学生が体験した母子保健見学実習からの学び. インターナショナル Nursingcareresearch, 20(2), 145-153, 2021.
2)新居涼子, 四宮美佐恵, 安田陽子, 髙尾緑, 金山時恵 : 助産師が性教育で児童生徒に伝えたいこと. 岡山県看護教育研究会誌, 44(1), 13-20, 2021.
3)上山和子, 岡本直行, 金山時恵 , 他 5 名: COVID-19 による新しい生活様式とマスク着用による心身への影響の実態調査(その 1)-新しい生活様式に対する学生の認識の変化-. 新見公立大学紀要, 42(1), 55-60, 2021.
4)上山和子, 岡本直行, 金山時恵 , 他 5 名: COVID-19 による新しい生活様式とマスク着用による心身への影響の実態調査(その 2)-マスク着用中の生理的(体温・経皮的動脈血酸素飽和度・脈拍)変化の測定-. 新見公立大学紀要, 42(2), 43-47, 2022.

社会的活動

講演・研修会

1)金山時恵: 腸活で健康寿命を延ばそう, 高尾長寿クラブ健康づくり講演会, 高尾ふれあいセン

ター，2021.7.15.
2)金山時恵：噛むことと健康，にいみ子育てカレッジ後期研修，多目的ホール，2021.11.19.
3)金山時恵：子どもの事故と安全，2021年度保育サポーター養成講座，新見公立大学リズム教室，2021.11.25.

役職
1)新見市立西方小学校学校運営協議会委員
2)日本医学看護学教育学会理事、査読委員
3)日本養護教諭養成協議会 評議員
4)全国保健師教育機関協議会中国・四国ブロック理事
5)保健師教育査読委員

その他
1)にいみ子育てカレッジ事務局長･副運営委員長
2)高尾長寿クラブ講演会：看護学科学生と健康チェック，2021.7.15.
3)交通安全街頭査察，西方小学校前交差点，2021.4.12，9.28.
4)備北地域産業保健センター登録保健師
5)岡山産業保健総合支援センター両立支援促進員
6)岡山県看護協会長表彰：2021.6.19.
7)両立支援促進員個別訪問支援：長谷川紀念病院，2021.10.11，山陽環境開発，2021.10.14.

教授　原田信之

教育活動

専門分野

日本文学（古代中世説話文学，口承文学）

担当科目

・基礎ゼミナール A:看護学科 1 年,前期 30 時間,必修，8 人
・にいみの文化：看護学科 1 年，健康保育学科 1 年，地域福祉学科 1 年，前期 16 時間，必修，196 人
・文学：看護学科 1 年，地域福祉学科 1 年，前期 30 時間，選択，82 人
・国語:健康保育学科 1 年,前期 30 中 20 時間，選択，43 人
・国語表現法 A:看護学科 1 年,後期 30 時間,選択,19 人

その他の教育活動

1)本学における活動
・進学・就職希望者のための小論文指導(全学科・随時)
・教育推進委員会 委員長
・附属図書館長
・教育研究審議会 委員
・評価・将来構想委員会 委員

2)その他
・学長読書感想文プロジェクト担当（2021 年度夏期休業後，春期休業後実施）
・2021 年度「市報にいみ」学生作文添削担当
・看護教育 FD 担当「小論文添削指導のポイント」.2021.5.28.
・競技かるた部　顧問

研究活動

著書

1)丸山顕徳編，阿部奈南，笠井昇，田尻紀子，原田信之，他 13 名：キャリアアップ国語表現法　22 訂版，分担執筆，嵯峨野書院，2022.

学術論文

1) 原田信之：鹿児島県甑島のトシドン伝説．新見公立大学紀要，42，1-21，2021.
2)原田信之：「道の島」の民間説話―平成三十年度奄美沖縄民間文芸学会名護大会シンポジウム・「道の島」と伝承―．奄美沖縄民間文芸学（奄美沖縄民間文芸学会），18・19 合併号，23-45，2021.

学会発表

1)原田信之：新見市長屋の人柱伝説と水谷氏．備北人文科学学会第 45 回学術集会，新見公立大学(新見市)，2021.8.6.

外部資金獲得状況

1)令和 3 年度～令和 6 年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C)研究課題「南西諸島における祭事説明伝説の調査研究」，課題番号 21K00285，研究代表者原田信之(単独研究).

その他

1)原田信之：新型コロナ禍と南島研究．奄美沖縄民間文芸学（奄美沖縄民間文芸学会），18・19 合併号，1-2，2021.
2)原田信之：令和 3 年度学長配分研究費研究課題「新見地域および中国地方の文化的研究」

社会的活動

役職

1)日本昔話学会　委員，査読委員
2)奄美・沖縄民間文芸学会　代表委員
3)説話・伝承学会　委員，査読委員
4)立命館大学日本文学会　評議員
5)備北人文科学学会　代表委員
6)岡山民俗学会　理事，査読委員
7)公立大学協会図書館協議会中国四国地区協議会会長
8)公立大学協会図書館協議会拡大役員会 役員

その他

1)交通安全街頭査察，西方小学校前交差点，2021.4.6，9.21.
2)新見市教育委員会「令和 2 年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書」外部評価担当.
3)大学コンソーシアム岡山社会人教育委員会委員
4)日本昔話学会 2021 年度大会総合司会，大阪大学(WEB 開催)，2021.7.24-5.

教授　土井英子

教育活動

専門分野

基礎看護学，生命倫理学

担当科目

・基礎ゼミナール：看護学科1年，前期30時間，必修，8人
・基礎看護学概論：看護学科1年，前期30時間，必修
・健康生活援助技術論：看護学科 1 年，前期 60 時間，必修
・療養生活援助技術論：看護学科 1 年，後期 60 時間，必修
・看護過程論：看護学科2年，前期45時間，必修
・健康障害援助技術論：看護学部 2 年，後期 60 時間，必修
・医療情報：看護学科2年，前期4時間，必修
・看護倫理：看護学科3年，後期30時間，必修
・基礎看護学実習Ⅰ：看護学科1年，通年，45時間，必修
・基礎看護学実習Ⅱ：看護学科2年，90時間，必修，16人
・卒業研究Ⅰ（基礎編）：看護学科3年，通年45時間，必修，4人
・卒業研究Ⅱ（実践編）：看護学科3年，通年45時間，必修，4人
・療養支援看護学特論：研究科1年，　前期12時間，選択，3人
・看護学の動向と展望：大学院1年，後期30時間，選択，3人
・療養支援看護学課題演習：研究科 1 年，後期 6 時間，選択，2人
・看護技術特論：研究科1年，後期4時間，選択，1人
・特別研究Ⅰ：研究科1年，通年60時間，必修，1人
・特別研究Ⅱ：研究科2年，通年60時間，必修，3人

その他の教育活動

1）本学における活動
・地域共生推進センター長
・バドミントン部顧問

研究活動

学術論文

1)岩下ますみ，上山和子，土井英子：中山間地域の看護師による高齢者への退院支援の現状と課題，第51回日本看護学論文集　急性期看護・慢性期看護，161-164，2021
2)吉田美穂，山本智恵子，小野晴子，土井英子：看護師－患者関係における距離観に影響する要因．岡山県看護教育研究会誌，44，5-12，2021.
3)勢村陽香，矢嶋裕樹，溝尾妙子，土井英子：中山間地域住民の救急車要請の判断に関連する要因　～過少利用に焦点を当てて～，インターナショナル Nursing Care Research 研究会，20(3)，1-8，2021.
4)吉田美穂，多田めぐみ，山本智恵子，赤田いづみ，土井英子：基礎看護学実習Ⅰ訪問実習の教育効果と課題，新見公立大学紀要42(2)，95-99，2021.

その他

外部資金獲得状況

1)平成29年度～令和3年度 日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究 C）研究課題「チーム医療の成果に関する実証研究：感染対策チームを対象とした調査」，課題番号 17K09241，研究分担者

社会的活動

講演・研修会

1）土井英子：しげい病院看護部症例検討会講評，2021.11.7.

役職

1）新見市男女共同参画審議会　会長
2）岡山県看護教育研究会　役員
3）岡山県看護協会研究倫理審査会　委員長
4）大学コンソーシアム岡山地域貢献委員会

教授　木下香織

教育活動

専門分野

老年看護学

担当科目

・老年看護学概論: 看護学科 1 年, 後期 30 時間, 必修
・老年看護学援助論: 看護学科 2 年, 前期 45 時間, 必修
・老年看護学実習: 看護学科 3～4 年, 前後期 90 時間, 必修
・生活支援看護学実習：看護学科 3～4 年, 前後期 90 時間, 必修
・臨床コミュニケーション論: 看護学科 3 年, 前期 15 時間, 選択, 81 人
・地域ボランティア活動: 看護学科 3～4 年, 30 時間, 選択, 5 人
・基礎ゼミナール: 看護学科 1 年, 前期 30 時間, 必修, 9 人
・卒業研究Ⅰ（基礎編）：看護学科 3 年, 通年 45 時間, 必修, 8 人
・卒業研究Ⅱ（実践編）：看護学科 4 年, 通年 30 時間, 必修, 4 人
・救命救急医療論（災害看護）: 看護学科 3 年, 後期 14 時間, 必修
・地域防災論: 看護学科 2 年（選択）, 健康保育学科 2 年（必修）, 地域福祉学科 2 年（必修）, 前期 30 時間, 155 人
・地域防災演習: 看護学科 2 年（選択）, 健康保育学科 2 年（必修）, 地域福祉学科 2 年（必修）, 前期 30 時間, 155 人
・卒業研究（基礎編）：看護学科 3 年生, 前期 2 時間（講義　質的研究デザイン）, 必修
・高齢者ケア特論: 看護学研究科 1 年, 前期 30 時間, 選択, 2 人
・地域生活支援看護学課題演習: 看護学研究科, 1 年, 後期 30 時間, 選択必修, 1 人
・看護学の動向と展望: 看護学研究科 1 年, 後期 30 時間, 選択, 3 人
・特別研究Ⅱ: 看護学研究科 2 年, 前後期 90 時間, 必修, 1 人（副指導）

その他の教育活動

1)本学における活動
・入試委員会　委員長
・独立行政法人職員代表委員会　委員長
・入試課題検討委員会　委員
・学生選抜等委員会　委員
・大学院看護学研究科　修士論文審査委員会
・大学院看護学研究科　入試資格審査会
・地域共生推進センター　委員
・衛生委員会　委員
・看護学科チューター: 1 年生(3 人), 2 年生(3 人), 3 年生(6 人) , 4 年生（4 人）
・看護学科　研修研究委員
・看護学科　新カリキュラムにおける「卒業研究」検討委員
・看護学科　学科会議司会
・看護学科　保健師教育課程選考
・学修成果確認講座（老年看護学）
・PIONE 活動メンバー(シミュレーショントレーニング)
・大学を活かしたまちづくり～市民の健康維持・増進、介護・介護予防事業～メンバー
・バレーボール部　顧問

研究活動

学術論文

1)木下香織, 安藤亮, 難波香: 新型コロナウイルス感染症の影響下における老年看護学実習の代替学内実習での学生の学び. 新見公立大学紀要, 42（2）, 55-62, 2022.

外部資金獲得状況

1)平成 31 年度～令和 5 年度 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C) 研究課題「小規模病院の連携で創る中山間地域の看護師の継続教育プログラムとその評価」, 課題番号 19K10806, 研究代表者 木下香織.

社会的活動

講演・研修会

1)木下香織:吉備創生カレッジ（大学コンソーシアム岡山)「人生会議　考えてみませんか　-大切な人に伝えるために」, 山陽新聞本社ビル, 2021.7.15.
2)木下香織: 福本公民館人権学習講演会「人生会議　考えてみませんか　-大切な人に伝えるため

に」, 福本公民館, 2021.10.21.
3)木下香織: 神郷公民館人権学習講演会「人生会議　考えてみませんか　-大切な人に伝えるために」, 神郷公民館, 2021.11.28.
4)木下香織: 菅生公民館人権学習講座「人生会議 考えてみませんか　-大切な人に伝えるために」, 菅生公民館, 2021.12.6.

役職

1)日本老年看護学会誌「老年看護学」査読委員
2)日本老年看護学会第 26 回学術集会一般演題抄録　査読委員
3)日本高齢者虐待防止学会　査読委員
4)新見市地域包括支援センター運営協議会　副会長
5)認知症カフェネットワーク委員会　委員
6)新見市の医療・看護を担う人材の育成を検討する会（2022.2.より「看育ぴおーえん」に改名）　主宰

その他

1)新見市の医療・看護を担う人材の育成を検討する会（2022.2.「看育ぴおーえん」に改名）会議. 新見公立大学（2022.4.より Zoom ミーティング）, 2021.4.11, 5.26, 6.16, 7.21, 8.18, 9.15, 10.20, 11.17, 12.15, 2022.1.19, 2.16, 3.16.
2)新見市内 4 病院看護師臨床研修会（2022.2.より「まなびの森にいみ」に改名）. 新見公立大学（Zoom ミーティング）, 2021.10.9, 11.20, 12.18, 2022.1.15, 2.12.
3)PIONE シミュレーショントレーニング. 新見公立大学 5 号館シミュレーション室, 2021.7.17, 2021.11.14.
4)まにわナーシングカレッジ卒後 2 年目研修（シミュレーショントレーニング）実施補助. 新見公立大学 5 号館シミュレーション室, 2022.2.26.
5)第 1 回むすびの場交流会. 新見市駅前交流センター, 2021.9.20.
6)古代たたら操業（ミニたたら）. 神郷公民館高瀬分館, 2021.11.6.
7)下熊谷地域拠点施設整についてのワークショップ. 旧下熊谷小学校 3 階多目的ホール, 2021.11.14.
8)認知症カフェネットワーク委員会　カフェつながる通信 Vol.4　通信予告　新しいカタチのカフェの取り組みをご紹介します from にいみ, 2021.8.
9)認知症カフェネットワーク委員会　カフェつながる通信 Vol.5　新しいカタチのカフェの取り組み from にいみ, 2021.11.
10)交通安全街頭査察: 西方小学校前交差点, 2021.4.15.
11)学生とのボランティア活動. 菅生サテライト・デイ. 旧菅生中学校体育館, 2021.10.26, 足見サテライト・デイ. 足見ふれあいセンター, 2021.10.28, 土橋サテライト・デイ. 土橋交流センター, 2021.12.2, 草間サテライト・デイ. 草間公民館別館, 2021.12.2.

教授　栗本一美

教育活動

専門分野

在宅看護

担当科目

・在宅看護論：看護学科2年，前期15時間，必修
・在宅看護援助論：看護学科2年，後期30時間，必修
・在宅看護実習：看護学科3-4年，通年90時間，必修
・継続看護論：看護学科3年，前期15時間，選択，担当10人
・訪問看護展開論Ⅰ：看護学科3年，前期30時間，選択，担当6人
・訪問看護展開論Ⅱ：看護学科3年，後期30時間，選択，担当6人
・基礎ゼミナール：看護学科1年，前期30時間，必修，8人
・卒業研究Ⅰ(基礎編)：看護学科3年，前期30時間，必修，6人
・卒業研究Ⅱ(実践編)：看護学科3-4年，後期15時間，必修，5人
・卒業研究Ⅰ(論文の書き方)：看護学科3年，後期1コマ，必修
・在宅看護支援特論：研究科1年，前期30時間，選択，1人
・地域医療支援特論：研究科1年，後期30時間，必修，5人
・地域生活支援看護学課題演習：研究科1年，後期30時間，必修，1人
・看護学の動向と課題：研究科1年，後期30時間，必修，3人
・特別研究Ⅱ：研究科2年，前後期90時間，必修，1人
・特別研究Ⅱ：研究科2年，前後期90時間，必修，1人（副指導）

その他の教育活動

1)本学における活動
・学生生活支援センター　センター長
・中期計画策定委員　委員
・将来評価構想委員会　委員
・訪問看護・地域看護コースプロジェクト
・実習調整委員
・ちびデポ　顧問

2) 高校訪問・進学ガイダンス
(1)進学ガイダンス
・キャリアガイダンス，岡山県立勝山高校(on-line)，2021.9.29.

(2)電話高校訪問
・鳥取県内の高校(4校訪問)，2021.11.15.

(3)大学を活かしたまちづくり連携事業
・栗本一美：「私が歩んだ看護の道」，岡山県立新見高等学校の地域人材を活用した「看護」に関わる講話，新見公立大学(on-line)，2021.10.1.

3)その他
・在宅看護論：岡山県立大学看護学科3年，前期48時間，必修

研究活動

書籍

1)正野逸子，本田彰子，栗本一美，他17名：看護実践のための根拠がわかる在宅看護技術 第4版，第Ⅲ章在宅療養伴う日常生活援助技術，食事，排泄，94-117，メヂカルフレンド社，(全409)，2021.12.15.

学術論文

1)三輪恵美，上山和子，栗本一美：中山間地域の病院において最期を迎えた高齢非がん患者の配偶者の思い．第51回日本看護学会論文集 急性期看護・慢性期看護，165-168，2021.
2)栗本一美，三上ゆみ，安田陽子：新型コロナウイルス感染症における健康観と感染予防に対する行動変容―中山間地域に居住する世代間の比較―，インターナショナルNursing Care Research20(3)，95-104，2021.11.
3)山野井尚美，栗本一美，三上ゆみ，郷木義子：日本のヤングケアラーの現状に関する文献の動向，インターナショナルNursing Care Research，20(3)，105-114，2021.11.
4)丸山純子，大島由美，栗本一美：在宅看護における遠隔医療の有効性と課題に関する文献検

討. 新見公立大学紀要, 42(2), 77-85, 2022.

学会発表

1)三上ゆみ, 安田陽子, 栗本一美: 中山間地域における新型コロナウイルス感染症に対する世代間の感染対策の取り組みについて, 第26回日本在宅ケア学会学術集会(WEB&会場), 広島国際会場(広島市), 2021.8.28－8.29.

2)大島由美, 丸山純子, 栗本一美: 在宅高齢糖尿病療養者のインスリン自己注射の現状についての文献検討. 第35回日本看護研究学会中国・四国地方会学術集会(WEB), 鳥取看護大学(鳥取市), 2022.3.6-3.20.

3)山形真由美, 佐々木純子, 栗本一美, 他4名: 在宅看護学実習にルーブリック評価表を導入して―態度面の評価における学生と指導者の比較ー. 第35回日本看護研究学会中国・四国地方会学術集会(WEB), 鳥取看護大学(鳥取市), 2022. 3.6-3.20.

その他

1)上山和子, 栗本一美: 地域医療を担う看護師を育てる滋賀医科大学プロジェクト意見交換会(指定発言), 第24回日本地域看護学術集会(on-line), 東邦大学(東京都), 2021. 9.11-12.

2)栗本一美, 丸山純子: 地域で暮らす人々の健康と生活をささえる「地域看護学」の再構築, 101-105,看護展望, メヂカルフレンド社, (全152), 2022.3.25.

3)2021年度学長配分研究費, 研究課題「看護、福祉、教育の協働を目指した同一教材の有効性に関する検討ーヤングケアラーに着目してー」, 申請者 山野井尚美, 共同研究者 栗本一美.

社会的活動

講演・研修会

1)栗本一美: 「健口講座」, 吉備創生カレッジ, 岡山大学コンソーシアム, 山陽新聞さん太ホール, 2021.7.8.

2)栗本一美: 「人生最後を迎える人と家族へ介護職ができること」, 短期専門講習, 公益財団法人介護労働安定センター岡山支部, 北ふれあいセンター, 2021.8.10.

3)栗本一美: 「訪問看護師としての看る力を育てる」, 岡山県訪問看護ステーション連絡協議会管理者カフェ, 岡山県訪問看護ステーション連絡協議会, 岡山県看護協会, 2021.8.19.

4)栗本一美: 特定分野における保健師助産師看護師実習指導者講習会(演習), 岡山県保健福祉部医療推進課, 岡山県看護協会, 2021.12.7,12.14, 12.22.

役職

1)岡山県訪問看護総合支援センター 委員

2)日本ルーラル看護学会 査読委員

3)日本エンドオブライフケア学会 査読委員

4)日本在宅看護教育研究会 委員

5)泌尿器科疾患に関する臨床懇話会 世話人

6)新見こころの健康を考える会 委員

その他

1)交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2021.4.8, 9.30.

2)唐松ふれあいサロン: 唐松公民館, 看護学科3年生5人と参加, 健康測定・健康教室「便秘の予防」, 2021.11.22.

3)三光ミニ･デイ: 三光生活改善センター,看護学科3年生4人と参加, 健康測定・健康教室「糖尿病の予防」, 2021.11.29.

4)ヤングケアラー勉強会:新見公立大学,「知ってくださいヤングケアラー」と題して、ヤングケアラーの当事者をお招きした勉強会を開催。学生や新見市内の行政、教育機関の方など約30名が参加, 新見公立大学, 2022.3.21.

特任教授　郷木義子

教育活動

専門分野

学校保健

担当科目

・学校保健: 看護学科 3 年, 前期 16 時間, 28 人
・健康科学 1: 全学科 1 年生, 必修 181 人, 前期 2 時間
・養護学概論: 看護学科 3 年, 前期 30 時間, 8 人
・健康相談活動: 看護学科 3 年, 前期 30 時間
・学校救急処置: 看護学科 3 年, 後期 30 時間

その他の教育活動

1)本学における活動
・教育支援センター教育・保育実習運営委員会 (養護教諭部会)
2)その他
・就実大学薬学部「看護学」(8 時間)
・就実短期大学「子どもの保健Ⅰ・Ⅱ」(30 時間)
・美作大学集中講義「保育及び家庭看護学」(30 時間)
・美作短期大学「子どもの保健」(16 時間)
・くらしき作陽大学「子どもの保健」(30 時間),「子どもの健康と安全(演習)」(16 時間)
・建部医療福祉看護学校「小児看護学概論」(30 時間)
・吉備国際大学「学校保健学」(30 時間),「養護概説」(16 時間),「健康相談活動」(16 時間)

研究活動

著書

1)津島ひろ江編集代表: 学校における養護活動の展開第 8 版, ふくろう出版(岡山市), 郷木義子: 第 2 章養護教諭の歴史, 9－16, 2021. 4
2)岡本陽子, 郷木義子 編著: 「最新学校保健」, ふくろう出版(岡山市)
3)岡本陽子, 足利学, 内藤直子編者: 心理学を活用した看護実践. ふくろう出版(岡山市), 郷木義子 , 第Ⅱ部発達段階とその心理>第 2 章幼児期 (pp22-27)

学術論文

1)山野井尚美, 栗本一美, 三上ゆみ, 郷木義子: 日本のヤングケアラーの現状に関する文献の動向. インターナショナル Nursing Care Research, 20(3), 105-114, 2021.
2) 郷木義子, 斎藤健司: 養護教諭の実践能力を高めるための学習展開(1)―学校環境測定演習を通して―, 新見公立大学紀要, 42, 67-71, 2021.

学会発表

1)山本裕子, 中川彩見, 郷木義子: 食物アレルギーに関する講義後の保育専攻学生の意識・知識の実態調査. 第 68 回日本小児保健協会学術集会, 沖縄(Web 学会), 2021. 6. 18-20.
2)松本華穂, 奥田紀久子, 田中祐子, 石井有美子, 郷木義子, 他 1 名: 女子大学生の月経セルフケア行動獲得の実態と関連要因. 第 67 回日本学校保健学会学術集会, 愛知(Web 学会), 2021. 11. 5-7.

外部資金獲得状況

1)2021 年度学長配分研究費, 研究課題「看護、福祉、教育の協働を目指した同一教材の有効性に関する検討ーヤングケアラーに着目してー」, 共同研究者: 郷木義子.

その他

1) 日本学校保健研究査読 1 題
2) 新見公立大学研究紀要査読 1 題
3) 第 64 回日本学校保健学会学術集会 一般演題座長

社会的活動

講演・研修会

1) 第 4 回養護教諭の集い. 新見公立大学, 2022. 3. 21.
2)ヤングケアラー勉強会: 「知ってくださいヤングケアラー」. 新見公立大学, 2022.3.21.
3)研究指導
・新見市小学校養護部会, 2021.8,10, 2021.3.

役職

1) 日本学校保健学会理事
2) 日本学校保健学会学術委員
3) 日本養護教諭実践学会評議員
4) 養護教諭養成協議会代表評議員
5) 中四国学校保健学会理事

特任教授　山田雅夫

教育活動

専門分野

ウイルス学, 感染症学, 解剖生理学, 病態生理学

担当科目

・基礎ゼミナール: 看護学科1年, 前期20時間, 必修, 9 人
・人体構造学: 看護学科 1 年, 前期 45 時間, 必修
・人体機能学: 看護学科 1 年, 前期 45 時間, 必修
・医療概論: 看護学科 1 年,後期 15 時間, 必修
・発達と老化の理解Ⅱ:地域福祉学科 2 年,前期 30 時間, 介護福祉士コース必修, 15 人
・健康科学Ⅱ:共通科目,前期 8 時間,132 人
・英語論文講読:共通科目,選択,前期 30 時間, 11 人
・看護研究特論:研究科 1 年,前期 2 時間,3 人

その他の教育活動

1)本学における活動
・FD・SD 委員会　委員長
・研究倫理審査委員会　委員長
・評価将来構想委員会内部質保証部会　副委員長
・評価将来構想委員会教学マネジメント部会　委員

2)その他
・岡山大学医学部医学科講義(特命教授:8 時間)
・岡山商科大学講義(非常勤講師:2 時間)
・岡山建部医療福祉専門学校(非常勤講師:30 時間)

研究活動

学術論文

1)Ogawa, H., Fujikura, D., Namba, H., Yamashita, N., Honda, T., and Yamada, M. : Nectin-2 acts as a viral entry receptor that binds to human herpesvirus-6B glycoprotein B. (訳: ネクチン２がヒトヘルペスウイルス 6B 型糖たんぱく質 gB が結合する侵入受容体として作用する). Viruses, 14(1), 160. https://doi.org/10.3390/ v14010160.

社会的活動

役職

1)日本ウイルス学会　評議員
2)日本臨床ウイルス学会　理事
3)日本感染症学会　評議員
4)日本医学教育学会 会員
5)中国四国ウイルス研究会　幹事
6)公益財団岡山医学振興会　代表理事
7)岡山県感染症対策委員会　委員
8)岡山県環境保健センター外部評価委員会　委員
9)岡山県環境保健センター倫理審査委員会　委員
10)岡山県美作地域感染症診査協議会　委員

准教授　礒本暁子

教育活動

専門分野

成人看護学

担当科目

・成人看護学概論：看護学科１年，後期 30 時間，必修
・成人看護学援助論Ａ（慢性期）単元 4：看護学科２年，前期４時間，必修
・成人看護学援助論Ｂ（急性期）単元 1：看護学科２年，後期 24 時間，必修
・成人看護学援助論Ｂ（急性期）単元 3：看護学科２年，後期 10 時間，必修
・成人看護学援助論Ｃ（緩和ケア）単元 1･2：看護学科３年，前期 24 時間，必修
・成人看護学援助論Ｃ（緩和ケア）単元 3：看護学科３年，前期６時間，必修
・基礎ゼミナール：看護学科１年，前期 30 時間，必修，８人
・成人看護学実習Ａ（慢性期）：看護学科４年，前期 180 時間，必修
・成人看護学実習Ａ（慢性期）：看護学科３年，後期 180 時間，必修
・成人看護学実習Ｂ（急性期）：看護学科４年，前期 180 時間，必修
・成人看護学実習Ｂ（急性期）：看護学科３年，後期 180 時間，必修
・卒業研究Ⅰ（基礎編）：看護学科３年，通年 45 時間，必修，４人
・卒業研究Ⅱ（実践編）：看護学科４年，通年 30 時間，必修，３人
・療養支援看護学課題演習：看護学研究科１年，後期４時間，選択必修，３人
・成人看護支援特論：看護学研究科１年，前期 18 時間，選択，２人
・看護研究特論：看護学研究科１年，前期２時間，必修，４人

その他の教育活動

1)本学における活動
・教務委員会　委員
・教育保育実習運営委員会　委員
・看護学科実習調整委員会　委員
・看護学科チューター：１年生(4 人)，２年生(4 人)，３年生(4 人)，４年生（3 人）
・学修成果確認講座（成人看護学）
・看護学科卒業研究計画書倫理審査
・看護学研究科　修士論文副指導
・看護学研究科　修士論文審査委員

研究活動

学術論文

1)小林匡美, 井上弘子，宮武一江，礒本暁子：コロナ禍における学内での手術室見学代替演習に実技演習を取り入れた取り組みについて. 新見公立大学紀要, 42 - 2, 137 - 143, 2021

学会発表

1）渡邉　結、清水百合江、礒本　暁子：集中治療室で治療を受ける患者の美容目的のスキンケアや整容に対する思い．第 52 回（2021 年度）日本看護学会学術集会（WEB 開催），令和３年 11・12 月

社会的活動

講演・研修会

1)礒本暁子：岡山市立市民病院令和２年度看護研究指導（２年過程最終年），岡山市立市民病院，１階多目的ホール他
・「文献検討、調査研究手法，対象者の検討」，2021. 4. 19.
・「調査項目の検討」，2021. 6. 8.
・「データ分析」，2021. 8. 16.
・「データ分析・考察指導」，2021. 10. 19.
・「データ分析・考察、論文作成指導」，2021. 12. 16.
・岡山市立市民病院令和２年度看護部「看護研究発表会（WEB 開催）」講評，2022. 3. 5.

2)高校訪問
・進学ガイダンス
倉敷高等学校，2021. 10. 14.
岡山学芸館高等学校，2021. 11. 2.

准教授　矢嶋裕樹

教育活動

専門分野

保健統計学，疫学

担当科目

- 基礎ゼミナール：看護学科1年，前期30時間，必修
- 医療情報：看護学科２年，前期10時間，必修
- 保健医療統計学Ⅰ（基礎）：看護学科１年，後期30時間，必修
- 統計学：健康保育学科３年，前期30時間，選択，30人
- 保健医療統計学Ⅱ（応用）Aクラス：看護学科３年，後期15時間，必修，41人
- 保健医療統計学Ⅱ（応用）Bクラス：看護学科３年，後期15時間，必修，41人
- 疫学：看護学科３年，前期30時間，必修
- 疫学調査・疫学演習：看護学科３年，後期30時間，選択必修，20人
- 卒業研究Ⅰ（基礎編）：看護学科３年，前期30時間，必修，５人
- 卒業研究Ⅱ（実践編）：看護学部３年，後期15時間，必修，５人
- 卒業研究Ⅱ（実践編）：看護学科４年，通年30時間，必修，４人
- 統計学特論：看護学研究科1年，前期30時間，選択，３人
- 看護研究特論：看護学研究科１年，前期4時間，「データ収集と分析」，必修，３人
- 地域生活支援看護学課題演習:研究科１年，後期30時間，必修，１人
- 大学院看護学研究科　副指導教員２人

その他の教育活動

1)本学における活動

- 学生部次長
- 評価・将来構想委員会委員
- 評価・将来構想委員会内部質保証部会 委員
- 評価・将来構想委員会 教学マネジメント部会委員長
- 入試課題検討委員会委員
- 入試委員会委員
- FD・SD委員会副委員長
- 学生生活支援センター 委員
- 修学・キャリア支援センター 委員
- 総合情報基盤センター 情報システム部門委員
- 総合情報基盤センター IR部門委員
- 新見公立大学大学院改組部会 委員
- 新見公立大学リポジトリサイトの管理・運営
- 大学院看護学研究科 副査１人
- 看護学科 研究力向上研修会 世話人

研究活動

学術論文

1) Yamashita A, Yoshioka S, Yajima Y: Resilience and related factors as predictors of relapse risk in patients with substance use disorder: a cross-sectional study. Substance Abuse, Treatment, and Policy, 16, 40, 2021.
2) 勢村陽香，矢嶋裕樹，溝尾妙子，土井英子：中山間地域住民の救急車要請の判断に関連する要因－過少利用に焦点を当てて，インターナショナルNursing Care Research，20(3)，1-8，2021.
3) 大片 久，澤田 陽一，大形 篤，矢嶋 裕樹，坂野 純子：ポジティブな精神的健康をとらえる日本語版Mental Health Continuum Short Form (MHC-SF-J) の高齢者における妥当性と信頼性の検証，老年社会科学，43(3)，262-273，2021.
4) 渡部 昌史，矢嶋 裕樹，古田 康生，青木 謙介，土田 豊：保育施設における障害の発生状況の特徴，新見公立大学紀要，42(1)，31-36，2022
5) 青木謙介，渡部昌史，土田　豊，矢嶋裕樹，幼児における踵骨骨強度と園外の身体活動量との関連，聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部研究紀要，33，89-96，2021.
6) 中川 彩見，矢嶋 裕樹，上山 和子：発達上の課題をもつ児の療育利用状況-母親を対象とした質問紙調査-，新見公立大学紀要，42(2)，113-115，2022.
7) 矢庭 さゆり，矢嶋 裕樹：中山間地域在住高齢者における地域愛着への関連要因，新見公立大学紀要，42(2)，49-53，2022.
8) 大形　篤，澤田陽一，大片　久，矢嶋裕樹，坂野純子，高齢期の健康的な食関連習慣尺度の妥当性と信頼性の検証-健康生成論に基づくア

プローチ，岡山県立大学保健福祉学部紀要，28，57-68，2022.

学会発表

1) J Sakano, H Okata, Y Sawada, Y Yajima. Higher meaningfulness of sense of coherence (SOC) is associated with better mental health of the elderly people. The ISOQOL 28th Annual Conference (online), Calgary, Alberta, Canada, 10.13-16, 2021.
2) 中川 彩見，矢嶋 裕樹：就学前児の母親の育児情報リテラシーと援助不安及び精神的健康との関連．第79回日本公衆衛生学会(オンライン開催)，京都，10.20-22，2020.

外部資金獲得状況

1)平成29～令和3年度 日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究 C）研究課題「チーム医療の成果に関する実証研究：感染対策チームを対象とした調査」，課題番号17K09241，研究代表者：山本 智恵子，研究分担者：土井 弘子，矢嶋 裕樹，佐々木 順造．
2)平成29～令和3年度 日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究 B）研究課題「地域支援事業の適用に向けたストレス対処力SOCの社会・認知・神経基盤の解明」，課題番号 17H02609，研究代表者：坂野 純子，研究分担者：矢嶋 裕樹，山崎 喜比古，澤田 陽一．
3)令和2年度～令和3年度 橋本財団 福祉(研究)助成金，研究課題「地域住民の自閉症スペクトラムをもつ人に対する態度に関連する要因」，研究代表者：福島 康子，研究協力者：矢嶋 裕樹．
4)令和3年度～令和7年度 日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究 C）研究課題「被援助志向性の低い高齢者の実態把握と支援方策の検討」，課題番号21K11090，研究代表者：矢嶋 裕樹，研究分担者：矢庭さゆり．

社会的活動

講演・研修会

1) 2021年度　岡山県看護協会主催研修会講師「看護研究に必要な統計分析」，岡山県看護研修センター(オンライン)，2021.9.16.

准教授　塩見和子

教育活動

専門分野

成人看護学

担当科目

・成人看護学援助論Ａ（慢性期）単元 1：看護学科２年，前期 20 時間，必修
・成人看護学援助論Ａ（慢性期）単元 3：看護学科２年，前期４時間，必修
・成人看護学援助論Ａ（慢性期）単元 5：看護学科２年，前期２時間，必修
・成人看護学援助論Ｂ（急性期）単元 3：看護学科２年，後期 10 時間，必修
・成人看護学援助論Ｃ（緩和ケア）単元 3：看護学科３年，前期６時間，必修
・看護生涯教育論：看護学科３年，前期 16 時間，78 人
・基礎ゼミナール：看護学科１年，前期 30 時間，必修，８人
・成人看護学実習Ａ（慢性期）：看護学科４年，前期 180 時間，必修
・成人看護学実習Ａ（慢性期）：看護学科３年，後期 180 時間，必修
・卒業研究Ⅰ（基礎編）：看護学科３年，通年 45 時間，必修，３人
・卒業研究Ⅱ（実践編）：看護学科４年，通年 30 時間，必修，４人
・特別研究Ⅰ：看護学研究科２年，通年 60 時間，必修，１人
・療養支援看護学課題演習：看護学研究科１年，後期６時間，選択必修，２人

その他の教育活動

1）本学における活動
・看護学研究科 特別研究Ⅱ 修士論文 主指導
・看護学研究科 修士論文審査委員会 委員
・大学院改組部会メンバー（看護学専攻 博士後期課程設置）
・入試課題検討委員会 委員
・教務委員会　委員（看護学研究科・助産学専攻科）
・看護学科ハラスメント等防止委員会 相談員
・看護学科２年生(11 期生)チューター・アドバイザー
・看護学科看護学セミナー委員

2）高校訪問
・岡山県立一宮高等学校ガイダンス，１年生・３年生対象，2021.6.14.（WEB）

研究活動

著書

1)塩見和子：医療者中心の説明から患者の自己効力感に働きかける時代へ．田村美子 監修，二重作清子，久木原博子，他２人（編），「看護者に期待されるもの」シリーズ③　時代の流れと看護の発展．初版，ふくろう出版，71-76（単），2021.4.30.

学術論文

1)塩見和子：結核看護史の第Ⅰ期1882年～第Ⅱ期1919 年に発刊された結核看護に関する教育書における看護の特徴．インターナショナル Nursing Care Research 研究会，20(1)，103-111，2021.
2)塩見和子：結核看護史の第Ⅲ期1920年～第Ⅳ期1950 年に発刊された結核看護に関する教育書における看護の特徴．インターナショナル Nursing Care Research 研究会，20(1)，113-123，2021.
3)塩見和子：結核看護史の第Ⅴ期1951年～第Ⅵ期1974 年に発刊された結核看護に関する教育書における看護の特徴．インターナショナル Nursing Care Research 研究会，20(2)，111-121，2021.

その他

1)塩見和子：看護教育と看護研究―医学教育研究とともに歩むこと―．令和３年度岡山県看護教育研究会誌，44（1），29，2021.

社会的活動

講演・研修会

1)令和３年度岡山県保健師助産師看護師実習指導者講習会，岡山県保健福祉部医療推進課 公益社団法人岡山県看護協会，岡山県看護研修センター
・「実習指導原理と評価（成人看護慢性期）」（3時間）（WEB 開催），2021.8.17.

・「実習指導の実際 実習指導案の作成（成人看護慢性期)」(18時間) (WEB開催) 2021.8.27～全6回.
・「演習発表会・講評」(3 時間) (WEB 開催), 2021.9.13.
・成人看護慢性期実習[指導案], 令和3年度岡山県保健師助産師看護師実習指導者講習会「指導案」集録, 88-124, 2021.

2)塩見和子: 医療法人創和会しげい病院 2021 年度看護研究指導
・「第1回カンファレンス」, 本館4階研修室, 2021.8.19.
・「研究発表会」講評, 本館 4 階研修室, 2021.12.21.

役職
・一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会 専任査読者
・令和3年度岡山県看護教育研究会 役員

准教授　山本智恵子

教育活動

専門分野

基礎看護学

担当科目

・基礎ゼミナール：看護学科1年，前期30時間，必修，9人
・健康生活援助技術論：看護学科1年，前期60時間，必修
・療養生活援助技術論：看護学科1年，後期60時間，必修
・看護過程論(演習指導)：看護学科2年，前期45時間，必修
・健康障害援助技術論：看護学科2年，後期60時間，必修
・救命救急医療論：看護学科3年，前期30時間，必修
・臨床援助技術演習：看護学科4年，後期30時間，選択，7人
・基礎看護学実習Ⅰ：看護学科1年，通年45時間，必修
・基礎看護学実習Ⅱ：看護学科2年，後期90時間，必修，10人
・卒業研究Ⅰ(基礎編)：看護学科3年，通年45時間，必修，4人
・卒業研究Ⅱ(実践編)：看護学科4年，通年30時間，必修，3人
・チームアプローチ演習：共通科目3年，前期16時間，必修
・地域防災論：共通科目2年，前期30時間，地域福祉学科・健康保育学科必修・看護学科選択，168人
・地域防災演習：共通科目2年，前期30時間，地域福祉学科・健康保育学科必修・看護学科選択，168人
・看護技術特論：看護学研究科1年，後期30時間，選択，1人
・療養支援看護学課題演習：看護学研究科1年，後期4時間，選択，2人

その他の教育活動

1)本学における活動

・看護学科 副学科長
・評価・将来構想委員会　委員
・評価・将来構想委員会 教学マネジメント部会 委員
・教務委員会　委員
・ハラスメント等防止委員会 相談員
・看護学科選択制選考委員会　委員
・看護学科3年チューター長
・国試対策委員会　委員
・新見公立大学大学院修士論文審査委員会　委員
・PIONE活動メンバー

2)高校訪問

・高校進路ガイダンス，岡山県立総社南高等学校，2021.7.14.(対面).

研究活動

学術論文

1) 上山和子，岡本直行，山本智恵子，他5名：COVID-19 による新しい生活様式とマスク着用による心身への影響の実態調査―新しい生活様式に対する学生の認識の変化―．新見公立大学紀要，42，55-60，2021.
2) Taeko MIZOO, Yasuhiro MANDAI, Chieko YAMAMOTO: Practice and the Efficiency of Simulation Training for Nurses in a Rural Mountainous Area. Journal of Medical Education and Training, 6(1), 2022.
3) 上山和子，岡本直行，山本智恵子，他5名：COVID-19による新しい生活様式とマスク着用による心身への影響の実態調査―マスク着用中の生理的変化の測定―．新見公立大学紀要，42(2)，43-47，2022.
4) 山本智恵子，溝尾妙子，吉田美穂，他2名：中山間地域における看護職の急変対応シミュレーション教育の効果の検証.新見公立大学紀要，42(2)，69-75，2021.
5) 吉田美穂，多田めぐみ，山本智恵子，他2名：基礎看護学実習Ⅰ訪問実習の教育効果と課題.新見公立大学紀要，42(2)，95-99，2021.
6) 小野晴子，吉田美穂，山本智恵子，土井英子：看護師-患者関係における距離観に影響する要因．岡山県看護教育研究会誌，44，5-12，2021.

外部資金獲得状況

1)平成29年度～31年度　日本学術振興会科学研

究費補助金(基盤研究 C)研究課題「チーム医療の成果に関する実証研究: 感染対策チームを対象とした調査」, 課題番号17K09241, 研究代表者: 山本智恵子.
2)平成31年度～令和5年度　日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C)研究課題「小規模病院の連携で創る中山間地域の看護師の継続教育プログラムとその評価」, 課題番号17K09241, 研究分担者: 山本智恵子.
3)令和2年度～令和4年度　日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C)研究課題「臨床研究コーディネーターのおけるモラルディストレス尺度を用いた倫理的悩みの検証」, 課題番号20K10666, 研究分担者: 山本智恵子.

社会的活動

役職

1)新見市防災会議委員

その他

1) シミュレーショントレーニング, 新見公立大学シミュレーション室, 2021.7.17, 2021.11.14.
2) 新見市の医療・看護を担う人材の育成を検討する会（2022.2.「看育ぴおーえん」に改名）会議. 新見公立大学(2021.4.よりZoomミーティング）, 2021.4.11, 5.26, 6.16, 7.21, 8.18, 9.15, 10.20, 11.17, 12.15, 2022.1.19, 2.16, 3.16.
3) 新見市内4病院看護師臨床研修会（2022.2.より「まなびの森にいみ」に改名）. 新見公立大学（Zoom ミーティング）, 2021.10.9, 11.20, 12.18, 2022.1.15, 2.12.
4) まにわナーシングカレッジ卒後2年目研修(シミュレーショントレーニング) 実施補助. 新見公立大学 5 号館シミュレーション室, 2022.2.26.
5) Advanced life support コース, 新見公立大学シミュレーション室, 2022.3.26

准教授　山野井尚美

教育活動

専門分野

精神科看護学,地域精神保健,メンタルヘルス対策

担当科目

・精神看護学概論: 看護学科2年, 前期30時間, 必修
・精神看護学援助論: 看護学科 2 年, 後期 45 時間, 必修
・精神看護学実習: 看護学科4年, 前期45時間, 必修
・精神看護学実習: 看護学科3年, 後期45時間, 必修
・救命救急医療論 : 看護学科 3 年, 後期 14 時間, 必修, 8 人
・基礎ゼミナール: 看護学科 1 年, 前期 30 時間, 必修, 8 人
・卒業研究 I (基礎編): 看護学科 3 年, 前期 30 時間, 必修, 4 人
・保健医療福祉行政論:看護学科 3 年,前期 16 時間, 必修
・地域保健指導論 I (基礎): 看護学科 3 年, 後期 6 時間, 選択必修, 20 人
・公衆衛生看護学実習Ⅱ(学内実習): 看護学科 4 年,3 日, 選択必修, 17 人

その他の教育活動

1)本学における活動
・広報委員会　委員
　オープンキャンパス:7.18　8.9　8.29
・看護学科 1 年チューターアドバイザー
・NiU 駅西交流棟 PROJECT　担当
・保健管理センター委員アドバイザー
・コロナウイルスワクチン接種関係業務
・看護学科チューター : 看護 1 年(4 人), 看護 3 年(4 人)

2) 高校訪問・進学ガイダンス
(1)進学ガイダンス
・キャリアガイダンス,岡山県清心女子高等学校, 2021.10.1.(対面).
・キャリアガイダンス,岡山県立津山高等学校, 2021.10.19.(対面).
・キャリアガイダンス,岡山県立津山東高等学校, 2021.10.19. (対面).

(2) 電話高校訪問
・兵庫県内の高校(7 校訪問), 2021.11.8.(電話).
・岡山県内の高校(1 校訪問), 2021.11.8.(電話).
・鳥取県内の高校(1 校訪問), 2021.11.8.(電話).

3)その他
・岡山県立大学大学院保健福祉学研究科博士前期課程　公衆衛生看護管理論　(15 時間)
・玉野医療総合医療専門校保健看護学科(14 時間)
・旭川荘厚生専門学院(12 時間)

研究活動

学術論文

1)山野井尚美, 栗本一美, 三上ゆみ, 郷木義子:日本のヤングケアラーの現状に関する文献の動向, インターナショナル Nursing Care Research, 20(3), 105-114, 2021.11.
2)山野井尚美, 矢庭さゆり, 大田好江, 他 4 名:新見市国民健康保険データヘルス計画から地域精神保健活動のニーズを考える(第 1 報). 新見公立大学紀要, 42(2), 131-135, 2022.

学会発表

1)和泉比佐子, 岩本里織, 山野井尚美, 他 4 名: 倫理委員会企画「コロナ禍での ICT を活用した研究における倫理を考える」ワークショップ. 第 10 回日本公衆衛生看護学会学術集会(WEB 開催)(大阪府), 2022.1.8-9.

その他

1)山野井尚美: 「災害級コロナから命と健康を守る保健師」, 日本看護学校共済会ウィルネクストマガジン:巻頭特集, 10(2), 2021.10.30.

社会的活動

講演・研修会

1)山野井尚美 : 「新型コロナウイルス感染症の予防について」, (岡山県クラスター専門家としての講演)岡山県東備地域1市3町　社会福祉施設職員等研修会(オンライン実施), 2021.7.14.
2)山野井尚美: 「新型コロナウイルス感染症について正しく知ろう」, 新見市愛育委員会熊谷支

部研修会, 熊谷地域支援センター, 2021.6.30.
3) 山野井尚美:「新型コロナウイルス感染症について正しく知ろう」, 新見市愛育委員会石蟹支部研修会,石蟹公民館, 2021.7.16.
4)山野井尚美: 「新型コロナウイルス感染症について正しく知ろう」, 新見市愛育委員会千屋支部研修会, 千屋市民センター, 2021.7.26.
5)山野井尚美:「新型コロナウイルス感染症について正しく知ろう」, 新見市愛育委員会唐松支部研修会, 唐松地域支援センター, 2021.10.25.
6)山野井尚美:「こころの健康を保つには」.新見公立大学公開講座, 新見公立大学,2021.10.29.
7)山野井尚美:「管理期の自治体保健師に必要な能力」,徳島県管理期保健師研修会,(オンライン実施), 2021.9.3.
8)山野井尚美:「思春期のこころ　親として地域としてできること」. 令和３年度 総社市親子健康づくり講演会, 総社市山手公民館, 2022.1.20.
9)山野井尚美:「ゲートキーパーの役割」, 新見市愛育委員会神郷地区研修会, 神郷地域センター, 2022.2.1.
10) 山野井尚美:「新型コロナウイルス感染症について正しく知ろう」, 新見市保健師研修会, 新見市役所, 2021.7.12.

その他
1)2021 年度学長配分研究費, 研究課題「看護、福祉、教育の協働を目指した同一教材の有効性に関する検討ーヤングケアラーに着目してー」, 申請者 山野井尚美, 共同研究者 栗本一美,三上ゆみ, 郷木義子.
2)保健師人材育成ガイドライン～実習指導を人材育成と一体的に～作成: 岡山県保健師教育研究会, 2022.3 暫定版
3)ヤングケアラー勉強会 : 「知ってくださいヤングケアラー」. 新見公立大学, 2022.3.21.

役職
1)岡山県新型コロナウイルス　クラスター専門家
2)岡山県児童虐待防止等専門サポートチーム委員
3)日本公衆衛生看護学会倫理委員会　委員
4)新見市新型コロナワクチンアドバイザー(新見市コロナウイルス対策本部会議アドバイザー)
5)岡山いのちの電話協会　評議委員
6)赤磐市介護保険審査会委員
7)新見市保健活動検討会メンバー

その他
1)岡山市新型コロナウイルス保健・衛生対策本部への応援派遣
2)新見市保健活動検討会開催, 4 回
3)岡山県クラスター対策班(OCIT)活動報告会議, 岡山大学医学部臨床第一講義室, 2021.11.13
4)交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2021.4.6, 2021.9.29.

講師　真壁五月

教育活動

専門分野

成人看護学, 看護管理学

担当科目

・成人看護学援助論A(慢性期)単元 2: 看護学科 2 年, 前期 10 時間, 必修
・成人看護学援助論B(急性期)単元 2: 看護学科 2 年, 後期 20 時間, 必修
・成人看護学援助論B(急性期)単元 3:「急性期にある紙上事例演習」: 看護学科 2 年, 後期 10 時間, 必修
・成人看護学援助論C(緩和ケア)単元 3「紙上事例による看護過程の展開」: 看護学科 3 年, 前期 6 時間, 必修
・成人看護学実習A（慢性期）: 看護学科 4 年, 前期 180 時間, 必修, 9 人
・成人看護学実習A（慢性期）: 看護学科 3 年, 後期 180 時間(×3 クール), 必修, 17 人
・成人看護学実習A（慢性期）欠席者の補充実習: 看護学科 3 年, 後期 120 時間, 必修, 1 人
・看護管理: 看護学科 3 年, 前期 22 時間, 必修
・救命救急医療論 : 看護学科 3 年, 後期 14 時間, 必修, 8 人
・基礎ゼミナール: 看護学科 1 年, 前期 30 時間, 必修, 8 人
・卒業研究 I (基礎編): 看護学科 3 年, 通年 45 時間, 必修, 5 人
・卒業研究Ⅱ(実践編): 看護学科 4 年, 通年 30 時間, 必修, 3 人
・学修成果確認講座(看護統合領域): 看護学科 4 年, 後期 2 時間, 63 人

その他の教育活動

1)本学における活動
・教務委員会　委員
・看護学科 4 年生(第 9 期生)チューター・アドバイザー
・看護学科 国家試験対策委員会 委員長
・看護学科 継続教育プロジェクト　委員
・授業補佐 : 看護学科 1 年生　スポーツ実習B(スキー実習)引率 : 2022.1.25.

2)高校訪問
・岡山県立新見高等学校訪問, 模擬授業, 2021.9.17. (WEB)

研究活動

学術論文

1)木曽田歩実, 道満ゆかり, 真壁五月 , 他 3 名: 中山間地域で働く看護師の呼吸音についての知識・技術の習得方法. 岡山県看護協会新見看護研究, 23, 15-23, 2021.

学会発表

1)木曽田歩実, 道満ゆかり, 真壁五月, 他3名: 中山間地域で働く看護師の呼吸音についての知識・技術の習得方法. 岡山県看護協会看護研究発表会(新見支部), オンライン発表, 2022.2.26.

外部資金獲得状況

1) 令和 2 年度～令和 4 年度 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C), 研究課題「看護職の介護離職防止対策－看護職が介護離職を選択する要因－」, 課題番号 20K02161, 研究代表者: 真壁五月, 他 1 名.
2)平成 31 年度～令和 5 年度 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C), 研究課題「小規模病院の連携で創る中山間地域の看護師の継続教育プログラムとその評価」, 課題番号 19K10806, 研究分担者: 真壁五月.

社会的活動

役職

1)新見市介護認定審査会　委員

その他

1)新見市の医療・看護を担う人材の育成を検討する会(2022.2.「看育ぴおーえん」に改名) 会議. 新見公立大学（2022.4.より Zoom ミーティング）. 2021.4.14, 5.26, 6.16, 7.21, 8.18, 9.15, 10.20, 11.17, 12.15, 2022.1.19, 2.16, 3.16.(計 12 回)
2)新見市内 4 病院看護師臨床研修会(2022.2.より「まなびの森　にいみ」に改名). 新見公立大学(Zoom ミーティング補助): 2021.10.9, 11.20, 12.18, 2022.1.15, 2.12.(計 5 回)
3)まにわ・ナーシングカレッジ卒後 2 年目研修(金田病院主催シミュレーショントレーニング),

開催補助. 新見公立大学地域共生推進センター棟5階シミュレーション室, 2022.2.26.

4)看護研究指導：医療法人思誠会渡辺病院看護師

5)交通安全街頭査察，西方小学校前交差点，2021.4.7.

講師　安田陽子

教育活動

専門分野

助産学

担当科目

・助産診断・技術学Ⅰ: 前期 30 時間, 必修
・助産診断・技術学Ⅲ: 前期 30 時間, 必修
・助産診断・技術学Ⅳ: 前期 30 時間, 必修
・助産学実習Ⅰ: 通年 90 時間, 必修
・助産学実習Ⅱ: 通年 360 時間, 必修
・助産学実習Ⅲ: 通年 45 時間, 必修
・助産学実習Ⅳ: 通年 45 時間, 必修
・助産学研究 : 前期 30 時間, 必修

その他の教育活動

1)本学における活動
・FD・SD 委員会　委員
・教育推進委員会　委員
・看護学科国試対策委員会　委員
・助産学専攻科　チューター

研究活動

学術論文

1)栗本一美, 三上ゆみ, 安田陽子: 新型コロナウイルス感染症における健康観と感染予防に対する行動変容―中山間地域に居住する世代間の比較―, インターナショナル Nursing Care Research20(3), 95-104, 2021.11.
2)四宮美佐恵, 安田陽子, 高尾緑, 平田知子 : 看護大学生の「親になること」に関する意識. 新見公立大学紀要, 42(1), 61-65, 2022.

学会発表

1)三上ゆみ, 安田陽子, 栗本一美: 中山間地域における新型コロナウイルス感染症に対する世代間の感染対策の取り組みについて. 第 26 回日本在宅ケア学会学術集会(Web&会場), 広島国際会場(広島市), 2021.8.28－8.29.
2)四宮美佐恵, 安田陽子, 高尾緑, 平田知子 : 看護大学生の「親になること」に関する意識. 第 62 回日本母性衛生学会総会・学術集会, WEB 開催, （岡山市）, 2021.10.15-16.

外部資金獲得状況

1)平成 31 年度～令和 5 年度 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C), 研究課題「小規模病院の連携で創る中山間地域の看護師の継続教育プログラムとその評価」, 課題番号 19K10806, 研究分担者: 安田陽子.

社会的活動

役職

1)岡山県看護協会新見支部　役員

その他

1)新見市の医療・看護を担う人材の育成を検討する会(「看育ぴおーえん」に改名). 2021.4.14, 5.26, 6.16, 7.21, 8.18, 9.15, 10.20, 11.17, 12.15, 2022.1.19, 2.16, 3.16.(計 12 回)
2)交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2021.4.8.

講師　赤田いづみ

教育活動

専門分野

基礎看護学

担当科目

・基礎ゼミナール: 看護学科1年, 前期30時間, 必修, 8 人
・健康生活援助技術論: 看護学科 1 年, 前期 60 時間, 必修
・療養生活援助技術論: 看護学科 1 年, 後期 60 時間, 必修
・健康障害援助技術論: 看護学科 2 年, 後期 34 時間, 必修
・看護過程論: 看護学科 2 年, 前期 45 時間, 必修
・基礎看護学実習Ⅰ: 看護学科 1 年, 通年 45 時間, 必修
・基礎看護学実習Ⅱ: 看護学科 2 年, 前期 90 時間, 必修, 9 人
・卒業研究Ⅰ(基礎編): 看護学科 3 年, 前期 30 時間, 必修, 3 人
・卒業研究Ⅱ(実践編): 看護学科 4 年, 通年 30 時間, 必修, 2 人

その他の教育活動

1)本学における活動
・修学・キャリア支援センター センター員
・実習調整委員会　委員
・看護学セミナー　委員

2)高校訪問
・進路ガイダンス, 明誠学院高等学校, (対面), 2021.9.21.

研究活動

学術論文

1)吉田美穂, 多田めぐみ, 山本智恵子, 赤田いづみ, 土井英子: 基礎看護学実習Ⅰ訪問実習の教育効果と課題. 新見公立大学紀要, 42(2), 95-99, 2021.

学会発表

1)中嶋章仁, 石井豊恵, 井上文彰, 赤田いづみ, 他 9 名: 急角度頭低位の砕石位における全身耐圧変化の特徴. 第 60 回日本生体医工学会大会, オンライン開催, 2021.6.15-17.
2)山口亜希子, 福重春菜, 石井豊恵, 赤田いづみ, 他 9 名 : The characteristics of scenes that mechanically ventilated critically ill patients actively communicate : Video based descriptive observational study. 第 49 回日本集中治療医学会学術集会, 日韓ジョイントシンポジウム, 仙台国際センター(仙台市), 2022. 3. 18-20.

外部資金獲得状況

1)平成 30 年度～令和 4 年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C)研究課題「看護基礎教育における卒後の組織社会化促進に向けた予期的社会化尺度の開発」, 課題番号 18K10222, 研究代表者: 赤田いづみ.

社会的活動

その他

1)交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2021.4.14.

講師　丸山純子

教育活動

専門分野

在宅看護

担当科目

・基礎ゼミナール：看護学科1年，前期30時間，必修，担当8人
・在宅看護援助論：看護学科2年，後期16時間，必修
・在宅看護実習：看護学科3-4年，通年90時間，必修
・救命救急医療論：看護学科3年，後期14時間，必修，6人
・訪問看護展開論Ⅱ：看護学科3年訪問看護・地域看護コース，後期30時間，必修，6人
・基礎看護学実習Ⅱ：看護学科2年，前期2日間，必修，3人
・卒業研究Ⅰ(基礎編)：看護学科 3 年，通年 45 時間，必修3人
・卒業研究Ⅱ(実践編)：看護学科 4 年，通年 30 時間，必修3人

その他の教育活動

1)本学における活動
・入試委員会　委員
・研修研究委員会　委員
・国試対策委員会　委員
・訪問看護・地域看護コースプロジェクト担当
・看護学科3年チューターアドバイザー
・PIONEプロジェクトメンバー

研究活動

学術論文

1) 丸山純子，大島由美，栗本一美：在宅看護における遠隔医療の有効性と課題に関する文献検討．新見公立大学紀要，42(2)，77-85，2022.
2) 山本智恵子，溝尾妙子，丸山純子他2名：中山間地域における看護職の急変対応シミュレーション教育の効果の検証.新見公立大学紀要，42(2)，69-75，2022.
3) Taeko MIZOO, Yasuhiro MANDAI, Junko MARUYAMA, 5 Others: Practice and the Efficiency of Simulation Training for Nurses in a Rural Mountainous Area. Journal of Medical Education and Training, 6(1), 2022.

学会発表

1) 大島由美，丸山純子，栗本一美：高齢糖尿病療養者のインスリン自己注射の現状についての文献検討．日本看護研究学会中国・四国地方会第35回学術集会，鳥取看護大学(WEB学会)，2022.3.6-3.20.
2) 丸山純子：在宅看護における遠隔医療の有効性と課題．備北人文科学学会第45回学術集会，新見公立大学(新見市)，2021.8.6.

その他

1) 栗本一美，丸山純子:地域で暮らす人々の健康と生活を支える「地域看護学」の再構築．看護展望47(4)，メヂカルフレンド社，101-105，2022.

社会的活動

役職

1)新見こころの健康を考える会　委員

その他

1)唐松地区サテライト・デイ
・唐松公民館，看護学科3年生10人と参加，健康測定，レクリエーション，2021.11.22.
2)哲西地区ミニデイ
・三光生活改善センター，看護学科3年生5人と参加，健康測定，レクリエーション，2021.11.29.
3)交通安全街頭査察，西方小学校前交差点，2021.4.13，9.27.

講師　吉田美穂

教育活動

専門分野

基礎看護学

担当科目

・基礎ゼミナール：看護学科 1 年, 前期 30 時間, 必修, 担当 8 人
・健康生活援助技術論：看護学科 1 年, 前期 60 時間, 必修
・療養生活援助技術論：看護学科 1 年, 後期 60 時間, 必修
・健康障害援助技術論：看護学科 2 年, 後期 60 時間, 必修
・看護過程論：看護学科 2 年, 前期 45 時間, 必修
・救命救急医療論：看護学科 3 年, 後期 14 時間, 必修, 7 人
・訪問看護展開論Ⅱ：看護学科 3 年訪問看護・地域看護コース, 後期 30 時間, 必修, 6 人
・基礎看護学実習Ⅰ（実習指導）：看護学部 1 年, 通年 45 時間, 必修
・基礎看護学実習Ⅱ(実習指導):看護学科 2 年, 後期 90 時間, 必修, 12 人
・卒業研究Ⅰ(基礎編)：看護学科 3 年, 通年 45 時間, 必修, 3 人
・卒業研究Ⅱ(実践編)：看護学科 4 年, 通年 30 時間, 必修, 2 人

その他の教育活動

1)本学における活動
・地域共生推進センター　委員
・看護学科 1 年チューターアドバイザー
・看護学科卒業研究　委員
・訪問看護・地域看護コースプロジェクト担当
・PIONE プロジェクトメンバー
・ソフトテニス部顧問

2)高校訪問
・進学ガイダンス,鳥取県敬愛高校(WEB), 2021.9.22.

3)その他
・美作大学, 保育及び家庭看護学, 12 時間
・ハイブリッド授業型プロジェクトミーティング, 10.7, 10.21, 11.4, 2022.1.20, 1.28, 2.18, 3.10,3.23,3.30

研究活動

学術論文

1) 吉田美穂, 多田めぐみ, 山本智恵子, 他 2 名:基礎看護学実習Ⅰ訪問実習の教育効果と課題. 新見公立大学紀要, 42(2), 95-99, 2021.
2) 山本智恵子, 溝尾妙子, 吉田美穂, 他 2 名: 中山間地域における看護職の急変対応シミュレーション教育の効果の検証. 新見公立大学紀要, 42(2), 69-75, 2021.
3) Taeko MIZOO, Yasuhiro MANDAI, Miho YOSHIDA ：Practice and the Efficiency of Simulation Training for Nurses in a Rural Mountainous Area. Journal of Medical Education and Training, 6(1), 2022.

社会的活動

役職

1) 看護連盟新見支部　代表連絡員
2) 新見市建築審査会　委員

その他

1) シミュレーショントレーニング, 新見公立大学シミュレーション室, 2021.11.14.
2) 下熊谷廃校活用ワークショップ, 2021.11.14.
3) むすびの場交流会, 駅前交流センター, 2021.9.20
4) Advanced life support コース, 新見公立大学シミュレーション室, 2022.3.26
5) 交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2021.9.21.

助教　西川由貴子

教育活動

専門分野

母性看護学

担当科目

・基礎ゼミナール: 看護学科 1 年, 前期 30 時間, 必修, 9 人
・母性看護学実習：看護学科 4 年, 前期 90 時間, 必修
・母性看護学実習：看護学科 3 年, 後期 90 時間, 必修
・母性看護学援助論： 看護学科 2 年, 後期 45 時間, 必修
・卒業研究 I (基礎編): 看護学科 3 年, 通年 45 時間, 必修, 3 人
・卒業研究Ⅱ(実践編): 看護学科 3 年, 通年 30 時間, 必修, 3 人
・救命救急医療論:看護学科 3 年, 後期 14 時間, 必修, 8 人

その他の教育活動

1)本学における活動
・保健管理センター　委員（障がい学生支援担当）
・看護学科基礎ゼミナール　委員
・幹事

研究活動

学術論文

1)西川由貴子, 岡﨑愉加, 上村茂仁：低用量経口避妊薬（OC）の服用を継続している成人女性の行動. 日本母性衛生学会, 62(4), 638-646, 2022.

社会的活動

講演・研修会

1)西川由貴子: 障がい学生支援について. 健康教育講演会, 地域共生推進センター講堂, 2021.5.12.
2)西川由貴子： ふるさとをつないで 平成 30 年西日本豪雨災害を体験した今、伝えたいこと～倉敷市真備町～. 災害看護, 地域共生推進センター 交流ホール, 2022.1.17.

役職

1)岡山 SRH 研究会運営委員
2)そーる訪問看護ステーション エンリッチカフェ運営委員
3)倉敷市消防団 倉敷撫子隊 玉島方面隊女性部本部員

その他

1)そーる訪問看護ステーション エンリッチカフェ 健康教育相談,2021.4.11, 7.11, 2022.3.13
2)そーる訪問看護ステーション 阪神大震災復興象徴 はるかのひまわりの苗植え,2021.6.13
3)防災ばあ,呉妹・服部地区,2021.4.26, 7.7, 2022.3.26.
4)応急手当普及員受講, 倉敷市消防局, 2021.10.24
5)倉敷市消防団意見交換会 オンライン開催, 倉敷市消防団玉島方面隊, 2021.12.10.
6)2021 年度岡山 SRH 研究会オンラインセミナー, 岡山 SRH 研究会,2022.2.20.
7)交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2021.4.9.

助教　平田知子

教育活動

専門分野

母性看護学

担当科目

・基礎ゼミナール: 看護学科1年, 前期30時間, 必修, 8 人
・医療情報: 看護学科 2 年, 前期 4 時間, 必修
・母性看護学援助論: 看護学科 2 年, 後期 45 時間, 必修
・救命救急医療論 : 看護学科 3 年, 後期 14 時間, 必修, 8 人
・母性看護学実習: 看護学科3年, 後期90時間, 必修
・母性看護学実習: 看護学科 4 年, 前期 90 時間, 必修
・基礎看護学実習Ⅱ : 看護学科 2 年, 後期 90 時間, 必修, 4 人
・卒業研究Ⅰ(基礎編): 看護学科 3 年, 通年 45 時間, 必修, 2 人
・卒業研究Ⅱ(実践編): 看護学科 3 年, 通年 30 時間, 必修, 3 人

その他の教育活動

1)本学における活動
・教育推進委員会　委員
・研修研究委員会　委員
・PIONE プロジェクトメンバー

研究活動

学術論文

1)四宮美佐恵, 安田陽子, 高尾緑, 平田知子 : 看護大学生の「親になること」に関する意識. 第 62 回日本母性衛生学会総会・学術集会 WEB 開催, 岡山市, 2021.10.15-16.
2)平田知子, 四宮美佐恵, 安田陽子, 高尾緑, 新居涼子: 助産師が性教育で生徒に伝えたいこと. 第 62 回日本母性衛生学会総会・学術集会 WEB 開催, 岡山市, 2021.10.15-16.

学会発表

1) 四宮美佐恵, 安田陽子, 高尾緑, 平田知子 : 看護大学生の「親になること」に関する意識. 第 62 回日本母性衛生学会総会・学術集会 WEB 開催, 岡山市, 2021.10.15-16.
2)平田知子, 四宮美佐恵, 安田陽子, 高尾緑, 新居涼子: 助産師が性教育で生徒に伝えたいこと. 第 62 回日本母性衛生学会総会・学術集会 WEB 開催, 岡山市, 2021.10.15-16.

社会的活動

その他

1)交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2021.9.27.

助教　宮武一江

教育活動

専門分野

成人看護学

担当科目

・成人看護学援助論Ａ(慢性期) 単元 4: 看護学科 2 年, 前期 2 時間, 必修
・成人看護学援助論Ａ(慢性期) 単元 5: 看護学科 2 年, 前期 2 時間, 必修
・成人看護学援助論Ｂ(急性期)単元 3「急性期にある紙上事例演習」: 看護学科 2 年, 後期 10 時間, 必修
・成人看護学援助論Ｃ(がん看護)単元 3「紙上事例による看護過程の展開」: 看護学科 3 年, 前期 6 時間, 必修
・成人看護学実習Ｂ (急性期): 看護学科 4 年, 前期 180 時間, 必修, 16 人
・成人看護学実習Ａ (慢性期): 看護学科 3 年, 前期 180 時間, 必修, 8 人
・成人看護学実習Ｂ (急性期): 看護学科 3 年, 後期 180 時間, 必修, 5 人
・基礎看護学実習Ⅱ: 看護学科2年, 後期90時間, 必修, 4 人
・救命救急医療論: 看護学科 3 年, 後期 30 時間, 必修
・基礎ゼミナール: 看護学科 1 年, 前期 30 時間, 必修, 10 人
・卒業研究Ⅰ(基礎編): 看護学科3年, 通年45 時間, 必修, 2 人
・卒業研究Ⅱ(応用編): 看護学科 4 年, 通年 30 時間, 必修, 2 人
・看護生涯教育論「看護職のキャリア発達の実際」: 看護学科 3 年, 前期 2 時間, 選択

その他の教育活動

1)本学における活動
・教育推進委員会　委員
・実習調整委員会　委員
・看護学科風花会　委員

研究活動

学術論文

1)小林匡美, 井上弘子, 宮武一江, 礒本暁子: コロナ禍における学内での手術室見学代替演習に実技演習を取り入れた取り組みについて. 新見公立大学紀要, 42 - 2, 137 - 143, 2021

社会的活動

その他

1)交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点
2021. 4. 14, 2021. 9. 29

助教　中川彩見

教育活動

専門分野

公衆衛生看護学

担当科目

・基礎ゼミナール：看護学科1年，前期30時間，必修，8人
・基礎看護学実習Ⅱ：看護学科2年，前期90時間，必修，3人
・疫学調査・疫学演習：看護学科 3 年，後期 30 時間，選択必修，20人
・救命救急医療論：看護学科3年，後期14時間，必修，20人
・地域保健指導論Ⅰ(基礎)：看護学科3年，後期10時間，選択必修，20人
・卒業研究Ⅰ(基礎編)：看護学科 3 年，通年 45 時間，必修，3人
・卒業研究Ⅱ(応用編)：看護学科 4 年，通年 30 時間，必修，2人
・公衆衛生看護学実習Ⅰ(基礎)：看護学科 4 年，通年45時間，選択必修，5人
・公衆衛生看護学実習Ⅱ(応用)：看護学科 4 年，通年180時間，選択必修，6人
・子どもの健康と安全：健康保育学科1年，後期22時間，必修
・子ども家庭の心理学：健康保育学科1年，後期4時間，必修

その他の教育活動

1)本学における活動
・発達障がい児支援プロジェクト　委員
・修学・キャリア支援センター員
・倉敷成人病センターとの連携(県北担当)
・国家試験対策委員会　委員
・卒業研究委員会　委員
・先輩と語る会　委員

2)高校訪問等
・進学ガイダンス
就実高等学校，2021.6.3.(WEB)
県立玉島高等学校，2021.6.17.(WEB)
作用高等学校，2021.7.15.(WEB)
県立井原高等学校北校地，2021.10.19.(対面)
広島県内の高校(6校)，2021.11.4.(電話)

3)その他
・発達障がい児支援プロジェクトミーティング，2021.4.17，5.22，11.13，11.21，12.5，12.19，1.9，1.30，2.13，2.20，2.27，3.6，3.13，3.20.
・発達障がい児支援プロジェクトミーティング(本郷小学校)，2021.7.12.
・ハイブリッド型授業プロジェクトミーティング，2021.10.7，10.21，11.4，1.20，1.28，2.18，3.10，3.23，3.30.

研究活動

学術論文

1)金山時恵，矢庭さゆり，中川彩見：保健師学生が体験した母子保健見学実習からの学び．インターナショナル Nursing Care Research，20(2)，145-153，2021.
2)中川彩見：発達障害のある子どもを持つ母親のワーク・ライフ・バランス．精神科，39(5)，606-610，2021.
3)中川彩見，矢嶋裕樹：発達上の課題をもつ児の療育利用状況-母親を対象とした質問紙調査-．新見公立大学紀要，42(2)，113-117，2021.

学会発表

1)山本裕子，中川彩見，郷木義子：食物アレルギーに関する講義後の保育専攻学生の意識・知識の実態調査．第 68 回日本小児保健協会学術集会，沖縄(WEB学会)，2021.6.18-20.
2)中川彩見，矢嶋裕樹：発達に課題をもつ幼児の療育機関利用状況．第80回日本公衆衛生学会，東京(WEB学会)，2021.12.21-12.23.

その他

1)学長配分研究費「児童期を対象としたSST(ソーシャルスキルトレーニング)プログラムの開発」，研究代表者：芝﨑美和，研究分担者：中川彩見.
2)学長配分研究費「幼児をもつ母親の育児情報リテラシーと育児不安及び精神的健康との関連～育児情報リテラシー尺度開発に向けて～」，研究代表者：中川彩見，研究分担者：矢嶋裕樹.
3)学長配分研究費「「対面授業」と「遠隔・オンライン教育」との「ハイブリッド授業」の事例研究」，研究代表者：梶本佳照，研究分担者：吉田美穂，中川彩見，柳廸三寛.

社会的活動

役職

1)新見市障害支援区分認定審査　委員
2)日本医学看護学教育学会　評議員
3)一般社団法人全国保健師教育機関協議会中国・四国ブロック会計担当
4)新見公立大学バスデザイン実行委員会審査委員

その他

1)交通安全街頭査察，西方小学校前交差点，2021.4.15，9.27.
2)岡山市新型コロナウイルス保健・衛生対策本部への応援派遣，2021.8.22，8.29，9.5.

助教　井上弘子

教育活動

専門分野

成人看護学

担当科目

・成人看護学援助論Ｂ(急性期) 単元１・２： 看護学科２年, 後期 10 時間, 必修
・成人看護学援助論Ｂ(急性期)単元 3:「急性期にある紙上事例演習」: 看護学科 2 年, 後期 10 時
間, 必修
・成人看護学援助論Ｃ(緩和ケア)単元 3「紙上事例による看護過程の展開」: 看護学科３年, 前期６時間, 必修
・成人看護学実習Ｂ (急性期): 看護学科４年, 前期 180 時間, 必修, 12 人
・成人看護学実習Ａ (慢性期): 看護学科３年, 後期 180 時間, 必修, ８人
・救命救急医療論: 看護学科３年, 後期 30 時間, 必修
・基礎ゼミナール: 看護学科１年, 前期 30 時間, 必修, ８人
・卒業研究Ⅰ(基礎編): 看護学科3年, 通年45 時間, 必修, ２人
・卒業研究Ⅱ(応用編): 看護学科 4 年, 通年 30 時間, 必修, ２人
・基礎看護学実習Ⅱ: 看護学科2年, 後期90時間, 必修, ４人

その他の教育活動

1)本学における活動
・広報委員会 委員
・献血推進サークルＳ・Ｂ・D.niimi 部 顧問
・オープンキャンパス企画・運営
・PIONE 活動メンバー

2)高校訪問等
・高校進路ガイダンス, 井原高等学校 北校地, 2021.4.28.
・高校進路ガイダンス(オンライン), 加古川南高等学校, 2021.6.15.
・高校進路ガイダンス, 就実高等学校, 2021.10.7.
・高校進路ガイダンス(オンライン), 生野高等学校, 2021.12.21.
・高校進路ガイダンス, 佐用高等学校, 2022.2.15
・高校電話訪問, 山口県２校, 徳島県２校, 香川県６校, 高知県３校

研究活動

学術論文

1)小林匡美, 井上弘子, 宮武一江, 礒本暁子: コロナ禍における学内での手術室見学代替演習に実技演習を取り入れた取り組みについて. 新見公立大学紀要, 42‐2, 137‐143, 2021.

学会発表

1)井上弘子 , 真壁五月 : 病棟夜勤勤務時に地震が発生した事例を用いた災害看護演習の方略. 第 31 回日本看護学術集会, オンライン開催, 2021.8.17‐9.17.

外部資金獲得状況

1)令和2年度～令和4年度 日本学術復興会科学研究費補助金(基盤研究Ｃ), 研究課題「臨床研究コーディネーターのおけるモラルディストレス尺度を用いた倫理的悩みの検証」, 課題番号 20K10666, 研究代表者 : 井上弘子.

その他

1)交通安全週間街頭査察, 西方小学校交差点, 2021.4.6, 9.24.

助教　多田めぐみ

教育活動

専門分野

基礎看護学

担当科目

・基礎ゼミナール：看護学科 1 年，前期 30 時間，必修，8 人
・健康生活援助技術論：看護学科 1 年，前期 60 時間，必修
・療養生活援助技術論：看護学科 1 年，後期 60 時間，必修
・健康障害援助技術論：看護学科 2 年，後期 34 時間，必修
・看護過程論：看護学科 2 年，前期 45 時間，必修
・基礎看護学実習Ⅰ：看護学科1年，通年45時間，必修
・基礎看護学実習Ⅱ：看護学科2年，前期90時間，必修，6 人
・臨床援助技術演習：看護学科 4 年，後期 30 時間，選択
・卒業研究Ⅰ(基礎編)：看護学科 3 年，通年 45 時間，必修，4 人
・卒業研究Ⅱ(実践編)：看護学科 4 年，通年 30 時間，必修，4 人

その他の教育活動

1)本学における活動
・看護学科 2 年生チューター・アドバイザー
・看護学科卒業研究倫理審査　委員
・看護学科風花会　委員

研究活動

学術論文

1)吉田美穂，多田めぐみ，山本智恵子，他 2 人：基礎看護学実習Ⅰ訪問実習の教育効果と課題，新見公立大学紀要，42，95-99，2022.

社会的活動

その他

1)交通安全街頭査察，西方小学校前交差点，2021.4.14，9.24.

助教　小林匡美

教育活動

専門分野

成人看護学

担当科目

1)教育補助

・成人看護学援助論Ｂ（急性期）単元 1「手術療法と看護」：看護学科 2 年，後期 6 時間，必修
・成人看護学援助論Ｂ（急性期）単元 3「急性期にある紙上事例演習」：看護学科 2 年，後期 10 時間，必修，16 人
・成人看護学援助論Ｃ（緩和ケア）単元 3「紙上事例による看護過程の展開」：看護学科 3 年，前期 6 時間，必修
・基礎ゼミナール：看護学科 1 年，前期 30 時間，必修，9 人
・成人看護学実習Ｂ：看護学科 4 年，前期 180 時間，必修，16 人
・成人看護学実習Ａ：看護学科 3 年，後期 180 時間，必修，14 人
・基礎看護学実習Ⅱ：看護学科2年，後期90時間，必修，4 人
・卒業研究Ⅰ(基礎編)：看護学科 3 年，通年 45 時間，必修，2 人

その他の教育活動

1)本学における活動

・基礎ゼミナール委員
・研修研究委員

研究活動

学術論文

1)小林匡美，井上弘子，宮武一江，礒本暁子：コロナ禍における学内での手術室見学代替演習に実技演習を取り入れた取りくみについて．新見公立大学紀要，42-2，137 - 143，2021

社会的活動

その他

1)交通安全週間街頭査察，西方小学校交差点，2021.9.24

助教　安藤亮

教育活動

専門分野

老年看護学

担当科目

・老年看護学援助論：　看護学科 2 年, 前期 45 時間, 必修
・老年看護学実習：看護学科 3～4 年, 前後期 90 時間, 必修
・生活支援看護学実習 : 看護学科 3～4 年, 前後期 90 時間, 必修
・基礎ゼミナール: 看護学科1年, 前期30時間, 必修, 6 人
・救命救急医療論 : 看護学科 3 年, 後期 14 時間
・卒業研究Ⅰ： 看護学科 3 年, 通年 45 時間,必修, 2 人

その他の教育活動

1)本学における活動

・広報委員会　委員
・卒業研究委員会　委員

研究活動

学術論文

1) 安藤亮, 名越恵美, 實金栄 : 終末期維持透析患者の医療・ケア方針の検討にかかわる看護師のジレンマ・曖昧さに対する対処. 臨床倫理, 10, 16-26, 2022.
2) 木下香織, 安藤亮, 難波香 : 新型コロナウイルス感染症影響下における老年看護学実習の代替学内実習での学生の学び. 新見公立大学紀要, 42(2), 55-62, 2022.

学会発表

1) 安藤亮, 名越恵美, 實金栄 : 終末期維持血液透析患者の医療・ケア方針の検討に関わる看護師のジレンマ・曖昧さに対する対処. 第 41 回日本看護科学学会学術集会, Web 開催, 2021.12.4-5.
2) 安藤亮, 名越恵美, 實金栄 : 終末期維持血液透析患者の医療・ケア方針の検討に関わる看護実践尺度の信頼性・妥当性の検証. 日本看護研究学会中国・四国地方会第 35 回学術集会, Web 開催, 2022.3.6-20.
3) 實金栄, 井上かおり, 安藤亮, 名越恵美 : 終末期心不全患者に対するエンドオブライフディスカッションの実践を測定する尺度の妥当性と信頼性の検討. 日本看護研究学会中国・四国地方会　第 35 回学術集会, Web 開催,2022.3.6-20.
4) 實金栄, 井上かおり, 安藤亮, 名越恵美 : ステージ D 心不全患者への看護師の End of Life Discussion の実践実態. 日本臨床倫理学会第 9 回年次大会,順天堂大学（東京都）及び Web ハイブリッド開催, 2022.3.19-20.

外部資金獲得状況

1) 公益財団法人ウエスコ学術振興財団　令和 3 年度学術研究費助成金

社会的活動

その他

1) 交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2021.4.13.

助教　長崎恵美子

教育活動

専門分野

精神看護学

担当科目

・基礎ゼミナール: 看護学科1年, 前期20時間, 必修, 8人
・精神看護学援助論：単元2「精神疾患をもつ対象の理解（4）：主な状態への対応①②」看護学科2年, 後期45時間, 必修
・精神看護学実習：看護学科3～4年, 前後期90時間, 必修
・卒業研究Ⅰ（基礎編）：看護学科3年, 前期30時間, 必修, 2人
・救命救急医療論：看護学科3年, 後期14時間, 必修, 8人
・基礎看護学実習Ⅱ：看護学科2年, 後期90時間, 必修, 4人

その他の教育活動

1)本学における活動
・卒業研究委員会　委員

研究活動

外部資金獲得状況

1)平成30年度～令和4年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C)研究課題「心疾患をもつ高齢者のDNAR選択に対する看護師の意思決定コーチングの教育開発」, 課題番号 18K10263, 研究代表者: 長崎恵美子.

社会的活動

その他

1)交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2021.9.22.

助産学専攻科・助教　髙尾緑

教育活動

専門分野

助産学

担当科目

・助産学実習Ⅰ： 助産学専攻科, 通年 90 時間, 必修
・助産学実習Ⅱ： 助産学専攻科, 通年 360 時間, 必修
・助産学実習Ⅲ： 助産学専攻科, 通年 45 時間, 必修
・助産学実習Ⅳ： 助産学専攻科, 通年 45 時間, 必修

研究活動

学術論文

1)新居涼子, 四宮美佐恵, 安田陽子, 髙尾緑, 金山時恵: 助産師が性教育で児童生徒に伝えたいこと. 岡山県看護研究会誌, 44(1), 13-20, 2021.
2)四宮美佐恵, 安田陽子, 髙尾緑, 平田知子: 看護大学生の「親になること」に関する意識. 新見公立大学紀要, 42(1), 61-66, 2021.
3)平田知子, 四宮美佐恵, 安田陽子, 髙尾緑, 新居涼子: 助産師が性教育で生徒に伝えたい思い. 新見公立大学紀要, 42(1), 89-93, 2021.

学会発表

1)四宮美佐恵, 安田陽子, 髙尾緑, 平田知子： 看護大学生の「親になること」に関する意識. 第 62 回日本母性衛生学会総会・学術集会 WEB 開催, 2021.10.15-16.
2)平田知子, 四宮美佐恵, 安田陽子, 髙尾緑, 新居涼子: 助産師が性教育で生徒に伝えたいこと. 第 62 回日本母性衛生学会総会・学術集会 WEB 開催, 2021.10.15-16.

社会的活動

講演・研修会

1) 髙尾緑： 岡山県不妊専門相談センター・相談業, 2021.5.1, 6.4, 6.25, 7.3, 8.7, 9.4, 10.2, 11.6, 12.6, 2022.2.5, 3.5.
2) 髙尾緑： 岡山県不妊専門相談センター・不育症当事者の会, 2021.12.12.

助手　難波香

教育活動

専門分野

老年看護学

その他の教育活動

1)教育補助

・基礎ゼミナール: 看護学科1年, 前期20時間, 必修, 9 人

・基礎看護学実習Ⅱ: 看護学科 2 年, 後期 90 時間, 必修, 4 人

・老年看護学実習: 看護学科4年, 前期90時間, 必修

・老年看護学実習: 看護学科3年, 後期90時間, 必修

・生活支援看護学実習: 看護学科 4 年, 前期 90 時間, 必修

・生活支援看護学実習: 看護学科 3 年, 後期 90 時間, 必修

2)本学における活動

・学生生活支援センター　委員

研究活動

学術論文

1)木下香織, 安藤亮, 難波香: 新型コロナウイルス感染症下における老年看護学実習の代替学内実習での学生の学び. 新見公立大学紀要, 42(2), 55-62, 2022.

外部資金獲得状況

1)2021 年度笹川保健財団研究助成金研究課題「地域在住高齢者の人生の最終段階における医療・ケア方針の表明への関連要因の検討」, 助成番号 2021A-012, 研究代表者: 難波香

社会的活動

その他

1)交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2021.4.7.

助手　西村美紗希

教育活動

専門分野

小児看護学

その他の教育活動

1)教育補助

・基礎ゼミナール: 看護学科1年, 前期30時間, 必修, 9 人
・小児看護学実習: 看護学科3年, 後期90時間, 必修
・小児看護学実習: 看護学科 4 年, 前期 90 時間, 必修
・救命救急医療論: 看護学科 3 年, 前期 14 時間, 必修, 8 人
・小児看護学援助論(授業補助): 看護学科 2 年, 後期 45 時間, 必修

2)本学における活動

・看護学科看護学セミナー　委員

研究活動

学術論文

1)西村美紗希, 上山和子： 医療的ケアを必要とする子どもと家族への退院支援に関する文献レビュー. インターナショナル Nursing Care Research 研究会, 20(2), 91-100, 2021.

2)山本裕子, 上山和子, 西村美紗希 ： 小児看護学領域におけるシミュレーション教育からの学生の学び－4 疾患の看護事例－. 新見公立大学紀要, 42(2), 107-112, 2022.

社会的活動

その他

1)交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2021.4.7.

助手　大島由美

教育活動

専門分野

在宅看護

その他の教育活動

1)教育補助

・在宅看護実習：看護学科3-4年，通年90時間，必修

・基礎ゼミナール：看護学科1年，前期30時間，必修，担当8人

・基礎看護学実習Ⅱ：看護学科2年，後期90時間，必修4人

・訪問看護展開論Ⅱ(授業補助)：看護学科3年，後期　1.5時間，選択必修6人

・看護生涯教育論(授業補助)：看護学科3年生，前期1.5時間，選択78人

2)本学における活動

・保健管理センター　委員

・NiU駅西交流棟PROJECT　担当

・看護学科卒業研究倫理審査　委員

研究活動

学術論文

1)丸山純子，大島由美，栗本一美：在宅看護における遠隔医療の有効性と課題に関する文献検討．新見公立大学紀要，42(2)，77-85，2022.

学会発表

1)大島由美，丸山純子，栗本一美：高齢糖尿病療養者のインスリン自己注射の現状についての文献検討．日本看護研究学会中国・四国地方会第35回学術集会，鳥取看護大学(WEB開催)，2022.3.6-3.20.

社会的活動

講演・研修会

1)大島由美：「糖尿病を予防して元気に冬を過ごそう」，三光ミニデイ．三光老人クラブ，三光生活改善センター，2021.11.29.

その他

1)三光ミニデイ．三光生活改善センター，看護学科3年生4名と参加，健康測定，レクレーション，2021.11.29.

2)交通安全街頭査察，西方地区内交差点，2021.4.13，9.24.

3)医療法人緑隆会太田病院，糖尿病療養指導，2021.4.22，5.25，6.22，7.27，9.28，10.26，11.30，12.21,2022.1.25，3.1，3.29.

4)医療法人千手会瀬尾医院，糖尿病教室，2021.4.24，5.29，7.10，8.7，9.4，10.2，11.6，12.4，2022.1.8，2.5，3.5.

3）地域福祉学科

学科長・教授　松本　百合美

教育活動

専門分野

介護福祉，高齢者介護

担当科目

・福祉サービス入門実習：地域福祉学科 1 年, 集中 30 時間, 必修
・介護福祉論:地域福祉学科 1 年, 前期 10 時間, 必修
・認知症の理解Ⅰ:地域福祉学科1年, 後期30時間, 必修
・認知症の理解Ⅱ：地域福祉学科 1・2 年, 後期 30 時間, 14 人
・生活支援技術Ⅲ：地域福祉学科 2 年, 前期 30 時間, 14 人
・生活支援技術Ⅳ：地域福祉学科 2 年, 後期 4 時間, 14 人
・アクティビティ活動援助法Ⅰ:地域福祉学科 2 年, 後期 30 時間, 13 人
・アクティビティ活動援助法Ⅱ:地域福祉学科 3 年, 後期 20 時間, 9 人
・介護総合演習Ⅰ:地域福祉学科 1 年, 後期 30 時間, 選択, 14 人
・介護福祉実習Ⅰ:地域福祉学科1年, 後期84時間, 選択 14 人
・基礎ゼミナールC:地域福祉学科 1 年, 通年 30 時間, 必修
・専門ゼミナール:　地域福祉学科 4 年, 通年 30 時間, 必修（4 人）

その他の教育活動

1)本学における活動
・地域福祉学科 学科長
・評価・将来構想委員会 委員
・ハラスメント等防止委員会 委員
・ハラスメント等防止委員会 相談員
・岡山県共生高等学校高大連携事業「介護過程の基本的理解」6 時間, 2021. 9. 31, 10. 2.

2)高校訪問
・岡山県邑久高校 校内ガイダンス, 2021. 4. 27.
・広島県立東城高校 校内ガイダンス（web）, 6. 22.
・広島県内の高校(5 校訪問), 2021. 10. 8, 11. 1.
・岡山県立玉島高校 教員説明会（web）, 12. 22.

研究活動

書籍

1）田路慧著　編者住居広士，近藤舞，松本百合美：
近世ヨーロッパ倫理思想の形成過程　― 大学院生のためのカント倫理学の研究 ―　改訂版, 閃利株式会社, 2022.

2）田路慧著　編者住居広士，近藤舞，松本百合美：カント倫理思想の形成過程について― 大学院生の　ためのカント倫理学の研究 ―改訂版，閃利株式会　社, 2022.

学術論文

1）三上ゆみ，岡京子，松本百合美：日本の外国人介護福祉士研究動向の文献レビュー，地域ケアリング, 24（2），45-51, 2022.

学会発表

1）三上ゆみ，岡京子，松本百合美：中山間地域での長期就労定着に向けた介護福祉士養成施設留学生の就労意向への考察，第 27 回日本介護福祉教育学会, 2022. 3. 26.（Web 開催）

外部資金獲得状況

1）令和 2 年度～令和 4 年度日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究 C）研究課題「中山間地域での長期就労定着に向けた外国人介護労働者支援プログラムの検討」課題番号20K12349, 研究分担者

社会的活動

講演・研修会

1）松本百合美：事故防止の介護技術．特別養護老人ホームケアポート生き活き館神郷職員研修（新見市），2021. 9. 15.
2）松本百合美：リスクマネジメントと事故防止の介護技術．特別養護老人ホームかもがわ荘職員研修（吉備中央町），2021. 12. 17.

役職

1)介護福祉士養成大学連絡協議会 理事
同調査研究委員会 委員

2) 日本介護福祉学会 幹事
3) 岡山県介護福祉研究会　会長

その他

1)　交通安全週間街頭査察,　西方小学校前交差点, 2021. 4. 6.
2) シミュレーショントレーニング in 新見：　新見公立大学,　2021. 11. 14
3) 新見市認知症サポーター養成講座(高尾学区連合町内会)　講師, 新見公立大学, 2021. 12. 11.

教授　岡　京子

教育活動

専門分野

介護福祉，高齢者介護

担当科目

・介護福祉論：地域福祉学科 1 年, 前期 22 時間, 必修
・障がいの理解Ⅰ：地域福祉学科1年, 後期32時間, 必修
・介護過程総論：地域福祉学科 1 年, 後期 32 時間, 選択, 14 人
・認知症のある人への生活支援・連携：地域福祉学科 3 年, 前期 16 時間，選択, 16 人
・疾患・障害がある人への生活支援・連携Ⅰ：地域福祉学科 3 年, 前期 16 時間，選択, 15 人
・基礎ゼミナールC：地域福祉学科 1 年, 通年 30 時間, 必修
・入門ゼミナール：地域福祉学科 2 年, 通年 6 時間, 必修
・専門ゼミナール：地域福祉学科 3 年, 通年 30 時間, 必修, 担当 5 人
・健康科学Ⅳ：学科共通科目 1 年, 後期 2 時間, 選択, 113 人
・チームアプローチ演習：学科共通科目 3 年, 前期 16 時間, 必修
・福祉サービス入門実習：地域福祉学科 1 年, 集中 30 時間, 必修
・介護過程演習Ⅰ：地域福祉学科 2 年, 前期 30 時間, 選択, 13 人
・介護総合演習Ⅱ：地域福祉学科2年, 前期30時間, 選択 13 人
・介護福祉実習Ⅱ：地域福祉学科 2 年, 前期 164 時間, 選択 13 人
・介護総合演習Ⅲ：地域福祉学科3年, 後期30時間, 選択, 12 人
・介護過程演習Ⅱ：地域福祉学科 2 年, 後期 30 時間, 選択, 13 人
・介護福祉実習Ⅲ：地域福祉学科 3 年, 後期 164 時間, 選択, 12 人

その他の教育活動

2) 本学における活動

・教務委員会　委員長
・保健管理センター　委員
・茶道部　顧問
・1 期生チューターアドバイザー
・岡山県共生高等学校高大連携事業「介護の基本」8 時間, 2021. 6. 4.
・同「障がいの基礎的理解」2 時間, 2021. 8. 27.
・介護福祉士国家試験対策　4 時間

2) 高校訪問

・岡山県内の高校(4 校訪問), 2021. 10. 18, 19. （対面）
・香川県内の高校 (6 校訪問) , 2021. 11. 1.（対面）
・進学ガイダンス(岡山学芸館高校), 2021. 11. 2 (対面)

研究活動

著書

1) 岡京子：第 3 章認知症の理解, 第 2 節医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理, 第 3 節認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活, 第 4 節家族への支援. 辻真美, 森繁樹, 松島智枝美, 岡京子, 他 3 人, 介護職員初任者研修課程テキスト 2, コミュニケーション技術と老化・認知症・障害の理解(第5版). 日本医療企画, 155-202, 2021.
2) 岡京子：第 9 章生活支援技術の展開, 第 3 節終末期の介護. 川井太加子, 秋山昌江, 竹田幸司（編) , 社会福祉学習双書 2022 第 15 巻介護概論. 全国社会福祉協議会, 248-259, 2022.
3) 岡京子：第 2 章障害別の基礎的理解と特性に応じた支援 1 , 第6節内部障害, 1 心臓機能障害, 3 腎臓機能障害. 秋山昌江, 上原千寿子, 川井太加子, 白井孝子（編）, 最新介護福祉士養成講座 14, 障害の理解, 第 2 版. 中央法規出版, 96-104, 113-120, 2022.
4) 岡京子：第 3 章介護実習準備, 実習中・実習後の学び, 第 3 節介護実習後の学習内容と方法. 秋山昌江, 上原千寿子, 川井太加子, 白井孝子（編）, 最新介護福祉士養成講座 10, 介護総合演習・介護実習, 第 2 版. 中央法規出版, 64-75, 2022.

学術論文

1) 辻真美, 三好弥生, 岡京子：ホームヘルパーが利用者から受けているハラスメントの実態と要因に関する研究―研究の背景と今後の研究方針―. 地域ケアリング, 第23巻第7号, 57-59, 2021.

2) 三上ゆみ, 岡京子, 松本百合美: 日本の外国人介護福祉士研究動向の文献レビュー. 地域ケアリング, 第 24 巻 2 号, 45-51, 2022.
3) 辻真美, 三好弥生, 岡京子: 訪問系のケアサービス従事者が利用者から受けるハラスメント発生要因に関する文献研究 - ホームヘルパーと訪問看護師との比較から-. 高知県立大学紀要社会福祉学部編, 第 71 巻, 51-66, 2022.

学会発表

1) 辻真美, 三好弥生, 岡京子 : ホームヘルプ労働におけるハラスメント発生要因に関する一考察.第 26 回日本在宅ケア学会学術集会（広島大学/WEB 開催）, 2021. 8. 28-29.
2) 三上ゆみ, 岡京子, 松本百合美: 中山間地域での長期就労定着に向けた介護福祉士養成施設留学生の就労意向への考察. 第 27 回日本介護福祉教育学会(WEB 開催), 2022. 3. 26.

外部資金獲得状況

1) 令和 2 年度～令和 4 年度日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究 C）研究課題「中山間地域での長期就労定着に向けた外国人介護労働者支援プログラムの検討」課題番号20K12349, 研究分担者

社会的活動

講演・研修会

1) 岡京子:介護過程の理論と指導方法. 岡山県介護福祉士会介護福祉士実習指導者講習会, きらめきプラザ（岡山市）, 2021. 8. 19.
2) 岡京子 : 利用者の全人性、尊厳の実践的理解と展開. 令和３年度岡山県介護福祉士会ファーストステップ研修, きらめきプラザ（岡山市）, 2021. 9. 1.
3) 岡京子:認知症高齢者ケアのあり方について. 令和３年度岡山県認知症対応型サービス事業開設者研修, きらめきプラザ（岡山市）, 2021. 9. 5.
4) 岡京子 : 高齢者事故防止について. 生き活き館神郷職員研修, 特別養護老人ホーム生き活き館神郷（新見市）, 2021. 11. 26.
5) 岡京子 : 問題解決のための思考法. 令和３年度岡山県介護福祉士会ファーストステップ研修, きらめきプラザ（岡山市）, 2021. 12. 2.

役職

1) 岡山県福祉人材センター運営委員会　委員
2) 若年性認知症自立支援ネットワーク会議　委員（岡山県若年性認知症コーディネーター支援事業）
3) 岡山県介護福祉士会倫理委員会委員

その他

1) シミュレーショントレーニング in にいみ, 新見公立大学, 2021. 11. 14.
2) 交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2021. 9. 29.

教授　山内　圭

教育活動

専門分野

英語，アメリカ文学(John Steinbeck, Saul Bellow他)，国際姉妹都市交流，時事英語

担当科目

・英語Ⅰ：地域福祉学科1年，後期30時間，必修
・英語Ⅰ：看護学科1年，後期30時間，必修
・英語Ⅱ：健康保育学科・地域福祉学科2年，前期30時間，選択，5人
・英語Ⅱ：看護学科2年，前期30時間，必修
・英語論文講読：学科共通3年，前期30時間，選択，11人
・基礎ゼミナールC(御殿町グループ主担当)：地域福祉学科1年，通年30時間，必修
・入門ゼミナール：地域福祉学科2年，必修
・専門ゼミナール：地域福祉学科3年，必修，ゼミ5人
・国際交流活動：看護学科4年，選択，13人単位修得
・国際コミュニケーション：全学科1-3年，選択
・健康科学英語：全学科2年，前期15時間，選択，5人
・地域文化実習：地域福祉学科2年，通年60時間，必修，科目コーディネータ(備中神楽)

外部資金獲得状況

1)令和3年度～令和7年度日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究B)
研究課題「Age Friendly Cities指標を用いた介護予防政策評価と社会実装研究」,課題番号21426520,研究代表者：鄭丞媛，研究分担者：近藤克則、尾島俊之、井上祐介、宮園康弘、井手一茂、山本浩史、山内圭、岸本由梨枝

その他の教育活動

1)　本学における活動
・地域福祉学科3年生チューターアドバイザー
・地域福祉学科チューター，3年生5人，2年生5人、1年生4人
・岡山県未来につなげる！晴れの国おかやま・のこさずたべよう事業 研究副代表
・岡山県未来につなげる！晴れの国おかやま・のこさずたべよう事業 高尾小学校での打ち合わせ，2021.6.8，6.18，活動引率，7.12，9.17，11.2，2022.2.22，野菜生育管理8.18，8.25，9.1，9.8.
・他大学大学院および専攻科受験のための英語指導
・実用英語技能検定受験者のための面接練習
・TOEIC受験者のための指導
・全日本青少年英語弁論大会出場者指導
・英会話部顧問
・写真部顧問
・写真部写真展指導および出品，喫茶標(2021.5)・鳴滝祭(2021.9.9-10.)
・硬式テニス部顧問
・新見フルーツ研究サークル(非公認)顧問
・保健管理センター委員
・新見駅西サテライト検討部会委員
・教員対象英語論文講読勉強会コーディネータ，2021.　4.21，5.19，6.16，7.21，8.18，9.15，10.20，11.17，12.15，2022.1.19，2.16，3.16.
・オープンキャンパス(学内案内等)，2021.7.18，8.29.
・学生健康診断誘導，4.2，4.5.
・学生保健委員会出席，5.21，10.8.
・新型コロナウイルスワクチン集団接種引率，岡山県南部健康づくりセンター，2021.7.5，8.2.

2)高校訪問等

(1)進学ガイダンス出席
・開星高等学校(対面)，2021.5.8.

(2)高校訪問
・岡山県内高等学校訪問(対面)，2021.10.14，11.5.
・兵庫県内高等学校訪問(対面)，2021.11.15.

3)その他
・岡山県立大学 English Language Program 2，English Language Program 5，English Language Program 6講義
・就実大学English Reading Ⅰ，English Reading Ⅱ講義
・福山医療専門学校 英語Ⅰ，英語Ⅱ，英会話講義

研究活動

著書

1)　Joan McConnell，山内　圭：*Good Grammar,*

Better Communication.（やさしく学ぶコミュニケーション英文法）. 成美堂, 2022.

2) Joan McConnell, 山内 圭：*Good Grammar, Better Communication Teachers' Mannual*.（やさしく学ぶコミュニケーション英文法教授用資料）. 成美堂, 2022.

3) 山内 圭：旧日本兵の寄せ書き日の丸返還への国際姉妹都市交流からの協力. 植月惠一郎他編, 多次元のトピカ：英米の言語と文化. 金星堂, 2022.

4) 山内 圭： メキシコ諸都市とソール・ベロー文学. 日本ソール・ベロー協会編, ソール・ベロー都市空間と文学. 彩流社, 2022.

論文

1) 山内 圭： インスタグラムに使われる曜日名“Monday”を含むハッシュタグについて, 新見公立大学紀要, 42, 119-125.

学会発表

1) 山内 圭: SNS における曜日名を含むハッシュタグ語について. 日本メディア英語学会第153回新語・語法研究分科会, オンライン開催. 2021.7.10.

2) 山内 圭: ジョン・スタインベックの作品から人種および民族に関するテーマに切り込む. フォーラム「英米文学・文化と人種・民族」, 欧米言語文化学会関西支部第33回例会, オンライン開催, 2021.9.18.

3) 山内 圭: 新居格の『怒りの葡萄』翻訳について. 第46回備北人文科学学会学術集会, 新見公立大学. 2022.1.5.

4) 山内 圭: 新居格と『怒りの葡萄』, 日本ジョン・スタインベック協会2021年度第2回オンライン学会, 2022.2.27.

その他

1)Kiyoshi Yamauchi: Online Exhibit Mary Deyo, Missionary to Japan 内の Mary Deyo のパスポート等翻訳, Historic Huguenot Street website, 2021.

2)Kiyoshi Yamauchi： An English Translation of the Divine Poems and Dialogues of *Sakaki-mai* and *Sarudahiko-no-mai* in *Bichu Kagura*（備中神楽の神歌および口上の現代英語訳Ⅰ）, 新見公立大学紀要, 42, 121-123, 2021.

3) 山内 圭: 会長挨拶: 日本ジョン・スタインベック協会会長に再任されて, The John Steinbeck Society of Japan *Newsletter*(日本ジョン・スタインベック協会会報)68, 1-3, 2021.

4)山内 圭: 徳島県立文学書道館文学特別展「新居格の仕事」展観覧記, The John Steinbeck Society of Japan *Newsletter*(日本ジョン・スタインベック協会会報)68, 4-7, 2021.

5) 山内 圭： [追悼]中田裕二先生, The John Steinbeck Society of Japan *Newsletter*(日本ジョン・スタインベック協会会報)68, 7-11, 2021.

6) 山内 圭: サンノゼでの国際スタインベック学会の延期について, The John Steinbeck Society of Japan *Newsletter*(日本ジョン・スタインベック協会会報)68, 12, 2021.

7) 山内 圭: 会長挨拶, 日本ジョン・スタインベック協会 2021 年度第 1 回オンライン学会, 2021.9.6.

8) 山内 圭: 会長挨拶, 日本ジョン・スタインベック協会 2021 年度第 2 回オンライン学会, 2022.2.27.

9) 山内 圭： 新語フォーラム報告, 日本メディア英語学会第152回新語・語法研究分科会, オンライン開催. 2021.4.10.

10) 山内 圭： 新語フォーラム報告, 日本メディア英語学会第154回新語・語法研究分科会, オンライン開催. 2021.10.9.

11) 山内 圭： 日本メディア英語学会年次大会研究発表司会, オンライン開催. 2021.10.24.

社会的活動

講演・研修会

1) 山内 圭： 審査員および指導講評, OHK 小学生英語暗唱コンテスト, 岡山国際交流センター, 2021.9.26.

2) 山内 圭: 英語で読む『はらぺこあおむし』他, 2021年度にいみ子育てカレッジ 子育て支援者に対する研修, 新見公立大学, 2021.11.25.

3) 山内 圭： 講評, 令和3年度新見市中学校英語学習表現発表会, 正田公民館, 2021.12.4.

4)　山内　圭, 新見市 ALT: 新見市国際交流協会外国語講座(英語)講師, 新見市学術交流センター, 2021.10.5, 10.12, 10.19, 10.26, 11.2, 11.9, 11.16, 11. 24, 11.30, 12.7.
5) 山内 圭：新聞記者と英語教員と一緒に英字新聞を読もう講座(新見英語サロン), 新見公立大学, 2022.2.21, 3.14.
5)交通安全週間街頭査察, 国道 180 号渡辺病院前交差点, 2021.4.7, 9.28.
6) 新見市アメリカ合衆国姉妹都市ニューヨーク州ニューパルツ・ヴィレッジとの Sister City Online Meeting 通訳, 2021.4.21, 9.11.
7) 新見市国際交流協会「にいみ国際交流まちあるき」通訳, 新見市御殿町エリア・城山公園, 2021.11.13.

役職

1)日本ジョン・スタインベック協会会長, 理事, 国際広報担当, 機関誌編集委員
2)日本メディア英語学会監事
3)日本メディア英語学会学会誌 *Media, English and Communication* 編集委員・査読委員
4)新見市国際交流協会理事, アメリカ班班長, 総務副委員長, 「国際交流だより」編集委員
5)備北人文科学学会幹事
6)International Society of Steinbeck Scholars, Vice President, Regional Director in Japan
7) 新見市立思誠小学校運営協議会委員
8) Steering Committee member for International Steinbeck Conference in Algeria
9) 新見フォトリップ写真コンテスト審査員

教授　山本浩史

教育活動

専門分野

社会福祉学，文化科学，教育学

担当科目

・にいみの保健医療福祉:共通科目,後期 15 時間,必修

・地域防災論：共通科目，夏期集中，30 時間，必修（地域福祉学科、健康保育学科）,選択（看護学科），154 人

・地域防災演習：共通科目，夏期集中，15 時間,必修（地域福祉学科、健康保育学科）,選択（看護学科），152 人

・社会福祉の原理と政策Ⅰ:地域福祉学科 1 年生,前期 30 時間，必修

・ソーシャルワーク演習Ⅱ:地域福祉学科 2 年生,前期 30 時間，選択，53 人

・ソーシャルワーク演習Ⅳ:地域福祉学科 3 年生,前期 30 時間，選択，49 人

・地方行政インターンシップ：地域福祉学科 3 年生，集中 30 時間，選択，12 人

・福祉教育とボランティアコーディネーション論:地域福祉学科 2 年生, 3 年生, 前期 15 時間, 選択, 27 人

・ソーシャルワーク実習指導Ⅱ:地域福祉学科 3 年生，前期 30 時間，選択，47 人（うち山本クラス 10 人）

・災害ソーシャルワーク：地域福祉学科 3 年生，後期 15 時間，選択，20 人

・コミュニティ・ソーシャルワーク実習：地域福祉学科 3 年生，集中 180 時間，選択，47 人（全体統括，実習指導担当学生 10 人）

・高齢者福祉:地域福祉学科 1 年生,後期 30 時間,選択，60 人（高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ：2 年生再履修者 3 名を含む）

・ソーシャルワーク実習指導Ⅰ:地域福祉学科 2 年生（3 年生 1 名を含む），後期 30 時間，選択，47 人

・ソーシャルワーク実習指導Ⅲ:地域福祉学科 3 年生，後期 30 時間，選択，47 人（うち山本クラス 10 人）

・ソーシャルワーク演習Ⅴ:地域福祉学科 3 年生,後期 30 時間，選択，47 人（うち山本クラス 10 人）

・共生社会実践演習Ⅰ：地域福祉学科 2 年生，通年 60 時間，選択,20 人

・共生社会実践演習Ⅱ：地域福祉学科 3 年生，通年 60 時間，選択,12 人

・基礎ゼミナールＣ：地域福祉学科 2 年，通年 30 時間（うち「アサーショントレーニング」4 コマ調整・当日担当），必修

・入門ゼミナール：地域福祉学科 2 年，通年 30 時間（うち「アサーショントレーニング」4 コマ調整・当日担当，2 コマ講義担当），必修

・専門ゼミナール：地域福祉学科 3 年，通年 30 時間，必修,4 人

その他の教育活動

1）本学における活動

・教務委員会　委員

・キャリア支援センター　センター員

2）高校訪問

・岡山県内（岡山市立後楽館・就実高校）
2021.10.22.（対面）

・新見高校ガイダンス（模擬講義・WEB）
2021.9.17.

その他

・倉敷翠松高等学校看護専攻科「社会福祉」(30 時間)

研究活動

学術論文

1）山本浩史：西日本豪雨災害における個人ボランティア活動の報告とその省察（実践報告），日本地域福祉学会『地域福祉実践研究』12，p64-73.

2）山本浩史：新見豪雨災害における学生災害支援チームの活動報告―教員の関与と学生の学びを中心に―（実践報告），日本福祉教育・ボランティア学習学会『日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要』(Vol36)，p47-58.

3）山本浩史：岡山県済世制度とハンセン病隔離政策 - 済世顧問と済世委員に求められた役割 - ，大阪府立大学人間社会システム科学研究科人間社会学専攻社会福祉学分野『社会問題研究』71，p61-72.

外部資金獲得状況

1)令和 3 年度～令和 7 年度日本学術振興会科学研

究費補助金（基盤研究B）
研究課題「Age Friendly Cities指標を用いた介護予防政策評価と社会実装研究」,課題番号21426520,研究代表者：鄭丞媛，研究分担者：近藤克則、尾島俊之、井上祐介、宮園康弘、井手一茂、山本浩史、山内圭、岸本由梨枝

社会的活動

講演・研修会

1）山本浩史：総社市民生委員児童委員協議会総社・池田地区ブロック研修会講演，総社市民生委員児童委員協議会総社・池田地区ブロック，研修会．総社消防署（総社市），2021.7.16.
2）山本浩史：高齢者の孤立を防ぐ～ネットワークってどんなもの～，令和3年度赤磐市民生委員児童委員協議会研修会．赤磐市中央公民館（赤磐市），2021.11.19.
3）山本浩史：令和3年度コミュニティソーシャルワーク研修講師，岡山県社会福祉協議会，きらめきプラザ（岡山市），2021.12.7，12.17
4）山本浩史：サロンや集いの場の役割と意義について，令和3年度ふれあいサロン研修会．新見市社会福祉協議会，げんき広場にいみ（新見市），2022.2.2.
5）山本浩史：支え合う・助け合う哲西地域をめざして，新見市哲西区研修会（民生委員児童委員，地区社協役員，福祉委員等）．新見市社会福祉協議会，きらめき広場・哲西文化ホール（新見市），2022.3.24.
6）山本浩史：わかりやすい地域づくり，新見市神郷北地区研修会（地区住民）．新見市社会福祉協議会，新郷市民センター（新見市），2022.3.26.

役職

1）日本社会福祉学会理事（地域ブロック担当）
2）日本社会福祉学会広報委員
3）日本社会福祉学会中国・四国地域ブロック委員長
4）岡山県共同募金会配分委員副委員長
5）岡山県社会福祉協議会経営企画委員会委員長
6）岡山県運営適正化委員会苦情解決合議体副委員長
7）岡山県社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員
8）岡山県福祉サービス第三評価推進委員会副会長
9）岡山県社会福祉士会災害支援委員
10）倉敷市介護認定審査会委員
11）赤磐市生活困窮者自立支援ネットワーク連絡会議座長
12）総社市ボランティアセンター運営委員会委員長

その他

1）社会福祉法人恩賜財団済生会，第9回済生会生活困窮者問題シンポウム，「8050問題を考える」コロナ禍での社会的孤立と貧困にどう向き合うべきか，シンポジウムコーディネーター，岡山県医師会館（岡山市）2021.12.5.
2）岡山県社会福祉士会，令和３年度岡山県防災・福祉対応力向上研修（地域対象者向け），オンライン対応ファシリテーター，岡山県きらめきプラザ（岡山市），2021.12.24.
3）日本社会福祉学会，第13回日本社会福祉学会フォーラム，国際化する福祉人材と社会福祉運営管理 ～地域共生社会を志向するなかで～（オンライン開催），総合司会，2022.2.12.

教授　和田美智代

教育活動

専門分野

民法、社会保障法、家族政策

担当科目

・基礎ゼミナール: 地域福祉学科 1 年, 通年 30 時間, 必修,58 人
・社会保障Ⅰ: 地域福祉学科 1 年, 前期 30 時間, 必修,58 人
・社会保障Ⅱ: 地域福祉学科 1 年, 後期 30 時間, 選択, 59 人
・入門ゼミ：地域福祉学科 2 年,通年 30 時間,必修
・民法概論Ⅰ：地域福祉学科 2 年,前期 30 時間,選択,26 人
・民法概論Ⅱ：地域福祉学科 2 年,後期 30 時間, 選択,18 人
・社会保険労務概論Ⅰ：地域福祉学科 2 年,前期 30 時間,選択,26 人
・社会保険労務概論Ⅱ：地域福祉学科 2 年,後期 30 時間,選択,24 人
・行政書士概論Ⅰ：地域福祉学科 2 年,前期 30 時間,選択,24 人
・行政書士概論Ⅱ：地域福祉学科 2 年,後期 30 時間,選択,21 人
・専門ゼミナール：地域福祉学科 3 年,通年 30 時間,必修,5 人
・権利擁護と成年後見制度：地域福祉学科 3 年,後期 30 時間,選択,49 人
・医療福祉関係法規：地域福祉学科 3 年,後期 15 時間,選択,10 人

その他の教育活動

1)本学における活動
・地域福祉学科 2 年生　チューターアドバイザー
・FD・SD 委員会　委員
・教育推進委員会　委員
・岡山県共生高等学校高大連携授業　「介護保険」4 時間,2021.6.16

研究活動

著書

古橋エツ子編,国京則幸,倉田賀世,和田美智代,他 10 名：新・初めての社会保障論[第 3 版],第 11 章 社会手当,法律文化社,2021.

学術論文

1)和田美智代：民法（親子法制）の改正過程の検討　―法制審議会（親子法制）部会の中間試案について―　日本政治法律研究,4,321 - 342,2022.

学会発表

1)和田美智代：民法（親子法制）改正過程の検討.2021 年度日本政治法律学会春期研究大会, 第 7 回研究大会[法律]法律改正過程の検討パネル,オンライン,2021.5.16.

社会的活動

役職

1)日本政治法律学会　理事
2)日本法政学会　理事　編集委員
3)関西法政治研究会　理事

その他

1)大阪府富田林市　男女が共に生きやすい社会づくりを推進する審議会　会長
2)新見市情報公開制度運営審議会　委員
3)新見市情報公開不服審査会　委員
4)新見市個人情報保護制度運営審議会　委員
5)新見市個人情報保護不服審査会　委員
6)新見市行政不服審査会　委員
7)大阪府　消費のサポーター
8)大阪市　くらしのナビゲーター
9)交通安全街頭査察,西方小学校前交差点, 2021.4.7.

教授　高杉　公人

教育活動

専門分野

社会福祉学（地域福祉、国際福祉、実習教育）

担当科目

・地域福祉の理論と方法Ⅰ，後期 30 時間，必修
・地域福祉の理論と方法Ⅱ，前期 30 時間，必修
・相談援助の理論と方法Ⅳ，前期 30 時間，必修
・ソーシャルワーク実習指導Ⅰ，後期 6 時間，選択
・ソーシャルワーク実習指導Ⅱ，前期 12 時間，選択
・ソーシャルワーク実習指導Ⅲ，後期 20 時間,選択
・ソーシャルワーク演習Ⅳ，前期 20 時間，選択
・ソーシャルワーク演習Ⅴ，後期 27 時間，選択
・ソーシャルキャピタルとコミュニティデザイン，後期 6 時間，選択
・基礎ゼミナール：地域福祉学科 1 年，前期 4 時間，必修
・専門ゼミナール：地域福祉学科 3 年，通年 30 時間，必修，4 人

その他の教育活動

1)本学における活動
・広報委員会　委員
2)高校訪問
・愛媛県内の高校(4 校訪問), 2021.12.17,12.23.
・進学ガイダンス
　鳴尾高等学校, 2022.3.2.
3)その他
・西エリア検討部会　学科代表

研究活動

著書

1)相澤　譲二・大和　三重　編「第 5 章ソーシャルワークと社会資源の活用・調整・開発」『新・社会福祉士養成課程対応　ソーシャルワーカー教育シリーズ第 3 巻　新版ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ』㈱みらい 79 - 102，2021.7.
2)愛媛県・社協職員連絡会　研究・情報部会「第 3 章・4 章」『コロナ禍における市町社協の活動事例集～地域のつながりを絶やさないために～』愛媛県社会福祉協議会，61 - 67. 2022.3.

報告書

1)「社会福祉法人による地域における公益的な取組促進に関する研究」大同生命地域保健福祉研究助成 31，1 - 5.

学会発表

1)高杉公人:外国人介護通訳者の主体性と文化媒介力に関する研究. 2021 年度日本福祉教育・ボランティア学習学会公開研究会，オンライン，2021.9.18

外部資金獲得状況

1) 2020～2021 年度大同生命地域保健福祉研究助成，研究代表者: 越智清仁.

その他

1) 学長研究費：個人研究　高杉公人「社会福祉法人の地域における公益的な取組を促進する資源マネジメントに関する研究」
2) 学長研究費：共同研究　小松尾京子，高杉公人，柳迫三寛，岸本由梨枝「社会福祉士実習における実習生のモチベーションの変化及び影響を与える要因」

社会的活動

講演・研修会

1)高杉公人:新カリキュラムの話題提供．2021 年度日本ソーシャルワーク教育学校連盟中国四国ブロックセミナー，オンライン，2022.2.27.
2)高杉公人：SDG s と地域福祉活動との関係．第 3 期美馬市地域福祉活動計画実行委員会，オンライン, 2022.3.10.
3)高杉公人：支え合いのまち砥部町の誕生に向けて！．砥部町アクティブシニアボランティアフォローアップ研修会,オンライン,2022.3.18

役職

1)日本社会福祉教育学会　理事
2)日本福祉教育・ボランティア学習学会　特任理事
3) 日本ソーシャルワーク教育学校連盟中国四国ブロック　副委員長

特任教授　八重樫牧子

教育活動

専門分野

子ども家庭福祉，ソーシャルワーク演習，子育て支援，

担当科目

・ソーシャルワーク演習Ⅰ：地域福祉学科1年，後期30時間，選択，57人
・ソーシャルワーク演習Ⅲ：地域福祉学科2年，後期30時間，選択，52人
・児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度：地域福祉学科2年，後期30時間，選択，51人
・入門ゼミナール：地域福祉学科2年，通年30時間中（6時間），必修
・専門ゼミナール：地域福祉学科3年，通年30時間，必須，7人
・社会福祉とジェンダー：地域福祉学科2年，前期8時間，選択，33人
・子育て支援論：地域福祉学科3年，後期15時間，選択，20人
・子ども家庭福祉：健康保育学科3年，前期30時間，選択，46人
・子ども家庭支援論：健康保育学科3年，前期30時間，選択，46人

その他の教育活動

1)本学における活動
・職員代表委員会　委員
2)その他
・ノートルダム清心女子大学人間生活学科特別講義「人間生活概論」（4時間）
・川崎医療福祉大学大学院医療福祉学研究科後期課程「児童・家庭医療福祉実践特殊講義」春学期30時間

研究活動

著書

1)八重樫牧子：第6章介護実践に関する諸制度第5節児童家庭福祉（単）.日本医療企画，実務者研修テキスト1　人間の尊厳と自立・社会の理解，日本医療企画，345-360，2022.

学術論文

1)八重樫牧子：子ども虐待と子育て不安や就学前親子のニーズとの関連性－岡山市の就学前親子の居場所に関する調査より－．厚生の指標，68（12），18-26，2021.
2)八重樫牧子，美咲美佐子，窪田昌子，片山由美子，久川春菜：岡山市の就学前親子の居場所づくりの現状と課題－岡山市市民協働推進事業「就学前親子の居場所づくり事業」の実践を通して－．新見公立大学紀要，42，95-102，2022.
3)植田嘉好子，直島克樹，八重樫牧子：こども食堂を通じた地域福祉の内発的発展―Z県内のこども食堂運営者へのインタビューから―．川崎医療福祉学会誌，31(2)，331－341，2022.
4) 直島克樹，八重樫牧子，植田嘉好子：社会福祉におけるこども食堂への考察―文献研究を通じた理論的検討から―．川崎医療福祉学会誌，31(2)，343－352，2022.

報告書

1)岡山市岡山っ子育成局子育て支援部地域子育て支援課，特定非営利活動法人岡山市子どもセンター：令和3年度岡山市市民協働推進事業「就学前親子の居場所づくり事業」つくる　つながる　子育て支援～岡山市就学前親子の居場所の望ましいあり方に関する報告書．2022．3.（主に第4章　調査報告・評価を執筆）

学会発表

1)八重樫牧子：A市の就学前親子の居場所づくりの現状と課題―A市市民協働推進モデル事業「就学前親子の居場所づくり事業」の実践を通してー．日本保育学会第74回大会（大会発表論文集掲載），2021.

外部資金獲得状況

1)令和２年度～ 令和４年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C)研究課題「地域の児童館の子育ち・子育て支援におけるソーシャルワークに関する実証的研究」，課題番号20K02298，研究代表者: 八重樫牧子.

その他

1)令和3年度学長配分研究費「『新見市就学前親

子の居場所』に関するニーズ調査」，研究代表者：八重樫牧子

社会的活動

講演・研修会

1)八重樫牧子：保護者支援・子育て支援（1）．令和３年度広島県保育士等キャリアアップ研修，広島会場（5A），2021.7.26.
2)八重樫牧子：保護者支援・子育て支援（2）．令和３年度広島県保育士等キャリアアップ研修，広島会場（5A），2021.8.2.
3)八重樫牧子：保護者支援・子育て支援（1）．令和３年度広島県保育士等キャリアアップ研修，広島会場 B, 2021.7.30.
4)八重樫牧子：保護者支援・子育て支援（2）．令和３年度広島県保育士等キャリアアップ研修，広島会場 B, 2021.8.6.
5)八重樫牧子：保護者支援・子育て支援（3）．令和３年度広島県保育士等キャリアアップ研修，広島会場 B, 2021.8.18.
6)八重樫牧子：放課後児童クラブにおける権利的擁護と機能・役割．令和３年度広島県子育て支援員研修　放課後児童コース，まなびの館ローズコム中会議室，　2021.11.12.
7)八重樫牧子：放課後児童クラブにおける権利的擁護と機能・役割．令和２年度広島県子育て支援員研修　放課後児童コース，RCC 文化センター34 会議室，2021.11.23.
2020.11.13.
8)八重樫牧子：今，求められている子育て支援とはーみんなで子どもを産み・育てやすい地域社会をつくるためにー．2021 年度子育てカレッジ子育て支援者に対する専門研修，新見公立大学，2021.11.11.
9)八重樫牧子：泣く力・気持ちを育む子育て．令和３年度新見市子育て支援事業・地域子育て支援講座，新見公立大学，2022.3.17.

役職

1)社会福祉法人中野社会福祉協会　評議委員
2)社会福祉法人備作恵済会若松園　第三者委員
3)特定非営利活動法人子育て応援ナビぽっかぽか　理事
4)特定非営利活動法人ＣＡＰプロジェクトおかやま　監事
5)子ども家庭福祉学会誌「子ども家庭福祉学」査読委員．

その他

1)令和３年度岡山市市市民協働推進事業「就学前親子の居場所づくり事業」　アドバイザー

准教授　三上ゆみ

教育活動

専門分野

介護福祉，高齢者介護

担当科目

・福祉サービス入門実習：地域福祉学科１年生，夏季集中，30 時間，必修，57 人
・介護福祉論：地域福祉学科１年生，前期，20 時間，必修，57 人
・生活支援技術Ⅵ：地域福祉学科２年，後期，30 時間，選択，13 人
・介護の基本Ⅴ：地域福祉学科３年生，後期，30 時間，選択，12 人
・医療的ケアⅠ：地域福祉学科１年生，後期，30 時間，選択，14 人
・疾患・障害がある人への生活支援・連携Ⅰ：地域福祉学科３年生，後期，14 時間，選択，12 人
・認知症がある人への生活支援・連携、地域福祉学科３年生，後期，14 時間，選択，13 人
・介護総合演習Ⅲ：地域福祉学科３年生，後期，14 時間，選択，26 人
・介護福祉実習Ⅲ：地域福祉学科 3 年生，後期，164 時間，選択，12 人
・基礎ゼミナールC：地域福祉学科１年，通年 30 時間，必修，57 人
・入門ゼミナール：地域福祉学科２年，通年 16 時間，必修，54 人
・専門ゼミナール：地域福祉学科３年，通年 30 時間，必修，4 人

その他の教育活動

1）本学における活動
・ 地域福祉学科２年生チューターアドバイザー
・ 地域共生推進センター 副センター長
・大学院改組部会委員
・ 介護実習調整　統括
・ 岡山県共生高等学校　高大連携授業
「介護の基本・介護における安全の確保とリスクマネジメント・介護職の安全」，4 時間，2021.6.15.

2）高校訪問.
・岡山県立鷲羽高等学校ガイダンス，2021.10.5.（WEB）
・ 島根県内の高校(5 校訪問)，2021.10.8.（対面）

研究活動

学術論文

1）三上ゆみ，岡京子，松本百合美：日本の外国人介護福祉士研究動向の文献レビュー，地域ケアリング，24（2），45-51，2022.
2）栗本一美，三上ゆみ，安田陽子：新型コロナウイルス感染症における健康観と感染予防に対する行動変容― 中山間地域に居住する世代間の比較 ―，インターナショナル Nursing Care Research 研究会，20（4）95-104，2021.
3）山野井尚美，栗本一美，三上ゆみ，郷木義子：日本のヤングケアラーに関する文献の動向，インターナショナル Nursing Care Research 研究会，20（3）105-114.2021.
4）山本智恵子・溝尾妙子・吉田美穂・丸山純子・三上ゆみ：中山間地域における看護職の急変対応シミュレーション教育の効果の検証，新見公立大学紀要，42（2），69-75，2022.

学会発表

1）三上ゆみ，安田陽子，栗本一美：中山間地域における新型コロナウイルス感染症に対する世代間の感染対策の取り組みについて，第 26 回 日本在宅ケア学会学術集会，広島国際ホテル，2021.8.29.（Web 開催）
2）三上ゆみ，岡京子，松本百合美：中山間地域での長期就労定着に向けた介護福祉士養成施設留学生の就労意向への考察，第 27 回日本介護福祉教育学会，2022.3.26.（Web 開催）

外部資金獲得状況

1）令和２年度～令和４年度日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究 C）研究課題「中山間地域での長期就労定着に向けた外国人介護労働者支援プログラムの検討」課題番号 20K12349，研究代表者：三上ゆみ

その他

1）2021 年度学長配分研究費，研究課題「看護、福祉、教育の協働を目指した同一教材の有効性に関する検討ーヤングケアラーに着目してー」共同研究者：三上ゆみ

社会的活動

講演・研修会

1) 三上ゆみ：認知症と身体拘束防止, ケアポート生き活き館神郷, 2022. 1. 18
2) 三上ゆみ：身体拘束防止, ケアポート生き活き館神郷, 2022. 3. 17
3) 三上ゆみ：リスクマネジメント力をつける，玉野市社会福祉協議会　地域包括支援センター, 2022. 3. 23.

役職

1) 新見市教育委員会委員
2) 新見庄たたら学習実行委員会副委員長
3) スマイルワーカーズにいみ(新見市社会福祉士会) 事務局
4) 市民の健康維持・増進・介護・介護予防事業WG委員
5) 社会福祉法人恵愛会評議員
6) 日本在宅ケア学会誌査読委員

その他

1) 交通安全週間街頭査察,　西方小学校前交差点, 2021. 4. 15.
2) 新見市社会福祉協議会なんでも相談会, 新見市, 2021. 6. 26.
3) オール新見事業！やさしさ介護実行委員会介護技術研修会, 学生コーディネート, 2021. 6. 5,　11. 5.
4) シミュレーショントレーニング in 新見: 新見公立大学,　2021. 11. 14
5) ケアネット勉強会：新見公立大学, 2022. 2. 12.
6) ヤングケアラー勉強会：新見公立大学, 2022. 3. 21.

准教授　鄭丞媛

教育活動

専門分野

医療福祉マネジメント，社会疫学，地域福祉

担当科目

・基礎ゼミナール：地域福祉学科 1 年，通年 30 時間，必修，57 人
・入門ゼミナール：地域福祉学科 2 年，通年 30 時間，必修，54 人
・専門ゼミナール：地域福祉学科 3 年，通年 30 時間，必修，5 人
・社会調査論 1: 地域福祉学科 2 年，前期 15 時間，選択，37 人
・保健医療サービス：地域福祉学科 3 年，前期 30 時間，選択，47 人
・社会調査の基礎：地域福祉学科 3 年，後期 30 時間，選択，46 人
・福祉サービスの組織と経営：地域福祉学科 3 年，後期 30 時間，選択，48 人
・福祉行財政と福祉計画：地域福祉学科 3 年，後期 30 時間，選択，49 人
・中山間地域の保健医療福祉政策：地域福祉学科 3 年，後期 15 時間，選択，24 人
・国際保健医療福祉政策：地域福祉学科 3 年，後期 15 時間，選択，19 人

その他の教育活動

1)本学における活動
・研究倫理審査委員会　委員
・学生生活委員会　委員
・大学院改組部会委員
・名寄市との連携プロジェクト連携担当　委員
・ダンス部　顧問
・書道部　顧問

2)高校訪問
・鳥取県内の高校(4 校), 2021.10.21.
・進学ガイダンス
兵庫県立夢野台高等学校(オンライン), 2022.3.4.

研究活動

著書

1)井上祐介，鄭丞媛：第 4 章 第 2 節　ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)，社会インパクト投資へ. 近藤克則編：ポストコロナ時代の「通いの場」の展開．日本看護協会出版会，88-91，2022.
2)井上祐介，鄭丞媛，井手一茂：第 5 章 第 3 節 評価を実施する上での目安. 近藤克則編：ポストコロナ時代の「通いの場」の展開．日本看護協会出版会，　133-141，2022.

学術論文

1) Seungwon Jeong，Yusuke Inoue，Yasuyuki Arai ，Hideki Ohta，Takao Suzuki．What should be considered when evaluating quality of home care?: A survey of expert opinions on the evaluation of the quality of home care in Japan．Int. J. Environ. Res. Public Health, 19(4), 2361，2022.
2)高橋聡，近藤克則，中村恒穂，鄭丞媛，井手一茂，香田将英，尾島俊之．自殺対策のための実用的な地域診断指標の開発：ソーシャル・キャピタルと自殺死亡率の関連における再現性検証．自殺総合政策研究，3(2)：11-20，2021.

報告書

1) 井上祐介，鄭丞媛．岡山県令和 3 年度介護予防効果測定に係る専門家派遣事業報告書．2022.3.
2) 鄭丞媛，井上祐介，芳我ちより．SIB を活用した健康ポイント評価，令和 3 年度「SIB を活用した健康ポイント評価等業務委託」報告書. 2022.3.

シンポジウム

1)鄭丞媛．Age Friendly Cities（AFC）指標で捉えた社会環境と健康関連指標との関連．第 32 回日本老年学会総会，セッション：高齢者/認知症の人に優しいまちづくり．Web 開始，2021.6.

学会発表

1) 西田裕紀子，牧迫飛雄馬，鄭丞媛，大塚礼，藤原佳典，北村明彦，鈴木宏幸，渡辺修一郎，近藤克則，島田裕之，鈴木隆雄，ILSA-J Group：地域在住高齢者の認知機能の時代的推移：長寿コホートの総合的研究(ILSA-J)より．日本老年社会科学会第 63 回大会，Web 開催，2021.6.
2) 鄭丞媛，井上祐介，芳我ちより，近藤克則：岡

山市における SIB を活用した健康ポイント事業参加者の歩数と歩行日数の変化の分析. 第 32 回日本疫学会学術総会, 東京, 2022.1.

3) 芳我ちより, 鄭丞媛, 井上祐介, 近藤克則 : 岡山市における SIB を活用した健康ポイント事業参加者のベースライン時の健康状態. 第 32 回日本疫学会学術総会, 東京, 2022.1.

4) 野口泰司, 藤原聡子, 鄭丞媛, 井出一茂, 斎藤民, 近藤克則, 尾島俊之 : 高齢者・認知症にやさしいまち指標と健康・幸福の関連 : JAGES 横断研究. 第 32 回日本疫学会学術総会, 東京, 2022.1.

外部資金獲得状況

1)令和 3 年度～令和 8 年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 B), 研究課題「Age Friendly Cities 指標を用いた介護予防政策評価と社会実装研究」, 課題番号 21H00792, 研究代表者: 鄭丞媛.

2)2019 年度～2021 年度桜美林大学老年学総合研究所委託研究費, 研究課題「乳製品 (特にチーズ) の摂取と認知機能低下予防との関連性に関する研究」, 研究代表者 : 鄭丞媛.

3)2018 年度～2023 年度国立長寿医療研究開発費「長寿コホートの総合的研究」分担研究者 : 鄭丞媛 (研究代表者 : 鈴木隆雄)

社会的活動

講演・研修会

1)2021 年度後期吉備創生カレッジ講師「高齢者にやさしいまちづくり-社会環境と健康について考える」, 山陽新聞社本社ビル (岡山市). 2022.3.15

役職

1)日本老年学的評価研究機構 研究員

2)国立長寿医療研究センター 外来研究員

3)日本福祉大学健康社会研究センター 客員研究員

4)International Journal of Environmental Research and Public Health, Special Issue "Toward Healthy Aging and Age-Friendly Communities: Advances in Methods and Challenge for Implementation Research" 編集長

5)International Journal of Environmental Research and Public Health 査読委員

6)日本社会福祉学会 査読委員

7) 日本疫学会, 疫学専門家

8) 日本疫学会, 上級疫学専門家

その他

1)岡山県保健福祉部 令和 3 年度介護予防効果測定に係る専門家派遣事業 (井原市, 備前市, 早島町, 和気町), 2022.1-2022.3.

2)岡山市保健福祉局 SIB (Social Impact Bond) を活用した健康ポイント事業評価, 2021.4-2022.3

3)堺市健康福祉局 「あ・し・た」プロジェクト事業評価, 2021.4-2022.3.

4)交通安全週間街頭査察, 西方小学校前交差点, 2021.9.23.

准教授　井上信次

教育活動

専門分野

社会学，社会調査法

担当科目

・社会学：共通，前期 30 時間，選択, 74 人
・倫理学：共通, 後期 15 時間, 選択, 35 人
・基礎ゼミナールC： 地域福祉学科 1 年，通年 30 時間，必修，57 人
・入門ゼミナール： 地域福祉学科 2 年，通年 30 時間，必修，52 人
・専門ゼミナール： 地域福祉学科 3 年，通年 30 時間，必修，7 人
・社会福祉とジェンダー： 地域福祉学科 2 年，通年 8 時間，選択，33 人
・社会調査論Ⅲ： 地域福祉学科 3 年，前期 30 時間，選択，24 人
・社会調査論Ⅱ： 地域福祉学科 2 年，後期 30 時間，選択，34 人
・医療と福祉の社会学： 地域福祉学科 3 年，後期 30 時間，選択，21 人
・ソーシャルキャピタルとコミュニティデザイン： 地域福祉学科 3 年，後期 6 時間，選択，21 人
・社会調査演習： 地域福祉学科 3 年，後期 30 時間，選択，11 人
・社会調査論Ⅳ： 地域福祉学科 3 年，後期 30 時間，選択，16 人

その他の教育活動

1)本学における活動
・地域福祉学科　副学科長
・評価・将来構想委員会　委員
・入試委員会　委員
・修学・キャリア支援センター　委員
・評価・将来構想委員会大学院改組部会　副会長
・評価・将来構想委員会教学マネジメント部会　委員
・空手部　顧問

2)高校訪問
・鳥取県内の高校(1 校訪問)（対面），2021. 9. 27.

4)その他
・岡山・建部医療福祉専門学校「情報科学」「社会学」(58 時間)
・地域福祉学科 1 年生チューターアドバイザー

研究活動

学術論文

1)朴峠周子，井上信次，北川裕美子，吉田浩子，門田美惠子，采女智津江，新型コロナウイルス感染症（COVID 19)蔓延下における市民の感染対策に対する価値観と倫理的葛藤．生存科学，32(1)，3-20，2021.

2)香西早苗，中新美保子，稲川喜一，井上信次，手塚征宏，岐部俊郎，中村典史： 口唇裂・口蓋裂児の QOL における自己評価と保護者による評価の検討．日本口蓋裂学会雑誌，46(3)，153-159，2021.

3)井上信次 ，末光茂，大月政和，小田桐早苗：一般市民を対象にした知的・発達障害がある人の生涯学習に関する意識調査－共生社会における障害者の生涯学習－．新見公立大学紀要，42(1)，37-46，2021.

4)上山和子，岡本直行，金山時恵，松本百合美，芝﨑美和，井上信次 ，斎藤健司： COVID-19 による新しい生活様式とマスク着用による心身への影響の実態調査（その 1)―新しい生活様式に対する学生の意識の変化―．新見公立大学紀要，42(1)，55-60，2021.

5)井上信次 ，末光茂，大月政和，小田桐早苗：知的障害者や発達障害者の生涯学習の必要性に対する一般市民の意識－共生社会の中での「障害者の生涯学習」に関する考察－．新見公立大学紀要，42(2)，127-130，2022.

6)上山和子，岡本直行，金山時恵，松本百合美，芝﨑美和，井上信次 ，斎藤健司： COVID-19 による新しい生活様式とマスク着用による心身への影響の実態調査（その 2)―マスク着用中の生理的変化の測定―．新見公立大学紀要，42(2)，43-47，2022.

7)井上信次，岡本宣雄，滝口真：介護支援センモニンのもつスピリチュアリティとケアプランとの関連に関する研究．日本看護福祉学会誌，27(2)，101-108，2022.

学会発表

1)井上信次： 高等学校（後期中等教育)を卒業した知的・発達障害者の進路に対する意識に関する調査研究. 第 73 回教育社会学会大会, 2021. 9. 11.

外部資金獲得状況

1)令和 3 年度～令和 5 年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C)研究課題「子ども虐待対策における精神科医療機関の機能活用の実態把握とその促進システム開発」, 課題番号 21K02048, 研究代表者： 松宮透高.

社会的活動

講演・研修会

1)2021 年度後期吉備創生カレッジ講師「知的・発達障害者の生涯学習-知的・発達障害者の高等学校卒業後の学習」 於）さん太ホール. 2021. 10. 13.

その他

1)交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2021. 4. 12.
2)しんごう湖畔マラソン実行委員会　委員
3)令和 3 年度　みらいにつなげる！晴れの国おかやま・のこざすたべよう事業　受諾（研究代表者）（活動場所：新見市高尾小学校）

准教授　小松尾京子

教育活動

専門分野

社会福祉学，スーパービジョン，事例検討，地域福祉

担当科目

・ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ:地域福祉学科1年，後期30時間，選択，57人
・相談援助の理論と方法Ⅱ： 地域福祉学科2年，前期30時間，選択，52人
・相談援助の理論と方法Ⅲ： 地域福祉学科2年，後期30時間，選択，52人
・相談援助の基盤と専門職Ⅰ：地域福祉学科2年，後期30時間，選択，51人
・相談援助の基盤と専門職Ⅱ：地域福祉学科2年，前期30時間，選択，49人
・ソーシャルワーク演習Ⅲ：地域福祉学科2年，後期30時間，選択，52人
・ソーシャルワーク演習Ⅴ：地域福祉学科3年，前期30時間，選択，10人
・ソーシャルワーク実習指導Ⅰ：地域福祉学科2年，後期30時間，選択，48人
・ソーシャルワーク実習指導Ⅱ：地域福祉学科3年，前期30時間，選択，10人
・ソーシャルワーク実習指導Ⅲ：地域福祉学科3年，後期30時間，選択，10人
・コミュニティ・ソーシャルワーク実習：地域福祉学科3年，集中180時間，選択，47人（実習指導担当学生10人）
・基礎ゼミナール: 地域福祉学科1年，通年30時間，必修,59人
・入門ゼミナール：地域福祉学科2年，通年30時間，必修,54人

その他の教育活動

1)本学における活動
・ハラスメント等防止委員会　委員
・ハラスメント等防止相談員
2)高校訪問
・鳥取県立米子高校, 2021.9．27（対面）
・岡山県共生高校, 2022.3.14.（対面）

研究活動

著書

1)小松尾京子：第8章グループを活用した支援. 坂野憲司，増田康弘（編）,新・社会福祉士シリーズ8ソーシャルワークの理論と方法．弘文堂，127－140，2021.
2）小松尾京子：ケアカンファレンス，スーパービジョン，スーパーバイザー，スーパーバイジー．介護福祉用語集編集委員会（編）,介護福祉用語辞典.ミネルヴァ書房,78,165－166, 2021.
3）小松尾京子：ケアカンファレンス，地域ケア会議（地域課題）とケアマネジメント．一般社団法人日本ケアマネジメント学会（編），ケアマネジメント事典．中央法規，72－73，330－331,2021.

学術論文

1)小松尾京子： 介護支援専門員へのスーパービジョンに関する研究－現象学的アプローチからの試み－．新見公立大学紀要42（1）47－54, 2021.
2)小松尾京子：傾聴ボランティアによる見守り活動の継続に関する研究－対面活動制限下での試み－．新見公立大学紀要42（2）1－8, 2022.

外部資金獲得状況

1)平成30年度～令和3年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 B)研究課題「ヒューマンケアにおける包括的重層的スーパービジョンシステムの構築に関する研究」，課題番号18H00954，連携研究者.

その他

1)小松尾京子：学長研究費，地域共生社会の実現を志向したコミュニティ・ソーシャルワーク実習に関する研究－教育プログラムおよび教材開発を中心に－，研究代表者.
2）東海・北陸ブロックソーシャルワーク教育研究協議会事務局員

社会的活動

講演・研修会

1)小松尾京子: 聴くことからはじめる援助的コミュニケーション．愛知県愛日公立小中学校事務職員研究会，愛知県名古屋市（緊急事態宣言中

のため資料配付），2021.4.28
2）小松尾京子：ケアマネジメントにおける事例検討のありかた．日本ケアマネジメント学会第20回研究大会（教育講演），Web 学会，2021.6.8.
3)小松尾京子：家族への支援の視点,三重県主任介護支援専門員更新研修会,Web 開催,2021.6.18
4）小松尾京子：家族への支援の視点,三重県主任介護支援専門員更新研修会,Web 開催,2021. 7 .19
5）小松尾京子：家族への支援の視点,三重県主任介護支援専門員更新研修会,Web 開催,2021.8.14.
6）小松尾京子：スーパービジョンにおけるスーパーバイジーの心構え．いなべ市ケアマネジメント支援研修，Web 開催,2021.12.10.
7）小松尾京子：模擬演習「あなたの知らない私」,東海・北陸ブロックソーシャルワーク教育研究協議会第13回実習・演習研究会,2022.1.23.
8）小松尾京子：福祉委員活動と傾聴．総社市池田地区および総社地区福祉委員ブロック研修会，総社市（まん延防止等重点措置により資料配付）,2022.2.22.
9)小松尾京子：傾聴と非言語コミュニケーション．聴き方スキルアップ講座，武豊町ふれあいセンター（武豊町），2022.3.25.

役職
1）佐賀県生活保護研修検討会　委員
2）佐賀県生活困窮者自立支援制度関係者研修企画チーム　委員
3）武豊町社会福祉協議会　アドバイザー

その他
1)認定社会福祉士認証・認定機構　認定社会福祉士制度スーパーバイザー

講師　松田　実樹

教育活動

専門分野

介護福祉,障がい者福祉

担当科目

・コミュニケーション技術Ⅰ:地域福祉学科 1 年,前期 30 時間,必修
・コミュニケーション技術Ⅱ:地域福祉学科 1 年,後期 30 時間,選択
・障がいの理解Ⅱ:地域福祉学科 2 年,前期 30 時間,選択
・生活支援技術Ⅰ:地域福祉学科 1 年,後期 30 時間,選択
・生活支援技術Ⅱ:地域福祉学科 1 年,後期 10 時間,選択,14 人
・介護福祉論:地域福祉学科 1 年,前期 4 時間,必修,59 人
・福祉サービス入門実習:地域福祉学科 1 年,集中 30 時間,必修,59 人
・介護総合演習Ⅱ:地域福祉学科 2 年,前期 20 時間,選択,13 人
・介護福祉実習Ⅱ:地域福祉学科 2 年,前期 84 時間,選択,13 人
・介護総合演習Ⅲ：地域福祉学科 3 年,後期 30 時間,選択
・介護福祉実習Ⅲ：地域福祉学科 3 年,後期 84 時間,選択
・基礎ゼミナール C:地域福祉学科 1 年,通年 30 時間,必修,59 人
・入門ゼミナール：地域福祉学科 2 年,通年 30 時間,必修,53 人

その他の教育活動

1)本学における活動
・教務委員会　委員
・手話部　顧問
・TRPG サークル　顧問
・岡山県共生高等学校高大連携授業「介護におけるコミュニケーション技術」8 時間,2021.06.29, 06.30.
・岡山県共生高等学校高大連携授業「障がいの理解」3 時間,2021.07.09.
・岡山県共生高等学校高大連携授業「こころとからだのしくみと生活支援技術（入浴、清潔保持演習）」2 時間,2021.08.27.
・介護福祉士国家試験対策「障害の理解」1 時間,2022.02. 28.

2)高校訪問
・岡山県内の高校(3 校訪問), 2021. 09.29, 2021.09.24. （対面）
・高校進学ガイダンス　玉野会場,2022.03.03.

研究活動

学術論文

1）松田実樹：重度障害者の支援実施の影響要因と支援状況との関連.地域ケアリング,23（11）,72－75,2021.

外部資金獲得状況

1)平成 29 年度～令和 3 年度日本学術振興会科学研究費補助金(若手研究 B)研究課題「重度障害者の地域移行成立要件の検討」, 課題番号 17K13879, 研究代表者:松田実樹.

社会的活動

講演・研修会

・特別養護老人ホームケアポート生き活き館神郷高齢者虐待防止について（職員研修） 2021.07.27. (1 時間) 人数 11 人

役職

1)旭川荘愛育寮　第三者評価委員
2）新見市観光事業協議会委員

その他

1） 第三者委員報告会. 旭川荘愛育寮, 2022. 03. 09

講師　合田衣里

教育活動

専門分野

介護福祉，高齢者介護

担当科目

・生活支援技術Ⅱ：地域福祉学科１年生，後期６時間，選択，14 人
・生活支援技術Ⅳ：地域福祉学科２年生，前期 30 時間，選択，13 人
・介護の基本Ⅲ：地域福祉学科２年生，後期 30 時間，選択，15 人
・アクティビティ活動援助法Ⅰ：地域福祉学科２年生，後期６時間，選択，14 人
・アクティビティ活動援助法Ⅱ：地域福祉学科３年生，後期 30 時間，選択，10 人
・介護福祉論：地域福祉学科１年，前期４時間，必修
・福祉サービス入門実習：地域福祉学科１年生，前期 30 時間，必修
・介護福祉実習Ⅱ：地域福祉学科２年生，通年 164 時間，選択，13 人
・介護総合演習Ⅱ：地域福祉学科２年生，前期，30 時間，選択，13 人
・介護過程演習Ⅱ：地域福祉学科２年生，後期 30 時間，選択，13 人
・介護過程演習Ⅱ：地域福祉学科３年生，前期 30 時間，選択，12 人
・介護福祉実習Ⅰ：地域福祉学科１年生，通年 84 時間，選択，14 人
・介護総合演習Ⅰ：地域福祉学科１年生，前期，20 時間，選択，14 人
・基礎ゼミナールC：地域福祉学科１年生，通年 30 時間，必修
・入門ゼミナール：地域福祉学科２年,通年 30 時間,必修

その他の教育活動

1)本学における活動

・１年生チューターアドバイザー
・保健管理センター　職員
・教育推進委員会　委員
・広報委員支援（オープンキャンパス担当）
・岡山県共生高等学校　「高大連携プログラム」
「入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立にむけた介護」２時間，202.8.27.
「総合生活支援技術演習」３時間，2021．9．9.
「総合生活支援技術演習」４時間，2021．9．16.

2）高校訪問

・岡山県内の高校（2 校訪問），2021.10.11.15.（対面）
・岡山県内の高校（1 校訪問），2021.10.7.（電話）

研究活動

学術論文

1）合田衣里：通所介護を利用する高齢者の家族介護者が抱える介護負担感に関する文献的検討
―通所介護に求められる役割についての考察―.
新見公立大学紀要 42(2), 87-93,2022.

社会的活動

講演・研修会

1）合田衣里：食中毒について．特別養護老人ホームケアポート生き活き館神郷職員研修（新見市），2021.5.27.

役職

新見市介護認定審査会 委員

その他

7） シミュレーショントレーニング in 新見：新見公立大学，2021.11.14.

講師　朴蕙彬

教育活動

専門分野

社会福祉学，高齢者福祉，エイジズム

担当科目

・基礎ゼミナールC：地域福祉学科１年生，通年 30 時間，必修，57 人
・ソーシャルワーク実習指導Ⅱ：地域福祉学科 3 年生，前期 30 時間，選択，47 人
・コミュニティ・ソーシャルワーク実習：地域福祉学科 3 年生，集中 180 時間，選択，47 人
・ソーシャルワーク実習指導Ⅲ：地域福祉学科 3 年生，後期 30 時間，選択，47 人
・ソーシャルワーク演習Ⅰ：地域福祉学科 1 年生，後期 30 時間，選択，57 人
・ソーシャルワーク演習Ⅴ：地域福祉学科 3 年生，後期 30 時間，選択，47 人
・社会福祉の原理と政策Ⅱ：地域福祉学科 1 年生，後期 30 時間，選択，58 人

その他の教育活動

1)本学における活動
・教育推進委員会　委員
・社会調査論Ⅰゲスト講師，1 コマ，2021.6.24
・社会福祉士国家試験対策ワーキング
2) 高校訪問
・広島県内の高校（3 校訪問），2021.10.8.（対面）
・広島県内の高校（2 校訪問），2020.9.3.（電話）
3)その他
・同志社大学社会学部社会福祉学科「社会福祉士国家試験対策講座」，オンライン（150 分）

研究活動

著書

1) 朴蕙彬：コラム．エイジズムを解消するための視点と方法について．埋橋孝文（編），福祉政策研究入門政策評価と指標第 1 巻．少子高齢化のなかの福祉政策．明石書店，123－124，2022.

依頼原稿

1) 朴蕙彬：書評．任セア著，介護職の専門性と質の向上は確保されるか―実践現場での人材育成の仕組みづくりに関する研究，同志社社会福祉学 35，145-147，2021.
2) 朴蕙彬:同志社大学社会福祉学会賞を受賞して，同志社大学社会福祉教育・　研究支援センターニュースレターNo33，11－12，2022

その他

1)朴蕙彬:コメンテータ．韓国慶尚国立大学人権社会発展研究所国際学術大会（オンライン），2021.11.18.
2)朴蕙彬:通訳．韓国慶尚国立大学人権社会発展研究所国際学術大会（オンライン），2021.11.18.
3)朴蕙彬:同志社大学社会福祉学会学術研究部門社会福祉研究賞受賞，2021.12.11.

社会的活動

講演・研修会

1) 朴蕙彬：社会的な意義を持つ映像コンテンツ制作のためのエイジズムに関する勉強会講師，株式会社 LIFULL および株式会社 NION，オンライン，2021.5.10.
2)朴蕙彬:『年齢の森』オンライン試写会登壇，2021.9.17.

役職

1)日本キリスト教社会福祉学会国際委員

その他

1)朴蕙彬:ドキュメンタリー『年齢の森』制作アドバイザー，株式会社 LIFULL，2021.
https://media.lifull.com/campaign_2021091606/?utm_source=lp&utm_medium=link&utm_content=nenreinomori&utm_campaign=005_0000000000001106&cmp_id=005_0000000000001106

助教　泉宗孝

教育活動

専門分野

社会福祉学，障がい者福祉

担当科目

・ソーシャルワーク演習Ⅰ：地域福祉学科 1 年，後期 4 時間，選択，57 人
・ソーシャルワーク演習Ⅱ:地域福祉学科 2 年,前期 30 時間，選択,52 人
・ソーシャルワーク演習Ⅲ：地域福祉学科 2 年，後期 6 時間，選択，52 人
・ソーシャルワーク演習Ⅳ：地域福祉学科 3 年，前期 30 時間，選択，49 人
・ソーシャルワーク演習Ⅴ：地域福祉学科 3 年，後期 2 時間，選択，46 人
・ソーシャルワーク実習指導Ⅰ:地域福祉学科 2 年，後期 2 時間，選択，48 人
・ソーシャルワーク実習指導Ⅱ:地域福祉学科 3 年，前期 30 時間，選択，47 人
・ソーシャルワーク実習指導Ⅲ:地域福祉学科 3 年，後期 2 時間，選択，46 人
・コミュニティ・ソーシャルワーク実習:地域福祉学科 3 年，前期 180 時間，選択，47 人
・障害者に対する支援と障害者自立支援制度：地域福祉学科 2 年，集中講義 30 時間，選択，52 人
・にいみ地域協働演習：共通科目，集中講義 30 時間，選択，66 人
・基礎ゼミナールＣ（高尾地区）地域福祉学科 1 年生，通年 30 時間，必修，10 人

その他の教育活動

1)学内の委員会
・広報委員会　委員
・岡山県共生高等学校高大連携授業「障害者自立支援制度およびその他の制度」4 時間，2021.7.14.
・地域福祉学科 1 年生学年団

2)高校訪問（電話訪問）
・島根県内の高校（2 校訪問）,2021.9.27（電話）
・島根県内の高校（3 校訪問）,2021.10.8（対面）

3)部活動顧問
・フットサル部

研究活動

学術論文

1)泉宗孝：障害のある子どもを対象にした放課後等デイサービスに関する調査研究の文献検討. 川崎医療福祉学会誌,31（1）,1-16 ,2021

外部資金獲得状況

1) 令和 2 年度～ 令和 4 年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 C)研究課題「地域の児童館の子育ち・子育て支援におけるソーシャルワークに関する実証的研究」，課題番号 20K02298，研究代表者:八重樫牧子，研究分担者：泉宗孝・三好年江・直島克樹・井上信次.

その他

1)2021 年度 新見公立大学学長配分研究費採択「地域共生社会の実現を志向したコミュニティ・ソーシャルワーク実習に関する研究―教育プログラムおよび教材開発を中心に―」,2021.6,研究分担者.

社会的活動

役職

1）社会福祉法人阿新社会福祉事業協会評議員

その他

1）にいみ子育てカレッジ運営協議会運営委員および事務局　委員
2)交通安全街頭査察，西方小学校前交差点，2021.4.13, 9.28.

助教　柳廸　三寛

教育活動

専門分野

保健医療福祉、医療ソーシャルワーク

担当科目

・保健医療サービス：地域福祉学科 3 年, 前期 30 時間, 選択, 47 人
・基礎ゼミナール C（高尾③）：地域福祉学科 1 年, 通年 30 時間, 必修,
・ソーシャルワーク実習指導Ⅰ：地域福祉学科 2 年, 後期 30 時間, 選択, 48 人
・ソーシャルワーク実習指導Ⅱ：地域福祉学科 3 年, 前期 30 時間, 選択, 47 人
・ソーシャルワーク実習指導Ⅲ：地域福祉学科 3 年, 後期 30 時間, 選択, 46 人
・コミュニティ・ソーシャルワーク実習：地域福祉学科 3 年, 前期 180 時間, 選択, 47 人
・ソーシャルワーク演習Ⅰ：地域福祉学科 1 年, 後期 30 時間, 選択, 57 人
・ソーシャルワーク演習Ⅱ：地域福祉学科 2 年, 前期 30 時間, 選択, 52 人
・ソーシャルワーク演習Ⅲ：地域福祉学科 2 年, 後期 30 時間, 選択, 52 人
・ソーシャルワーク演習Ⅳ：地域福祉学科 3 年, 前期 30 時間, 選択, 49 人
・ソーシャルワーク演習Ⅴ：地域福祉学科 3 年, 後期 30 時間, 選択, 46 人

その他の教育活動

1)本学における活動
・広報委員会　委員
・地域共生推進センター　委員
・医療ソーシャルワーカーを目指す学生を対象とした勉強会,　10.21, 11.18, 12.23, 2022.1.17, 2.7, 2.21, 3.14, 3.29

2)高校訪問
・広島県内の高校（1 校訪問）, 2021.9.30(対面)
・広島県内の高校（2 校訪問）, 2021.10.6(対面)
・広島県内の高校（3 校訪問）, 2021.10.8(対面)
・広島県内の高校（1 校訪問）, 2021.9.28(電話)

3)その他
・独立行政法人国立病院機構呉医療センター付属看護学校「社会福祉」(28 時間)
・ハイブリッド授業型プロジェクトミーティング, 10.7, 10.21, 11.4, 2022.1.20, 1.28, 2.18, 3.10, 3.23, 3.30

研究活動

その他

1)新見公立大学学長配分研究費採択「地域共生社会の実現を志向したコミュニティ・ソーシャルワーク実習に関する研究－教育プログラムおよび教材開発を中心に－」, 2021.6, 研究分担者

社会的活動

講演・研修会

1)柳廸三寛: 医療ソーシャルワーク概説. 広島県医療ソーシャルワーカー協会養成講座, Web 研修会, 2021.11.6.
2)柳廸三寛: 事例研究（検討）. 広島県医療ソーシャルワーカー協会養成講座, Web 研修会, 2021.11.12.

役職

1)新見市立地適正化計画策定協議会　委員
2)新見庄たたら学習実行委員会　委員
3)「オール新見！公募型まちづくり事業」に係る市民協働推進事業　審査員
4)広島県医療ソーシャルワーカー協会　副会長
5)広島県地域両立支援推進チーム　委員
6)三原市地域包括ケア連携推進協議会　オブザーバー
7)社会福祉法人萌生会　評議員

その他

1)古代たたら操業（ミニたたら）. 神郷公民館高瀬分館, 2021.11.6.
2)交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2021.9.22.

助教　岸本由梨枝

教育活動

専門分野

公共政策学,評価学,地域福祉学

担当科目

・ソーシャルワーク演習Ⅰ：地域福祉学科 1 年, 後期 30 時間, 選択, 57 人
・ソーシャルワーク演習Ⅱ:地域福祉学科 2 年,前期 30 時間, 選択,52 人
・ソーシャルワーク演習Ⅲ：地域福祉学科 2 年, 後期 30 時間, 選択, 52 人
・ソーシャルワーク演習Ⅳ：地域福祉学科 3 年, 前期 30 時間, 選択, 49 人
・ソーシャルワーク演習Ⅴ：地域福祉学科 3 年, 後期 30 時間, 選択, 46 人
・ソーシャルワーク実習指導Ⅰ:地域福祉学科 2 年, 後期 30 時間, 選択, 48 人
・ソーシャルワーク実習指導Ⅱ:地域福祉学科 3 年, 前期 30 時間, 選択, 47 人
・ソーシャルワーク実習指導Ⅲ:地域福祉学科 3 年, 後期 30 時間, 選択, 46 人
・コミュニティ・ソーシャルワーク実習:地域福祉学科 3 年, 前期 180 時間, 選択, 47 人
・共生社会実践演習Ⅰ：地域福祉学科 2 年, 通年 60 時間, 選択, 20 人
・共生社会実践演習Ⅱ：地域福祉学科 3 年, 通年 60 時間, 選択, 12 人
・ソーシャルキャピタルとコミュニティデザイン: 地域福祉学科 3 年, 後期 3 時間, 選択, 21 人
・地域防災論：地域福祉学科・健康保育学科 2 年（必修）、看護学科 2 年（選択）,夏季集中（30 時間）,154 人
・地域防災演習：地域福祉学科・健康保育学科 2 年（必修）、看護学科 2 年（選択）, 夏季集中（30 時間）,152 人

その他の教育活動

1)学内の委員会
・地域共生推進センター委員会　委員
・学生生活委員会　委員
・大学バスデザイン審査委員会　委員
・地域福祉学科 2 年生学年団

2)高校訪問
・島根県内の高校（2 校訪問）,2021.9.7（電話）
・島根県内の高校（2 校訪問）,2021.10.6（電話）

3)部活動顧問
・卓球部

研究活動

学術論文

1)岸本由梨枝：大学の地域貢献プログラムにおける参加型評価の有効性に関する一考察ープログラムの質改善を図る評価に向けてー. 新見公立大学紀要,42（2）,27-34 ,2022

学会発表

1)岸本由梨枝：大学の地域貢献プログラムの公共政策としての評価の必要性. 日本評価学会第 22 回全国大会,WEB 学会,2021.12.4-5.

外部資金獲得状況

1)2021 年度 日本都市計画学会中国四国支部地域活動助成事業, 研究代表者:岸本由梨枝.
※新型コロナウィルスの影響により中止したため助成金を返還。
2)令和 3 年度～令和 7 年度日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 B)研究課題「Age Friendly Cities 指標を用いた介護予防政策評価と社会実装研究」,課題番号 21426520,研究分担者.

その他

1)岸本由梨枝・髙塚創: 四国のまちづくり情報交換会&見学会 in 丸亀,丸亀町商店街
※1 月の開催に向け計画・調整していたが、新型コロナウィルスの影響により中止。
2)2021 年度 新見公立大学学長配分研究費採択「地域共生社会の実現を志向したコミュニティ・ソーシャルワーク実習に関する研究―教育プログラムおよび教材開発を中心に―」,2021.6,研究分担者.

社会的活動

役職

1)日本都市計画学会中国四国支部研究交流委員会委員

その他

1)田治部地区花の苗植え,引率,田治部小学校,
2021.4.24

2) 田治部地区花まつり,引率,田治部小学校,
2021.6.20

3)上市地区社会福祉協議会三役会で小地域福祉活
計画に関する提言,引率,上市市民センタ
ー,2021.10.28

4)上市地区ウォーキングコースの下見,引率,上市地
区,2021.11.6

5)田治部みらい会との意見交換会,引率,田治部小学
校,2021.11.7

6)交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点,
2021.4.14

4）地域共生推進センター

特任教授　加藤雅彦

教育活動

専門分野

公衆衛生学，応用獣医学

その他の教育活動

1)本学における活動

・地域共生推進センター業務　研究員
・教学マネジメント業務　担当
・研究体制の構築業務　担当
・評価・将来構想委員会教学マネジメント部会
　副委員長
・評価・将来構想委員会内部質保証部会　委員

研究活動

著書

1)監修者 加藤雅彦．著者 内田明彦，加藤雅彦，小林淳，能田淳，蒔田浩平，万年和明，村松康和，八木行雄，山田文也，湯川尚一郎，青木博史，渋谷寛，平山紀夫，牧野ゆき，藤井立哉，水越美奈：愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書5巻 公衆衛生学 動物看護関連法規 動物愛護・適正飼養関連法規．エデュワードプレス，3-18，127-170，197-203，2022.

学会発表

1）平野杏奈、北川祐紀、加藤雅彦、伴和幸：Ａ動物園における飼料および調理器具の細菌数調査．第30回日本動物看護学会，WEB学会，2021.10.30.

社会的活動

役職

1)令和3年度新見庄たたら学習実行委員会　委員

助教　福武幸世

教育活動

専門分野

身体教育学, 舞踊学, 身体表現

担当科目

・基礎ゼミナール B: 健康保育学科 1 年, 通年 30 時間, 必修, 3 人
・表現技術: 健康保育学科 2 年, 前期 30 時間, 選択, 49 人
・スポーツ実習 B: 看護学科 1 年, 地域福祉学科 1 年, 前期 30 時間, 選択, 46 人

※以下の科目は補助的立場で担当

・スポーツ実習 A: 全学科 1 年対象, 後期 30 時間, 選択, 84 人
・スポーツ実習 B: 健康保育学科 1 年, 前期 30 時間, 必修

その他の教育活動

1)本学における活動

・地域共生推進センター　研究員
・保育実習巡回指導
・プティ・コンセール, ダンス指導, 2021. 7. 21
・第 62 回中・四国保育学生研究大会, (オンライン), ダンス指導
・にいみゆめのぽけっと 2021, 実行委員, 2021.12. 11.

2)高校訪問

・愛媛県内の高校(4 校訪問), 2021.11.19. （対面）
・熊本県内の高校（3 校訪問）, 2021.11.30.（電話）
・大分県内の高校（2 校訪問）, 2021.11.30.（電話）

3)その他

・倉敷市立短期大学保育学科, 幼児と身体表現講義(30 時間)
・倉敷市立短期大学保育学科, 身体表現の指導法講義(30 時間)

研究活動

学術論文

1)福武幸世, 芝﨑美和, 渡部昌史: 保育者養成校の学生を対象としたダンス指導の困難さと改善方法－A 大学 1 年生を中心に－. 新見公立大学紀要, 42(2), 35-42, 2022.

2)福武幸世: 創作ダンスの指導法に関する質的研究－熟練教師の実践における「行為の中の省察」に着目して－. 岡山大学大学院修士学位論文, 2021.

その他

1)長宗武司, 福武幸世, 土井英子, 三上ゆみ, 福田秀之: 令和 3 年度学長配分研究課題「新見市の地域経済構造及び, 新見公立大学が地域経済に与える経済的影響に関する実証分析」

社会的活動

講演・研修会

1)福武幸世: 心も身体もリフレッシュー「自分の身体を整えよう」, 新見公立大学市民公開講座, 2021.10.24.
2)福武幸世: キッズダンス教室（3 回講座）令和 3 年度福浜公民館主催講座, 岡山市立福浜公民館, 2021.10.2, 10.30, 11.13.

その他

1)大学コンソーシアム岡山　医療従事者の方々へのメッセージ送付(地域共生推進センターSA 活動として実施) 2021.8.23.
2)交通安全街頭査察, 西方小学校前交差点, 2021.9.28.

助教　長宗武司

教育活動

専門分野

都市・地域経済学，応用計量経済学(統計解析)，地域公共政策

担当科目

・経済学: 共通科目，後期 15 時間，選択，44 人
・共生社会実践演習Ⅰ：地域福祉学科 2 年生，通年 52 時間，選択，20 人
・共生社会実践演習Ⅱ： 地域福祉学科 3 年生，通年 40 時間，選択，12 人
・基礎ゼミナールC(高瀬①, 高瀬②, 高尾②)：地域福祉学科 1 年，通年 36 時間，必修
・入門ゼミナール： 地域福祉学科 2 年，通年 8 時間，必修
・地方行政インターンシップ： 地域福祉学科 3 年生，夏季集中 30 時間，選択，12 人（事前・事後学修 2 コマ）
・公共政策論： 地域福祉学科 2 年，夏季集中 15 時間，選択，19 人

その他の教育活動

1)本学における活動
・地域共生推進センター　研究員
（第 1 部門・第 2 部門担当，SA 指導年間 251 時間，ボランティア受入担当）
・地域共生推進センター　むすびの会　担当教員
・地域共生推進センター　新高会　担当教員
・総合情報基盤センター情報システム部門　委員
・総合情報基盤センターIR 部門　委員

研究活動

学術論文

1)長宗武司： 経済基盤乗数の空間的な分布の特徴 ―市町村単位と都市雇用圏単位の比較―. 地域学研究，51(1)，1-13，2021.

報告書

1)長宗武司，中村良平:「施策効果等の調査分析」報告書（岡山県中山間・地域振興課，岡山県中山間地域協働支援センターとの共同研究). 2021.
2)(一財)岡山経済研究所，中村良平，長宗武司:「2018 年度 新見市産業連関表」報告書（第５章担当). 2021.

学会発表

1)長宗武司: 中山間地域における生活満足度に影響を与える要因の定量的分析 -岡山県内集落への調査結果から-. 日本計画行政学会 中国支部大会，Web 学会，2021.4.10.

外部資金獲得状況

1)日本計画行政学会・中国支部 2021 年度研究助成「移出産業による地域乗数効果の地域的な分布及び，空間的な波及範囲に関する研究」，研究代表者: 長宗武司.
2)みずほ福祉助成財団 2021 年度 社会福祉助成金 「障がい者ケアの質の向上のための〈障がい者ケア専門職支援〉に関する研究 ―ケア専門職，リーダー格職員，障がい者家族，三者の比較を通して―」，共同研究者: 長宗武司（研究代表者: 川池智子）.

その他

1)長宗武司，福武幸世，土井英子，三上ゆみ，福田秀之: 2021 年度学長配分研究課題「新見市の地域経済構造及び，新見公立大学が地域経済に与える経済的影響に関する実証分析」

2) 八重樫牧子，長宗武司，髙月教惠，小藤信子: 2021 年度学長配分研究課題「「新見市就学前親子の居場所」に関するニーズ調査」

社会的活動

講演・研修会

1)長宗武司: 新見市産業連関表作成および地域経済構造分析業務について. 新見市産業振興会議幹事会，新見市役所，2021.10.5.
2)長宗武司，三村聡： データに基づく政策立案. 美作地域自治体職員研修会，美作県民局，2021.10.18.
3)長宗武司，三村聡： 地域産業の分析. 美作地域自治体職員研修会，津山保健センターホール，2021.11.22.
4)長宗武司，三村聡： 地域産業の具体的な商工政策の推進に向けて. 美作地域自治体職員研修会，美作県民局，2021.12.13.

役職

1)独立行政法人 経済産業研究所 RA

その他

1)大学コンソーシアム岡山　医療従事者の方々へのメッセージ送付（地域共生推進センターSA活動として実施）2021.8.23.

2)地域共生推進センター むすびの会 「第1回むすびの場交流会」 新見駅前交流センター, 2021.9.20.

3)下熊谷地域拠点施設整備ワークショップ 旧下熊谷小学校（地域共生推進センターSA活動として参加), 2021.11.12, 11.14.

4)下熊谷地区小地域ケア会議 下熊谷集会場（地域共生推進センターSA活動として参加), 2022.1.13.

5)県内事業実施による経済波及効果推計についての分析指導　岡山県庁統計分析課, 2022.2.3.

4. 地域及び社会貢献を含む諸活動

1) 新見市との連携

新見市では、新見市版地域共生社会の実現に向け、「小規模多機能自治による地域共生社会の基盤構築」と「大学を活かしたまちづくり」を2本柱として各事業に取り組んでいる。

令和 3(2021)年度の地域共生推進センターの会議では、新見市総合政策課大学連携推進室担当者からの報告や新見公立大学地域共生推進センター事業の展開について協議した。地域共生推進センター会議に先立ち、戦略会議においても新見市総合政策課大学連携推進室担当者と協議して、各事業に取り組んでいる。

新見市との連携事業として、市の各種審議会・委員会等に積極的に参画し、大学の専門性を発揮して市との連携事業を実施した。連携事業の内容は以下のとおりである。

◎令和3(2021)年度教員等が新見市から委員等の委嘱を受けた実績

番号	申出日	委員名称
1	4 ・ 6	高齢者虐待防止アドバイザー
2	7	新見市観光事業協議会委員
3	〃	市民協働推進審査会委員
4	28	新見市ウッドスタート事業木育円卓会議委員
5	5 ・ 12	新見市防災会議委員委嘱
6	19	報道委員会委員
7	6 ・ 1	新見市特別支援教育支援委員会委員
8	14	新見庄たたら学習実行委員会委員
9	7 ・ 2	新見市子ども子育て会議委員
10	20	新見市文化財保護審議会委員
11	9 ・ 14	教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価のための外部評価委員
12	10 ・ 5	新見市公の施設指定管理者選定委員会委員
13	1 ・ 27	新見市環境保全審議会委員

◎令和3(2021)年度本学の教員が新見市から講座や講演会の講師等を依頼された実績

番号	申出日	講座、講演会等の名称
1	5 ・ 6	認知症サポーター養成講座講師
2	6 ・ 8	高梁・新見地区青少年相談員対象講演会
3	8 ・ 3	「新見市幼児教育研修会」講師
4	9 ・ 3	「新見高校　地域人材を活用した講話」講師
5	14	「岡山県青少年相談員　新見・高橋地区研修会」講師
6	10 ・ 27	「認知症サポーター養成講座」講師
7	1 ・ 17	「認知症サポーター養成講座」講師 ※中止
8	2 ・ 21	「BABY すくぅ～る」講師

◎令和3(2021)年度本学が新見市から協力を求められた業務等の実績

番号	申出日	業務
1	5 ・ 17	「新見駅周辺まちづくりに関するアンケート調査
2	6 ・ 15	新見市地域公共交通計画策定に係るアンケート調査
3	7 ・ 20	認知症サポーター養成講座　キャラバンメイト
4	10 ・ 7	市防災訓練参加依頼
5	1 ・ 6	市民アンケート

◎令和３(2021)年度本学が講座や講演会の講師等を新見市職員等に依頼した実績

番号	申出日	人数	講座、講演会等の名称
1	5 ・ 10	2	「学校保健」講師
2	24	1	「教育実習指導」講師
3	6 ・ 10	1	「地域保健指導論Ⅱ」講師
4	7 ・ 1	2	「保育実習Ⅰの振り返りと課題について」講師
5	15	1	〃
6	8 ・ 12	3	「保育サポーター養成講座」講師
7	9 ・ 3	1	「救急蘇生演習」講師
8	24	1	「公衆衛生看護学概論」講師
9	7 ・ 5	1	「普通救命講習Ⅰ」講師
10	9 ・ 28	3	「にいみの保健医療福祉」講師
11	10 ・ 27	2	「学校救急処置」講師
計		18	

◎令和３(2021)年度本学が新見市に協力を求めた業務等の実績

番号	申出日	業務
1	7 ・ 12	「地方行政インターンシップ」での学生受入
2	10 ・ 1	疫学調査結果チラシ配布
3	11 ・ 25	「共生社会実践演習Ⅱ」への職員派遣
4	1 ・ 7	保育士見学実習

合計で４１件の新見市総合政策課連携推進室を経由した連携実績となった。

2) くらしきサテライト

新見公立大学では、平成 28(2016)年 10 月 19 日、倉敷成人病センター（倉敷市白楽町）との連携協力に関する協定を結び「新見公立大学くらしきサテライト」を開設し、看護学科と助産学専攻科の実習の拠点としている。また、大学院の研究指導を行う際にも利用している。

【看護学科領域実習】

基礎看護学実習・成人看護学実習を下記の期間行い、ケースカンファレンス・中間カンファレンス、反省会、疾患に関する勉強会などを実施した。

◎令和３(2021)年度行事

領　域	期　間
基礎看護学実習	8 月 23 日～8 月 27 日 11 月 22 日～11 月 26 日
成人看護学実習	4 月 12 日～4 月 28 日 7 月 5 日～7 月 15 日 11 月 29 日～12 月 16 日

【助産学専攻科】

倉敷成人病センターの医師・助産師等の授業を実施し、一部の授業は大学とサテライトを結んだ遠隔授業を実施した。また、助産学実習でのカンファレンス、勉強会などを実施した。

◎令和3(2021)年度行事

科　目	期　間
講　　義	4月5日～7月5日
助産学実習	7月12日～12月24日

【大学院】

令和3(2021)年度は、コロナ禍の関係でくらしきサテライトにおいて研究指導は実施しなかった。

3) にいみゆめのぽけっと

「にいみゆめのぽけっと2021」―新見公立大学健康保育学科第30回表現発表会―を、12月11日（土）に新見市学術交流センターにおいて開催した。コロナ禍での開催であったため、インターネット事前申し込み方法により、新見市在住の方々のみのご参加とさせていただき、事前申込者数は175人、来場者は150人であった。

令和3(2021)年度から立ち上げた、学生による実行委員会が中心となり、協議や準備・練習を重ね、学生全員が同じ目標を持って取り組むとともに、各々の学生が自分の役割を果たすことができた。

「こどもとの触れ合い」に重点を置き、授業や実習で取り組んだ表現活動や遊びの実践を、舞台発表や体験あそびコーナーとして発表し、来場者とともに楽しむ形式である。会場は子どもたちの笑顔と歓喜の声に包まれ、大学で学ぶ「保育者の実践力」を融合させた取り組みとして、好評を得ることができた。

当日発表した内容は以下のとおりである。

◆舞台演目

合奏「森のパレード」、音楽劇「ももたろう」、手品「ワクワクドキドキ !!　ふしぎなマジックショー!」、ダンス「にいみのヒーローはきみさ！」、演劇「白雪姫」

◆遊びコーナー

伝承遊び「昔ながらの遊びを楽しもう！」、科学遊び「身近な科学で不思議発見！」、ダンボール迷路「くぐって！　とんで！　ゴーゴーゴール！」、おはなし「ステキなおはなしをプレゼント！」、造形遊び「かいて！つくって！ワクワク工房！」

※本学HP　「健康保育学科：第30回表現発表会『にいみ ゆめのぽけっと 2021』が開催されました」　参照（ https://www.niimi-u.ac.jp/index.cfm/7、6477、27、158、html）

4) にいみ子育てカレッジ

にいみ子育てカレッジは，主に以下の7つの活動を行った。

(1) 子育て中の親子交流・活動（ひろば「にこたん」の開設）

令和 3(2021)年度も令和 2(2020)年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症により感染対策をとりながら、週5日間（火曜・水曜・木曜・金曜・土曜：10時～16時）開設した。令和4(2022)年3月24日現在の開設日数は213日で、年間5,483人（昨年同日で5,134人）の親子が利用し(延べ人数)、1日の平均利用者数が 26 人であった。緊急事態宣言や岡山県まん延防止等重点措置適用期間中に予定していた利用者が参加する行事はすべて中止または延期とした。12月に入り、徐々に行事も再開することができた。学生の卒業研究のフィールドワーク等も受け入れたりしたが、学生による自主的な活動参加はできなかった。

(2) 子育て支援者の育成・連携

市内の子育て支援者を対象に合計4回の研修を行った。令和3(2021)年度は、支援者の交代もあり再度地域子育て支援拠点について再認識することを中心に計画を立てた。具体的には、「子育て支援の基本」等

について実践できていること、課題としていること等を挙げ情報共有をはかることができた。また、市内の広場間における月 1 回の情報交換を行った。保育サポーター養成講座は、令和 2(2020)年度同様、4 日間実施し 7 人の保育サポーターの登録があった。さらに、新見市保育協議会の研修として、園長 12 人の視察があった。園長からは利用者がひろばやファミサポ利用に繋がるように情報を提供したいとの感想が聞かれた。

(3) 子育て支援者に対する専門研修

子育て支援者(保育士、幼稚園教諭等)が課題とする問題を、大学教員等が専門知識に基づいて研修を実施するものである。令和 3(2021)年度は、発達障害、発達心理学、看護・保健、幼児保育、音楽、言葉、英語、保育・教育、特別支援教育の 11 領域の講座が開かれた。実施日数 12 日間で、延べ受講者数は 176 人であった。教育委員会等にも広報したことにより受講者数も増加傾向にあった。

(4) 将来の子育て支援者育成支援

令和 3(2021)年度は、新型コロナウイルスの感染予防の観点から、直接かかわる活動は控えて、授業における室内環境学習や子育て広場スタッフによるミニ講座にとどまった。健康保育学科学生 1 年次生 53 人が授業「乳幼児保育演習」、看護学科学生 2 年次生 84 人が授業「小児看護学援助論」、地域福祉学科学生 3 年次生 12 人が授業「子育て支援論」でかかわった。

(5) 専門的な子育て相談

令和 3(2021)年度は、新見公立大学保健管理センターセンター長による座談会「ハートフルサロン」を 2 回、新見市健康づくり課による保健師訪問を 10 回、子育て相談室を 7 回、子育て支援者が随時対応するフロアー相談や電話相談を行った。保健師訪問における相談は 8 件、子育て支援者が随時対応するフロアー相談は 16 件、電話相談は 1 件であった。子育て相談室における相談は 9 件であった。

(6) 子育て情報発信

親子交流ひろば“にこたん”の利用状況や子育てに関する最新情報等をフェイスブックにて毎日発信して、利用者への情報提供を積極的に行った。また、毎月にこたん通信を、年 1 回にいみ子育てカレッジだよりを発行した。県内からの視察も受け入れ「にいみ子育てカレッジ」の情報発信を行った。ポータルサイト「新見まちナビ」に、「にこたんおたより」「にいみっ子」を毎月掲載した。月 1 回はにこたんスタッフがファイスブックにて手遊びやわらべ歌等の動画配信を行った。

(7) にいみ・ファミリー・サポート・センター

保護者の残業や休日出勤、急用等の時に，育児の援助を受けたい人と、育児の援助を行う人が有償で助け合う会員組織をつくり、相互援助活動の普及を図った。令和 3(2021)年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、積極的な交流活動はできなかったが、子育て家庭のニーズに細やかに対応しながら、送迎や子育て広場内における託児を実施することができた。

5) 看護学セミナー

令和 3(2021)年 11 月 17 日に地域共生推進センター棟の講堂にて、第 12 回新見公立大学 看護学セミナーを開催した。「現場の声から学ぶ 看護職の魅力」をテーマとし、清水尚子先生（医療法人緑隆会 太田病院師長）、竹田洋子先生（医療法人国際貢献大学校医療機構 国際貢献大学校メディカルクリニック師長）、土井直己先生（医療法人社団淳和会 長谷川紀念病院外来師長）の 3 人の講師を招聘し、講演をしていただいた。今年度も新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、参加者を本学看護学科の 1・2 年生、約 160 人に限定した。学生は講師の話に熱心に耳を傾けていた。講演後には学生から「人の一生に関わることができる尊い職業であることが認識できた」、「コミュニケーションをとることで患者さんの心を癒すことも重要な治療だと思った」などの感想や、「実習に対する不安が軽減した」、「夢に向かって頑張りたい」という意気込みが聞かれた。

6）疫学調査

本学では「疫学調査・疫学演習」（看護学部3年生保健師課程開講科目）にて、地域住民を対象とした疫学調査を実施している。この調査は二つの目的をもって実施されている。一つは、疫学調査の計画から実施、データの集計・分析、発表までの一連の過程を通じて、学生の疫学的な知識や技能の修得および定着を図ること、二つ目は、地域貢献として地域住民の健康課題を明らかにし、その課題解決に資する資料を得ることである。

令和3(2021)年度は、新見市水舟地区周辺の住民を対象に疫学調査を実施した。

本調査の概要は以下のとおりである。

① 調査期間：調査票の各戸配付　令和3(2021)年7月19日（月）
　　調査票の各戸回収　令和3(2021)年7月28日（水）
② 調査対象：新見市選挙管理名簿より抽出された水舟地区周辺の住民 全701人（351世帯）
③ 調査方法：無記名・自記式質問紙調査(一部、回収時に調査員による聞き取り調査を含む)とした。調査票の配付と回収は、留置き法または郵送法にて実施した。
④ 調査内容：基本属性、健康生活習慣（食生活、身体活動、睡眠、飲酒、喫煙、健診受診、予防接種の有無など)、社会関係、口腔状態、心身の健康など
⑤ 調査結果：調査の結果、292人から回答が得られた（回収率41.7%)。
5つのテーマ（「現病歴・身体活動・座位行動」「食習慣・やせ・肥満」「飲酒・喫煙・がん検診受診」「睡眠習慣・精神健康」「う歯・歯周病・口腔ケア」を設定し、テーマ毎に課題を明らかにした。
⑥ 結果の公表:次年度に、調査結果の概要と健康の維持・増進のための提言をまとめたリーフレットを作成し、水舟地区周辺の住民へ配布する予定である。

7）「新見船川八幡宮秋季例大祭」参加

地域福祉学科では、毎年10月15日に行われる「新見船川八幡宮秋季例大祭」別名「にいみ土下座祭り」に参加しているが、令和 3(2021)年度は令和 2(2020)年度に引き続き、コロナ禍のため祭りが中止になった。例年行っている祭り参加前の特別講義において、船川八幡神社の宮司、土下座祭り実行委員長に加え、若連中の頭取を招き、子どもの頃から親しんだ祭りを支える担い手としてのお話を聴くことができた。

また、1月22日には、地域文化実習「音の文化論コース」の履修者が土下座祭りで演奏する予定だったお囃子と「神楽コース」の履修者による神楽の舞を地域文化実習発表会で披露した。

8）高大連携プログラム

地域福祉学科では、短期大学であった平成16(2004)年度から岡山県共生高等学校との高大連携授業に取り組んでいる。18年度目にあたる令和3(2021)年度は3年生7人の生徒が受講した。このプログラムは、介護職員初任者研修修了証取得を目指す同校の生徒に対し、新見公立大学に来て講義や演習を受けることで、専門性の高い大学教育に触れる機会を提供することを目的としている。プログラムの内容は以下の通りである。

◎令和3(2021)年度岡山県共生高等学校との高大連携授業実績

科目名	実施日	時間数	担当教員
介護職の役割、専門性と他職種との連携 介護職の職業倫理	6.4（金）	4	岡　京子
介護における安全の確保とリスクマネジメント 介護職の安全	6.14（火）	4	三上　ゆみ
介護保険制度	6.16（水）	4	和田 美智代
障害者自立支援制度およびその他の制度	7.14（水）	4	泉　宗孝
介護におけるコミュニケーション	6.29（火）	4	松田　実樹
介護におけるチームのコミュニケーション	6.29（火） 6.30（水）	4	松田　実樹
障がいの基礎的理解	8.27（金）	1	岡　京子
家族の心理、かかわり支援の理解	8.27（金）	1	松田　実樹
入浴、清潔保持と自立に向けた介護	8.27（金）	4	合田　衣里 松田　実樹
介護過程の基礎的理解	8.31（火） 9.2（木）	6	松本 百合美
総合生活支援技術演習	9.9（木） 9.16（木）	7	合田　衣里

9) 地域共生推進センター

(1) 地域共生推進センター鳴滝塾

◎令和3(2021)年度地域共生推進センター鳴滝塾開催実績

回数	開催日時	内容
鳴滝塾Ⅲ	令和3(2021)年 10月23日（土）	・岡山大学名誉教授　JCHO 大阪病院名誉院長美村聡　清野佳紀氏による「地域医療における男女共同参画　ワークライフバランスの重要性」特別講演 ・パネルディスカッション「新見市の男女共同参画」 【コーディネーター 】公文裕巳（新見公立大学学長） 【オブザーバー 】清野佳紀(岡山大学名誉教授・JCHO 大阪病院名誉院長) 小田慈　（新見公立大学副学長） 【パネラー 】溝尾妙子（渡辺病院副院長）吉良宏子（こども・リパブリック代表）土井英子（新見公立大学教授）
鳴滝塾Ⅳ	令和3(2021)年 12月11日（土）	㈱日本総合研究所主席研究員・新見公立大学客員教授藻谷浩介氏による「ポストコロナのまちづくり」特別講演を開催

(2) 市民公開講座

昭和 57(1982)年から実施実績のある市民公開講座を、新型コロナ感染症予防に努め、開催時期も令和3(2021)年9月10月の時期の計4回で開催した。受講者数は延べ63人であった。

コロナ禍における心の健康を大テーマに講師をセンター会議にて選定し、各講師がテーマを決定した。

公開講座の情報の周知方法は、①新見市市報への情報の掲載、②新見公立大学ホームページでの情報公

開、③公開講座のポスターである。

開催時間、会場、対象等については、以下のとおりである。

◆時間：13 時 30 分～15 時 00 分[毎回]

◆会場：新見公立大学リズム教室、新見市学術交流センター（新見公立大学 大学敷地内）

◆対象：学びたい人はどなたでも

◆申込期限：随時受け付けます

◆受講料：1,000 円（１講座のみの受講の場合は、１講座 300 円）

◎令和 3(2021)年度市民講座開催実績

回数	開催日	テーマ	講師
第 1 回	令和 3(2021)年 9 月 24 日(金)	心も身体もリフレッシュ「自分の身体を整えよう」	福武　幸世 新見公立大学地域共生推進センター研究員
第 2 回	令和 3(2021)年 10 月 6 日(水)	心の健康と不合理な行動	樋口　裕二 たいようの丘ホスピタル医師
第 3 回	令和 3(2021)年 10 月 22 日(金)	メンタルヘルスと新見の香り	白石　須万子 薬剤師
第 4 回	令和 3(2021)年 10 月 29 日(金)	こころの健康を保つには	山野井　尚美 新見公立大学看護学科准教授

各回ともに、地域共生推進センター委員が準備運営等を行い、担当者を 2 人以上配置し、第 4 回目の講座終了時に、受講者に終了証を授与した。

講座毎に実施する受講者アンケートから、講演に対する評価が高いこと、満足度が高いこと、時間も適当であること、来年度も参加する意向が強いことがわかった。

令和 4(2022)年度新見公立大学市民公開講座は、テーマを決定して令和 4(2022)年 9 月、10 月に計 4 回の講座を実施する予定である。

(3) 他大学との交流

①名寄市立学との交流

◎令和 3(2021)年度名寄市立大学との交流実績

開催日	内容
令和 3(2021)年 8 月 10 日（火） 10:00～11:00	第 2 回 LiveOn によるオンライン交流会 看護学科・助産学専攻科を中心とした情報交換を行い，両校の学科運営・専攻科設置に関する理解を深め，その充実・発展に資する目的で、Live On 交流会を行った。 出席者:名寄市立大学　関朋昭(コミュニティケア教育研究センター長) 永谷智恵(学生部長，看護学科教授)、長谷部佳子(看護学科長) 加藤千恵子(母性看護学教授)、渡邊友香(母性看護学助教) 荻野大助(次期コミュニティケア教育研究センター長) 伊藤亜希子(コミュニティケア教育研究センター企画運営委員) 若林智(コミュニティケア教育研究センター事務局参事) 新見公立大学 上山和子、金山時恵、四宮美佐恵、土井英子、梶本佳照、加藤雅彦

令和3(2021)年11月31日(火) 17:30～18 :30	令和3(2021)年度第１回名寄市立大学・新見公立大学学生交流会 「なになに交流会（通称：N会)」第1回打合せ 出席者: 名寄市立大学　学生: 加藤、鈴木、中島、舟山、村上 教職員: 伊藤講師、若林参事 新見公立大学　学生: 徳山、武田、藤井、平松 教職員: 加藤、福田 名寄市立大学の「な」と新見公立大学の「に」を取り、「なになに交流会」とした。お互いの大学の頭文字の「N」を取り、通称「N会」とした。
令和3(2021)年12月21日(火) 18:00～19:00	「なになに交流会（通称：N会)」第2回打合せ 出席者: 名寄市立大学 学生: 加藤、鈴木、中島、舟山、村上 教職員: 伊藤講師、若林参事 新見公立大学 学生: 大前、徳山、武田、藤井、大崎、山下、 荒川、桂、平松、上満、尾花 教職員: 加藤
令和4(2022)年2月9日（水) 17:00～18:00	令和3(2021)年度「なになに交流会（通称：N会)」 交流会を通して親睦を図りながら相互と相互の地域を知って主体的に見識を広める目的で、「なになに交流会」を開催した。 出席者: 新見公立大学　地域共生推進センター第3部門ＳA11人: 大前、徳山、武田、藤井、大崎、山下、荒川、 池本、桂、平松、上満 教職員: 加藤、長宗、福田 名寄市立大学　学生: 鈴木、中島、舟山、村上 教職員: 荻野教授、伊藤講師、若林参事

②LINK topos

全国の公立大学生で構成された公立大学学生ネットワーク主催による、全国公立大学学生大会（LINK topos）は、ホスト大学：岩手県立大学により、LINK topos（Web交流）を以下の内容で開催された。

◎令和3(2021)年度LINK topos参加状況

開催日	内容
令和3(2021)年9月14日(火) 9:00～18:00	ポスターセッション 学生フリーペーパー「なるたき2号」を中心にSA活動紹介 （武田、藤井、桂）
令和3(2021)年9月15日(水) 9：00～18：00	第1日　テーマ別ワークショップ ワークショップ（武田、藤井、平松、和田、荒川）
令和3(2021)年9月16日(水) 9：00～18：00	第2日　テーマ別ワークショップ ワークショップ（武田、藤井、平松、和田、荒川）

*本学SA学生の徳山光希が運営事務局スタッフとして、全日程に参加した。

(4) 地域との交流

① NiU 新見駅西サテライト(駅西交流棟)PROJECT

「人と地域を創る新見公立大学」として、学生の夢を実現できる新見駅西学生アパート「えきよこ」の1階「NiU 新見駅西サテライト」の地域貢献活動についてワークショップを5回開催した。

◎令和3(2021)年度 NiU 新見駅西サテライト（駅西交流等）PROJECT 実施状況

回数	開催日	内容
第1回	令和3(2021)年9月23日(木) 10：00～12：30	場所：アパート建設現場，現場事務所 講師：和田優輝（空間デザイナー)、北浦菜緒（グラレコ） 参加者：学生有志11人、教職員12人
第2回	令和3(2021)年10月15日(金) 13：00～14：50	第2回“NiU 駅西交流棟 PROJECT”ワークショップ 場所：地域共生推進センター棟 3F グループスタディルーム 講師：和田優輝、北浦菜緒、吉良宏子、西川陽子 参加者：学生28人、教職員15人
第3回	令和3(2021)年11月2日(火) 18：30～20：30	第3回“NiU 駅西交流棟 PROJECT”ワークショップ 参加者：学生参加30人、教職員15人、地域団体代表者（駅前町内会、おかみさん会、退職公務員連盟）10人、(傍聴：市役所1人）　計55人
第4回	令和3(2021)年11月29日(月) 18：30～20：30	第4回“Niu 駅西交流棟 PROJECT”ワークショップ 内　容：弥田設計士による中間報告 “もの決め”3セクション合同報告会 ファシリテーター：和田優輝，北浦菜緒 協力者：　藤本・吉良・西川（木のおもちゃの会）弥田設計士、岡山理科大学生2人、学生16人、教職員20人、地域3団体代表者15人　計54人
お披露目会	令和4(2022)年1月21日(金) 12：40～13：10	・パース図による完成形披露 ・公式名称披露：NiU 新見駅西サテライト、発達支援センター、こども交流広場、スタディラウンジ
第5回	令和4(2022)年2月14日(月) 18：30～20：30	第5回“NiU 駅西交流棟 PROJECT”ワークショップ（運用面） 講師：北浦氏、和田氏、吉良氏、西川氏 参加者：学生14人、地域12人、教職員23人

②地域共生推進センター スチューデント・アシスタント(ＳＡ)活動

地域共生推進センタースチューデント・アシスタントとして、部門別にSA活動を実施した。

◎令和3(2021)年度ＳＡ＜1部門2部門合同企画＞活動実績

内容
○古代たたら操業（ミニたたら）の実施 日時: 11／6(土)9：00～11／7(日)15：00　　会場: 神郷公民館高瀬分館
○学生ボランティア活動の準備、学内への情報発信にSAが積極的に取り組む ・済渡寺ボランティア ・千屋地区ボランティア
○NiU駅西交流棟PROJECT 広報動画の作成、SA学生から一般学生への周知呼びかけ
○学生版鳴滝塾　企画
○下熊谷地区地域運営組織との連携等について ・下熊谷地域拠点施設整についてのワークショップ 場所：旧下熊谷小学校3階多目的ホール 日時: 11月12日（金）19：00～21：00（SA 7人参加） 11月14日（日）13：00～15：00（SA 3人参加） ・下熊谷地域運営組織・小地域ケア会議　場所：下熊谷集会所 日時: 1月13日(木)19:00～20:00（SA 5人参加）
○唐松地区地域運営組織との連携等について ・事前協議　日時: 1月19日（水）16:45～17:30（SA 10人参加） ・第2回事前協議　日時: 2月22日（火）18:30～19:30（SA 4人参加） 「唐松チューリップまつり」への参加・出展　日時: 2022年4月10日（日） 内容：当日のイベントの運営補助とブースの出展
○福武文化振興財団・教育文化助成事業：むすびの会プロジェクト活動 「むすびの場～新見の人の心も体もあたたかに～ 福武教育文化振興財団オンライン交流会　　2021年7月21日（土）10:00～12:30 @zoom 本学報告内容: むすびの会　出席者：SA澤田，指導 長宗 第1回むすびの場交流会 日時: 9月20日(月)10：15～12：30（敬老の日） 会場: 新見市駅前交流センター テーマ: 「神代和紙に思いをのせ，大切な人におくろう」 講師: 仲田紗らさ氏、土屋俊介氏（神代和紙保存会） 参加者実績: 一般14人、学生20人（内SA 9人）

◎令和3(2021)年度SA＜3部門＞活動実績

内容
○フリーペーパーなるたき第3号（10月）作成・発行・配布 ○フリーペーパーなるたき4号（3月）作成・発行・配布 ○名寄市立大学との交流

◎令和3(2021)年度SA＜部門枠を越えたSA主体の取組・他部署との合同取組等＞活動実績

内容
○大学コンソーシアム岡山「医療従事者・介護従事者への感謝・応援メッセージ募集」 ○花いっぱい運動学内美化活動（ボランティアによる植え付け作業）

③「新高会」の発足と活動推進

これまで実施してきた、本学在籍の新見高校卒業生と学長とが地域貢献に関する意見交換を行う「学長と語る会」を契機に、新見高校卒業生のさらなる活動推進を目的に、「新高会」が発足した。今年度は組織の体制づくりと活動方針の検討等、下記の通り活動を行ってきた。

◎令和3(2021)年度「新高会」活動実績

開催日	内容
令和3(2021)年9月21日(火) 18：30～20：00	学長と語る会 出席者：新見高校出身学生14人、学長、地域共生推進センター関係委員 学生部長 場所：地域共生推進センター棟3Fグループスタディルーム 内容：「母校支援を通じて高大連携を強化し、卒業後も大学・高校と連携して活動することにより、地域創生・地域支援にもつなげる」という会の目的を共有した。 役員選出： 会長：中川美月(保育3年) 副会長：徳山光希(保育2年)，西岡潔亮(看護1年) 事務局：武田真歩(看護2年)，酒木亜衣（保育1年)
令和3(2021)年12月7日(火) 18：30～20：00	第1回役員会 出席者：中川(会長)、武田(事務局)、酒木(事務局)、福田 場所：会議室C 内容：仰高タイムへの協力・支援等、来年度の取り組みについて
令和4(2022)年1月27日(木) 12：30～13：10	第2回役員会 出席者：中川(会長)、徳山（副会長)、武田・酒木(事務局)、長宗、福田 場所：会議室C 内容：2022年度総会の開催について
令和4(2022)年3月28日(月) 13：30～14：30	第3回役員会 出席者：中川(会長)、徳山（副会長)、武田・酒木(事務局)、福田 場所：会議室C 内容：新見高校出身新入生を歓迎する会の開催について

(5)教員・学生の地域貢献活動

◎令和3(2021)年度教員の地域貢献活動実績【地域活動への参画】

番号	日にち	事業（活動）【場所】対象者	参画	
			学生	教員等氏名
1	4/27	サテライト・デイ【井倉公民館】地域住民(10人)	看護4　8人	木下香織、難波香
2	〃	〃　【熊野総合センター】　〃　(16人)	〃　〃	〃　、安藤亮
3	4/30	〃　【西方公民館】　〃　(12人)	〃　〃	〃
4	〃	〃　【豊永市民センター】　〃　(14人)	〃　〃	〃　、難波香
5	6/29	〃　【井倉公民館】　〃　(14人)	〃　〃	〃
6	〃	〃　【熊野総合センター】　〃　(17人)	〃　9人	〃　、安藤亮
7	7/1	〃　【豊永市民センター】　〃　(12人)	〃　8人	〃
8	〃	〃　【西方公民館】　〃　(13人)	〃　9人	〃　、難波香
9	10/12	〃　【井倉市民センター】　〃　(13人)	看護3　10人	安藤亮、馬本智恵
10	〃	〃　【熊野総合センター】　〃　(14人)	〃　〃	木下香織、難波香
11	10/14	〃　【豊永市民センター】　〃　(12人)	〃　〃	安藤亮、馬本智恵
12	〃	〃　【西方公民館】　〃　(8人)	〃　〃	〃　、難波香
13	10/26	〃　【菅生公民館】　〃　(27人)	看護3・4　14人	安藤亮
14	10/28	〃　【足見ふれあいセンター】　〃　(23人)	〃　〃	〃
15	11/22	〃　【井倉市民センター】　〃　(11人)	看護3　9人	〃　、難波香
16	〃	〃　【熊野総合センター】　〃　(15人)	〃　10人	〃　、馬本智恵
17	11/25	〃　【豊永市民センター】　〃　(13人)	〃　9人	〃
18	〃	〃　【西方公民館】　〃　(12人)	〃　10人	木下香織、難波香
19	12/2	〃　【土橋交流センター】　〃　(18人)	〃　14人	木下香織
20	〃	〃　【草間公民館別館】　〃　(20人)	〃　14人	〃

21 22	4/24	演習 田治部地区花まつり準備（花の苗植え）【田治部小】田治部みらい会	履修生	山本浩史、岸本由梨枝、長宗武司
23	6/20	〃（田治部地区花まつり運営補助）【 〃 】 〃	〃	〃
24	11/7	〃（田治部みらい会との意見交換会）【 〃 】 〃	〃	〃
25	10/28	演習（小地域福祉活動計画への提言）【上市市民センター】上市地区三役	〃	〃
26	11/6	〃（上市地区のウォーキングコース下見）【上市地区】上市地区社協	〃	〃
27	10/2	キッズダンス教室【岡山市立福浜公民館】未就学児（親子）、小学生		福武幸世
28	10/30	〃		〃
29	11/13	〃		〃
30	6/27	卓球ボランティア【新見高校】小学生	全学 4 人	長宗武司
31	7/15	高尾長寿クラブ健康講演【高尾公民館】地域住民		金山時恵
32	10/13	保育カリキュラム公開保育研究会【津山市中央公民館】地域住民(30人)		入江慶太
33	10/21	福本公民館人権学習講座【菅生公民館】地域住民(35人)		木下香織
34	11/16	赤磐市民生委員等協議会研修会【赤磐市中央公民館】地域住民		山本浩史
35	11/28	菅生公民館人権学習講座【菅生公民館】地域住民(8人)		木下香織
36	〃	神郷公民館人権学習講演会【神郷公民館】地域住民(40人)		〃
37	12/4	新見市英語表現発表会指導講評【正田公民館】		山内 圭
38	3/24	新見市哲西区研修会【哲西文化ホール】地域住民		山本浩史
39	3/26	新見市神郷北地区研修会【新郷市民センター】地域住民		〃

◎令和３(2021)年度教員の地域貢献活動実績【公的な活動への参画】

番号	日にち	事業（活動）【場所】対象者	参画	
			学生	教員等氏名
1	4/21	通訳【姉妹都市とのオンライン交流会】日米両市民(20人)		山内 圭
2	9/11	〃 ※司会を含む【 〃 】 〃 (25人)		〃
3	11/13	通訳（協会「国際交流まちあるき」）【御殿町地域】市民・ALT等(40人)		〃
4	10/5	協会英語講座講師【学術交流センター】新見市民(20人)		〃
5	10/19	〃		〃
6	10/26	〃		〃
7	11/9	〃		〃
8	11/16	〃		〃
9	11/24	〃		〃
10	11/30	〃		〃
11	12/7	〃		〃
12	2/8	協会「国際交流だより」編集委員会【市役所】委員会	看護3 1 人	〃
13	3/16	〃	看護3・1 2 人	〃
14	1/13	フォトリップ写真コンテスト審査員【大池邸】写真ｺﾝﾃｽﾄ参加者	写真部 〃	〃
15	6/18	残さず食べようプロジェクト【高尾小】４年生	地福 9 人	井上信次、山内圭
16	7/12	〃	地福2	井上信次、山内圭、三上ゆみ、長宗武司
17	8/18	〃 （野菜水やり・観察）【 〃 】 〃	〃	〃
18	8/25	〃	〃	〃
19	9/1	〃	〃	〃
20	9/17	残さず食べようプロジェクト【 〃 】 〃	〃	〃
21	11/2	〃	地福2・3	〃
22	2/22	〃 （報告資料提出）	地福2 2 人	山内圭
23	6/26	なんでも相談会【新見市地域福祉センター】新見市民		三上ゆみ
24	10/5	新見市産業連関表説明会【新見市役所】産業振興会議委員		長宗武司
25	11/4	新見市幼児教育研修会【新見市役所南庁舎】保育教諭・職員(22人)		髙月教惠
26	11/5	バンドーラ制作交流会【健康の森】高等部(5人)	保育3 2 人	広瀬綾子
27	3/8	弦楽器・バンドーラ卒業演奏会【 〃 】 〃 (2人)	保育3 2 人	〃
28	11/16	保育サポーター養成講座【学術交流センター】新見市民(10人)		入江慶太
29	11/30	〃		髙橋 彩
30	12/2	保育カリキュラム園内研修【新見保育所】新見市保育等職員(15人)		髙月教惠
31	12/17	研修会講演【阿新教育会館】新見市養護教諭(15人)		久恒拓也
32	2/2	ふれあいサロン研修会【げんき広場にいみ】新見市民		山本浩史

※「協会」とは、「新見市国際交流協会」、「姉妹都市」は「ニュウパルツ・ヴィレッジ」。
※「保育カリキュラム」とは「新見市保育・教育カリキュラム」の略称。「民生委員等」は、「民生委員及び児童委員」
※「健康の森」は「岡山県健康の森支援学校」。

◎令和３(2021)年度教員の地域貢献活動実績【大学及び企業等の活動への参画】

番号	日にち	事業（活動）【場所】対象者	参画	
			学生	教員等氏名
1	4/28	カリキュラム研修【大学】市内園長等(29人)		髙月教恵
2	7/21	〃 (0歳児)【 〃 】市内園長・保育士(6人)		髙月教恵、大学教員4名
3	11/5	教育支援センター施設見学・研修会【 〃 】 島根県立大学保育学科教員(5人)		髙月教恵、岡本直行、 入江慶太、小藤信子
4	5/27	職員研修「食中毒」【生き活き館神郷】施設職員(10人)		合田衣里
5	7/28	〃 「高齢者虐待防止」【 〃 】 〃 (11人)		松田実樹
6	11/26	〃 「リスクマネジメント」【 〃 】 〃 (10人)		岡京子
7	1/18	〃 「認知症と身体拘束」【 〃 zoom】介護・看護職		三上ゆみ
8	3/17	〃 「身体拘束防止」【 〃 】 〃		〃
9	7/17	PIONEシミュトレin新見【大学】 新見市内病院卒後2年目看護師(6人)		溝尾妙子、山本智恵子、 吉田美穂、木下香織
10	11/14	PIONEシミュトレin新見【大学】 市内介護施設 介護士(9人)、看護スタッフ(3人)計(12人)		溝尾妙子、岡京子、 松本百合美、三上ゆみ、 合田衣里、山本智恵子、 吉田美穂、木下香織
11	3/26	PIONEプロジェクト「Advanced Life Support コース」 in新見 ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ：救命士(4人)、看護師(4人)計(8人) 受講生 ：看護師(9人)、消防士(3人)計(12人)		山本智恵子、吉田美穂
12	7/20	市教育研修所養護研究部研修【大学】新見市小学校養護教諭(8名)		久恒拓也
13	7/27	〃		〃
14	6/5	やさしさ介護技術研修会【大学】地福1年生	地福3 8 人	岡京子、三上ゆみ
15	8/22	グラレコを学び活用する会プレ講座【大学】新見公立大生4人		広瀬綾子
16	11/7	森のゆうえんちin にいみ2021【大学】新見市民	保育1･3	〃
17	8/23	医療従事者の方々へのメッセージ送付【大学】	SA 4 人	長宗武司
18	1/20	子育てカレッジ専門研修「特別ニーズ支援【学術C】市民(20人)		高橋 彩
19	11/5	介護技術講習会【大学】 市内高校生(6人)､大学生(17人)	地福3 12 人	岡京子、三上ゆみ、 松本百合美、松田実樹
20	2/12	卒業生研修「在宅介護」【学術C】 本学卒業生他(13人)	地福3 2 人	岡京子、三上ゆみ、 松本百合美、合田衣里
21	2/21	新聞記者と英語教員と読む英字新聞講座【大学】新見市民・学生		山内 圭
22	3/14	〃		〃
23	2/26	まにわナーシングカレッジ（ｼﾐｭｰﾚﾝｼｮﾝﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ）【真庭市内病院】 卒後2年め看護師		木下香織、山本智恵子、 真壁五月
24	3/21	知ってくださいヤングケアラー【大学】新見市養護教諭の集い、 新見市社会福祉士会、教職員、学生(40人)		郷木義子、山野井尚美、 栗本一美、三上ゆみ

※「カリキュラム」は「新見市保育・教育カリキュラム」,「市内園長等」は「新見市こども園園長・所長12人、健康保育学科教員17人」。「学術C」は「新見市学術交流センター」。

◎令和３(2021)年度教員の地域貢献活動実績【広域的な活動への参画】

番号	日にち	事業（活動）【場所】対象者	参加教員等 氏名
1	5/1	不妊・不育とこころの相談【岡山県不妊専門相談センター】治療当事者・家族	髙尾緑
2	6/4	〃	〃
3	6/25	〃	〃
4	7/3	〃	〃
5	8/7	〃	〃
6	9/4	〃	〃
7	10/2	〃	〃
8	11/6	〃	〃
9	12/6	〃	〃
10	12/12	不育症当事者の会(ママとたまごの会)【 〃 】治療当事者	〃
11	2/5	不妊・不育とこころの相談【 〃 】治療当事者・家族	〃
12	3/5	〃	〃
13	7/16	総社市民生協研修会講演【総社消防署】	山本浩史
14	8/19	介護福祉実習指導者講習会【岡山県総合福祉会館】介護福祉士(50人)	岡京子
15	9/1	介護福祉士ファーストステップ研修【 〃 】介護福祉士(25人)	〃
16	12/2	〃 【 〃 】総社・池田地区ブロック介護福祉士(25人)	〃
18	9/5	認知症対応型サービス開設者研修【 〃 】認知症対応型サービス開設者(15人)	〃
19	8/17～ 9/13	岡山県看護師等実習指導者講習会【岡山県看護研修センター】県内の看護職(40人)	塩見和子
20	9/26	OHK小学生英語暗唱コンテスト審査員【岡山県国際交流センター】参加小学生・保護者等	山内 圭
21	10/18	職員研修会「データに基づく政策立案」【美作県民局】管内自治体職員(19人)	長宗武司
22	11/22	職員研修会「地域産業の分析」【津山保健センターホール】管内自治体職員(19人)	〃
23	12/13	職員研修会「地域産業の具体的な政策推進」【美作県民局】管内自治体職員(20人)	〃
17	2/3	職員研修会「事業実施経済波及効果推計分析指導」【岡山県庁】県・奈義町職員(5人)	〃
24	11/30	院内看護研究発表会【総合病院落合病院】看護師(50人)	木下香織
25	3/23	リスクマネジメント力をつける【玉野社協（ZOOM研修）】玉野市・社協・介護事業所職員	三上ゆみ

※「社協」は「社会福祉協議会」、「民生協」は「民生委員児童委員協議会」。
※「岡山県総合福祉会館」には「ボランティア館・ＮＰＯ会館」を含む。テーマ名は一部を省略している。

(6)学生の地域貢献活動

◎令和3(2021)年度学生ボランティア活動実績

番号	日にち	活動内容【場所】	学生参加	
			対象	人数
1	6/27	小学生への運動指導【新見高校北校地トレーニングルーム】		4 人
2	7/20 ～ 7/27	千屋小学校「夏休み学童保育ボランテティア」【千屋市民センター】		1 人
3	7/12	地域を学んで残さず食べよう事業【高尾小学校】	地福	14 人
4	7/24	子ども、親子交流活動支援【新見市内小学校、保育園、公民館、大学】		6 人
5	8/22 、 8/23	〃		6 人
6	9/5	〃		6 人
7	10/9	〃		6 人
8	11/7	〃		6 人
9	11/14	オリエンテーリング大会【岡山県健康の森学園】		2 人
10	7/24 、 7/25	夏休み習字教室【西方公民館】		6 人
11	7/30 8/3 8/6	夏のお勉強会【 〃 】		6 人
12	8/1	木工工作教室【 〃 】		6 人
13	8/12	夏の怖ーいお話会【 〃 】		6 人
14	8/19	夏の造形ランド【 〃 】		6 人
15	11/22	健康教室、レクリエーション【唐松公民館】		6 人
16	8/1	タイヤチューブで川下り活動支援【神郷舞尾神代川】		6 人
17	9～10月(土日)	ペットボトルロケット大会＆サスティナブル活動【神郷温泉芝生広場】		6 人
18	11/7	千屋うめぇもん市【新見千屋温泉いぶきの里】		3 人
19	10/16	アジサイ花摘みボランティア【済渡寺】		8 人
20	10/17	〃		8 人
21	10/17	たたら操業ボランティア【新見庄たたら製鉄操業施設】		4 人
22	10/24	〃		4 人
23	10/31	〃		4 人
24	11/5	〃		4 人
25	11/6	〃		4 人
26	11/7	〃		4 人
27	7/28	防火力ボランティア養成講座基礎編【新見市地域福祉センター】		1 人
28	8～3月第4土曜日	木のおもちゃ＆ボードゲーム【新見市立中央図書館】		6 人
29	9/22	ビオーラカフェ（認知症カフェ）【新見市地域福祉センター】		1 人
30	11/24	〃		1 人
31	3/23	〃		1 人
32	10～2月	体育授業スペシャルサポーター派遣事業【新見市】		7 人
33	6/9	＜SA＞花いっぱい学内美化活動【大学】		24 人
34	11/12	＜SA＞下熊谷地域拠点施設整備のﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ【旧下熊谷小】地域住民		7 人
35	1/13	＜SA＞下熊谷地区小地域ケア会議【下熊谷集会場】下熊谷地域住民		5 人
36	9/20	＜むすびの会＞むすびの場交流会【新見駅前交流センター】新見市民(15人)		20 人
37	6月 ～ 7/30	医療・介護従事者への応援メッセージ【大学】		39 人
38	11/7	第４回森のゆうえんちinにいみ【大学5号館】		31 人
39	7/21 、 8/17	ペットボトルロケット大会＆サスティナブル活動【スマイル】		6 人
40	8/26	夕涼み会ボランティア【グループ花みずき】		1 人
41	10/16 、 10/17	済渡寺でサイド(サイド)新しい発見をしよう【済渡寺】		17 人
42	5/13 ～ 5/29	ワールドマスターズゲーム大会ボランティア【各大会会場(兵庫・岡山)】		1 人
43	8/26 、 8/27	オンライン版チーム「ながぐつ」プロジェクト（日本財団）【オンライン】		1 人
44	8/8	大学生が地域で活躍！人づくり・地域づくり応援隊事業【井原市県主地区】		2 人
45	8/22	〃		2 人
46	8/28 、 8/29	〃 【新見市三室地区】		2 人
47	10/30 、 10/31	〃		2 人
48	11/13	〃		2 人
49	1/15	〃		2 人
				323 人

※「スマイル」は「児童発達障害　放課後等デイサービス保育所等訪問支援「スマイル」」の略称。

10) 新見英語サロン

新見公立大学では「新見英語サロン」と称し、外国語指導助手や海外出身の市民、外国を訪問した市民、本地域を訪問する外国からのゲストなどを招き、英語による講演会を開催するほか、平成 17(2005)年度から新見市国際交流協会との共同開催である「外国語講座（英語)」を毎年度実施してきている。また、海外研修を行った本学学生などの研修報告会や英語による茶話会なども行っている。

令和 3(2021)年度においては、英語による講演会について対面の会話が多くなる英会話よりリスクが低いと考えられる「英字新聞読解講座」を新たに始めた。また、「外国語講座(英語)」については、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を実施した上で予定どおり 10 回開催することができた。

◎令和 3(2021)年度「新見英語サロン」開催実績

歴代回数	実施日	内　容	報告者等	会　　場	参加人数
第 356 回	R3(2021)年 10 月 5 日	令和 3 年度第 1 回 外国語講座(英語)	山内 圭(本学教授) 新見市 ALTs	学術交流ホール	30
第 357 回	10 月 12 日	〃　第 2 回	〃	〃	30
第 358 回	10 月 19 日	〃　第 3 回	〃	〃	30
第 359 回	10 月 26 日	〃　第 4 回	〃	〃	30
第 360 回	11 月 2 日	〃　第 5 回	〃	〃	30
第 361 回	11 月 9 日	〃　第 6 回	〃	〃	30
第 362 回	11 月 16 日	〃　第 7 回	〃	〃	30
第 363 回	11 月 24 日	〃　第 8 回	〃	〃	30
第 364 回	11 月 30 日	〃　第 9 回	〃	〃	30
第 365 回	12 月 7 日	〃　第 10 回	〃	〃	30
第 366 回	R4(2022)年 2 月 21 日	新聞記者と英語教員と一緒に英字新聞を読もう講座	山内 圭(本学教授) 相見知伸(備北民報社)	本学ゼミ室	3
第 367 回	3 月 14 日	〃	〃	〃	6

＊歴代回数は、平成 17(2005)年発足当時からの通算回数を表示している。

5. 学生指導・支援

1）卒業研究テーマ一覧

（1）健康科学部看護学科【卒業研究】

	研究テーマ	学生	担当教員
専門基礎	大学生におけるイヤホン装用と聞こえの状態	神谷　夏実	矢嶋 裕樹
	大学生のヘルスリテラシーと健康食品の利用状況	佐藤　香菜子	
	女子大学生のボディ・イメージと食生活及び食事関連 QOL に関する研究	永瀬　湖都	
	大学生におこる肩こりとその関連要因	門政　杏奈	
基礎看護学	若年女性のダイエットに関する研究の動向と課題	近藤　みのり	土井 英子 多田 めぐみ
	諸外国と日本の出生前診断の意思決定における研究の動向と課題	藤原　愛佳	
	認知症高齢者に対する転倒予防の看護に関する文献検討	松本　莉紗	
	拒否を示す認知症高齢患者への看護に関する文献検討	山田　桃華	
	小学 4 年生から小学 6 年生の女子児童の痩せに関する文献検討	伊藤 琴音	山本 智恵子
	産後うつ病の要因に関する文献検討	小野寺　美羽	
	災害現場で活動した看護師が抱えるストレス要因に関する文献研究	柴垣　さゆり	
	海外での災害の被害状況と看護師の活動に関する文献研究	内藤 美紗	
	看護職における非言語的コミュニケーションに関する文献検討	古志　遥南	吉田 美穂
	看護学生の大学生活における異年齢交流体験とコミュニケーションスキルの関連	船越　佳菜	
	アレルギー性鼻炎が大学生の日常生活に与える影響	護摩堂　音々	赤田 いづみ
	大学生の生活行動が姿勢に及ぼす影響	横山　睦実	
成人看護学	認知行動療法による強迫性障害患者の認知と行動の変化についての文献検討	伊藤　瑠奈	礒本 暁子
	終末期看護に携わる看護師に対するデスカンファレンスの有効性と課題に関する文献検討	新庄　麻美子	
	看護学生における月経前症候群(PMS)と日常生活習慣及びセルフケアの実態	前田　真依	
	新人看護師のやりがいを感じる要因	稲見樹里奈	塩見 和子
	臨地実習における看護学生の疲労の実態とその要因に関する文献検討	谷邊　真由	
	看護大学生の睡眠を阻害する要因に関する文献検討	中島　遥輝	

成人看護学	中堅看護師の自己効力感に影響を与える要因の文献検討	平田　菜々子	
	新人看護師のレジリエンスに関する文献検討	上田　楓	真壁 五月
	退院困難とされた一人暮らし高齢者を自宅退院へ導いた退院支援に関する文献検討	河野　仁美	
	臨地実習におけるインシデントに対する看護大学生と教員の認識のずれ	山﨑　恵梨子	
	一般病棟で働く看護師のがん性疼痛における非薬物療法による苦痛緩和の実際	石川　天衣	宮武　一江
	外来で働く助産師による妊娠期からの産後うつ予防のための支援	安原　早希	
	自然災害発生時における正常性バイアスと個人の特性の関連	大前　愛理	井上　弘子
	被災者に対して精神的ケアを行う支援者のやりがいと困難感	原　友里	
老年看護学	高齢者施設で働く看護師が認識する認知症高齢者のその人らしさを大切にした関わりについての文献検討	大槻　千紘	木下 香織
	認知症高齢者に対して看護師が行っているアセスメントと判断の文献レビュー	久保田　志緒	
	我が国における在宅高齢者の脱水症予防に関する研究の動向	河野　真輝	
	高齢者が認知症の診断を受けるまでの家族の体験の居住形態による相違	吉田　美有紀	
在宅看護論	開発途上国における小児の感染症の実態とその予防策についての文献検討	大森　芽衣	栗本 一美
	中山間過疎地域で暮らす高齢者の外出状況と対人交流について	杉山　幸音	
	成人吃音者の対人不安と自尊感情の要因についての文献検討	福原　翔	
	高齢者の意思尊重のための退院支援についての文献検討	山崎　莉来	
	家族介護者の在宅介護の課題についての文献研究	三好　優香	
	大学生の高校生期における部活動と保健室利用及び健康意識との関連	岡崎　誠也	丸山 純子
	在宅難病の災害時要配慮者とその家族に対する災害支援と課題に関する文献検討	佐藤　麻衣	
	中学校に勤務する養護教諭が必要と感じる資質能力とその獲得に関する質的研究	原田　美南	
母性看	妊娠期の妻を持つ夫の家事行動に関する意識の変化	伊柳　紗弥香	西川　由貴子 平田　知子
	異性間に生じる問題や苦痛に関する知識を習得するための教育−教員の意識と教育状況の実際について−	川原　夕波	

護学	乳児を持つ母親の子育て支援の利用と育児不安の関連性	平田　真梨菜	
小児看護学	小児医療・看護におけるディストラクションの有効性に関する文献レビュー	小椋　奏	上山 和子
	入院している子どものきょうだいへの影響ときょうだい支援に関する文献レビュー	宮本　樹里	
	気管支喘息児をもつ親の子育てに対する認識	持田　沙羅	
	入院中の子どもへの遊びの支援に関する看護学と保育学生の認識	山下　裕穂	
	発達障害児をもつ家族が抱える課題と求める支援内容についての文献検討	吉田　真由佳	山本 裕子
	慢性疾患を持つ子どもの家族の支援に関する文献検討	和田　瑞希	
公衆衛生看護学	災害経験のある1人暮らしの大学生の防災意識と防災行動の変化	今岡　鈴帆	金山 時恵
	精神疾患患者の家族が抱える困難への支援方法に関する文献検討	大羽　紗矢香	
	大学生の生活習慣とメンタルヘルスの関連	寒川　沙都	
	小学校高学年のう歯と食生活習慣の実態から捉えた今後の支援	公文　麻裕	
	看護学生のう歯罹患の実態と歯科保健行動との関連	齋藤　菜美子	
	大学生の友人関係の傾向に関する文献検討	白石　保奈美	
	看護学生の高齢者イメージと地域の関わりとの関連	渡部　由芽	
	「都道府県地域防災計画」および報告書から捉える自然災害(地震・津波災害対策編)に関する取り組みと課題	岡　優作	矢庭 さゆり
	災害時における避難所での感染予防・衛生管理に関する保健師の認識	金月　有紗	
	行動変容に対するナッジ理論の有用性	田中　美沙	
	高齢者の社会活動への参加に関連する要因についての文献検討	藤井　怜奈	
	A市における保護者自身の齲蝕予防に対する意識と3歳児齲蝕との関連	宮里　夏芽	
	父親・母親の養育態度が自尊感情に与える影響に関する文献検討	高見　桃歌	中川 彩見
	乳幼児をもつ母親に対する育児相談の効果に関する文献検討	土井　奏絵	

(2) 助産学専攻科【助産学研究】

研究テーマ	学生	担当教員
助産院に勤務する助産師の母乳育児を継続させるための支援	岩成　里美	四宮美佐恵 安田　陽子
学生が学童期に受けた性教育の実態調査	大上紗也乃	
新型コロナウイルス感染症下で出産した母親の思い	久齋　奏流	
愛着形成に関連する要因と母親への支援についての文献検討	中根　まなみ	四宮美佐恵
産後うつ病に対する助産師の看護介入に関する文献検討	中原　優華	
出産後の夫婦の性生活や家族計画についての実態に関する文献検討	本田　瑞希	

2) キャリア支援

(1) 講座・ガイダンス等

令和3(2021)年度は、全学を対象にキャリア形成に関する講座を3件、就職に関する講座を7件、実施した(表参照)。各学科においては、健康保育学科ガイダンス3件、看護学科講座2件、ガイダンス4件、地域福祉学科講座1件、ガイダンス3件、実施した(表参照)。また、全学科共通版ならびに各学科に関する進路の手引きを作成し、配布を行った。

全学対象

◎令和3(2021)年度全学生対象講座開催実績

講座名	対象	開催日	講師
キャリア形成講座(3)	3年次生	4/21(水) 4限	おかやま新卒応援ハローワーク 就職支援ナビゲーター 松井 克
自己分析(SPI)講座	〃	4/21(水) 3限	㈱リクルート 高本 夏翠
就職先分析講座	〃	4/28(水) 3限	〃
公務員試験対策講座	2年次生	10/13(水) 3限	㈱東京リーガルマインド 市川雅宏
キャリア形成講座(2)	〃	10/27(水) 3限	おかやま新卒応援ハローワーク 就職支援ナビゲーター 松井 克
キャリア形成講座(1)	1年次生	11/10(水) 3限	〃
就活マナー、 合同企業説明会の周り方講座	3年次生	12/8(水) 3限	㈱マイナビ 米村 多恵
就活準備講座	2年次生	2/2(水) 4限	〃
面接対策講座	3年次生	2/2(水) 2限	〃
エントリーシート、 履歴書、小論文対策講座	〃	2/2(水) 3限	〃

健康保育学科

◎令和 3(2021)年度健康保育学科生対象ガイダンス開催実績

ガイダンス名	対象	開催日	内容
学科キャリアセミナー (1) 保育専門職を知る	2 年次生	8/10(火)	様々な保育専門職について紹介するとともに、保育現場の話をもとに、保育者の仕事内容について説明した。
学科キャリアセミナー (2) 進路のてびきの説明	3 年次生	5/25(火)	学部のてびき及び学科のてびきについて説明を行い、情報収集の方法や就職活動時の留意点をおさえた。
学科キャリアセミナー (3) 夏季ボランティアガイダンス	〃	7/30(金)	夏季ボランティアの概要（希望園での就業体験を通して子ども理解を深めたり、施設について学んだりする）を理解させるとともに、今後の就職活動で活用できるようにした。

看護学科

◎令和 3(2021)年度看護学科生対象講座開催実績

講座名	対象	開催日	講師
国家試験対策講座	4 年次生	4/1(木)	㈱看護師国家試験対策　吉川塾 吉川久美子
〃	3 年次生	5/12(水)	〃

◎令和 3(2021)年度看護学科生対象ガイダンス開催実績

ガイダンス名	対象	開催日	内容
第 1 回進路ガイダンス	3 年次生	5/12(水)	3 年次生を対象に「進路のてびき」を配布し、活用方法および進路選択の情報収集等を積極的に行うよう促した。
第 2 回進路ガイダンス	〃	9/17(金)	就職活動に向けた情報収集、キャリアガイダンスやインターンシップ、合同就職説明会への参加等について勧奨を行った。
第 3 回進路ガイダンス	2 年次生	10/1(金)	キャリアガイダンスへの参加を勧奨した。
第 4 回進路ガイダンス(1)	3 年次生	2/18(金)	進路希望調査実施の周知とともに春期休暇期間を有効に活用し、進路選択、就職活動の情報収集およびインターンシップ、合同就職説明会等への参加を勧奨した。
第 4 回進路ガイダンス(2)	2 年次生	2/17(木)	公務員対策講座等について案内をした。

地域福祉学科

◎令和 3(2021)年度地域福祉学科生対象講座開催実績

講座名	対象	開催日	講師
就職講座 「自分にあった職場を見つけるために」	3 年次生	3/14（月）	岡山県社会福祉協議会 福祉人材センター

◎令和 3(2021)年度地域福祉学科生対象ガイダンス開催実績

ガイダンス名	対象	開催日	内容
学科ガイダンス(1) てびき	3 年次生	10/1(金)	学部のてびき及び学科の「てびき」を配布し、説明を行い、情報収集の方法や就職活動時の留意点について説明した。
学科ガイダンス(2) 社会福祉士国家試験対策	〃	2/8(火)	社会福祉士国家試験対策について、担当朴講師が、対策、支援体制、模擬試験の予定、国家試験について説明を行った。
学科ガイダンス(3) 就職活動	〃	3/14(月)	岡山県社会福祉協議会福祉人材センター出張講座とあわせて、就職活動について説明を行った。

(2) 学科の特性を生かしたキャリア支援プログラムの充実

学生が講義・実習等を経て、学修進度が進むにつれて出てきた、職業選択、進路に対する悩みに対応するため、令和 3(2021)年度前期において、3 年次生を対象に自己分析(SPI)講座を新たに実施した。

学生の悩みや課題に対して、チューターを中心に対応した。また、キャリアコンサルタント資格並びに総務系の業務経験の長い職員を新たに配置することで専任職員(修学・キャリア支援センター常駐)の体制を確立し、学生の修学・就職に関する体制を強化した。

国家試験対策については、各学科と修学・キャリア支援センターが連携を図り、模試実施等の体制整備を行った。また、修学・キャリア支援センター、学科センター員、チューターが個別に応じた就職支援を進めるため、連携を図り、個別に応じた相談体制整備に向けて検討した。学生に対して、体験学習ならびにインターンシップをガイダンス等の機会に適宜推奨するとともに、情報収集、情報提供を行い、参加を促すとともに、各学科で取得できる専門資格を活かした就職ならびに進路決定に向けて支援を行った。学生の希望地域の就職が実現できるよう、就職先に関する情報収集をするように指導すると共に、修学・キャリア支援センターにおいても地方の情報収集をした。また、ハローワークとの連携に関する検討を行った。

各学科の取り組みは、下記の通りである。

各学科の取り組み

健康保育学科

◎令和 3(2021)年度健康保育学科キャリア支援実績

項目	内容
就職指導全般	チューターは、学生と定期的な面談を行って状況を把握し、キャリア指導を担っている。その際、地区担当教員と連携して指導を行っている。修学・キャリア支援センター員は、学科内の就職指導体制を整備するための資料作成等を行っている。
就職先希望調査	修学・キャリア支援センター員は、適宜、就職先希望調査を行っている。また、就職活動実施状況報告書を学生に配布し、チューターに自身の就職・進学活動の計画と経過を報告するよう指導している。
地区担当教員	キャリア支援委員は、適宜、就職先希望調査を行っている。また、就職活動実施状況報告書を学生に配布し、チューターに自身の就職・進学活動の計画と経過を報告するよう指導している。
就職試験対策	就職試験（特に公務員保育職）に向けて、各分野の専門性の高い教職員や保育・教育現場での勤務経験豊富な教員が連携して、実技や面接、各専門科目についての指導・助言を行う体制を構築している。また、翌年度当初に実施される、保育士採用模擬試験の準備を整えている。
その他	令和 4 年度健康保育学科求人依頼のための保育所・幼稚園・施設等への案内送付の準備を整えている。

看護学科

◎令和 3(2021)年度看護学科キャリア支援実績

項目	内容
進路希望調査	4 年次生を対象に 4 月に進路希望調査を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、就職活動と実習を安全に並行して取組めるよう、学生の就職活動状況について学科教員で共有し、可能な限り実習との調整が図れるよう体制を整えた。3 年次生には、2 月に進路希望調査実施に向けた周知を行い、情報収集等、円滑な就職・進学活動に繋がるよう意識付けを行った。
就職・進学支援対策（小論文・作文、履歴書・エントリーシート作成、面接指導）	指導はチューター(ゼミ担当教員)を中心に、チューター長、修学・キャリア支援センター員その他学科教員も行っている。学生は、希望する教員に指導を依頼し、1 つの就職先につき必要に応じて 1～3 人の教員に指導を受けている。また、新型コロナウイルス感染症の影響による Web 面接に対応するため、大学の Wi-Fi 環境の利用、面接室確保の調整や情報提供を行った。また、Web 面接時の注意点の情報提供やライトの貸し出し等の支援を行った。

国家試験対策	学科の国家試験対策委員が、模擬試験や補講を企画、実施している。令和 3(2021)年度も、科目別業者模試や学内教員作成の試験を用いた学生の学修到達度の確認と各科目の担当教員による補講で構成する「学修成果確認講座」を開講した。国家試験対策模擬試験については、4 年次に看護師国家試験対策模試として、240 問模試を 9 回、さらに、科目別強化模試 11 回、必修対策模試等 5 回、保健師国家試験対策模試を 3 回実施している。3 年次に必修問題および科目別模擬試験、国家試験形式の模擬試験(240 問模試)の実施(一部 Web 形式)を行い、学修の促進を図った。成績不振者に対しては、チューターが面接を行い、学修計画の検討などの学修支援とともに、学生の体調の管理、生活指導等のサポートも行っている。また、本年度は、3.4 年次生を対象に、業者による国家試験対策講座を企画し、実施し、国家試験対策の充実を図った。
奨学金	修学・キャリア支援センター事務局が各学年のガイダンス時およびメール配信、掲示等により、奨学生募集について周知、対応した。本年度は、1 名が市内医療機関へ就職予定である。
就職先のおおよその比率	病院等の看護師 7 割弱、保健師 2 割、助産学専攻科・養護教諭特別別科への進学 1 割

地域福祉学科

◎令和 3(2021)年度地域福祉学科キャリア支援実績

項目	内容
国家試験対策	国家試験対策として 3 年次生に対し、下記の取り組みを行った。 ・社会福祉士国家試験模擬試験・赤マル福祉模試（3/3） ・介護福祉士国家試験対策・問題集小テスト（10～2 月） ・介護福祉士国家試験対策学内模試（12/2、1/13、2/21）
進路希望調査票配布	4 年次生でのチューター面接による個別指導のため、進路希望調査票を 3 年次生に配布した。(3/14)
その他	第一期生が卒業年次を迎えるため求人件数を増やす取り組みとして、求人票の送付依頼を全国の医療・福祉機関、施設に対し行った。

(3) 修学・キャリア支援センター体制の充実

修学支援や進路・就職、キャリア形成についての支援とともに、奨学金を活用した経済的支援を一体化し、支援の成果に結びつけることを目的に、これまでのキャリア支援室を発展的に包括した「修学・キャリア支援センター」を開設した。既存のキャリア支援室の一部を改修し室内を整備することにより利用のし易さを図るとともに、専任職員の配置により、各学科や学内各科との有機的な連携体制が整備されたことで、既に体系化された 1 年次からのキャリア形成講座の充実化や新たにハローワークと連携した個別就職相談実施への取り組みに加え、求人や企業説明会、奨学金などの情報発信力の強化、受験報告など手続きのデジタル化による効率化を行った。

◎令和 3(2021)年度修学・キャリア支援センター個別相談実績【10/11～3/31】　　単位：件

項目	修学支援 就学支援	授業料等 減免奨学	キャリア 形成	進路相談 試験対策	就職先 再就職	その他	計	対全体 率(%)
1年次		2	1	1		1	5	14.7
2年次		3		5			8	23.5
3年次	1	4		11	4		20	58.8
4年次						1	1	2.9
計	1	9	1	17	4	2	34	100
率(%)	2.9	26.5	2.9	50.0	11.8	5.9	100	

(4) 卒業生との連携

学生が進路決定する際の情報として、看護学科において、卒業生と繋がる機会を提供した。

◎令和 3(2021)年度看護学科における卒業生との連携実績

項目	内 容
先輩と語る会	看護師(病院、訪問看護ステーション)、保健師、助産師、養護教諭として活躍の先輩方から仕事内容、やりがい、就職・進学等の進路選択、就職活動、実習をはじめとした学修、国家試験対策について、講演(オンデマンド)および交流会(オンライン)で話を伺い、学生の進路選択について考える機会を持った。なお、交流会は 3 年次生のみだが、講演は、1.2 年次生も聴講できるように配信し、コース選択等進路の幅を考える機会の提供を行った。(2/2)
卒業生との連携	学生が卒業生からの情報収集を希望する場合、チューター長、修学・キャリア支援センター員等が仲介し、情報収集の機会を広げている。

(5) 保護者懇談会

保護者懇談会については、下記の通り実施した。

健康保育学科

・新入学生保護者説明会(1 年次生)※コロナ禍のため資料郵送のみ

・保護者懇談会(3 年次生) ※コロナ禍のため資料郵送のみ

看護学科

・新入学生保護者説明会(1 年次生)※コロナ禍のため資料郵送のみ

地域福祉学科

・新入学生保護者説明会(1 年次生)※コロナ禍のため資料郵送のみ

(6) 大学コンソーシアム岡山就職委員会への参加

令和 2(2020)年度に引き続き、大学コンソーシアム岡山就職委員会に参加し、岡山県内の大学と就職支援に関する情報交換を行った。

3）国家試験対策

（1）看護師・保健師国家試験対策

Covid-19 感染拡大のため、対象者全員が集合しての模擬試験の回数を減らし、個別の自己学修・模擬試験受験(自宅受験)を促した。令和 3(2021)年度から修学・キャリア支援センターと連携し、模擬試験の準備・実施等の体制を整備した。

ⅰ　看護学科 4 年次生に対して国家試験対策を行った。

① 国家試験形式の看護師国家試験模擬試験(240 問模試 9 回)、及び必修問題、科目別模擬試験の実施(一部 Web 形式)

② 専門基礎分野及び各看護学領域の学修成果確認講座(科目別トレーニングテスト活用)及び補習講義の実施

③ 保健師教育課程履修学生に対する保健師国家試験模擬試験の実施

④ 模擬試験結果の分析、分析結果に基づく学年全体及び個別の学生指導

⑤ 閲覧用の国家試験対策用問題集を購入して図書館に配置(未受験学年次生も活用)

⑥ 自己学修のための学修環境の確保（5 号館 1 階イノベーションルーム、本館ゼミ室、図書館・閲覧室、教室を利用)

◎令和 3(2021)年度看護師・保健師国家試験対策実施

月	4 年次生	3 年次生
4 月	・国家試験対策講座(外部委託) ・国家試験対策方針の決定	・60 問模試(Web)
5 月	・看護師必修模試 2 回(うち 1 回 Web)	・国家試験対策講座(外部委託)
6 月	・看護師必修模試 1 回(自宅受験) ・保健師模試 1 回	
7 月	・看護師必修模試の復習	・60 問模試(Web)
8 月	・看護師 240 問模試 1 回	
9 月	・看護師 240 問模試 1 回(自宅受験)	・60 問模試(Web)
10 月	・看護師 240 問模試 1 回	
11 月	・看護師学修成果確認講座(科目別模試 11 回)及び補習講義 10 回 ・看護師必修模試 1 回 ・保健師模試 1 回	・60 問模試(Web)
12 月	・看護師 240 問模試 3 回 ・保健師模試 1 回	・基礎学力到達度 130 問模試
1 月	・看護師 240 問模試 3 回(すべて自宅受験、うち 1 回 Web) ・保健師模試 1 回 ・自己学修・過去の模擬試験問題に再挑戦	・60 問模試(Web)
2 月	・自己学修・過去の模擬試験問題に再挑戦	・看護師 240 問模試(自宅受験)
3 月		

ⅱ　看護学科 3 年次生に対して国家試験対策を行った。

①必修問題及び科目別模擬試験、国家試験形式の模擬試験(240 問模試)の実施(一部 Web 形式)

②図書館に配置の国家試験対策用問題集を活用した学修の促進

③3 年後期からの領域実習と関連づけた学修指導

ⅲ　1・2 年次生に対して解剖・生理、看護師必修問題の基礎固めを行った。

(2) 助産師国家試験対策

① 令和 3(2021)年度入学生に対して次の国家試験対策を行った。

ⅰ「さんもし」3 回と「クオリス」2 回、全て受けるか確認して申し込む。

ⅱ 6 月より学生に過去模試を実施（各自実習中可能な日に計 10 回分を月に 1～2 回のペースで実施するように計画を立て配布）した。午前 85 分、午後 75 分で実施後に解答・解説を渡し、必要に応じて解説を行った。

◎令和 3(2021)年度助産師国家試験対策実施

業者	さんもし	業者	クオリス	過去模試	
1回	9/5	1回	11/26	1回	6/24
2回	12/24	2回	1/28	2回	7/23
3回	2/4			3回	8/20
				4回	10/1
				5回	10/15
				6回	10/22
				7回	11/12
				8回	12/10
				9回	12/17
				10回	1/14

4）オフィスアワー

本学は、教員が学生から授業のことや就職・進路などについて個人的な相談を受けるために、研究室などあらかじめ指定した場所に待機している時間帯を設けている。

◎令和 3(2021)年度オフィスアワー設定実績

前期

学科	職氏名		第 1 日		第 2 日		第 3 日	
全学	学長	公文 裕巳	火	17:00～18:00				
	副学長	小田　慈	火	12:40～13:10	水	12:30～13:10		
看護学科	教授	上山 和子	金	12:30～13:00	火	12:30～13:00		
	〃	金山 時恵	火	12:40～13:10	木	12:40～13:10	金	12:40～13:10
	〃	四宮美佐恵	月	12:20～13:10	火	12:20～13:10	金	12:20～13:10
	〃	矢庭さゆり	月	12:45～13:15	月	17:15～18:00	金	12:45～13:15
	〃	原田 信之	火	12:50～13:20	木	12:50～13:20	金	12:50～13:20
	〃	土井 英子	火	12:35～13:15	木	12:35～13:15	金	12:35～13:15
	〃	木下 香織	火	12:40～13:10	金	12:40～13:10	木	12:40～13:10
	〃	栗本 一美	火	12:30～13:20	金	12:30～13:20	水	12:30～13:20
	特任教授	郷木 義子	木	12:00～13:30	金	12:00～13:30		
	〃	山田 雅夫	木	12:30～13:00	金	12:30～13:00		
	准教授	礒本 暁子	金	12:30～13:00				
	〃	矢嶋 裕樹	木	12:30～13:10	金	12:30～13:10		
	〃	塩見 和子	金	12:40～13:10	水	12:40～13:10		
	〃	山本智恵子	金	12:35～13:10	火	12:35～13:10		
	講師	真壁 五月	金	11:00～12:30	水	17:00～17:30		
	〃	安田 陽子	金	12:40～13:10	水	12:40～13:10		
	〃	赤田いづみ	金	12:30～13:00	火	12:30～13:00		
	〃	丸山 純子	火	13:30～14:00	月	13:30～14:00		
	〃	吉田 美穂	火	12:40～13:10	金	12:40～13:10		
	助教	西川由貴子	月	12:30～13:00	火	12:30～13:00	金	12:30～13:00
	〃	平田 知子	金	12:40～13:10	月	12:40～13:10		
	〃	宮武 一江	金	12:40～13:10				
	〃	中川 彩見	火	12:40～13:10	月	12:40～13:10		
	〃	井上 弘子	金	12:40～13:10	金	17:30～18:00		
	〃	多田めぐみ	金	12:30～13:00	火	12:30～13:00		
	〃	小林 匡美	金	12:30～13:00	水	12:30～13:00		
	〃	安藤　亮	火	12:40～13:10	水	12:40～13:10		
	助手	難波　香	月	12:40～13:10	金	12:40～13:10		
	〃	西村美紗希	金	12:30～13:00	水	12:30～13:00		
	〃	大島 由美	金	12:45～13:15	月	12:45～13:15	火	12:45～13:15
	〃	津曲 真弥	金	13:00～18:00	木	12:30～13:00	火	12:30～13:00

学科	職氏名		第１日		第２日		第３日	
健康保育学科	教授	岡本 直行	火	16:30～18:00	火	16:30～18:00		
	〃	斎藤 健司	火	12:30～13:20	木	12:30～13:20	金	12:30～13:20
	〃	松本 好生	水	12:30～13:20				
	特任教授	梶本 佳照	火	9:00～10:00	金	11:00～12:00	木	13:30～14:30
	〃	髙月 教惠	木	12:40～13:10	金	12:40～13:10		
	准教授	八尋 茂樹	月	13:00～15:00	木	16:00～18:00		
	〃	芝﨑 美和	月	12:30～13:00	火	12:30～13:00	金	12:30～13:00
	〃	渡部 昌史	火	11:00～11:30				
	〃	広瀬 綾子	火	12:30～13:20	水	12:30～13:20		
	〃	加藤 由美	水	12:30～13:20	木	12:30～13:20		
	講師	立浪 朋子	月	12:30～13:30	木	12:30～13:30		
	〃	本渡　葵	木	12:30～13:20	水	12:30～13:20		
	〃	竹下可奈子	水	11:00～12:30	木	11:00～12:30	火	13:20～14:50
	〃	久恒 拓也	金	13:20～14:50	月	13:20～14:50		
	〃	入江 慶太	火	9:30～11:30	水	16:30～18:00	木	9:30～11:30
	助教	髙橋　彩	水	12:30～13:20	火	12:30～13:20		
	〃	福武 幸世	月	12:40～13:10	火	12:40～13:10	水	12:40～13:10
	〃	松島 英恵	木	12:50～13:20	月	12:00～13:00		
地域福祉学科	教授	松本百合美	火	12:30～13:10				
	〃	岡　京子	月	12:30～13:20	木	12:30～13:20		
	〃	山内　圭	金	13:00～16:30	火	11:00～16:30	水	11:00～12:30
	〃	山本 浩史	木	11:00～12:30	木	16:40～18:10		
	〃	和田美智代	火	12:30～13:20	水	12:30～13:20		
	〃	高杉 公人	月	13:20～14:50				
	特任教授	八重樫牧子	火	12:30～13:20	火	12:30～13:20		
	〃	小山 正善	水	13:00～14:00	火	11:30～12:30		
	准教授	三上 ゆみ	月	12:30～13:20	木	12:30～13:20	金	12:30～13:20
	〃	鄭　丞媛	水	10:00～13:00				
	〃	井上 信次	月	13:20～14:50	水	9:20～10:50		
	〃	小松尾京子	火	11:00～12:30	木	13:00～14:50		
	講師	松田 実樹	火	11:00～12:30				
	〃	合田 衣里	月	12:30～13:20	火	12:30～13:20		
	助教	泉　宗孝	火	12:30～13:30	木	12:30～13:30		
	〃	柳廸 三寛	火	12:30～13:20	水	12:30～13:20		
	〃	長宗 武司	月	13:30～15:00	木	11:00～12:30	金	11:00～12:30
	助教	岸本由梨枝	火	12:30～13:20	木	12:30～13:20		

後期

学科	職氏名		第1日		第2日		第3日	
全学	学長	公文 裕巳	火	17:00～18:00				
	副学長	小田　慈	火	12:30～13:10	水	12:30～13:20		
看護学科	教授	上山 和子	金	12:30～13:20	水	12:30～13:20	木	12:30～13:20
	〃	金山 時恵	火	12:40～13:10	金	12:40～13:10	木	12:40～13:10
	〃	四宮美佐恵	月	13:30～14:50	火	13:30～14:50	金	11:00～12:00
	〃	矢庭さゆり	月	16:30～17:30	水	16:30～17:30	金	16:30～17:30
	〃	原田 信之	火	12:30～13:00	木	12:30～13:00	金	12:30～13:00
	〃	土井 英子	火	12:40～13:10	木	12:30～13:00	金	12:40～13:10
	〃	木下 香織	火	12:40～13:10	金	12:40～13:10		
	〃	栗本 一美	水	12:30～13:00	金	12:30～13:00	木	17:30～18:00
	特任教授	郷木 義子	木	10:00～12:00	木	15:00～17:00	水	10:00～12:00
	〃	山田 雅夫	木	9:30～11:00	月	15:00～18:00		
	准教授	礒本 暁子	金	12:30～13:00	水	12:30～13:00		
	〃	矢嶋 裕樹	木	16:30～17:00	金	11:30～13:10		
	〃	塩見 和子	金	12:40～13:10	水	12:40～13:10		
	〃	山本智恵子	火	12:40～13:10	金	12:40～13:10		
	講師	真壁 五月	水	11:00～11:30	金	15:00～15:30		
	〃	安田 陽子	金	12:40～13:10	水	12:40～13:10		
	〃	赤田いづみ	水	12:00～12:30	金	12:00～12:30		
	〃	丸山 純子	火	13:00～14:00	月	13:00～14:00	金	13:00～14:00
	〃	吉田 美穂	金	12:40～13:10	火	12:40～13:10		
	助教	西川由貴子	火	12:30～13:00	木	12:30～13:00		
	〃	平田 知子	木	12:30～13:10	金	12:30～13:10		
	〃	宮武 一江	金	12:40～13:10	金	16:30～17:00		
	〃	中川 彩見	火	12:40～13:10	月	12:40～13:10		
	〃	井上 弘子	金	16:30～17:00	水	16:30～17:00		
	〃	多田めぐみ	金	11:30～13:20	水	12:30～13:00		
	〃	小林 匡美	金	12:30～13:00	水	12:30～13:00		
	〃	安藤　亮	火	12:30～13:00	水	12:30～13:00		
	助手	難波　香	月	12:40～13:10	金	12:40～13:40		
	〃	西村美紗希	金	12:30～13:00	水	12:30～13:00		
	〃	大島 由美	金	12:45～13:15	月	12:45～13:15	火	12:45～13:15
	〃	津曲 真弥	金	13:00～18:00	木	12:30～13:00	火	12:30～13:00

学科	職氏名		第1日		第2日		第3日	
健康保育学科	教授	岡本 直行	火	16:30～18:00	火	15:00～16:30	木	11:00～12:30
	〃	斎藤 健司	火	12:30～13:20	木	12:30～13:20	金	12:30～13:20
	〃	松本 好生	水	12:30～13:15	火	12:30～13:15		
	特任教授	梶本 佳照	月	12:30～13:20	木	13:20～14:20	火	11:00～12:00
	〃	髙月 教惠	木	12:30～13:10	金	12:30～13:10		
	准教授	八尋 茂樹	月	16:30～18:00	木	16:30～18:00	金	16:30～18:00
	〃	芝﨑 美和	月	12:30～13:20	火	12:30～13:20	金	12:30～13:20
	〃	渡部 昌史	月	11:00～12:00				
	〃	広瀬 綾子	水	12:30～13:00	火	12:30～13:30		
	〃	加藤 由美	水	12:30～13:00	木	12:30～13:00	火	12:30～13:00
	講師	立浪 朋子	火	12:30～13:20	水	12:30～13:20		
	〃	本渡　葵	月	11:00～12:30	木	11:00～12:30	金	11:00～12:30
	〃	竹下可奈子	水	11:00～12:30	木	11:00～12:30	金	10:00～12:30
	〃	久恒 拓也	木	12:50～13:20	月	12:00～13:00		
	〃	入江 慶太	火	9:30～11:30	水	16:30～18:00	木	9:30～11:30
	助教	髙橋　彩	火	12:30～13:20	木	12:30～13:20	水	12:30～13:20
	〃	福武 幸世	月	12:40～13:10	火	12:40～13:10	水	12:40～13:10
	〃	松島 英恵	木	12:50～13:20	月	12:00～13:00		
地域福祉学科	教授	松本百合美	火	11:30～13:00	金	11:30～13:00		
	〃	岡　京子	木	12:30～13:20	金	12:30～13:20		
	〃	山内　圭	金	11:00～18:30	火	12:30～14:50	水	18:10～18:30
	〃	山本 浩史	木	16:30～17:15	木	16:30～17:15	月	10:00～10:40
	〃	和田美智代	火	13:20～14:50	木	13:20～14:50		
	〃	高杉 公人	月	13:20～14:50				
	特任教授	八重樫牧子	火	9:30～10:30	木	9:30～10:30		
	〃	小山 正善	月	15:00～16:00	火	11:00～12:00		
	准教授	三上 ゆみ	月	12:40～13:10	火	12:40～13:10	木	12:40～13:10
	〃	鄭　丞媛	火	12:30～13:30	月	13:00～13:30		
	〃	井上 信次	水	9:20～10:50	金	13:20～14:50	火	10:00～11:00
	〃	小松尾京子	火	11:00～12:30	水	11:00～12:30	木	13:20～14:50
	講師	松田 実樹	金	13:30～14:30	火	11:00～12:00		
	〃	合田 衣里	火	12:00～13:00	水	12:30～13:00		
	助教	泉　宗孝	火	10:00～11:00	月	11:00～12:00		
	〃	柳廸 三寛	火	11:00～12:30	月	11:00～12:30	木	15:00～16:00
	〃	長宗 武司	月	13:30～15:00	木	11:00～12:30	金	11:00～12:30
	〃	岸本由梨枝	火	12:00～13:00	水	12:00～13:00	月	12:00～13:00

5) 各種講演会

◎令和3(2021)年度各種講演会開催実績

月日	主催	講演会名	講師(所属)	講演題名	対象者
4月14日 (水)	学生生活 支援センター	学生生活講演会 (防犯・学生生活)	戸川菜摘 (新見警察署生活安全刑事課)	安全対策について	学部 新入生
10月20日 (水)	教育推進 委員会	山陽新聞社と公立大学法人新見公立大学との包括的連携協力による特別講演会	山本直樹 (山陽新聞社読者局NIE推進部長)	新聞の読み方、生かし方	1年生 (看・保・地)
12月1日 (水)	学生生活 支援センター	学生生活講演会 (薬物乱用防止・交通安全)	宇野文夫 (本学名誉教授) 新見警察署生活安全刑事課 新見警察署交通課	薬物乱用防止 薬物中毒の恐ろしさ 自転車の正しい乗り方	学部 新入生

6) 海外研修

(1) オーストラリア研修旅行

令和3(2021)年度については、世界的な新型コロナウイルス感染症の流行を鑑み実施を見送った。

(2) カンボジア・スタディツアー

令和3(2021)年度については、世界的な新型コロナウイルス感染症の流行を鑑み実施を見送った。

7) 奨学金・授業料免除・学生生活活動支援

(1) 奨学金利用状況

◎令和 3(2021)年度奨学金利用人数実績

奨学金の種類	利用学生数（人）	対全学生数利用率(%)
日本学生支援機構　第一種奨学金	190	30.0
日本学生支援機構　第二種奨学金	123	19.4
日本学生支援機構　給付型奨学金	71	11.2
新見公立大学ふるさと育英奨学金	24	3.8
新見市看護奨学金	－	－
島根県奨学金（看護・介護福祉士）	1	0.2
鳥取県奨学金（看護・介護福祉士）	11	1.7
岡山県介護福祉士奨学基金	－	
その他	－	
計（延べ数）	420	66.2

※その他は、本学で把握した件数のみ掲載。全学生数は、学部生のみ 634 人。

(2) 授業料免除

◎令和 3(2021)年度授業料（国の修学支援制度は入学金を含む。）免除実績

種類	人数(人)					適用率(%)	金額（千円）
	満額	2/3 免除	1/2 免除	1/3 減免	計(人)		
国の修学支援制度	29	20	－	15	64	10.1	25,623
R2(2020)年度実績	28	22	－	9	59	11.7	31,177
差	▲6	▲3	－	＋6	▲5	▲1.6	▲5,554
本学独自減免	4		8		12	1.9	3,888
計	33	20	8	15	76	12.0	29,511

※国の修学支援制度は、前後期で人数が異なるため、前年度所得が反映する後期分で表示。

(3) 学生生活活動支援

◎令和 3(2021)年度学生生活活動支援実績【物品提供を除く寄附金充当分を含む。全学生数 650 人】

番号	項目	適用号	対象	人数（人）	適用率（%）	金額（千円）	備考
1	COVID-19 対応給付金	7 号	全	650	100.0	3,250	寄附金対応
2	ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ ﾜｸﾁﾝ接種	1 号	全	235	36.1	235	一部後援会
3	健康・文化施設利用支援※	5 号	全	1,024	157.5	599	一部後援会
4	食事支援(食品ロス対策)	2 号	全	7,955	1,223.8	796	一部後援会
5	ＳＡ賃金	－	全	33	5.1	1,641	減免残対応
6	大学祭「鳴滝祭」支援	－	全	650	100.0	2,880	後援会対応
7	式典（入学式・卒業式）	－	入卒者	272	41.9	372	後援会対応
8	学生生活活動支援等	－	全	650	100.0	7,295	後援会対応
	計	－	－	－	－	17,068	

※適用号は、「修学支援事業基金管理運用要項」第 5 条第 3 項各号表示で適性表示。

8) 読書指導

本学に入学した学生に、入学後卒業まで毎休暇に読書感想文を提出してもらう読書活動を続けている(学長読書感想文プロジェクト。このプロジェクトは平成 25(2013)年より始まった)。令和 3(2021)年度卒業生(令和 4(2022)年 3 月卒業)は、在学中に 9 回（看護学科）の提出機会があった。これらをすべて提出した学生には、多読奨励賞を授与することになっている。多読奨励賞授与率は、下記の表に示すとおりであった。令和 2(2020)年度より提出率が増加しているが 50%を割っているので、さらなる提出率の向上が望まれる。この学年は 3 年次生になってから提出率が低下しているので、提出率の向上のためには、督促を繰り返すなど種々の工夫が必要となろう。なお、短期大学の幼児教育学科・地域福祉学科が 4 年制へ移行したため、健康保育学科と地域福祉学科の 2 学科は令和 2(2020)年度と令和 3(2021)年度については卒業生が出ない。また、冬期休暇分と春期休暇分の提出間隔が短すぎることから、令和 2(2020)年度より冬期休暇分の提出を中止して夏期と春期の 2 回提出に改めた。提出された読書感想文の採点は名簿順に全教員が担当し、コメントを付して返却しているが、平成 29(2017)年度後期より 1 クラス分を 2～3 名の教員で分担して採点している。

教育推進委員会教養教育部（旧教養教育委員会）が実施した令和 3(2021)年読書冊数調査結果(紙で実施）は、看護学科年平均 5.04 冊、健康保育学科年平均 11.75 冊、地域福祉学科年平均 5.95 冊、全学生年平均 7.58 冊であった。全学生年平均冊数は、下記の表のとおりであったので、この 1 年間の読書冊数は令和 2(2020)年度より 1.52 冊分の増となったことがわかる。平成 27(2015)年度までは紙によるアンケートで、平成 28(2016)及び平成 29(2017)年度はオンラインアンケートであったが、平成 30(2018)年度からまた紙に戻した。

平成 30(2018)年度から、読んだ本のジャンルを聞く質問も実施している。令和 3(2021)年度の読書ジャンル選択結果は、下記の表のとおりであった。学生の読書傾向がうかがえ、興味深い。読書冊数・読書ジャンル調査は継続して実施する予定である。今後とも全教員が学生の読書推進のために努力することが望まれる。

◎令和 3(2021)年度までの読書に係る調査結果

年度	多読奨励賞授与率※(%)	年間平均読書冊数(冊/人)	ジャンル別年間読書冊数(冊)【延べ数】					
			小説	ﾉﾝﾌｨｸｼｮﾝ	趣味・実用	教養・自己啓発	専門書	その他
R03(2021)	看 30.3	7.58	382	62	105	117	161	80
R02(2020)	看 7.8	6.06	332	69	85	86	106	52
R01(2019)	看 22.5;短幼 49.1;短地 52.2	5.98	283	73	82	68	90	28
H30(2018)	看 46.2;短幼 63.0;短地 66.7	5.04	303	70	68	66	63	38
H29(2017)	看 50.0;短幼 76.8;短地 56.8	5.65	－	－	－	－	－	－
H28(2016)	看 51.6;短幼 78.2;短地 85.3	7.49	－	－	－	－	－	－
H27(2015)	－	4.44	－	－	－	－	－	－

H26(2014)	―	4.31	―	―	―	―	―	―
H25(2013)	―	4.05	―	―	―	―	―	―

※令和 2(2020)～3(2021)年度が看護学科生のみ卒業のため、「多読奨励賞授与率」は、看護学科表示。
平成 28(2016)～令和 01(2019)年度は、看護学科(4 大。10-11 回提出)、幼児教育学科(短大。4-5 回提出)、地域福祉学科(短大。4-5 回提出)。

9) カウンセリング

本学は、学校保健安全法第 4 条の規定に基づき学生、学生の保護者及び大学職員等を対象として実施する健康相談を精神科医師により適正に実施してきた。しかし、令和 3(2021)年度の同法施行規則の改正に鑑み令和 3(2021)年 11 月から医療的ケア看護職員及びスクールカウンセラーの専門スタッフによるカウンセリング業務も実施することとして精神科医療機関から派遣を受けて体制を整えた。このため、令和 3(2021)年度の 10 月までと 11 月からでは、カウセリング形態が異なるため、２分割した利用実績を掲載する。また、令和 4(2022)年度に向けて医師を含めた体制を見直し、円滑かつ持続可能な体制に移行することとしている。

(1) 令和 3(2021)年 4～10 月(7 ヶ月間)カウンセリング実績

① 実施体制　　月 1 回、水曜日の午後、精神科医師面接

② 利用者数　　16 人（学生 10 人、教職員 6 人）

③ カウンセリング件数　20 件

(2) 令和 3(2021)年 11 月～令和 4(2022)年 3 月(5 ヶ月間)カウンセリング実績

① 実施体制　　毎週、水曜日の午後、精神科医師、心理士、看護師面接

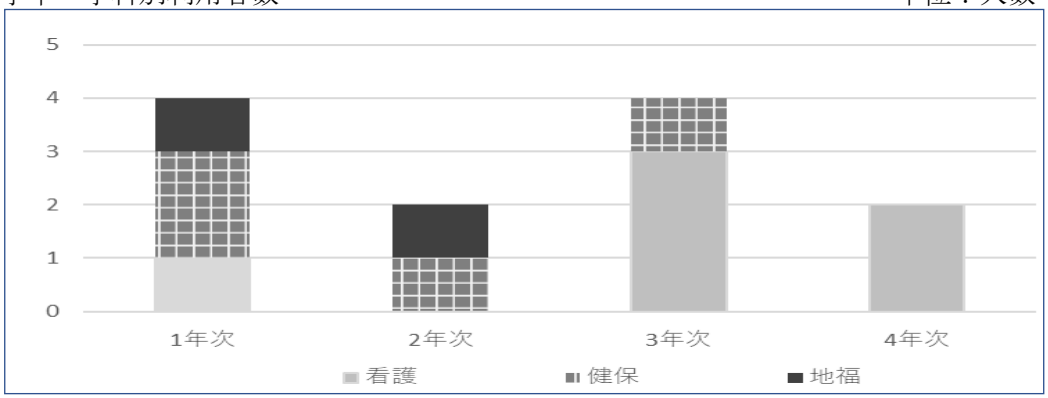
② 利用者数　　12 人（学生）

③ 対応別利用者数　　単位：人数

区分	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
心理士によるカウンセリング ※1	2	7	5	9	5	28
医師等による面接	2	2	4			8
コンサルテーション		2				2
医療機関での診察 ※2			3	3	3	9

※1　心理士は、公認心理士資格取得者　※2 医療機関は、「こころの医療新見」

④ 学年・学科別利用者数　　単位：人数



⑤ 利用者の面接経過【令和 4(2022)年 3 月 17 日時点】

4 人の対応が終了。8 人の学生に対し、個別の事情に応じた適切な支援を継続中。

(3) 令和 4(2022)年度に向けた取り組み

本学では新入生への保健調査、全学生に対する UPI（University Personality Inventory）を用いた健康調査、入学後の学生からの相談内容、カウンセリングの状況などを考察した結果、発達的特性に関する悩みや学生生活における多様な悩みを抱える学生に対して，より早期に対応する必要がある判断している。そのため、令和 4(2022)年度から健康調査の内容を見直すとともに、学生の悩みに応じたカウンセリングを早期に促すなど、より積極的な支援体制の構築を目指すこととしている。

10) 保健管理センター

保健管理センターは、本学における学生及び職員の健康の保持増進を図るとともに、障がいのある学生が学生生活において、適切な支援を受けられる体制を整備して、その支援を円滑に実施することを目的に平成 27(2015)年度に設置されている。医師であるセンター長を中心として、保健室、各学科担当教員、学生課担当で、会議を開催して組織的な対応を実施している。

(1) 保健室業務

◎令和 3(2021)年保健室利用実績　　単位：人

内　　容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外科的処置(けが等)	9	8	9	6	2	1	12	4	5	4	3	0	63
内科的処置(頭痛等)	4	6	17	24	2	6	9	5	5	4	4	3	89
健康相談	2	1	3	4	0	0	10	1	0	1	0	3	25
心理(精神)相談	0	9	6	3	0	1	3	4	16	5	2	0	49
健診・抗体相談	1	12	1	0	3	1	3	8	14	4	2	1	50
その他	15	6	8	1	2	6	7	10	10	6	5	6	82
計	31	42	44	38	9	15	44	32	50	24	16	13	358

(2) 健康診断及び感染症対策

学生等の健康状態を確認し、実習等で求められる健康維持などについて新入生を対象とした教育講演会を実施し、指定感染症リスク低減に向けた啓発及び相談対応を行っている。

◎令和 3(2021)年度健康診断及び抗体検査実施状況

内　　容	対象	人数(人)	実施日	参加率(%)
定期健康診断	在学生	438	4/2・4/5	96.7
	新入生	195	4/6	99.5
B型・C型肝炎抗原抗体検査	新入生	194	〃	99.0
麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎の抗体検査	新入生	194	〃	99.0
クオンティフェロン検査	新入生	194	〃	99.0
健康教育講演会	新入生	194	5/12	99.0

※ 該当率の母数は、休学者及び大学院等での他職場対応者を含む。

◎令和 3(201)年度ウイルス抗体検査等確認状況【新入生人対象】　　単位：人

対象病名	健康保育	看護	地域福祉	助産	計	確認率
	52	84	57	2	195	(%)
麻疹	52	83	53	2	190	100.0
風疹	51	81	53	2	187	95.9
水痘	51	83	53	2	189	96.9
ムンプス	40	72	43	1	156	80.0
B型肝炎	0	2	0	1	3	1.5
C型肝炎	0	0	0	2	2	1.0
結核	52	84	57	2	195	100.0

(3) インフルエンザ予防接種

令和 2(2020)年度までは後援会の一部支援を行っていたが、令和 3(2021)年度から要項に基づき部分的に本学負担に切替えている。今後、学内接種を含めた体制の充実が望まれる。

◎令和 3(2021)年度インフルエンザワクチン接種状況【後援会支援申請者数】

区分	在籍者数(人)	接種者数(人)	接種率(%)
1年次生	196	103	52.6
2年次生	194	27	13.9
3年次生	178	59	33.1
4年次生	68	47	69.1
助産・院	14	0	0.0
計	650	236	36.3

(4) 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症を予防する観点から、学生及び教職員一人ひとりが自己の健康管理に十分留意し、マスク着用等の基本的な感染対策を徹底するとともに、感染リスクを高める行動を避けるよう学生生活委員会と連携して情報提供や注意喚起を行った。学生の健康や心身に関する相談に応じるため、医師等による相談もきめ細やかに行われた。この他にも、集団生活での感染症対策を講じるため、ドアノブ等の消毒やアルコール手指消毒剤設置箇所の大幅な増加、学生保健委員による感染症予防のポスターの作成や掲示等行ったほか、3回の新型コロナワクチン接種を進め、高い接種率を早期に実現し、維持することができた。

◎令和 3(2021)年度感染症に係る相談（電話、フォームズ、面談等）実績　　単位：件

内　容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
体調不良	33	51	46	114	45	15	29	55	18	32	33	5	476
就職	2	16	41	67	27	16	1	0	0	2	0	1	173
帰省・旅行	15	6	26	74	203	5	9	17	1	8	6	14	384
忌引、ﾊﾞｲﾄ等	22	12	8	7	21	7	0	1	1	10	5	0	94
計	72	85	121	262	296	43	39	73	20	52	44	20	1,127

◎令和 3(2021)年度新型コロナワクチン接種実績【集計日令和 4(2022)年 5 月 27 日】

接種回数	集団接種日	集団接種会場 (大学主導による自治体対応)	対象者数(人)	接種者数(人)	接種率(%)
1回目	7/4、7/5	岡山県南部健康づくりセンター	775	756	97.5
2回目	8/1、8/2	〃	775	754	97.3
3回目	2/21､3/1､3/2	学術交流センター	770	683	88.7

※対象者数は、1～2回目 8/1、3回目 3/1 在籍者数。接種者数は、集団接種以外の接種者数含む。

(5) 障がい学生支援

障がいをもつ学生支援では、支援申請時の提出書類の作成や支援記録の作成、学生への周知、個別の相談業務を行うとともに、大学受験では、入試の特別措置に関する相談、決定、連絡等の支援業務を担い、入試の特別措置が行われた。また、障がいのある学生の支援の基本的な知識の習得や支援方法の検討や情報共有を図ることを目的として、日本学生支援機構(JASSO)主催の研修会（基礎プログラム)、障がい学生支援専門テーマ別セミナー(JASSOによるオンデマンド配信)等への参加、障がい学生支援に関するアンケート調査への協力等を継続している。そして、障がいのある学生の研修会の報告を教授会の資料として提出をし、教員間での周知徹底を図っている。

6. 学生自治活動

1) 新見公立大学学友会執行部

新見公立大学学友会は、開学年度の昭和 55(1980)年 5 月 14 日に発足し、学生の自主的な活動によって学生生活の充実を図ることとして、学生生活の安定、健康管理、専門の学術技能の共同集団研究と修練、機関紙等の発行、他大学との連絡提携、クラブ活動、大学祭に関することなどについて活動している。入会金及び会費に加え、後援会や地元企業等からの支援等で運営されている。

(1) 学友会活動

◎令和 3(2021)年度学友会活動内容

日付	曜	行事名	実施内容	備考
4／7	水	学生交流会	開催	新入生に学生生活説明､サークル紹介
4／10	土	入学式	歓迎のあいさつ	副会長
4 月中		機関誌発行	製作・印刷・配布	「キャンパスガイド」の新入生配布
5／28	火	意見交換会	意見集約・参加	教育･学生支援等について大学と協議
6／3	木	総会	議案審議・役員改選	新 2 年生が執行部となっている
10／9･10	土日	鳴滝祭(縮小)	実行委員会形成	執行部が模擬店を出店(規模縮小)
12／18	土	スポーツ大会	開催	体育館でバレーボール
12／19	日	クリスマス会	開催	演奏、ビンゴゲーム等
2／17	木	懇談会	意見交換	執行部と大学事務局との意見交換
3／19	土	卒業式	送辞	会長

(2) 執行部体制

会　長　　中村 裕希 (看 2)
副会長　　近本 直哉 (看 2)、小宮山 和子 (保 2)、小林 歩 (福 2)
事務局長　徳山 光希 (保 2)
〃 次長　安木 夢叶 (看 2)、山田 紗京　(看 2)
会　計　　寺下　岳　(看 2)、大畑 晴斗　(福 2)
外部交渉　大前 花音 (保 2)、宇都　英　(福 2)
監　査　　立石 紗也 (保 2)、前田 結海　(保 2)
書　記　　神崎　凜　(福 2)、御座岡 天虹 (福 2)
補　佐　　谷口 木乃実、平松 萌々子、荒川 真七帆、杉原 穂乃花、楠原 由乃　(看 1)
　　丸川 拓海　、湯浅 秀進　、中島 孝一郎、小林 京楓　(保 1)
　　木村 汐翔　、田草川 至　、櫻下 花野　、坂入 志穂　、田中 鈴菜　(福 1)

2) 鳴滝祭実行委員会

大学祭の実施は、学友会が主導して全学で実行委員会（総勢は、207 人)を形成し、第 23 回鳴滝祭の企画、運営を行った。会計部、プロコンサート部、広告管理部、企画部、外部交渉部、演出部、装飾備品部、中夜祭部に分割して責任分担を行って実施した。

◎令和 3(2021)年度鳴滝祭実行委員会役職

・実行委員長 戸田 早耶(保 2)　・副委員長　直井 康史郎(福 2)、本田 朱音(福 2)
・会計部長　坂田 栞理(保 2)　・企画部長　森 七郁(看 2)　・プロコン部長 藤井 佑衣(看 2)
・演出部長　山村 大悟郎(看 2)・中夜祭部長 島田 瑞希(保 2)・外部交渉部長 西田 鈴菜(看 2)
・装飾備品部長 梅田 祐芽(保 2)・広告管理部長 安達 希(保 2)

3) クラブ活動

◎令和3(2021)年度クラブ活動団体毎の活動内容

順	クラブ名称	部長氏名(ｸﾗｽ)	参加・発表機会	練習等活動頻度
1	野球部	宇多 悠也(福2)	各種軟式野球大会	週1回(水または土)
2	手話部	徳山 光希(保2)	主催イベント等	主催イベント等前
3	茶道部	松川 結菜(福3)	鳴滝祭(お茶席)	週1回(金)
4	ソフトテニス部	猪子 陽大(保2)	基本的に練習のみ	週1回(金)体育館
5	ダンス部	磯田 紋香(看3)	主催イベント等	イベント前2ヶ月間毎日
6	バスケットボール部	神谷 夏実(看4)	佐々木文正堂杯	週1回(火)体育館
7	バドミントン部	石坂 円蘭(保3)	市協会杯等	週2回(月・木)体育館
8	バレーボール部	近本 直哉(看2)	高梁市広域大会等	週2回(火・木)体育館
9	フットサル部	丹嶋 梨乃(福3)	ﾐﾆｹﾞｰﾑ、練習試合	週1回(水)
10	岡山県献血推進連盟S.B.D.Momo	永島 光(保3)	献血キャンペーン	不定期
11	軽音サークル	中川 美月(保3)	主催イベント 地域イベント	地域・主催イベント前
12	ハンドボール部	荒牧 克明(保3)	練習のみ	週1回(水)体育館
13	卓球部	安達 希(保2)	季節総体	週1回(月)体育館
14	写真部	中山 由衣(保3)	鳴滝祭（出展）	イベント（出展）前
15	ちびデポ(ボランティア)	山口 楓(福3)	小中運動会 公民館(勉強会)等	子どもたちと交流を深める催し等の開催時
16	空手部	植木 桃子(福3)	各種大会	不定期（「型」の練習）
17	英会話サークル	佐藤 香菜子(看4)	英会話の練習のみ	不定期
18	吹奏楽サークル	秋庭 礼佳(保3)	開催コンサート	週数回(月～金)
19	アコギサークル	江見 理生(保3)	鳴滝祭（発表）	週1回(金)
20	まちおこしサークル	松本 幸夕(地3)	企画イベント	随時
21	野外活動研究部	佐藤 心(看2)	アウトドア活動時	地域人と安全に楽しく
22	ボードゲームサークル	山本 奈央(保3)	地域・学生交流時	月1回(第4土曜日)
23	書道部	岡坂 菜乃子(福3)	鳴滝祭（展示）	週1回(火)
24	硬式テニス部	林 凌寛(福2)	各種大会	週2回(月・金)市・矢崎
25	ＴＲＰＧサークル	平尾 まどか(福2)	TRBG を通した地域・学生間交流時	週1回(水)1201､1301交流の場を提供
26	スキー部	寺下 岳(看2)	各種大会	不定期
27	美術サークル	大橋 美来(福3)	鳴滝祭(展示)	週1回(金)地域文化実習室
28	ガチスポーツ部	若松 凌太(保3)	種目を問わないスポーツ全力練習	週1回(不定期)
29	競技かるた部	森 七郁(看2)	競技かるた練習	週1回(水)

※主催イベントは、学友会主催の鳴滝祭及びクリスマス会。

7. 施設利用状況

1）図書館

(1) 開館状況

本学附属図書館は、教育及び研究の基本的な環境を維持する役割を担っており、必要な図書、雑誌、新聞、視聴覚教材等の学術資料を収集し、施設及び収集した学術資料等の適正な利用管理を通じて施設利用の促進及び利用者へのサービス向上に努め、本学の教育・研究活動の振興に寄与する目的をもって業務を行っている。また、学術交流センター図書館として一般市民に対しての施設利用及び学術資料の貸出等を行うことで地域貢献活動にも取り組んでいる。

① 開館時間

月～金　9時～21時30分

土・日 10時～18時　（夏・冬・春期休業中 ：10時～18時）

＊ただし、一般利用者の利用時間：10時～18時

② 休館日

国民の祝日に関する法律に規定する休日および年末・年始（12/28～1/4）

(2) 図書所蔵冊数、図書受入冊数等

① 図書所蔵冊数 ・・・・・・・・・・・ 104,831冊
② 令和3(2021)年度図書受入冊数 ・・・3,498冊
③ 学術雑誌購読種類数 ・・・・・・・ 92種（和雑誌80種、洋雑誌12種）
④ 一般雑誌購読種類数 ・・・・・・・ 24種
⑤ 視聴覚資料所蔵点数 ・・・・・・・ 1,461点

(3) 文献複写

令和3(2021)年度複写枚数 ・・・・・1,090枚

(4) ＩＬＬ(図書館間相互協力)件数（令和3(2021)年度）

① 複写依頼 ・・・・・・・・・・・・ 634件
② 複写受付 ・・・・・・・・・・・・ 227件
③ 貸借依頼 ・・・・・・・・・・・・ 135件
④ 貸借受付 ・・・・・・・・・・・・ 63件

(5) データベースアクセス件数（令和3(2021)年度）

① 医中誌 ・・・・・・・・・・・・・・ 5,017件
② 最新看護索引Web ・・・・・・・・・・ 882件
③ マガジンプラス ・・・・・・・・・・・ 244件

(6) 文献ダウンロード件数（令和3(2021)年度）

メディカルオンライン ・・・・・・・ 5,817件

(7) 図書貸出状況等

令和3(2021)年度

月	貸出状況									開館日数	
	教職員対象			学生対象			学外者対象				
	冊数(冊)	人数(人)	予約数(件)	冊数(冊)	人数(人)	予約数(件)	冊数(冊)	人数(人)	予約数(件)	学内(日)	学外(日)
4月	193	72	0	655	349	1	28	8	0	29	29
5月	125	45	0	599	324	1	0	0	0	28	13
6月	150	59	0	895	430	2	13	4	0	30	30
7月	150	53	0	563	241	0	47	17	0	27	27
8月	133	36	0	304	149	0	53	24	0	25	20
9月	147	46	0	287	128	0	7	3	0	21	9
10月	208	62	0	971	436	0	45	16	0	31	31
11月	154	54	0	1048	446	1	37	13	0	27	27
12月	102	47	0	827	377	0	19	8	0	27	27
1月	133	41	0	560	253	3	10	5	0	24	24
2月	85	32	0	789	327	1	8	5	0	26	26
3月	100	21	0	239	85	0	8	2	0	27	27
合計	1,680	568	0	7,737	3,545	9	275	105	0	322	285

令和2(2020)年度 (※参考)

月	貸出状況									開館日数	
	教職員対象			学生対象			学外者対象				
	冊数(冊)	人数(人)	予約数(件)	冊数(冊)	人数(人)	予約数(件)	冊数(冊)	人数(人)	予約数(件)	学内(日)	学外(日)
4月	198	61	0	431	201	0	16	7	0	29	19
5月	126	59	0	468	192	3	11	3	0	27	21
6月	129	40	2	596	260	1	6	2	0	28	28
7月	137	45	0	495	249	1	26	11	0	29	29
8月	150	42	0	165	83	1	19	5	0	30	30
9月	103	42	0	392	201	0	41	13	0	28	28
10月	152	41	0	683	367	2	30	11	0	28	29
11月	101	35	0	751	341	10	10	4	0	28	28
12月	130	44	0	461	222	2	30	13	0	27	25
1月	172	42	0	225	123	0	6	4	0	26	26
2月	77	25	2	304	137	0	1	1	0	26	26
3月	131	36	0	170	61	0	6	2	0	21	21
合計	1,606	512	4	5,141	2,437	20	202	76	0	327	310

(8) 図書館利用状況等

令和3(2021)年度

月	利用者数（人）				開館日数（日）	
	教職員	学生	学外者	全体(合計)	学内	学外
4月	73	2,095	17	2,185	29	29
5月	119	2,600	25	2,744	28	13
6月	137	2,858	31	3,026	30	30
7月	197	1,653	29	1,879	27	27
8月	96	917	53	1,066	25	20
9月	80	520	14	614	21	9
10月	127	2,572	34	2,733	31	31
11月	110	2,479	31	2,620	27	26
12月	93	2,251	36	2,380	27	27
1月	87	1,759	11	1,857	24	23
2月	75	1,830	19	1,924	26	25
3月	41	385	14	440	27	25
合計	1,235	21,919	314	23,468	322	285

令和2(2020)年度（※参考）

月	利用者数（人）				開館日数（日）	
	教職員	学生	学外者	全体(合計)	学内	学外
4月	125	1,337	7	1,469	29	19
5月	128	1,295	4	1,427	27	21
6月	104	1,949	5	2,058	28	28
7月	100	2,218	23	2,341	29	29
8月	94	1,260	14	1,368	30	30
9月	133	1,329	21	1,483	28	28
10月	106	2,198	40	2,344	28	29
11月	101	2,082	19	2,202	28	28
12月	94	2,068	39	2,201	27	25
1月	100	1,586	29	1,715	26	26
2月	77	1,842	18	1,937	26	26
3月	44	232	8	284	21	21
合計	1,206	19,396	227	20,829	327	310

2) 修学・キャリア支援室

随時学生が利用。土曜日及び日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、12 月 28 日から翌年の 1 月 4 日までを除く平日の午前 8 時 30 分から午後 5 時まで相談等で利用できる。

3) コンピュータ室 1・2

土曜日及び日曜日、 国民の祝日に関する法律に規定する休日、12 月から翌年の 1 月 4 日までを除く平日の午前 8 時 30 分から午後 8 時まで随時使用できる。1 室あたりパソコン 60 台の計 120 台を設置している。授業では、健康保育学科(情報処理)、地域福祉学科(情報処理)、 看護学科(医療統計学等)で使用のほか、各学科の卒業研究で多くの学生が使用している。

4) 体育館

(1) 使用時間 ： 午前 8 時 30 分から午後 8 時まで
(2) 休 館 日 ： 休日、12 月 28 日から翌年の 1 月 4 日まで。
(3) 利用方法 ： 管理責任者の承認を得て、総務課に使用許可願を提出。部活動等で使用。

5) 学生会館

(1) 開館時間 ： 午前 8 時 30 分から午後 8 時まで(月曜から金曜)。
(2) 休 館 日 ： 休日、12 月 28 日から翌年の 1 月 4 日まで。
(3) 使用申請 ： 使用日の３日前までに使用簿に記入し、学生課の許可を得て使用。
(4) 部屋種類 ： 会議室・和室 1・和室 2・多目的ホール

6) 地域共生推進センター棟

(1) 開館時間 ： 午前 8 時 30 分から午後 9 時まで(月曜から金曜)。
(2) 休 館 日 ： 休日、12 月 28 日から翌年の 1 月 4 日まで。

7) 新見美術館（利用協定締結施設）

(1) 開館時間：午前 9 時から午後 9 時（月曜日休館)。
(2) 利用実績　令和 3(2021)年度　　単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数	17	6	16	18	6	21	36	4	0	2	2	2	140

8) げんき広場にいみ（利用協定締結施設）

(1) 開館時間：午前 9 時から午後 10 時（月曜日休館)。
(2) 利用実績　　単位：人

年度	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	R02(2020)	R03(2021)
利用者数	702	1,129	1,167	1,352	631	1,024

(3) 利用状況等

◎令和３(2021)年度げんき広場にいみ利用状況

曜	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計
	日	人	日	人	日	人	日	人	日	人	日	人	日	人	日	人	日	人	日	人	日	人	日	人	人
日									1	**2**															**2**
月									2						1										
火					1				3						2	**4**					1	**7**	1	**4**	**15**
水					2				4		1	**1**			3	**5**	1	**4**			2	**5**	2	**4**	**19**
木	1	**1**			3		1	**1**	5		2	**2**			4	**4**	2	**2**			3	**3**	3	**7**	**20**
金	2				4		2	**3**	6	**5**	3		1	**2**	5	**7**	3	**3**			4	**10**	4	**6**	**36**
土	3	**3**	1	**2**	5		3	**8**	7	**4**	4	**1**	2	**6**	6	**1**	4	**8**	1		5	**12**	5	**7**	**52**
日	4	**2**	2	**1**	6		4	**2**	8	**3**	5	**3**	3	**1**	7		5	**5**	2		6	**3**	6	**6**	**26**
月	5		3		7		5		9		6		4		8		6		3		7		7		
火	6	**8**	4	**5**	8		6		10		7	**1**	5	**4**	9	**2**	7	**6**	4		8	**19**	8	**3**	**48**
水	7	**8**	5		9		7		11		8	**1**	6	**2**	10	**4**	8	**9**	5		9	**4**	9	**4**	**32**
木	8	**3**	6	**2**	10		8	**1**	12		9		7	**1**	11	**1**	9	**2**	6		10	**12**	10	**8**	**30**
金	9	**1**	7	**4**	11		9	**5**	13		10	**2**	8	**1**	12	**2**	10	**5**	7	**2**	11	**5**	11	**7**	**34**
土	10	**5**	8	**7**	12		10	**5**	14		11		9		13	**1**	11	**4**	8	**2**	12	**6**	12	**6**	**36**
日	11	**5**	9	**5**	13		11	**2**	15		12	**2**	10		14	**1**	12	**3**	9	**1**	13	**2**	13	**2**	**23**
月	12		10		14		12		16		13		11		15		13		10		14		14		
火	13	**2**	11	**12**	15		13		17	**2**	14	**1**	12	**6**	16	**4**	14	**8**	11	**5**	15	**7**	15	**5**	**52**
水	14	**4**	12	**7**	16		14		18		15	**2**	13	**4**	17	**1**	15	**3**	12	**4**	16	**5**	16	**4**	**34**
木	15	**4**	13	**3**	17		15	**2**	19	**1**	16	**6**	14		18	**5**	16	**3**	13	**8**	17	**3**	17	**4**	**39**
金	16	**5**	14	**15**	18		16		20		17		15	**7**	19	**1**	17	**1**	14	**6**	18	**5**	18	**1**	**41**
土	17	**3**	15	**8**	19		17	**7**	21		18	**1**	16	**8**	20	**3**	18		15	**5**	19	**5**	19	**4**	**44**
日	18	**5**	16		20		18	**3**	22		19	**2**	17	**4**	21	**3**	19	**1**	16	**5**	20	**2**	20		**25**
月	19		17		21		19		23		20		18		22		20		17		21		21		
火	20	**3**	18		22	**4**	20	**1**	24	**1**	21	**8**	19	**5**	23	**3**	21	**4**	18	**10**	22	**2**	22	**6**	**47**
水	21	**5**	19		23	**7**	21	**6**	25		22	**4**	20	**4**	24	**5**	22	**3**	19	**13**	23	**7**	23	**1**	**55**
木	22	**1**	20		24	**1**	22		26		23	**11**	21	**4**	25	**3**	23	**7**	20	**8**	24	**5**	24	**1**	**41**
金	23	**3**	21		25	**2**	23	**3**	27	**2**	24	**17**	22	**3**	26	**3**	24	**5**	21	**6**	25	**19**	25	**2**	**65**
土	24	**13**	22		26	**1**	24	**5**	28	**1**	25	**5**	23	**1**	27	**4**	25	**2**	22	**11**	26	**5**	26		**48**
日	25	**6**	23		27	**3**	25	**1**	29		26	**13**	24	**2**	28	**2**	26	**1**	23	**4**	27	**4**	27	**3**	**39**
月	26		24		28		26		30		27		25		29		27		24		28		28		
火	27		25		29	**3**	27	**2**	31	**3**	28	**1**	26	**2**	30	**3**	28		25	**7**			29	**3**	**24**
水	28	**2**	26		30	**3**	28	**2**			29	**6**	27	**1**			29		26	**9**			30	**6**	**29**
木	29		27				29	**2**			30	**7**	28				30		27	**14**			31	**3**	**26**
金	30	**4**	28				30	**3**					29	**6**			31		28	**5**					**18**
土			29				31	**6**					30	**7**					29	**4**					**17**
日			30										31	**4**					30	**3**					**7**
月			31																31						
計	**96**		**71**		**24**		**70**		**24**		**97**		**85**		**72**		**89**		**132**		**157**		**107**		**1,024**

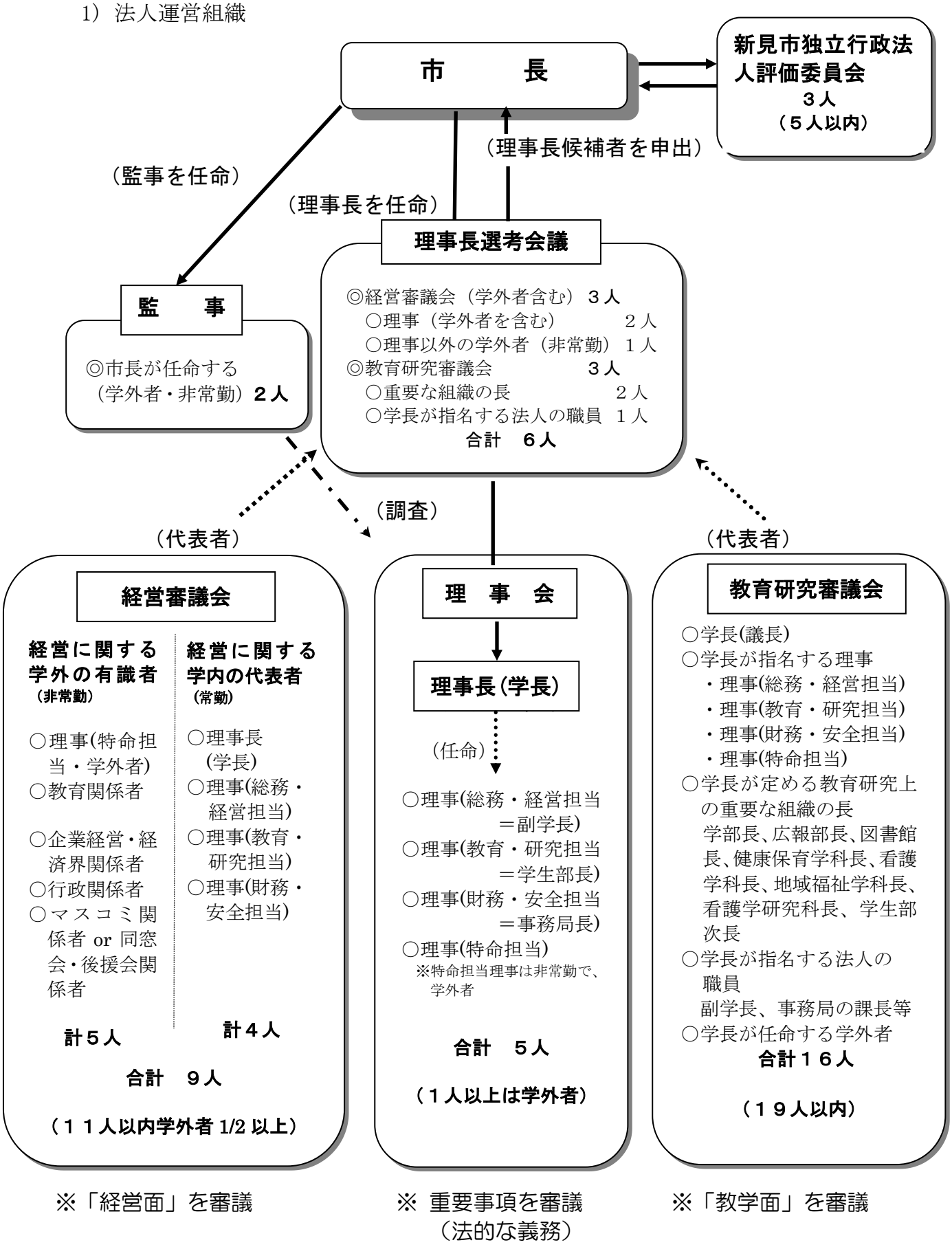
前年度	45	0	170	37	49	73	56	47	36	39	27	52	631
差	+ 51	+ 71	▲146	+ 33	▲25	+ 24	+ 29	+ 25	+ 53	+ 93	+ 130	+ 55	+ 393
%	+ 113.3	皆増	▲85.9	+ 89.2	▲51.0	+ 32.9	+ 51.8	+ 53.2	+ 147.2	+ 238.5	+ 481.5	+ 105.8	**+ 62.3**

◎令和３(201)年度げんき広場にいみ学生登録者数

項目	健康保育					看護					地域福祉					助産・大学院					計				
	1	2	3	4	計	1	2	3	4	計	1	2	3	4	計	1	2	3	4	計	1	2	3	4	計
４月	1	18	19		38	7	16	39	48	110	7	23	36		66					0	15	57	94	48	214
増減	+11	+1	+1		+13	+24	+1	+4	+1	+30	+20	+1			+21						+55	+3	+5	+1	+64
３月	12	19	20		51	31	17	43	49	140	27	24	36		87					0	70	60	99	49	**278**
在籍	53	56	47		156	84	83	81	66	314	57	53	49		159	9	7			16	203	199	177	66	645
登録%	23	34	43		33	37	20	53	74	45	47	45	73		55	0	0			0	34	30	56	74	43.1

8. 法人情報

1）法人運営組織



2) 法人関係名簿

☆理事会(5人)

役　職　名	氏　名	所　属	備　考
理事長	公　文　裕　巳	学長	常勤理事
理事（総務・経営担当）	小　田　　慈	副学長	常勤理事
理事（教育・研究担当）	斎　藤　健　司	学生部長	常勤理事
理事（財務・安全担当）	田　枝　修　己	事務局長兼学生課長	常勤理事
理事（大学改革担当）	林　田　昌　吾	会社役員	非常勤理事
計	5　人		

☆監事(2人)

役　職　名	氏　名	所　属	備　考
監事	西　村　誠	西村誠税理士事務所	新見市長任命
監事	森　定　茂　美	元新見市職員	新見市長任命
計	2　人		

☆経営審議会(11人以内)

役　職　名	氏　名	所　属	備　考
理事長	公　文　裕　巳	学長	常勤理事
理事（総務・経営担当）	小　田　　慈	副学長	常勤理事
理事（教育・研究担当）	斎　藤　健　司	学生部長	常勤理事
理事（財務・安全担当）	田　枝　修　己	事務局長兼学生課長	常勤理事
理事（大学改革担当）	林　田　昌　吾	会社役員	非常勤理事
理事長が任命する学外者	戸　田　　博	元新見市教育委員長	非常勤
	山　本　榮　一	元郵便局長	非常勤
	郷　木　　章	元産経新聞記者	非常勤
	矢　田　貝　誠	元新見市職員	非常勤
計	9　人		

☆教育研究審議会(19人以内)

役　職　名	氏　名	所　属	備　考
理事長	公　文　裕　巳	学長	常勤理事
理事（総務・経営担当）	小　田　　慈	副学長	常勤理事
理事（教育・研究担当）	斎　藤　健　司	学生部長	常勤理事
理事（財務・安全担当）	田　枝　修　己	事務局長兼学生課長	常勤理事
理事（大学改革担当）	林　田　昌　吾	会社役員	非常勤理事
学長が定める教育研究上の重要な組織の長	上　山　和　子	健康科学部長	
	金　山　時　恵	看護学科長	
	矢庭さゆり	看護学研究科長	
	岡　本　直　行	健康保育学科長	
	松本百合美	地域福祉学科長	
	梶　本　佳　照	広報部長	
	原　田　信　之	図書館長	
	矢　嶋　裕　樹	学生部次長	
学長が指名する法人の職員	石　橋　　博	事務局次長兼総務課長	
	吉　田　征　弘	教務課長	
学長が任命する学外者	山　室　邦　治	元高等学校校長	非常勤
計	16　人		

☆新見市独立行政法人評価委員(5人以内)

役　職　名	氏　名	所　属	備　考
評価委員長	岡　崎　　平	(株)自光モータース代表取締役	新見市長任命
評価委員	中　西　崇　陽	中西崇陽税理士事務所	新見市長任命
評価委員	田中由貴子	元小学校校長	新見市長任命
計	3　人		

3) 理事会等開催記録

◎令和 3(2021)年度理事会等開催実績

No.	日　付	項　目	内　容
1	4月14日(水)	第 1 回理事会、 第 1 回経営審議会、 第 1 回教育研究審議会	組織及び職員配置、施設長寿命化計画、施設のLED化方針、職員給与に関する細則の一部改正(管理職手当の新見市準拠)
2	5月12日(水)	第 2 回理事会、 第 2 回教育研究審議会	大学学則の一部変更(看護師等学校養成所指定規則改正による授業科目及び教育課程変更)、学生支援支出金の支出、夜間警備業務の委託
3	6月14日(月)～ 6月18日(金)	年度実績及び財務諸表に係る監事調査	地独法第13条第6項の規定に基づく評価委員委員会の評価を受けるための必要手続【意見なし】及び財務諸表調査
4	6月18日(金)	監事監査(令和2年度会計監査)	・時所 9:30～16:00　会議室A ・説明 理事4人、課長2人、学生部次長、総務主担当、経理主担当 ・報告書内容 (1) 財務諸表における財務状況等の適正反映 (2) 利益の処分書類における法令適合 (3) 事業報告書における業務運営の正確掲示 (4) 決算報告書における予算区分適正表示 (5) 不正行為又は法令等違反重大事実 なし ・指示事項(質疑及び指摘内容) (1) 授業料等の減免額の注記記載(対応済み) (2) 新見市からの資産譲渡手続の確立(了承)
5	6月23日(水)	第 3 回理事会、 第 2 回経営審議会、 第 3 回教育研究審議会	令和2年度事業事業実績報告、令和2年度会計決算報告、2023年度入学者選抜の予告、教員の再任内規改正
6		第 4 回理事会、 第 3 回経営審議会	2021年度授業料減免、2021年度前期授業料徴収猶予
7	7月8日(木)	第 5 回理事会、 第 4 回教育研究審議会	健康科学部地域福祉学科教員採用、入学者選抜日程変更、受託研究受入れ
8	7月9日(金)	第 1 回評価委員会(令和2年度実績評価)	・時所 9:30～12:00　会議室A ・出席 常任理事4人、学生部次長、課長、担当 ・内容 令和2年度実績報告書・財務諸表評価
9	7月14日(水)	第 5 回理事会、 第 4 回経営審議会 第 4 回教育研究審議会	防災拠点化施設整備方針、事務職員体制整備方針、令和3年度再審査結果報告、令和3年度ふるさと育英奨学金給付決定者報告
10		第 2 回評価委員会(令和2年度実績評価)	・時所 9:30～14:30　本庁舎第4委員会室 ・出席 大学出席なし(評価委員のみ) ・内容 令和2年度実績報告書・財務諸表評価
11	7月28日(水)	第 3 回評価委員会(令和2年度実績評価)	・時所 9:30～14:30 本庁舎第4委員会室 ・出席 大学出席なし(評価委員のみ) ・内容 評価結果取りまとめ

No.	日　付	項　目	内　容
12	7月29日(木)	第 4 回評価委員会(令和2年度実績評価)及び評価結果市長報告	・時所 午前9:30～10:00　市長室 ・出席 大学出席なし ・内容 評価結果報告
13	8月11日(水)	第 6 回理事会、 第 5 回経営審議会 第 5 回教育研究審議会	後援会の法人化方針、令和2年度評価結果報告
14	9月8日(水)	第 7 回理事会、 第 6 回教育研究審議会	受託研究の受入、新見駅西エリア整備事業に係る整備施設1階テナントの利用方針
15	10月13日(水)	第 8 回理事会、 第 6 回経営審議会、 第 7 回教育研究審議会	大学院改組(整備計画)、令和4年度予算編成方針、研究活動に係る不正行為対応に関する規程改正、新見駅西エリア整備状況報告
16	11月10日(水)	第 9 回理事会、 第 7 回経営審議会、 第 8 回教育研究審議会	契約事務取扱規程改正、教員格付制度改正(職員給与規程等改正)、臨時職員制度改正(就業規則等改正)
17	12月8日(水)	第 10回理事会、 第 8 回経営審議会、 第 9 回教育研究審議会	自己点検・評価、看護学科教員公募、 整備計画 ①防災グランド整備計画(R3～R7) ②駐輪場増設・安全強化整備計画(R3～R6) ③診療連携センター棟整備計画(R3～R4) ④駅西共生推進センター空間整備計画(R3) 令和3年度補正予算(1号)、給与規定改正廃止
18	12月21日(火)	監事監査(令和3年度事業監査)	・時所 9:30～16:00　会議室A ・説明 理事4人、課長2人、学生部次長、 総務主担当、経理主担当 ・報告書内容 寄附、清掃ﾁｪｯｸ、ﾀｸｼｰ半券添付、ﾚﾀｰﾊﾟｯｸ棚卸し、ETCﾎﾟｲﾝﾄ利用、ｻｰﾍﾞﾗﾝｽ業務単価差及び理事会への幹事出席(決算報告時点)の検討、適正執行報告
19	1月12日(水)	第 11回理事会、 第 10回教育研究審議会	健康科学部教員昇任(保育 2名、看護 6名、地福3名)
20	2月9日(水)	第 12回理事会、 第　9回経営審議会、 第 11回教育研究審議会	職員研修規程改正、補正予算(2号)、短期宿泊施設規程制定、地域共生推進センター研究員採用
21	3月9日(水)	第 13回理事会、 第 10回経営審議会、 第 12回教育研究審議会	年度計画、当初予算、大学院改組(例規改正、特任教員任用)、学則改正、学生生活規定改正、広報委員会設置例規改正、利益ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ規程制定、ふるさと育英修学金実施規程改正、看護学科教員採用(基礎看護2名)、特任教員任用、客員教授等人事発令

4) 重要事務手続

◎令和3(2021)年度法人に係る重要事務手続

No.	日　付	項　目	内　容
1	4月1日(木)	受託事業開始	・子育て新見カレッジ ・ファミリサポートセンター ・公立大学地域連携運営事業
2	4月2日(金)	学校保健計画策定	・学校保健安全法第6条 (1) 飲料水等の水質及び施設・設備の検査 （検査機関検査等） (2) 換気及び保温等調査 （ホルムアルデヒド測定、アレルゲン検査） (3) 採光及び照明調査 （教室、黒板面、コンピュータ教室、画面測定、まぶしさについても確認）
3	4月10日(土)	後援会総会	・時所 11:00～ 体育館 ・収支 ＝ 収入-支出 ・入会 182人×10,000円・会費 486人×20,000円 ・学生補助　・学事奨励 ・開学40周年 ・記念品
4	4月28日(水)	社会福祉士学校指定事項変更届出 【R3.4.1新大教第11号】	・社会福祉士及び介護福祉士法施行令(社福士法施行令)第4条第2項・実習演習担当専任教員と校舎の概要変更(グループスタディルーム追加)
5	5月7日(金)	副市長協議	・時所 15:30～17:00　学長室 ・参加 学長、副学長、事務局長 ・内容 大学運営説明
6	5月10日(月)	公立大学協会基礎研修 【Web研修】	・時所 13:30～16:00　会議室B ・参加 新勤務職員等10名(Webで多数参加) ・内容 公立大学の現状と課題
7	5月14日(金)	水道管理状況調査 【学校環境衛生検査4】	・業者 岡山県内業者 ・臭気・味・色　正常　・色度 1度未満(適) ・濁度 0.1度未満(適)・残留塩素0.05mg/l(適)
8	5月24日(月)	令和3年度一般社団法人公立大学協会定時総会	・時所 14:00～16:00　WEB会議　書面議決 ・参加 学長、事務局長 ・内容 新規加入大学の紹介 三条市立大学、静岡社会健康医学大学院大学 、芸術文化観光専門職大学 、叡啓大学
9	5月25日(火)	令和3年度第1回学長研修会	・時所 9:30～12:00　WEB会議 ・参加 学長、事務局長 ・内容 (1) 淵上 孝 高等教育企画課長 講演 (2) ｼｽﾃﾑ構築計画　名古屋市立大 山田勉 教授 (3) 自立的学修支援・教育高度化支援 大阪府立大 星野聡孝 ｾﾝﾀｰ長
10	5月26日(水)	中型バス購入	・業者 中国地方仲介業者 ・車種 いすゞガーラ(29人)白L9m×W2.55m×H3.5m ・登録 H24.6(9年経過271,388km走行)
11	5月27日(木)	保健師、看護師学校変更承認申請【R3.4.1～新大教第40号】	・保健師助産師看護師法施行令 （保助看師法施行令）第13条第1項 ・教育課程の変更

No.	日　付	項　目	内　容
12	5月27日(木)	助産師学校変更承認申請【R3.4.1～新大教第38号】	・保助看師法施行令第13条第1項 ・教育課程の変更
13	5月28日(金)	教育プログラムと学生支援改善のための意見交換会	・時所 18:30～21:00 ｺﾐｭﾆﾃｨｶﾌｪ ・参加 学友会執行部(20名程度)、各クラス1～2名代表者(最大24名) ・対応 学長、副学長、学生部長、学生部次長、学部長、学科長、教務委員長、学生生活支援センター長、情報基盤センター長、事務局長、課長(2)、3課職員(18人程度) ・内容 要望書に対する回答説明、意見交換、たまがき券配布宣言
14	5月31日(月)	看護師等学校変更承認申請【R3.4.1～新大教第42号】	・保助看師法施行令第13条第1項 ・在宅看護学実習に実習施設3箇所追加（既存実習施設受入人数不足）
15	6月9日(水)	介護福祉士学校指定事項に係る変更届出【R3.6.1～新大教第48号】	・社福士法施行令第4条第2項 ・実習指導者の変更
16	6月14日(月)	社会福祉士学校指定事項に係る変更届出【R3.5.1～新大教第54号】	・社福士法施行令第4条第2項 ・実習施設及び実習指導者の変更
17	6月23日(水)	介護福祉士養成施設等報告【新大教第66号】	・社福士法施行令第5条 ・年度当初における省令報告事項の主務大臣報告義務(様式変更による期日延期)
18	6月25日(金)	消費税及び地方消費税の確定申告	・納付税額（前年度）増加額(＋1.1%) ・対象　受託研究費、会館使用料、受験料等
19	6月29日(火)	指定保育士養成施設変更届出【R3.6.1～新大教第69号】	・児童福祉法施行令第5条第4項 ・建物その他設備の規模及び構造並びにその図面の変更(新棟建設及び3号館改修)
20	6月30日(水)	年度評価を受けるための業務の実績提出	市長に対する地独法第28条第1項第1号定に基づく年度評価を受けるための事業年度における業務の実績提出【新大総第11号】
21		財務諸表の提出	市長に対する地独法第34条第1項に基づく貸借対照表、利益の処分又は損失の処理に関する書類等(財務諸表)の提出【新大総第14号】
22		前年度決算に係る剰余金充当の承認願い提出	市長に対する地独法第40条第3項に基づく剰余金を特定の目的に充てるための提出【新大総第22号】 ・剰余確定額 ・承認要望額(83.4%) ・積立(返還予定)額(16.6%) ・目的 教育研究等の質向上及び組織運営の改善 ・基準　当該年度の基準財政需要から当該年度既収入大学運営費交付金額を減じた総務省算定未済大学運営費交付金相当を要望

No.	日　付	項　目	内　容
23	7月1日(木)	大学院の改組に関する検討調査	・業者 東京都内業者 ・工期 R3.7.1～R4.3.31・検収 R4.3.31 ・内容 大学院改組手続コンサルタント
24	7月20日(火)	岡山県議会総務委員会県内調査対応	・時所　11:00～12:00 会議室B ・概要　学長による特色説明・施設案内 ・指摘 (1) 通学等用バス駐車スペースの不足 (2) 寄宿舎の確保及び利用 (3) 新たな道路・駐車場整備 (4) 学生に対する支援強化
25	7月21日(水)～3月4日(金)	新見駅周辺まちづくり検討委員会ワーキンググループ会議【第4～10回】	・時所 13:30～16:00 南庁舎3階大会議室 ・出席 事務局長・ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ11/6、1/29、3/10 ・内容 ｱﾝｹｰﾄ結果、基本方針検討、 まちづくり基本構想検討などで参画 ・実施 8/12、8/30、11/1、1/17、2/9、3/4の7回
26	7月26日(月)	ダニアレルゲン調査【学校環境衛生検査2】	・実施日 7/26(1日間)ﾏｲﾃｨﾁｪｯｶｰ検査 ・対象 保健室寝具 ・結果 健全(ｱﾚﾙｹﾞﾝ反応陰性)
27	7月29日(木)	令和2年の実績評価通知受理	・通知 評価委員会委員長 岡崎平氏から ・期間 令和 2 年度 ・大いに評価された項目 (1) 新型コロナ禍におけるカリキュラム通常消化 (2) 迅速な遠隔授業対応(Wi-Fiﾙｰﾀ貸与含む) (3) 健康管理・施設整備による感染症対策施行 (4) 国家試験合格率100%の達成 (5) 防災士取得カリキュラムの実施 (6) 志願率の高水準及び定員以上の学生確保 (7) チューター制など細やかな学生支援 (8) 学生の大学に対する高い満足度達成 (9) 十分な対策を講じた感染症対策 (10)「新見市保育・教育カリキュラム」策定 (11) 専門職のプロパー化の進捗 (12) 授業料の収納率100%達成 ・総合評価 「中期計画どおり進んでいる」 ・最高評価点数項目 (1) 教育の内容 (2) 学生確保 (3)人事の適正化 (4) 施設整備・管理 (5) 危機管理及び安全管理 (新型コロナウイルス感染症対応)
28	8月17日(火)	前年度決算に係る剰余金充当の承認	市長による地独法第34条第1項に基づく貸借対照表、利益の処分又は損失の処理の承認 【新総政第43号】 ・承認額(申請どおり)(83.4%) ・積立(返還予定)額 (16.6%) ・目的 教育研究等の質向上及び組織運営の改善
29	8月19日(木)～9月8日(水)	ホルムアルデヒド調査【学校環境衛生検査1】	・実施日 8/19,9/1,9/8(3日間)0.08ppm基準 ・対象室 増改築室10部屋(ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ室等) ・基準値以下(0.015ppm以下10室、0.030ppm1室)

No.	日　付	項　目	内　容
30	9月1日(水)～ 9月5日(日)	交通ルール注意喚起【通学指導上査察】	・時所 9:00～10:00 学内市道 ・中心 学生課職員1人(日替わり) ・内容 道路占用・無灯火・スマホ・坂道乗車注意
31	9月7日(火)	大学院改組事務 【文科省Web相談】	・時所　16:00～17:00　会議室B ・参加　学長、学生部長、学部長など11名 ・内容　委託業者主導による一般手続レクチャー
32	9月9日(木)	照度及びまぶしさ調査 【学校環境衛生検査3】	・ﾃﾞｼﾞﾀﾙ照度計検査 黒板、室内、テレビ ・対象 代表5室(1102,3403,5001,5203,5309) ・黒板 基準 500ﾙｸｽ以上、比率10/1以内最適 617～1095ﾙｸｽ、1.3/1～2.7(適合) ・教室 基準300ﾙｸｽ以上(500ﾙｸｽ以上最適) 836～1006ﾙｸｽ(最適基準適合) ・テレビ 333～743ﾙｸｽ(適正) ・まぶしさ 適正3室、ﾌﾞﾗｲﾄﾞ対応済み2室(適正)
33	9月10日(金)	市長協議 【教職員制度改正】	・時所 13:00～14:00　市長室 ・参加 市長、副市長、学長、事務局長 4名 ・内容 処遇方針
34	9月14日(火)	令和3年度公立大学事務局長等連絡協議会	・時所 10:30～12:00　WEB会議 ・参加 事務局長 ・テーマ 公立大学の職員育成
35	9月21日(火)	大学院改組事務 【委託業者Web会議】	・時所 10:00～12:00　会議室B ・参加 学長、学生部長、学部長など11人 ・内容 委託業者との地域福祉学大学院設置協議
36	9月27日(月)	中国四国地区協議会 【Web会議】	・時所 13:30～15:30　Web ・講演 公立大学高等教育施策(文科省) ・報告 公大協常置委員会、ガバナンスコード、 事業状況・組織のあり方検討会 ・議題 コロナ禍対応、アンケート実施方法、 食提供の現状と課題(改善)
37	10月4日(月)	後援会第1回理事会	・時所 18:30～19:30 会議室B ・内容 執行状況、学生生活及び学科状況、 卒業生進路・入試・在籍者等、授業料減免等報
38		令和3年度第1回公立大学学長会議	・時所 13:30～16:00　WEB会議 ・参加 学長 ・内容 大学環境の整理と今後の方向性
39	10月13日(水)	保健師、看護師学校変更承認 【3受文科高第609号】	・保健師助産師看護師法施行令第13条第1項 【教育課程の変更】 ・申請 R3.5.27新大学第40号
40	10月22日(金)	市長協議 【大学院改組】	・時所 13:00～14:00　市長室 ・参加 市長、副市長、学長、事務局長 4名 ・内容 大学院改組、職員派遣見直し
41	10月29日(金)	令和3年度公立大学事務局長等連絡協議会	・時所 10:30～12:00　WEB会議 ・参加 事務局長 ・内容 職員育成(山口県立大岩野雅子教授)等
42	11月1日(月)	医療的ケア看護職員及びスクールカウンセラー業務委託	・業者 岡山県内業者 ・期間 R3.11.1～R4.3.31 ・内容 カウンセリング専門員2人(1回/週)派遣
43	11月5日(金)	健康診断業務委託契約	・業者 岡山県内業者 ・期間 R4.4.1～R5.3.31【業者変更1年目】 ・単価 学生、1年次生

No.	日　付	項　目	内　容
44	11月25日(木)	「NiU」商標登録	・出願日 令和元年10月21日(135492) ・登録番号 6476021号 ・分類 第41類(知識の教授、セミナー開催など)
45	11月25日(木)～3月7日(月)	新見市職員派遣協定書改定業務	・時期 令和4年4月1日～ ・理由 プロパー化反映 ・方針 不利益事項照査、法人ガバナンス徹底
46	11月30日(火)	健康科学部教員昇任会議	・保育2名（准教授1名、講師1名） ・看護6名（教授2名、講師1名、助教3名） ・地福3名（教授2名、准教授1名）
47	12月1日(水)	自己点検・評価	Ⅰ 概要 P.1～7(7頁) Ⅱ 理念、目的、方針 P.8(1頁) Ⅲ 内部質保証の体制 P.9～14(6頁) Ⅳ 法令適合性 P.15～71(57頁) Ⅴ 教育研究水準の向上 P.72～83(12頁) Ⅵ 特色ある教育研究の進展 P.84～94(11頁)
48	12月8日(水)	保健師、看護師学校変更承認申請【R3.4.1～新大教第199号】	・保健師助産師看護師法施行令 （保助看師法施行令）第13条第1項 ・精神看護学実習施設追加
49	12月15日(水)	令和3年度中国地区公立大学事務局長会議	・時所 13:30～15:30 WEB会議 ・参加 事務局長 ・内容 決裁電子化、SA雇用、SA等休暇、 実態調査変更検討、学生成長等測定 ・情報 尾道（留学生ｱﾊﾟｰﾄ21戸整備）、 福山（新ｷｬﾝﾊﾟｽ設計終了）、岡山県(新棟)、 山口県（ｷｬﾝﾊﾟｽ移転）、 下関（駅前ﾘｶﾚﾝﾄｷｬﾝﾊﾟｽ整備）、 山陽小野田（4月3回目ﾜｸﾁﾝ接種）
50	1月27日(木)	令和3年度第2回公立大学学長会議	・時所 13:30～17:15 WEB会議 ・参加 学長 ・内容 コロナ禍 神戸市看護大 南裕子 学長 ・地域医療 産業医科大 松田晋哉ｾﾝﾀｰ長 ・地域創生学群展望 北九州市立大 内田晃 群長 ・協会活動に関する報告及び意見交換
51	1月28日(金)	令和3年度第2回公立大学学長研修会	・時所 9:30～12:00 WEB会議 ・参加 学長 ・内容 大学研究力強化室 馬場 大輔 室長 ・産業連携・地域振興課 井上 睦子 課長 ・大学振興課 新田 正樹 課長 ・ｵｰﾌﾟﾝﾁｰﾑｻｲｴﾝｽ 総地研 近藤 康久 准教授
57	2月5日(土)	自己点検・評価における第三者評価	・時所 9:50～13:00 WEB（会議室B） ・評価者 島根県立大学学長代行 山下 一也氏 岡山県立大学学長 沖 陽子氏 福山市立大学教授 渋谷 清氏 高知県立大学社会福祉部長 宮上 多加子氏 ・講評 (1) 内部質保証 ① 体制の有効機能及び教員活動省査継続期待 ② 誠実客観的法令適合・水準・進展を評価 ③ 学生視点及び小規模特性活かした点が好感 ④ 設置者設定目標達成期待 ⑤ 7方針設定評価できる

No.	日　付	項　目	内　容
57	2月5日(土)	自己点検・評価における第三者評価【つづき】	(2) 評価結果と対応状況 ⑥ 高志願倍率に加え組織見直し評価 ⑦ 方針・科目配置・系統化・マップ作成評価 ⑧ ICT教育活用期待 ⑨ 課題解決設定・ボランティア参加評価 ⑩ 学習面・精神面・経済面の支援記述が望まれる ⑪ 科学研究費獲得努力期待 ⑫ ポートフォリオを含め学生と職員の関係性記述期待 ⑬ 学生便覧の学生目線作成評価 ⑭ レベルアップへの組織的関与の記述不足 ⑮ 地域活性化連動特色ある教育研究評価 ⑯ 正課外活動の掲載評価
58	2月8日(火)	市長協議 【派遣職員数合意】	・時所 16:00～17:00　市長室 ・参加 市長、副市長、総務部長等、学長、局長 ・内容 派遣職員数合意、協議・協力の継続
59	2月22日(火)	新見市職員派遣基本協定の締結について(申出) 【新大総第83号】	・申出先 新見市長 ・予定協議日 令和4年4月1日 ・内容　新見市派遣に関する基本協定
60	3月1日(火)	後援会第2回理事会	・時所 18:30～19:30 会議室B ・内容 執行状況、学生生活及び学科状況、入試・在籍者等、NiU新見駅西サテライト
61	3月3日(木)	新見公立大学防災拠点化整備事業議会説明	・時所 13:30～15:00 第1委員会室 ・出席 学長、事務局長、全議員 ・内容 経営及び整備内容説明
62	3月8日(火)	令和4年度新見市職員派遣協議書について(申出) 【新大総第98号】	・時所 13:30～15:00 南庁舎3階大会議室 ・出席 事務局長 ・内容 まちづくり基本構想検討
63	3月15日(火)	助産学専攻科実習施設の変更申請【新大学第254号】	・申出先 文部科学大臣(岡山県知事) ・承認　令和4年4月5日【総第20号】 ・内容 実習施設の追加・変更
64	3月17日(木)	看護学研究科看護学専攻課程変更認可申請 【R5～新大総第109号】	・変更 博士後期課程の新設(3年2名定員6名) ・開設日 令和 5年 4月 1日 ・専任教員数 14名(博士10人、修士4人) ・目的 中山間地域に暮らす全ての世代の「こころ」と「身体」の健康を支えるための全世代型地域包括ケア看護学の深化
65		看護学研究科地域福祉学専攻課程設置認可申請【R5～新大総第110号】	・設置 修士課程の新設(2年4名定員8名) ・開設日 令和 5年 4月 1日 ・専任教員数 8名(博士7人、修士1人) ・目的 中山間地域の課題解決のために活躍する全世代型地域包括ケア福祉学を実践するリーダーの育成
66	3月29日(火)	新見駅周辺まちづくり検討委員会	・時所 10:00～12:00 南庁舎3階大会議室 ・出席 学長 ・内容 まちづくり基本構想制定
67	3月30日(水)	教職課程認定申請学専攻課程認定申請 【R5～新大教第263号】	・認定 養護教諭専修免許状取得必要課程 ・変更日 令和 5年 4月 1日 ・単位数 24単位 ・必須専任教員数 3人

5) 主な事業

◎令和 3(2021)年度主な事業実績

No.	日　付	項　目	内　容
1	4月10日(土)	入学式	・時所 午前10:00～ 体育館 ・参加 入学生 205人 来賓・保護者1人限定 ・内容 入学生宣誓、入学許可書授与、式辞等
2	4月13日(火)	「新見でグラレコを学び、活用する会」設立	・時所 12:40～13:20 イノベーションルーム ・参加 学生、にいみ木のおもちゃの会員等 21人 ・内容 文字や言葉以外でのコミュニケーション能力習得
3	4月16日(金)～6月27日(日)	「假屋崎省吾の世界展－未来黎明－」開催【協賛】	・時所 9:00～10:00 新見美術館 ・開会 市3役、学長等出席 ・特記 連携協定締結約束、本学生無料化開始
4	4月21日(水)	健康保育学科合同学び報告会	・時所 12:30～15:00 体育館 ・発表 2年次生4チーム音楽劇 ・受講 1年次生
5	4月28日(水)	「新見市保育・教育カリキュラム」研修会	・時所 16:00～18:00 学術交流C2階会議室 ・参加 市内保育所、幼稚園、認定こども園13園所長、学長、副学長、健康保育学科教員 ・内容「新見市保育・教育カリキュラム」を利用した保育評価(反省考察)、意見交換、新教育支援センタースペース視察
6		自分にあった就職先を見つけるための就職先分析講座	・時所 13:20～15:00 講堂 ・対象 3年次生(3学科) ・講師 高木 夏翠 先生(株)リクルート
7	5月19日(水)～令和4年5月19日(木)	有料公務員講座開設【62人】	・開設機関 後援会 ・負担額 48,000円/人 ・講師派遣 岡山k県内業者 ・参加者 62人(保育 39人、地福 23人) ・内容 (1) 文書理解 6コマ (2) 数的処理 20コマ (3) 社会科学 16コマ
8	6月2日(水)～11月2日(火)	「地域を学んで残さず食べよう事業」	・主体 学生14人【単県補助事業】 ・対象 高尾小学校4年児童14人 ・6/2 学内取組協議 ・6/8 小学校協議 ・6/15 JA協議 ・6/18 顔合わせ ・7/12 苗植・種まき ・9/17 収穫・出前授業 ・11/2 交流会
9	6月5日(土)	楽わざ介護【介護技術研修会】	・時所 11:00～15:00 1201教室・実習室 ・講師 青山幸広 ・内容 市民型プロジェクト
10	6月9日(水)	花いっぱい運動学内美化活動	・時所 15:00～16:00 学内 ・参加 学生24人、教職員10人 ・内容 日々草150株、サルビア200株植え付け

No.	日　付	項　目	内　容
11	6月17日(木)～ 12月13日(月)	Web個別相談会 【 相談件数 25 件 】	・対象 高校教員、受験生、保護者(学科教員対応) ・申込 6/1～　・時間 15:40～18:40　20分程度 ・設定 Web会議システム「Live On」ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄ ・実相談期間 6/17～12/13 ・実施件数 25件 ← 9件（＋14件 ＋155.6%） ・増加分析理由 コロナ禍で対面の業者ガイダンスがWeb参加にシフト、対面参加が減少
12	6月27日(日)	華道家・假屋崎省吾フラワーデモンストレーション&トークショー	・時所 14:00～ 講堂 （共催） ・「花からはじまるライフスタイル・花は心のビタミン」 ・プレパト等（学生2名参加）等
13	7月3日(土)	シュミレーショントレーニング【PIONE】	・時所 13:30～16:30　ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ室 ・講師 東京慈恵医科大学万代医師、溝尾医師 ・参加 市内3病院、卒業2年目看護師5人
14	7月7日(水)～ 8月22日(日)	新見でグラレコを学び活動する会	・7/7、6/14、6/28の授業を受け ・8/22 13:00～　プレ講座【北浦】 ・参加者 学生、教員11名
15	7月18日(日)	オープンキャンパス1/3 【 参加者105人 】	・時所 12:30～15:30　講堂等 ・参加 105人(▲25人)保護者数 89人 保育 16人、看護 74人、地福 15人
16	7月19日(月)	新見美術館との連携協定【締結式】	・時所 10:30～12:00 学術交流ホール ・締結内容 美術館利用の無料化及び大学負担 ・締結者 新中淑弘理事長、公文裕巳理事長 ・立会者 戎斉新見市長 ・来賓 石田實新見市議会議長 ・美術館 藤井茂樹館長、野間哲人（副市長）、正村政則(教育長)等理事及び評議員 ・大学 小田慈副学長、田枝修己局長、林田昌吾理事、斎藤健司学生部長など全理事、監事、経営審議委員、外部教育研究審議会委員
17	8月6日(金)	SDGs私募債発行事業寄附贈呈式	・時所 13:30～14:30　ｺﾐｭﾆﾃｨｶﾌｪ ・寄附者 (株)山陰合同銀行、東亜電工(株) ・寄附品 講堂用司会台
18	8月9日(月)	オープンキャンパス2/3 【 参加者 143人 】	・時所 12:30～15:30 講堂等 ・参加 143人(+80人) 保護者数 121人 保育 30人、看護 87人、地福 25人、助産 1人
19	8月10日(火)	名寄市立大学交流 【第1回WEB交流】	・時所 10:00～11:30 会議室B ・参加 学部長など7名教職員 ・内容 助産学専攻科設置状況等の情報交換
20	8月29日(日)	オープンキャンパス3/3 【 参加者 80人 】	・時所 12:30～15:30　講堂等 ・参加 80人(+32人)　保護者数 77人 保育 10人、看護 56人、地福 14人

No.	日　付	項　目	内　容
21	8月29日(日)	オープンキャンパス(計) 【参加者328人＋29.6%】	・全体 328人(＋75人＋29.6%)、 保育 56人(＋ 7人＋14.3%)、 看護 217人(＋76人＋56.9%)、 地福 54人(▲ 9人　▲14.3%)、 助産 1人(＋ 1人　皆増) ・状況 地福減だがコロナ禍にあっては概して好調 また、8/9(第2回)は、悪天候で電車が止まり 申込者 187人中 44人(23.5%)がキャンセル
22	9月14日(火)～ 9月16日(木)	LINKtopos	・主催 公立大学学生ネットワーク(WEB開催) ・9/14「なるたき2号」発表(3名) ・9/15 テーマ別ワークショップ(5名) ・9/16 テーマ別・全体発表会(5名) ・全日スタッフ参加(1名) ・時所 9:00～18:00 交流ホール、研修室1～4
23	9月21日(火)	学長と語る会 【高大接続事業】	・時所 18:30～20:00 ｸﾞﾙｰﾌﾟｽﾀﾃﾞｨﾙｰﾑ ・参加 新見高校生14人 ・対応 学長、学生部長、地域共生推進センター
24		「新高会」設立	・対象 新見高校出身学生 ・役員 会長(中川美月)、副会長(徳山光希、 西岡潔亮)、事務局(武田真歩、酒木亜衣)
25	9月24日(金)	第1回市民公開講座 【福武幸世(本学教員)】	・時所 13:30～15:00 リズム教室 ・参加 17人(4人のSAの協力) ・「心も体もﾘﾌﾚｯｼｭ『自分の体を鍛えよう』」
26	10月6日(水)	第2回市民公開講座 【樋口裕二(たいようの丘ホスピタル医師)】	・時所 13:30～15:00 リズム教室 ・参加 17人 ・内容「こころの健康と不合理な行動」
27	10月9日(土)～ 10月10日(日)	学園祭「鳴滝祭」	・ﾃｰﾏ「第23回踏みだそう 乗り越えよう」 ・1日目 9:30～ｵｰﾌﾟﾆﾝｸﾞ、10:00～ 男装女装、 10:30～ﾐｽｺﾝ等、11:00～手話、12:10～軽音部、 14:30～なぞなぞラリー、16:00～中夜祭 ・2日目 9:30～ｸﾞﾙｰﾌﾟ対応、10:30～のど自慢、 11:30～抽選会、13:00～ビンゴ大会、 14:30～ﾀﾞﾝｽ部、16:00～ﾐｽｺﾝ等発表・ﾌｨﾅｰﾚ ・学生学内限定(COVID19対応で、来場案内なし) ・お笑いライブなし
28	10月17日(日)～ 11月7日(日)	古代たたら操業(ミニたたら)参加 【延べ21人日】	・場所 正田・高瀬・作業 10/17 炭切り(3人)、 10/24 釜土練り(8人)、10/31 下灰(2人)、 10/6 操業(5人)、10/7 操業(3人)
29	10月22日(金)	第3回市民公開講座 【白石須万子(薬剤師)】	・時所 13:30～15:00 交流ホール ・参加 17人 ・内容『メンタルヘルスと新見の香り』
30	10月23日(土)	鳴滝塾Ⅲ 【男女共同参画に関する講演】	・時所 14:00～16:00 講堂 ・講師 清野佳紀(岡大名誉教授・小児科医) ・内容 講演・ﾊﾟﾈﾙﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ・参加 40人

No.	日　付	項　目	内　容
31	10月29日(金)	第4回市民公開講座 【山野井尚美(本学教員)】	・時所 13:30～15:00 交流ホール ・参加 17人 ・内容「こころの健康を保つには」
32	11月1日(月)	学生フリーペーパー発行 【 なるたき第3号 】	・10/27 納品、11/1 市内配布 ・印刷部数　7,000部・A4カラー 6ページ ・新1年生の声、学科演習、SA新聞、ｽﾄｱｶﾞｲﾄﾞ
33	11月7日(日)	第4回森のゆうえんちinにいみ	・時所 10:00～16:45 新見公立大学体育館 ・主催 (一財)にいみ木のおもちゃの会 ・参加 40組 210人 ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ 学生50人、高校30人 ・内容 県内林業パネル、森のおもちゃ箱、 新見ウィンドアンサンブル、 わんぱく広場(ｼﾞｬﾝｸﾞﾙｼﾞﾑ等)、 木っざにあ(木でのものづくり体験)
34	11月13日(土)～ 11月14日(日)	野球部ミズノカップ Dブロック優勝	11/13(土)1日目 第一試合　対広島大学(前回上位校)0-6敗戦 第二試合　対環太平洋大学(前回優勝)1-8敗退 11/14(日)2日目Dブロック決勝 一回戦　対近畿大学 5-3　勝利 決勝戦　対大阪大学 7×-5　勝利(優勝)
35	11月14日(日)	シミュレーショントレーニングinにいみ【介護技術研修会】	・時所 9:00～12:00 5406ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ室 ・9:00～花みずき、惠愛会通所 ・10:30～生き活き館神郷、老健すずらん ・参加 20人 ・内容 介護事業所取組紹介、介護技術向上研修
36	11月16日(火)～ 12月9日(木)	保育サポーター養成講座	・時所　11/16・25・30、12/9　学術交流ｾﾝﾀｰ 9:00～16:00(にいみ子育てカレッジ) ・内容　ﾌｧﾐﾘｰｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰで活動するｻﾎﾟｰﾀｰ養成
37	11月20日(土)	介護技術研修会【ｵｰﾙ新見やさしさ介護実行委員会】	・時所 9:00～12:00 講堂・交流ホール ・講師 青山さん ・参加 地域福祉学科学生、市内中高生50人
38	11月23日(火)	「避難所開設・運営訓練」参加	・時所 9:00～11:30 新見公立大学体育館 ・参加 学生10人,市44人,地域自主防災組織56人 ・趣旨 大学を活かしたまちづくり連携事業
39	12月4日(土)	スポーツ大会	・時所 8:00～17:00　体育館 ・主催 学友会　・参加　22チーム、164人 ・内容 学内バレーボール大会【 2年ぶり 】
40		中・四国保育学生研究大会参加	・担当校 鳥取短期大学(6校参加) ・形式 オンライン開催 ・参加 保育 19名 ・内容 創作ダンス、合唱、リズムダンス
41	12月8日(水)	イルミネーション点灯式	・時所 18:20～　3号館(入口付近) ・企画 学友会(会長あいさつ) ・内容 カウントダウンによる点灯

No.	日　付	項　目	内　容
42	12月8日(水)	就活マナー・合同企業説明会の周り方講座	・時所 13:20～　講堂 ・対象者 3年生 ・講師 (株)マイナビ(米村)
43	12月11日(土)	鳴滝塾Ⅳ 「ポストコロナのまちづくり」	・時所 15:00～　講堂 ・講師 藻谷浩介客員教授 ・視聴者数 108人
44		にいみゆめポケット	・時所 10:30～12:30　地域共生推進センター ・内容 (1) 講堂　合奏、音楽劇、手品、ダンス、演劇 (2) カフェスペース・3階講義室　科学、造形、運動、伝承あそび、おはなしなどの体験 ・特徴 学生による実行委員会編成 ・参加 (1) 学生 1～3年生約150人 (2) 市内参加 約130人
45	12月14日(火)	イルミネーション点灯式	・時所 18:20～　3号館(入口付近) ・企画 学友会(会長あいさつ) ・内容 カウントダウンによる点灯
46	12月18日(土)	クリスマス会	・時所 12:30～17:30　体育館 ・参加 学友会主催　351人学生参加 ・内容 軽音、ｱｺｰｽﾁｯｸｷﾞﾀｰ、ﾀﾞﾝｽ、抽選会
47	1月22日(土)	第 13 回地域文化実習発表会	・時所 13:30～15:10　講堂 ・発表 地域福祉学科 2年(50人)観客 18人 ・内容 舞台発表(お囃子 42人、神楽 8人)
48	1月24日(月)～ 1月26日(水)	スキー実習	・対象 看護学科1年生 83人 ・場所 いぶきの里スキー場 ・形態 3日間6台のバス輸送【宿泊なし】
49	2月10日(木)～ 2月13日(日)	看護系国家試験日	・助産師 2/10(木)広島 ・保健師 2/11(金)広島 ・看護師 2/13(日)広島
50	2月14日(月)	国体出場選手壮行会 【笠井康平】	・時所 12:40～13:10 ｺﾐｭﾆﾃｨｶﾌｪ ・対象 笠井康平　大回転成年A(看護1年) ・内容 横断幕製作、激励金進呈(個人寄附)
51	3月1日(火)	学生フリーペーパー発行 【 なるたき第4号 】	・2/27 納品、3/1 市内配布 ・印刷部数 7,000部・A4カラー 6ページ ・ﾀﾞﾑｶﾚｰ、学内行事、ｱｰﾄﾂｱｰ、SA新聞
52	3月17日(木)	卒業証書・学位記授与式 (卒業式)	・時所 午前10:30～　講堂 ・人数 75人(看護64、助産6、大学院5) ・内容 証書授与、式辞、送辞、答辞等
53		謝恩会(看護学科)	・時所 午前11:50～13:00 コミュニティカフェ ・内容 たまがき賞、多読賞表彰、在学中の思い出映像視聴、くじ引き抽選会(飲食なし)
54	3月22日(火)	SDGs私募債発行事業寄附贈呈式	・時所 14:00～14:30　講堂控室 ・寄附者 (株)トマト銀行、東亜電工(株) ・寄附品 講堂用電子ピアノ

6) 災害等対応(新型コロナウイルス COVID-19)

◎令和 3(2021)年度災害等対応(新型コロナウイルス COVID-19)実績

No.	日　付	項　目	内　容
1	4月1日(木)～ 4月10日(土)	新入生健康観察期間設定	・目的　市内住居移動者の感染状況確認 ・対象　新入生 205人 ・内容　3月30日までの市内転居健康管理
2	4月1日(木)～ 3月31日(木)	COVID19学生相談実施 【1,127回/年、94回/月】	・FORM等 824回(73.1%)・電話 214回(19.0%) ・理由 (1) 体調不良 476回(42.2%) (2) 帰省 384回(34.1%) (3) 就職活動 173回(15.4%) (4) ﾊﾞｲﾄ等94回(8.3%) ・月別件数の多い月 (1) 8月296件(26.3%) (2) 7月262件(23.2%) (3) 6月121件(10.7%) (4) 5月 85件(7.5%) (5) 4月 72件(6.4%)　4～8月836件(74.2%)
3	4月7日(水)～ 4月28日(水)	新見市内4月感染者発生状況【 70人 】	7日(1)、8日(1)、9日(15)、10日(21)、11日(1)、12日(10)、14日(1)、15日(9)、16日(2)、18日(2)、21日(3)、22日(1)、24日(1)、26日(1)、28日(1)
4	4月9日(金)～ 3月31日(木)	新見市新型コロナウイルスワクチン接種対策室アドバイザー就任	・選任 山野井尚美看護学部准教授 ・経緯 市長から学長に対する要請 ・内容 県との調整等のアドバイス
5	4月9日(金)	新型コロナウイルス感染防止対策遵守徹底通知	・対象 学生・教職員 ・内容 新見地域で陽性者が増加しているため、感染防止対策の一層遵守
6	4月10日(土)	規模を縮小した入学式	・時期 健康観察期間設定 ・規模 来賓市長のみ、保護者1人限定、時間短縮 ・措置 1m間隔座席、静聴形態、呼名省略
7	4月19日(月)	Webカメラ&USBヘッドホンセット(貸し出用)整備	・目的 遠隔授業対応 10セット ・納入 新見市内業者 ・金額
8	4月23日(金)～ 5月16日(日)	岡山県の新型コロナウイルス感染症拡大予防のための協力要請	・学生へ「県民への協力要請」周知 ・学生の部活動、課外授業実施の慎重対応 ・学生寮における感染予防対策の徹底
9	4月25日(日)～ 5月11日(火)	4都府県緊急事態宣言	・東京、大阪、京都、兵庫 ・不要不急の外出禁止、都道府県間の移動自粛、大型商業施設自粛要請、部活自粛要請など
10	4月26日(月)	アルコール・カラオケを提供する場でのアルバイト禁止発表【4/27～6/20】	・原因 岡山県からの要請に基づく対応 ・効果 高リスクバイト生の行動抑制 ・対応 困窮学生に対する支援実施

No.	日　付	項　目	内　容
11	4月28日(水)～ 5月5日(水)	COVID19GW中の感染防止対策発表	1 自己健康チェック表への毎日ユニパ入力 2 県外移動・相談Forms入力 3 健康管理センター指示の遵守 4 次の回避行動の徹底 (1) 繁華街でのぶらつき、(2) 居酒屋等での会食 (3) カラオケ、(4)長時間のおしゃべり、 (5) ライブ、劇場、(6)感染多発地域への旅行、 (7) 感染防止策が取りにくい場所・職種バイト、 (8) 同居家族外で3密が避けがたい集会参加 5 学外実習2週間前までの帰宅 6 実家帰省以外の旅行の自粛 7 家族以外での会食・カラオケの自粛 8 Teams指示への速やかな返信 9 県外移動後の市内バイト是非の問い合わせ 10 感染状況変化への対応変更注意喚起
12	4月28日(水)	大学コンソーシアム岡山第2回新型コロナウイルス感染対策情報交換会	・時所 15:00～17:00　Web ・目的 学生等に対する連休緊急アラート ・情報 ワクチン接種主体県登録、罹患後対応
13	4月30日(金)	「第23回鳴滝祭」の延期発表	・前開催予定日 5/15～16(2日間) ・理由 市内の新型コロナウイルス感染拡大 ・延期日 未定(決定次第連絡)
14		COVID19発生時対応マニュアル再通知	・対象　PCR又は抗原検査陽性者 ・方針 速やかな連絡、保健所に協力、感染拡大防止対策・行動実施、人権擁護、個人情報秘守、誹謗・中傷内容確認公表と被害届出 ・対応 招集、行動歴確認、接触者把握・検査、消毒・休校、事実公表、指示、登校許諾
15	5月1日(土)～ 6月20日(日)	部活動・サークル活動の自粛	・原因 市内・県内感染者増加、変異株感染拡大 ・目的 感染防止 ・期間「県民への協力要請」期間
16	5月1日(土)～ 5月23日(日)	新見市内5月感染者発生状況【 26人 】	1日(1)、6日(1)、8日(2)、11日(1)、12日(2)、 13日(1)、14日(5)、15日(6)、16日(1)、18日(2)、 19日(1)、21日(2)、23日(1)
17	5月10日(月)	3道県緊急事態宣言追加発表【2回目】	・対象道県 北海道、広島県、岡山県 ・自粛要請 不用不急の外出、酒類等提供、県間移動、飲食店時短、イベント形態など
18		新見市新型コロナウイルスワクチン高齢者予約受付開始	・高齢対象 65歳以上 ・接収開始 7月3日～(ファイザー社分) ・集団接種 6/12(土)、7/3(土)市役所南庁舎
19	5月10日(月)～ 7月15日(木)	透明アクリルパーテーション追加設置 【 71基 】	・設置場所 オープンエリア(11)、ピアノ練習室(10)、オープンキャンパス用(50) 計 71基 ・設置業者 新見市内業者
20	5月10日(月)	Web授業・会議システムライセンス使用料 【Zoom、LiveOn】	・数量 Zoom(21ライセンス)、LiveOn(12ライセンス) ・業者 新見市内業者 ・金額
21	5月11日(火)	サークル活動・一部アルバイト禁止措置の延長	・期間 5月31日まで(6月20日に再延長) ・禁止 部活・サークル活動、アルコールを提供する場、カラオケを提供する場でのアルバイト

No.	日　付	項　目	内　容
22	5月14日(金)	岡山県に緊急事態宣言が発令された場合の対応指示	1 健康チェック表の毎日の記載 2 三密回避(特に、昼食時を含めた会話) 3 マスクの着用 4 こまめな手洗い指先消毒の励行 5 発熱や風邪症状などの体調不良の場合における健康管理センターへの連絡徹底
23	5月15日(土)	延期した「第23回鳴滝祭」	延期の決定が間近にせまった段階で判断されたため、前日準備及び月曜の振替休業は予定どおりのスケジュール履行
24	5月16日(日)～ 6月20日(日)	岡山県緊急事態宣言 【2回目】	新見市施設対応　感染拡大防止のため、所管施設54施設使用制限(本学図書館、体育館は学生のみ利用可)
25	5月17日(月)	電車通学者感染防止注意発表	・提供情報 電車内クラスター発生事例無 ・指示事項 電車内での会話を控える ・不安対処 保健管理センター相談
26	5月18日(火)～ 6月20日(日)	「にこたん」の利用規制	・閉鎖時間 12:00～13:00 メンテナンス ・利用時間 1時間程度 ・利用規制 市内在住限定、健康チェック、消毒
27	5月23日(日)～	沖縄県緊急事態宣言	飲食店での酒、カラオケの提供の停止など対策の徹底
28	5月26日(水)	サーモグラフィーカメラ追加購入【1台追加】	・設置場所 本館事務所入口 ・納入会社 新見市内業者 ・購入金額
29	5月31日(月)	低濃度オゾン発生装置 【食事スペース4箇所用】	・設置場所 多目的ホール、ラウンジ、オープンエリア グループスタディルーム　計10台 ・納入 大阪市内業者
30		「新型コロナウイルス感染症対策と本学の学びの方針」【学長発信】	・今後の感染拡大に対する注意喚起 ・正しく恐れ、特に濃厚接触に対する厳重警戒 ・対面授業の維持 ・本学学生を特定集団とた安全な学内活動継続 ・部活動等の自粛、一部アルバイトの禁止 ・学生協力による特定集団維持 ・通学原因による感染は通常ありえない ・本学の学びの方針に変更がない
31	6月1日(火)～ 9月10日(金)	5千円分商品券配布 【全学生 650人】	・目的 行動制限への対応補償 ・配布 学内配布　650人　325万円 ・財源 学生支援基金充当(寄附金等の積立) ・時期 初日 6/1(火)　256人(39.4%)、 6/7　まで(1週中) 592人(91.1%)、 6/30 まで(1月中) 647人(99.5%)
32	6月1日(火)～ 3月31日(木)	第2次学生支援募金募集 【162件 2,686,500円】	・目的 学生等に対する経済的支援・生活支援 ・配布 商工会議所等 ・納付 162件 2,686,500円(～9/30)
33	6月4日(金)	コロナワクチン接種【医療従事者等県営会場利用】決定	・日時　7/4・5(土日)午前中(9:00～) ・場所 岡山県南部健康づくりセンター ・対象 学生650人＋教職員96人(既接種者除外)

No.	日　付	項　目	内　容
34	6月9日(水)	社会福祉協議会による学生支援	・時所 12:00～13:20　2号館付近 ・配布 生活用食材及び生活必需品 ・人数 学生170人
35	6月10日(木)～ 6月11日(金)	新見市内6月感染者発生状況【 2人 】	10日(1)、11日(1)
36	7月4日(日)～ 7月14日(水)	新型コロナワクチン接種【1回目】712人	・場所 岡山県南部健康づくりセンター ・移動 2日間大型バス14台輸送 ・ﾀｲﾌﾟ 武田／モデルナ ・人数 4日(448人)、5日(256人)、～14日(8人) ・ケア　パン2ヶ、お茶500mℓ、経口補水液500mℓ、鎮痛・解熱剤 1錠(希望者) 配布 ・対象者　775人(学生 650人、職員125人) ・接種計 756人 97.5% (学生97.5%、職員96.5%) ・措置 2日間(月・火曜)休校
37	7月14日(水)	新型コロナウイルス対策WEB研修会への講師派遣	・講師 山野井 尚美　准教授 ・対象 県内ワクチン接種医療従事者 ・収入 県クラスター対策支援給付金10万円
38	7月17日(土)～ 7月30日(金)	新見市内7月感染者発生状況【 4人 】	17(1)、26(1)、28(1)、30(1)
39	7月20日(火)	新見市新型コロナウイルスワクチン接種64歳以下予約受付開始	・接種開始 8月7日～(ファイザー社分) ・集団接種 8/7(土)、8/8(日)、8/15(日)、8/22(日)、9/18(土)、9/19(日)市役所南庁舎
40	7月29日(木)～ 8月23日(月)	新見産リンドウプレゼント事業【学生207人から祖父母300人に贈る】	・時所 12:40～　コミュニティカフェ ・趣旨 新見産ﾘﾝﾄﾞｳﾌﾟﾚｾﾞﾝﾄ申込促進ｲﾍﾞﾝﾄ ・参加 学生10名、JA花卉部会員 ・発送 リンドウ20本無料　9/2(木)～10(金) ・効果 祖父母から感謝の手紙等多数【大反響】 ・財源 県新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ関連地域応援ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ
41	8月1日(日)～ 8月19日(木)	新型コロナワクチン接種【2回目】711人	・場所 岡山県南部健康づくりセンター ・移動 2日間大型バス13台輸送 ・ﾀｲﾌﾟ 武田／モデルナ ・人数 1日(438人)、2日(249人)、～19日(24人) ・ケア パン2ヶ、麦茶500mℓ、経口補水液500mℓ、鎮痛・解熱剤 1錠 配布 ・対象者 775人(学生 650人、職員125人) ・接種計 754人 97.3% (学生97.2%、職員97.6%) ・措置 2日間(月・火曜)休校
42	8月1日(日)	学生早期ワクチン接種2回目達成率【 96.9% 】	・接種者数 746人(大学 711人 別 35人) ・接種率 学生 96.9%　職員 94.8% 法人 95.3% ・経費計 (公用車燃料代除く) バス代 (66.7%) 健康リスク管理費 (33.3%)
43	8月13日(金)～ 8月28日(土)	新見市内8月感染者発生状況【 25人 】	13(1)、15(5)、16(1)、17(3)、18(1)、20(3)、22(4)、25(3)、26(2)、28(2)

No.	日　付	項　目	内　容
44	8月16日(月)～	実習施設要請PCR検査費用負担【16人】	・目　的 看護施設実習要請認定検査費用 ・施設数 4施設 ・総金額
45	8月20日(金)～ 9月12日(日)	岡山県まん延防止等重点措置(岡山市・倉敷市)	・飲食店等に午後8時までの営業時間短縮 （お酒提供午後7時まで）要請 ・不要不急外出自粛、出勤者数の7割削減要請
46	8月27日(金)～ 9月12日(日)	岡山県緊急事態宣言【3回目】	外出移動制限呼びかけ、入場制限要請、酒類を提供する飲食点への休業要請、飲食店への8時までの営業要請、オンライン授業活用の徹底
47	9月2日(木)～ 9月8日(水)	新見市内9月感染者発生状況【 3人 】	2(1)、3(1)、8(1)
48	9月12日(日)～	緊急事態宣言19都道府県延長(岡山県まん延防止等重点措置移行)	東京、神奈川、栃木、群馬、埼玉、千葉、北海道、静岡、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、広島、福岡、沖縄
49	9月12日(日)	岡山県の緊急事態宣言解除	・宣言期間 8/27～9/12(17日間) ・蔓延防止期間 9/13～9/30(18日間) ・他解除県 宮城県
50	9月22日(水)	後期(年内)授業期間コロナ感染症対策発表	・期間 10/1～12/25 ・本心 子ども達を守る自覚と感染防止対策厳守 ・注意事項 (1) 施設立入条件の確認・調整と遵守 (2) 毎日の健康チェックの継続 (3) 県外移動のフォーム入力報告の徹底 (4) 県外移動時での感染対策徹底 (5) 対外サクール活動時の面談・許可の履行 (6) カラオケ・酒提供アルバイト禁止継続
51	9月30日(木)	国の緊急事態宣言解除【全面解除】	・宣言期間 4/25～9/30(159日間) ・解除都道府県数 19都道府県 ・まん延防止等重点措置解除数　8県
52	10月9日(土)	COVID19に対応した大学祭の実施	・学生のみの開催(保護者・地域への不案内) ・三密を避けた実施、消毒の徹底、 お笑いライブの中止
53	1月6日(木)	新見市内1月感染者発生状況【 26人 】	6(1)、12(5)、13(1)、18(1)、20(1)、21(1)、22(2)、23(1)、24(1)、25(1)、26(2)、27(2)、28(1)、29(4)、30(1)
54	1月7日(金)	冬季休暇後の感染対策【学生への通知】	・1/9(日)までの新見への移動 ・12/17～1/16行動履歴のﾎｰﾑｽﾞ入力報告 ・沖縄、山口県曰岩国市、広島への滞在者報告 ・1/11(火)、1/12(水)休校、不急不要外出自粛、ｸﾗﾌﾞ活動禁止 ・特別に指示のない学生の1/13からの登校許可
55	1月7日(金)～ 3月17日(木)	蔓延(まんえん)防止等重点措置	1/9沖縄、山口、広島の3県
56	1月10日(月)～ 1月11日(火)	臨時休校	・理由 オミクロン株の流行に対処するため ・制限 不要不急の外出を控えるよう要請 クラブ活動の禁止

No.	日　付	項　目	内　容
57	1月19日(水)～ 3月17日(木)	蔓延(まんえん)防止等重点措置	群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、岐阜、愛知、三重、香川、長崎、熊本、宮崎の13都県追加 16都県
58	1月21日(金)	学生等の学びを継続するための緊急給付金(令和3年度)推薦【1回目】	・対象 自宅外で仕送り期待できないｺﾛﾅ影響者 ・人数 75人(非対処認定者数 4人) ・給付 10万円/人
59	1月24日(月)～ 1月26日(水)	宿泊を取りやめてバス運送に切り替えたスキー実習【 3日間 】	・対象 看護学科1年生 83人 ・場所 いぶきの里スキー場 ・形態 3日間6台のバス輸送【宿泊なし】
60	1月25日(火)～ 3月17日(木)	蔓延(まんえん)防止等重点措置	北海道、青森、山形、福島、茨城、栃木、石川、長野、静岡、京都、大阪、兵庫、島根、岡山、福岡、佐賀、大分、鹿児島19府県追加34都道府県
61	2月1日(火)	新見市内2月感染者発生状況【 110人 】	1(3)、2(2)、3(2)、4(2)、5(2)、6(2)、8(2)、9(2)、10(4)、11(9)、12(10)、14(9)、15(2)、16(7)、17(6)、18(2)、19(5)、20(3)、21(8)、22(2)、23(5)、24(6)、25(7)、26(4)、27(4)
62	2月3日(木)～ 3月17日(木)	蔓延(まんえん)防止等重点措置	和歌山1県追加35都道府県
63	2月21日(月)～ 3月1日(火)	新型コロナウイルスワクチン(3回目)実施 【 638人接種 88.7% 】	・時所 ①2/21(月)、②2/28(月)、③3/1(水) 13:00～16:30　学術交流センター3階 ・実施　新見市健康づくり課(保健師3名注射) ・対象者 775人(学生 650人、職員125人) ・接種者数 638人(①230人、②220人、③187人) ・接種計 683人 88.7%(法人他会場接種を含む) ・市外者数 417人(65.3%は接種券集送)
64	2月26日(土)	学生等の学びを継続するための緊急給付金(令和3年度)推薦【2回目】	・対象 自宅外で仕送り期待できないｺﾛﾅ影響者 ・人数 追加5人(非対処認定者数 4人) ・給付 10万円/人(合計79人に支給される)
65	3月1日(火)	新見市内3月感染者発生状況【 30人 】	1(1)、2(1)、3(1)、6(1)、9(1)、11(1)、14(1)、15(1)、16(1)、18(1)、19(2)、20(3)、21(1)、22(1)、24(4)、25(1)、26(2)、27(1)、28(1)、29(1)、30(2)、31(1)
66		新見市内染者数 【 年度296人 】 【 累計315人 】	・年度最終発生 3/31(1人)以下累計分析 ・ﾋﾟｰｸ R3.4～5月96人(30%)、R3.8月25人(8%)、R4.2月110人(35%)
67	3月4日(金)～ 3月17日(木)	蔓延(まんえん)防止等重点措置	岡山県解除(52日間)
68	3月17日(木)	規模を縮小した卒業証書・学位記授与式(卒業式)の実施	・時所 午前 10:30～　講堂 ・参加 卒業生75人(看護64、助産6、大学院5) ・縮小 来賓市長のみ、保護者1人、静聴方式等
69		蔓延(まんえん)防止等重点措置	全都道府県解除
70	3月31日(木)	PCR検査、抗体検査費用負担人数【 65人 】	・目的 実習、登校対応 ・人数 65人 ・期間 8～3月(9ヶ月) ・機関 市内3病院＋市外2人(2病院)

7) 施設整備

◎令和 3(2021)年度主な施設整備状況

No.	日　付	項　目	内　容
1	4月26日(月)～ 6月30日(水)	1号館エアコン改修工事設計	・業者 岡山県内業者 ・工期 R3.4.27～R3.6.30 ・検収 R3.6.30 ・内容 エアコンの電気式化、換気性能改善
2	5月14日(金)	3号館3階改修備品納入	・業者 新見市内業者 ・場所 3F(3310講義室)当日検収 ・数量 講義机60点、講義 イス60点
3	6月28日(月)～ 11月30日(火)	学術交流センターEV改修工事等設計業務委託	・業者 岡山県内業者 ・工期 R3.6.29～R3.11.30 ・検収 R3.11.30 ・内容 EV1号館4階延長・改修
4	7月20日(火)～ 7月26日(月)	学内照明完全LED化	・製品 国内製LED ・数量 電球 1,484本(取替工事費負担なし) ・形態 レンタル(7年間) 以後所有 ・箇所 本館、1号館、2号館、学術交流ｾﾝﾀｰ ・節約 157,194円/月電気料金等軽減見込み ・節電 80.263kwh → 18.879kwh ▲61.384kwh
5	9月7日(火)	本館カウンセリング室整備【備品】	・業者 新見市内業者 ・納期 R3.10.29 ・検収 R3.10.29 ・内容 テーブル・イス・収納庫等15点
6	9月9日(木)	本館カウンセリング室整備工事	・業者 新見市内業者 ・工期 R3.9.10～R3.10.29 ・内容 映像機器1式、電話1台、ｴｱｺﾝ3台設置
7	9月29日(水)	カウンセリングルームドア設置	・業者 新見市内業者 ・工期 9/29～10/29 完成 10/29 ・内容ドアﾃｰﾌﾞﾙ3、ｲｽ等11、収納庫3等
8	9月30日(木)	1号館2階空調設備改修	・業者 新見市内業者 ・工期 R3.7.27～9.30・完成日 9/24 ・内容 空調方式変更(ボイラー式→電気式)
9	10月20日(水)	非常電源確保事業調査対応	・調査 電力系整備推進関係者 ・内容 大学の電力使用量 約1,000,000Kwh/年 ・数量 契約 600KWh/月、約23,000,000円/年

◎令和 3(2021)年度新見駅西エリア(NiU 新見駅西サテライト)整備事業

No.	日　付	項　目	内　容
1	4月9日(金)	市長協議【西エリア状況確認】	・時所 12:00～13:30 市長室 ・参加 3役、理事長、副学長、事務局長 6名 ・内容 副市長就任、新見駅西エリア状況確認
2	4月20日(火)	新見市事務調整会議【西エリア運営1/3】	・時所 10:00～11:00 学長室 ・参加 総務部長、参与、学長、事務局長 ・内容 テナントの市主導運営【後撤回】
3	8月10日(火)	新見市事務調整会議【新見駅西エリア2/3】	・時所 10:00～11:00 会議室A ・参加 副市長、学長、副学長、事務局長など ・内容 テナントスペースの大学主体契約・運営
4	8月24日(火)	新見市事務調整会議【新見駅西エリア3/3】	・時所 13:30～16:00 会議室A ・参加 副市長、学長、副学長、事務局長など ・内容 テナントスペースの大学主体契約・運営
5		地域共生連絡会事前会議	・時所 18:30～20:00 会議室B ・参加 新見駅前町内会、公退協、おかみさん会 ・目的 新見駅西エリアアパート1F活用

No.	日　付	項　目	内　容
6	9月21日(火)	新見駅周辺地域のまちづくり特別委員会 【新見駅西エリア1/2】	新見駅西エリア1Fの契約主体が新見市から新見公立大学に変更となった旨の初回説明
7	9月23日(木)	NiU新西交流棟PROJECT 第1回ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ	・時所 10:00～12:00　交流棟 ・参加 学生11人(内SA5人)、教職員12人 ・内容 空間デザイナー(和田有輝)、グラレコ(北浦菜緒)、木のおもちゃの会副会長(吉良宏子) 専門家を交えた空間利用検討
8	10月5日(火)	新見駅周辺地域のまちづくり特別委員会 【新見駅西エリア2/2】	新見駅西エリア1Fの契約主体が新見市から新見公立大学に変更となったことの承認 【新見公立大学における執行開始】
9	10月15日(金)	NiU新西交流棟PROJECT 第2回ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ【43人】	・時所 13:00～14:50　ｸﾞﾙｰﾌﾟｽﾀﾃﾞｨﾙｰﾑ ・参加 学生28人(内SA18人)、教職員15人 ・内容 木のおもちゃの会(吉良宏子)参加
10	10月20日(水)	NiU新見駅西サテライト 整備工事設計・監理	・業者 香川県内業者 ・期間 R3.10.21～R4.3.31 ・内訳 設計76.6%　監理23.4%
11	11月2日(火)	NiU新西交流棟PROJECT 第3回ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ【56人】	・時所 18:30～20:30　ｸﾞﾙｰﾌﾟｽﾀﾃﾞｨﾙｰﾑ ・参加 学生30人、教職員15人、地域10人、市1人 ・内容 木のおもちゃの会(藤本忠男)参加
12	11月29日(月)	NiU新西交流棟PROJECT 第4回ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ【54人】	・時所 18:30～20:30　ｸﾞﾙｰﾌﾟｽﾀﾃﾞｨﾙｰﾑ ・参加 学生16人、教職員20人、地域15人、他3人 ・内容 木のおもちゃの会(藤本忠男)参加
13	12月20日(月)	NiU新見駅西サテライト 整備工事	・業者 新見市内業者 ・工期 R3.12.21～R4.3.31 3/15増額変更 ・内容 RC5の1階435.20㎡の内装工事
14	12月28日(火)	えきよこテナント賃貸借契約	・契約者 新見市内業者 ・期間 R4(2022)年2月1日～R19(2037)年1月31日 ・金額 月極 ・敷金 賃料6ヶ月分) ・面積 483.3025㎡(146.20坪) ・条件 トイレは15年間リース
15		えきよこテナント賃貸引渡し基準協議	・契約者 新見市内業者 ・期日 R19(2037)年1月31日(想定) ・条件 スケルトン基本(譲渡範囲特定)
16	1月21日(金)	「NiU新見駅西サテライト」お披露目会	・時所 12:40～　コミュニティカフェ ・参加 学生、市民、教職員等約100人 ・内容 パース&名称発表 発達支援センター(駅側)、 こども交流広場(中央)、 スタディーラウンジ(大学側)

No.	日　付	項　目	内　容
17	1月28日(金)	えきよこテナント賃貸借共益費分担協議	・契約者 新見市内業者 ・期間 R4(2022)年2月1日～R19(2037)年1月31日 ・内容 上下水道代、電気料金等分担協議
18	2月9日(水)	NiU新見駅西サテライト整備工事総合定例会【第1回】	・時所 13:30～15:00　現場事務所 ・参加 学長、副学長、局長等8人 ・内容 スケジュール確認、施工確認
19		短期宿泊施設規程、短期宿泊施設管理要項の制定	・施行日 令和4年4月1日 ・内容 学生の保護等を目的とした施設整備 ・想定 既存のマンションレンタルなど包括
20	2月14日(月)	NiU新西交流棟PROJECT第5回ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ【49人】	・時所 18:30～20:30　ｸﾞﾙｰﾌﾟｽﾀﾃﾞｨﾙｰﾑ ・参加 学生14人、教職員23人、地域12人、 ・内容 3セクションのトライアル期間事業計画 (1) こども交流広場【小見山和子】 4/17(日)午後　親子でボードゲーム (2) スタディラウンジ【西岡潔亮】 5/1(日)かしわ餅作り (3) むすびの会 4/23～29　竹キャンドル作り
21	3月1日(火)	短期宿泊施設賃貸借契約	・契約者 新見市内業者 ・期間 R4(2022)年4月1日～R5(2023)年3月31日 ・数量 3室
22		えきよこ駐車場賃貸借契約	・契約者 新見市内業者 ・期間 R4(2022)年4月1日～R5(2023)年3月31日 ・数量 5区画
23	3月4日(金)	NiU新見駅西サテライト整備工事総合定例会【第2回】	・時所 9:30～11:00　現場事務所 ・参加 学長、副学長、局長等11人 ・内容 施行状況確認、サイン等検討
24	3月31日(木)	NiU新見駅西サテライト駐車場使用許可申請【R4.4.1】	・所在地 西方463-4【新見市所有】 ・面積 800㎡【使用料免除 0円】 ・許可 R4.4.1 新総管第17号許可

8) 重要指標

◎令和 3(2021)年度重要指標

No.	日　付	項　目	内　容
1	4月1日(木)	大学センター体制変更	・設置 学生生活支援センター ・変更 修学・キャリア支援センター ・既設 保健管理センター、教育支援センター、地域共生推進センター ・新学生生活支援センター長　栗本教授 ・新修学・キャリア支援センター長 渡部准教授
2		学生課、教務課分離	・理由 主講義場所移動対応、学生支援強化 ・移動 教務課 地域共生推進センター棟1階 学生課 本館1階、地域共生推進センター2階
3		民間派遣職員勤務開始	・派遣元 (株)キャリアプランニング ・人数 5名(業務拡大対応) ・配属課 学生課4名、教務課1名
4	5月1日(土)	学生数(学校基本調査) 【 650人 】	650人 ← 516人(対前年度＋134人＋26.0%) 保育 157人、看護 314人、地福 163人 大学計 634人、助産学専攻科 6人、大学院 10人
5		教員1人当たりの学生数 【 8.6人／教員】	(1) 教員数　75人、事務職員数 13人 (2) 学生数 648人(休学者2人を除く通学者数) (3) (2)÷(1) 8.6人 ← 7.6人 (+1.0人+13.2%)
6		県内出身学生数 【 149人、23.5% 】	・全大学生数 634人(37道府県)中国5県50.5% ①岡山 149人(23.5%)、②兵庫 71人(11.2%)、 ③広島 67人(10.6%)、④愛媛 58人(9.1%)
7		市内出身学生数 【 40人、6.3% 】	・岡山県内　149人(19市町村) 下記4市 74.5% ①新見市 40人(26.8%)、②岡山市32人(21.4%)、 ③倉敷市 30人(20.1%)、④総社市10人(6.7%)
8	6月23日(水)	独自授業料減免額利用率【 24.7% 】	(1) 減免額決定 3,888千円 (12人 内全額 4人) (2) 上限額設定 15,747千円(想定授業料 5%) (3) (1)÷(2) 24.7% 差額 11,859千円学生支援
9		授業料納付猶予 【 3人 】	・人数 3人 ← 4人(▲1人▲25.0%) ・異動 前期 3人、後期 3人 ・適用率 0.5% ← 0.8%(▲0.3Point)
10	7月14日(水)	ふるさと育英奨学金給付決定【 24件 240万円 】	・内容 給付型奨学金(ふるさと納税充当) ・件数 24件 ← 15件(＋60.0%) 内訳 新規11人　継続13人
11	8月3日(火)	交付税単位費用 【 1,668千円 】	(1) 単位費用 1,668千円 ← 1,721千円(▲3.1%) (2) 算定学生数 650人 ← 516人(＋8.4%) (3) 需要額 1,084,200千円 ← 888,036千円 ＋196,164千円(＋22.1%) ﾄｯﾌﾟﾗﾝﾅｰ方式導入最終年による単位費用減、学生数の増加で大幅増加
12		現年度運営交付金対基準財政需要額指数 【 0.814 】補正前	(1) 基準財政需要額 1,084,200千円 (2) R3大学運営費交付金額 882,465千円 (3) 指数 (2)÷(1) 0.814 ← 1.044(▲0.230) (4) 留保額 (1)－(2) 201,735千円 (5) 留保率 (4)÷(1)×100 18.6% (6) 対前年度市の留保増減額 ＋241,221千円

No.	日　付	項　目	内　容
13	8月27日(金)	特別入学者選抜試験(助産学専攻科) 【 倍率 1.7倍 】	・募集 3人 ・応募 5人 ・倍率 1.7倍 ・状況 学内完結
14	9月21日(木)～ 12月16(木)	「防災士」取得者数 【 129人、67.2% 】	・在籍者数 192人 ・うち防災士取得者数 129人 ・取得率 67.2%・保育 40人(71.4%)、 看護 42人(50.6%)、地福 47人(88.7%)
15	9月21日(木)～ 9月29(木)	「地域防災論」、「地域防災演習」受講	・2年次生数 154人 ・うち受験者数 130人 84.4% ・2年次合格者率 99.2・保育97.6%、 看護 100%、地福 100%
16	9月25日(土)	大学院入試【社会人特別枠】	・時所 10:00～13:30 本館3階 ・募集人数 5人 ・応募人数 3人
17	11月27日(土)	学校推薦型入学者選抜試験(地域福祉学科) 【 倍率 1.9倍 】	・募集 18人 ・応募 35人 ・倍率 1.9倍 ← 2.4倍(▲0.5P) ・地域優先枠 市内 5人、県内 5人
18	12月1日(水)～	NiU駅西交流棟整備事業記念募金募集	・趣旨 ライムアート1点展示(1点ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾄ) ・目標 165万円 ・実績 35件 2,234,000円 ・募集 特定の業者等に対する募集
19	12月20日(月)	新見市12月議会閉会 (補正予算額議決)	・項目 大学運営費交付金 ・金額 118,025千円 ・使途 新見駅西エリア居住棟1F整備等 ・内訳 工事費 90,475千円、設計等 6,600千円、 賃貸料 14,250千円、備品購入費 6,700千円
20		現年度運営交付金対基準財政需要額指数 【 0.923 】補正後	(1) R3基準財政需要額 1,084,200千円 (2) R3大学運営費交付金額 1,000,490千円 (3) 指数 (2)÷(1) 0.923 ← 1.044(▲0.121)
21	1月31日(月)	学校推薦型入学者選抜試験(健康保育学科) 【 倍率 1.1倍 】	・募集 25人 ・応募 28人 ・倍率 1.1倍 ← 1.8倍(▲0.7P) ・地域優先枠 市内 5人、県内 5人
22		学校推薦型入学者選抜試験(看護学科) 【 倍率 2.8倍 】	・募集 25人 ・応募 69人 ・倍率 2.8倍 ← 1.6倍(＋1.2P) ・地域優先枠 市内 5人、県内 5人
23		大学入試地域優先枠 【 市内30人、県内30人】	・保育 市内10(うち推薦5、県内10(うち推薦5) ・看護 市内10(うち推薦5、県内10(うち推薦5) ・地福 市内10(うち推薦5、県内10(うち推薦5)
24	2月4日(金)	一般入試出願 【 前期倍率 2.8倍 】 【 後期倍率 22.3倍 】	・前期 2.8倍(62位/86校) ← 5.4倍(▲2.6P) 保育 3.0倍(3位/10校) ← 4.4倍(▲1.4P) 看護 3.0倍(16位/49校) ← 5.5倍(▲2.5P) 地福 2.4倍(9位/17校) ← 6.3倍(▲3.9P) ・中期 19.4倍(5位/24校) ←26.8倍(▲7.4P) 地福 19.4倍(4位/14校) ←26.8倍(▲7.4P) ・後期 22.3倍(9位/64校) ← 35.8倍(▲13.5P) 保育 14.3倍(3位/ 7校) ← 32.3倍(▲18.0P) 看護 27.0倍(5位/36校) ← 37.8倍(▲10.8P)
25		学部検定料 【 11,662千円 】	(1) 検定料 17千円 (2)納入者数 686人(減免0人) (3) 調定(収納額)(1)×(2) 11,662千円 (4) 対前年度 ▲6,834千円(▲36.9%)

No.	日　付	項　目	内　容
26	2月25日(金)	一般入試(前期) 【 実質倍率 1.6倍 】	・募集 99人・合格 132人 ・受験 215人 ・倍率 215人/132人 1.6倍 ← 3.1倍(▲1.5P) 保育 44人/33人 1.3倍 ← 1.8倍(▲0.5P) 看護 113人/60人 1.9倍 ← 3.4倍(▲1.5P) 地福 58人/39人 1.5倍 ← 3.6倍(▲2.1P) ・報道は、2/19時点で行われた。
27		科学研究費請求人数 【 14人 】	・対象者数 14人 ・金額 11,300千円 ・基板研究(B) 1人 ・基盤研究(C) 13人
28	3月8日(火)	一般入試(中期) 【 倍率 11.6倍 】	・募集 5人・合格 5人 ・受験 37人 ・倍率 37人/5人 7.4倍 ← 11.6倍(▲4.2P) 地福のみ
29	3月17日(木)	年度卒業者数 【 75人 】	・動向 75人 ← 68人(＋7人 ＋10.3%) ・75人(看護64、助産6、大学院5) ・増減理由 保育・地福の4年生大学化3年目
30	3月18日(金)	純大学運営費交付金額 【 967,618千円 】	・対需要額 ▲156,678千円(▲14.5%) ・対象外 国の修学支援分 ・対象内 NiU新見駅西サテライト分含む ・対前年度 +40,096千円(＋4.3%) ・増加要因 NiU新見駅西サテライト整備、 学生数増加対応のための人件費増加
31	3月22日(火)	学割発行枚数 【 1,609枚 2.5枚/人 】	・1,609枚 ←897枚(＋78.7%)86.8%が帰省 ・2年度前 2,208枚の▲599枚(▲27.1%) ・2.5枚/人 ← 1.7枚(＋47.1%)
32	3月25日(金)	修学支援(国)適用額 (授業料・入学金免除) 【 25,623,000円 】	・授業料 25,623千円 67人(前期66人、後期64人) 満額 29人、2/3減免 20人、1/3減免 15人 ・入学金 2,538千円 15人【今年度から1年のみ】
33		入学金納入者 【 201人 】	・納入者数 201人 ← 205人(▲4人▲2.0%) ・保育 54人(＋1人)、看護 85人(±0人)、 地福 53人(▲5人)、助産 6人(±0)、 院 3人(±0人)
34		入学金収納額 【 54,275,600円 】	・大学・院(市外) 282,000円(市内) 188,000円 ・助産 (市外) 169,200円(市内) 112,800円 ・市内 大学・院 16人、助産4人 計 20人
35		大学入学辞退率 【 9.9% 】	(1) 合格者数 213人 (2) 入学辞退者数 21人 (3) 辞退率(2)÷(1) 9.9% ← 10.5%(▲0.6Point) 内訳 保育 10.0%、看護 6.6%、地福 14.5%
36		看護学科系国家試験合格率(看護9期生) 【 100% 】	・看護師 62名(100%) 第111回全国(91.3%) ・保健師 17名(100%) 第108回全国(89.3%) ・助産師 6名(100%) 第105回全国(99.4%)
37	3月31日(木)	次年度当初教員数 【 76人 】	・増減 ＋1人 76人 ← 75人(＋1.3%) ・要因 地域共生推進センター研究員増員 【理事3名含む】
38		次年度一般事務職員数 【 14人 】	・専属雇 3人 局長1人、総務課1人、学生課1人 ・市派遣 11人 総務課 4人、学生課 3人、 教務課 4人

No.	日　付	項　目	内　容
39	3月31日(木)	次年度期間雇用・民間派遣・委託駐在職員数【 専門事務職員 37人 】	・総務課 7人(図書館含む) ・学務課 17人(保健室、地域共生推進C等含む) ・教務課 13人(にこたん、教育支援C含む)
40		次年度職員総数 【 127人 】	・教員 76人(学長、副学長を含む) ・一般 14人(市派遣11人、プロパー3人) ・専門 37人(期間任用25人、派遣7人、委託5人)
41		退職手当引当金額 【 268,127,776円 】	・対象人数 67人 ← 59人(＋8人 ＋13.6%) ・平均年齢 49.7歳 ← 48.9歳(＋1.6%) ・増減 ＋23,107,303円＋9.4% 定年延長等人数
42		就職率 【 100% 】	・看護 61人、助産 6人計67人・実績 国公私大学病院等看護師44人(65.7%)、自治体保健師14人(20.9%)、進学8人(11.9%)、企業2人(3.0%)
43		次年度入学生数 【 201人 】	・人数 201人 ← 205人(▲4人、▲2.0%) ・保育 54人(+1人)、看護 85人(+1人)、 地福 53人(▲6人)、助産 6人(±0人)、 院 3人(±0人)
44		次年度当初在籍学生数 【 770人 】	770人 ← 650人(対前年度＋120人＋18.5%) 保育 210人、看護 335人、地福 212人 大学計 757人、助産学専攻科 6人、大学院 7人 大学(助産、院)を除く 756人中 ・市内 51人(6.7%) ・県内 197人(26.1%) ・中国5県 383人(50.7%) ・男性 163人(21.6%)
45		年度末学生数 【 645人 】	・年度当初増減 ▲5人・休学 2人・留年 2人 ・超過 ＋30人(対定員) 保育＋6、看護＋14、地福＋9、助産+1、院±0
46		授業料収納率 【 100% 】	(1) 調定額 308,920千円 (2) 収納額 308,920千円 (3) 収納率 (2)÷(1)×100 ＝ 100% (4) 対前年度増減 +88,677千円(＋40.3%) (5) 学生1人当たりの実質納付額(国減免含む) (1) ÷ 650人 ＝ 475,262円/年 (6) 定額 大学 486,000円/年、院 535,800円/年
47		ホームページアクセス数 【 1,214,857件/年 】 【 3,328件/日】	・件数 1,214,857件 ← 792,858件(＋53.2%) ・最大件数月 1月 196,498件(＋37.8%) ・最大伸率月 4月 ＋207.6%増(＋74,048件) ・分析 オープンキャンパス時点での注目度が大入試に直結。動画のホームページアップや高校へ説明活動が重要。
48		大学等紹介動画公開数 【 20 本 】	・主な内容 大学・学科の概要説明、学長メッセージ、大学紹介、授業風景、発表会など ・公開本数 20本 ← 27本(▲7本▲25.9%)
49		年度中新見市ふるさと納税(大学支援分)件数 【 116件 】	・件数 116件 ← 53件 ＋63件(＋118.9%) ・金額 2,894,000円 ← 2,050,100円 ＋843,900円 (＋41.2%)
50		SA制度実績 【 33人 2,104時間 】	・適用 地域共生推進センター ・上限 31,104時間の 6.8% 36,167円/人(平均) ・比較 2,104h←462h(+1,642h +355.4%)
51		年度末積立金 【 277,810千円 】 うち修学支援事業基金 【 60,436千円 】	・R2承認＋112,156千円 ・処理 +3,047千円 ①授業料5% 15,446千円、②減免▲3,880千円、③奨学金▲2,400千円、④学生支援▲1,431千円、⑤SA賃金▲1,830千円、⑥給付金▲2,850千円

9. 巻末資料

1）授業評価

健康科学部　副学長

氏　　名 担当科目	評価・結果とコメント・改善点
小田　慈 ① 子どもの保健 ② 小児の健康と疾患 ③ 健康科学１，健康科学Ⅲ，健康科学Ⅳ ④ 病弱者の心理・生理・病理 ⑤ 重度・重複障害者教育総論 ⑥ 新生児・乳幼児学	①健康保育１年生に対する授業で、医療に対する認識を深めていた。②看護学科学生の小児疾患の知識・理解を深めていた。③1、Ⅲ、Ⅳは健康科学部１年生共通科目であり、将来の保健・福祉・医療・保育専門職を目指す学生に対して、医療的知識を持つことの重要性についての興味と認識を深めていた。④病弱者の保育についての認識と、医療的知識を深めていた。⑤通常の保育を超えた、重度障害児への対応の理解を深めていた。⑥助産学専攻生の授業であるが、回答数は０（受講学生６人）であった。 コメント・改善点：①は 15 コマすべてを担当している。受講学生は健康保育学科１年生であり、本学が重要視している“子ども発達支援士”育成のための医学的知識を身に着ける授業である。従って、わかりやすく、興味をもって知識を身に着けることができるよう、今後も対話形式を重要視し、授業を行っていきたい。他の授業はすべてオムニバス形式で授業を担当しているが、学生が自分自身で興味をもって、それぞれが目指す専門職が持つべき医療的知識を認識し、そして得ることができるよう、対話を重視し、よりわかりやすい授業となるよう、日々、心がけていきたい。回答率が低い授業については、学生への回答への啓発を行う。

健康科学部　健康保育学科

氏　　名 担当科目	評価・結果とコメント・改善点
岡本　直行 美術 にいみ地域協同演習 にいみの保健医療福祉 図画工作Ⅰ 図画工作Ⅱ 基礎ゼミナール 卒業研究Ⅰ・Ⅱ	ほとんどの質問項目において、「非常にあてはまる」「まあまああてはまる」の評価を得た。特に、「授業の到達目標の達成」や「授業内容の理解」「授業内容とシラバス記載内容の合致」「授業の満足度」は評価が高い。「授業のための事前学習・事後学習の時間」「授業のための事前学習・事後学習への指示」は評価が低かった。 評価の低い項目の改善のため、授業内容の振り返りを行う課題の設定や、次回の授業内容に関する事前学習の周知等を適切に行うように努める。
斎藤　健司 保育内容「環境」 保育内容「環境」の指導法 生命活動と代謝 自然科学Ⅰ 自然科学 II 生活	全体的に概ね良好な評価を得た。 板書をする講義は理解しやすいと好評であった。授業進度が適していて、また高校と変わらないスタイルで学びやすかったようである。 外部講師を招く授業は、様々な刺激を受けて勉強を進めるモチベーションになっているようである。 自然体験や農業体験など体験活動を含む授業は、実践的で今後に活かせると好評であった。 遠隔授業を行った授業回は年間で 3 回であるが、いずれも混乱することなく学べたようである。

松本　好生 知的障害者の心理 肢体不自由者の心理 病弱者の心理 重度・重複障害者教育総論 発達障害者教育総論 基礎ゼミナールＢ 卒業研究Ⅰ・Ⅱ 特別支援教育実習指導	全体的に概ね良好な評価を得た。 講義科目については、ほとんどを対面授業で実施したが、一部の内容をディスカッションなどの時間を設けることで内容をより深めることができた可能性もあり、この点は改善すべき点としたい。ほとんどの学生が、到達目標を達成できるよう熱心に授業に取り組んでいるようであり、障害に関するイメージ化が基礎知識を深めるカギとなるので、さらに分かりやすい授業にするための工夫を重ねたい。 実習指導は次年度本格化するが、授業案だけは実習先で模擬授業として必ず求められるので早めに手順を理解させたいと考えている。
梶本　佳照 ICT リテラシーⅠ ICT リテラシーⅡ 自然科学Ⅰ 生活 教育方法・技術論	学生からは「真剣に授業に臨んだ」、「わからないことを質問したり調べたりして、その解消に努めた」、「この授業の到達目標を達成できた」、「この授業の内容がよく理解できた」、「今後の学習活動や人生に生きる」の項目に対して、4 段階中 3 段階以上の回答を得た。この結果から授業内容や授業の進め方については、学生の実態に合っていたと考える。しかし、事前・事後学修の割合が少ないので、予習と復習の内容の指示をより具体的に行うとともにその結果が授業に反映されるようにし、事前・事後学修の割合が多くなるように改善していきたい。
髙月　教惠 保育原理，教育学総論 保育・教育課程論 保育内容総論 幼児理解の理論及び方法 乳児保育Ⅱ 保育実習指導Ⅰ(保育所)･Ⅱ 保育実習Ⅰ（保育所）・Ⅱ 卒業研究Ⅰ・Ⅱ	全体的に概ね良好であったが、昨年度と同様、授業評価の回答率が低かった。今年度は授業の最後に学生に呼びかけたが効果はなかった。来年度は最後の授業時に授業評価の時間を設ける必要があると考えている。昨年度同様アクテイブラーニングを取り入れた科目の評価は高い。保育原理や教育学総論の理論科目はやはり理解が難しい様子が窺われたので、定期的に授業の終わりに小感想や質問を求め、理解できていない箇所は繰り返し説明した。そのためか今年度の授業評価に学生の学習意欲が感じられた。この効果を来年度も生かしたい。
八尋　茂樹 社会福祉 社会的養護 子育て支援	2018 年からアクティブラーニングの視点から、授業の活性化を意識的に目指して取り組んできたが、コロナ感染防止対策の影響で、動きのある授業にする工夫がほとんどうまく機能しなかったと感じ、その点で学生たちの理解をスムーズに支援できなかった。また、グループワークも時間を少なくしたり、対面を避けながら行ったりしたことが、授業を受けた際の充実感を学生から奪ってしまった。来年度はコロナ禍に影響されないような授業活性化の工夫を考えていきたい。
芝﨑　美和 保育の心理学 子ども教育心理学 子ども家庭支援の心理学 保育内容「人間関係」 教育心理学 子ども理解の理論及び方法	ほとんどの科目において、概ね高い評価が得られた。 授業に対する姿勢や達成度、教材の使用などについては、講義科目、演習科目共に評価が高かった。一方で、事前事後学習にかける時間については、学生によって評価が分かれた。課題の示し方を工夫するなどして、事前事後学習に関する学生間の差異を埋めるようにしたい。

渡部　昌史 スポーツ実習Ａ（共通） スポーツ実習Ｂ(保) 生涯スポーツ論（共通） 保育内容「健康」(保) 保育内容「健康」指導法(保) 基礎ゼミナールＢ(保) 総合研究Ⅰ（保） 総合研究Ⅱ（保）	一般教養科目ならびに専門科目において、昨年度より自由記述が多い傾向であった。全体的に学生の回答ならびに自由記述においては、特に問題はなく、学生は授業目的を理解して、授業に取り組んでいたと推察された。しかしながら、スポーツ実習Ｂの「総合的に判断して、この授業に満足した」の質問において、「全く当てはまらない」と回答している学生が１名いた。よって、今一度、授業内容と説明を見直して対応していきたい。
広瀬 綾子 保育内容「表現」(身体表現) 保育内容「表現」(身体表現）の指導法 基礎ゼミナール 卒業研究Ⅰ・Ⅱ 道徳教育の理論と実践（看） 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法（看）	ほとんどの質問項目において「非常にあてはまる」「まあまあてはまる」との回答を得た。実技を主体とする授業科目については、理論的側面の学びを補うべく、オンデマンド授業を効率的に取り入れるなどの工夫を新たに試みた結果、学生たちからは好評であった。「学び報告会」では、毎年、学生たちが「保育内容「表現」(身体表現）の指導法」を取り上げることからも、学生たちの心に残る授業であったと考えられる。看護学科の科目についても、受講学生の興味・関心を引き出し、学生が主体的に取り組めるような授業展開を心がけた。次年度も引き続き、授業構成や講義内容の学生への定着・浸透を図れるよう、尽力したい。
加藤　由美 保育者論・保育内容総論 教育実習指導・教育実習 保育方法論 チームアプローチ演習 基礎ゼミナールＢ 卒業研究Ⅰ・Ⅱ	コロナ禍のため、昨年度と同様に感染防止対策を講じながら、可能な範囲でグループワークや実践的な活動を取り入れた授業を行った。学生の評価については科目によって差が見られ、回答率が低く正確な評価が難しい科目もあった。個々の授業に対する学生の意見や要望について検討した上で、今後の取り組みに反映させるとともに、授業への満足度を高めることができるよう、授業内容や進め方を工夫していきたい。
立浪　朋子 特別支援教育論 特別支援教育 障害児教育の教育課程および指導法とその歴史 子ども家庭支援の心理学 特別な教育的ニーズの理解とその支援 特別支援教育（幼・保）Ⅰ 特別支援教育（幼・保）Ⅱ 基礎ゼミナールＢ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	概ね「非常にあてはまる」「まあまあてはまる」の回答を得たが、「特別支援教育(幼・保)Ⅱ」については回答率が低く、今後はより授業評価の回答を促したい。「特別支援教育総論」では自由記述や授業後のコメントで、自分に何ができるか考える機会となった、受講前は特別支援教育に興味がなかったが受講後はもっと知りたいと思うようになったと書いてくれるなど、熱心に受講してくれた学生に感謝したい。今後はまだ学生の意欲が高いとは言えない事前事後学修の改善に向け、知的好奇心を刺激する課題の提示および教材・資料の準備に努めたい。

本渡　葵 国語表現法Ｂ 国語表現法Ｃ 国語 保育内容「言葉」 保育内容「言葉」の指導法 地域防災論・地域防災演習 基礎ゼミナールＢ 卒業研究Ⅰ・Ⅱ	「国語表現法Ｂ,Ｃ」では、小学校以降高校までに修得した文章表現や語句等を、実生活に結びつけて捉え直すことができたとの回答が多数あった。昨年度同様、授業での学びをアウトプットする場の設定に努める。 「国語」では、原田先生が 10 回、本渡が 5 回を担当した。「古代から近代の様々な文学」について「2 人の先生方の教え方は違ったがどちらとても面白かった」との回答が多数あった。これからの大学生活を通して、文学作品に親しむ動機づけになったと受け止めている。 保育内容「言葉」、保育内容「言葉の指導法」に関しては、「授業の事前・事後学修の指導」が不足しているとの回答を得たため、次年度は授業内容との関連を具体的に示したうえで、事前・事後学修の指導をおこなう。
竹下　可奈子 音楽 音楽Ⅰ（基礎音楽） 音楽Ⅰ（幼児音楽Ⅰ） 音楽Ⅱ（幼児音楽Ⅱ） 音楽Ⅲ（幼児音楽Ⅲ） 基礎ゼミナール 卒業研究Ⅰ・Ⅱ	多くの項目で「非常にあてはまる」「まあまああてはまる」の回答割合が高く，おおむね良好な評価を得たと考えている。自由記述欄において実践的な内容に対する肯定的な意見が複数見られたため，今後も学生が能動的に参加できるよう授業を工夫したい。 一方で，「授業のための事前学修・事後学修」項目では「30 分未満」「全くしなかった」の回答割合がやや多かったため，予習・復習の設定や指示を充実させたい。また，実技レッスンの公平性の担保を希望する声があったため，その点について十分配慮したい。
久恒　拓也 教職基礎論 教育原理 基礎ゼミナールＢ 教育学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	「非常にあてはまる」「まあまああてはまる」の回答割合がほとんどであり、概ね良好な評価を得たと理解している。 昨年度課題であった「授業のための事前学修・事後学修への取り組み」が十分でないという回答傾向についても、学修時間数が多少伸びており、予復習の設定や指示を充実させた効果が出たと推察される。一部の科目では、グループワークに対する満足感が得られていたコメントがあり、次年度も同様に満足感を得られるよう実施を行いたい。
入江　慶太 乳児保育Ⅰ 保育実習Ⅰ（保育所） 保育実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 実地体験実習 基礎ゼミナールＢ	授業評価としては概ね高い評価を得た。主担当の「乳児保育Ⅰ」では、「子どもの発達段階を細かく学べた」という授業内容に関することと、「重要なことは何度も繰り返してくれた」「グループワークで様々な意見に触れた」「リフレクションシートのやりとりで先生と対話できた」などの授業方法に関するコメントもあった。 今年度のような分かりやすさや双方向性を確保しつつ、やや少なめであった事前・事後学習にも意識を向けさせ、保育についての学びをさらに促す授業展開を来年度の課題としたい。

高橋　彩 知的障害者教育方法論 特別支援教育（幼・保）Ⅰ 特別支援教育（幼・保）Ⅱ 知的障害者教育課程論 発達障害者教育総論 基礎ゼミナールB 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	いずれの授業においても「非常に当てはまる」「まあまあてはまる」という回答が多く、概ね良好な評価を得たと考える。特に「知的障害者教育課程論」については特別支援学校の様子を視聴覚教材や具体ケースを元に紹介したため、実習等に結び付けることができた学生もいた様子であった。 ただ、いくつかの科目では回答数が少なかったため、来年度は授業評価アンケートへの回答呼びかけを徹底したい。また、「特別支援教育（幼・保）Ⅱ」に関して、他の授業よりも評価が低い傾向が見られたため、演習をより積極的に取り入れる等、授業改善に努めたい。
松島　英恵 子ども家庭支援の心理学 基礎ゼミナールB ※以下は補助的立場で担当 保育・教育課程論 乳児保育Ⅱ 保育実習指導Ⅰ・Ⅱ 保育実習Ⅰ・Ⅱ	保育現場における子どもや保護者に関するエピソードを伝え、保育について具体的に考えられるようにした。学生のコメントからも、実際の事例を用いることで、子どもや保護者に対しての支援を学べたことがわかった。今後も保育現場経験を活かし、具体的な事例を授業に取り入れ、学生自身が主体的に保育について考える場を設けるなどの工夫をしていきたい。
福武　幸世 表現技術 スポーツ実習B(看/地) 基礎ゼミナールB	全体的に概ね良好な評価を得た。コロナ禍においても、必要な対策を講じながら全授業を対面で行うことができ、身体の動かし方を学びながら、交友関係を広げることができたとの意見が得られた。 表現技術に関しては、大学HPの広報やフリーペーパーなるたきの特集に取り上げていただき、授業の様子を紹介することができた。しかし、撮影等が多くなり、学生に負担をかける点があったと思われる。今後は、学生がのびのびと自己の能力を発揮できるよう授業を展開していきたい。

健康科学部　看護学科

氏　　名 担当科目	評価・結果とコメント・改善点
上山　和子 小児看護学概論 小児看護学援助論 小児看護学実習 看護生涯教育論 継続看護論 卒業研究１・Ⅱ 基礎ゼミナール チームアプローチ演習	小児看護学概論、小児看護学援助論、小児看護学実習とも少人数であるが、学生からの授業評価はおおむね良好であった。一方、小児看護学概論、小児看護学援助論では、事前学修への取り組みが低いため、学修への動機づけを高める工夫が必要と考える。小児看護学実習では、コロナ禍での実習であり、学外実習で十分体験できない内容を事例を活用したシミューレーション学修との組み合わせにより、理解度を高めた。看護生涯教育論では、授業の満足度は高かった。チームアプローチ演習は、3 学科共通科目として多職種連携・協働について事例を用いたグループワークでの展開方法をさらに工夫する必要があった。
金山　時恵 にいみの保健医療福祉 公衆衛生看護学概論 健康教育論 公衆衛生看護活動展開論 保健医療福祉法制 地域保健指導論Ⅰ(基礎) 公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ 卒業研究Ⅰ・Ⅱ他	回答数が少ない状況のなか、主担当科目の授業評価は概ね良好であった。科目によっては、「事前・事後学修の提示」「授業内容の理解」が高い傾向にあった。小テストを実施することで理解に繋がったとの意見もみられた。一方で、質問への回答が不足していた科目もあり、今後は丁寧に回答していきたい。にいみの保健医療福祉は 3 年目となる共通科目であるが、新見市の保健医療福祉について理解が深まったなど概ね高い評価を得た。今後も、具体的な学修の提示を行い、自己学修につながりやすい工夫をしていきたい。
原田　信之 文学（看/地） にいみの文化（看/地/保） 基礎ゼミナールＡ（看） 国語（保） 国語表現法Ａ（看）	毎回多数の課題を提出させるなど、受講生自身が積極的に学習するように工夫した。学生からの授業評価はおおむね良好であった。課題はテキストデータで提出させたので、手書きより読みやすいという利点があった。しかし、だんだん締切に遅れがちの学生が目立ってきたので、締切を守らせるための方法を工夫したい。学生が勤勉に課題を提出してくれた結果、講義の最初と最後を比較すると、多くの受講生の文章力は確実に向上した。講義内容に関しては、さらに充実させていきたい。
土井　英子 基礎看護学概論 看護過程論 健康生活援助技術論 療養生活援助技術論 健康障害援助技術論 卒業研究Ⅰ・Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ他	基礎看護学概論の回答率は 100%であり、すべての項目において高評価であった。看護の役割が理解できたと自由記述があった。グループワークやリフレクションにより理解が深まる授業を実践したい。 援助技術論に関する科目は、ほとんどの項目において高評価であった。シミュレーターを活用した演習を今後も継続したい。看護過程論、基礎看護学実習においても、実際に臨床の場での学びが得られており、継続して学生からの相談しやすい環境で授業を実施したい。

木下　香織 老年看護学概論 老年看護学援助論 老年看護学実習 生活支援看護学実習 卒業研究Ⅰ・Ⅱ 臨床コミュニケーション論 地域ボランティア活動 他	いずれの科目も概ね良好な評価を得た。コロナ禍のため感染予防に配慮して計画した演習について「学習の機会を守ってもらえた」とコメントがあり、演習方法の工夫の成果がうかがえた。授業開始時にミニテストを実施している科目でも、事前・事後学修に取り組めていない学生もいるので、引き続き主体的な学修を促していきたい。老年看護学実習では全面的に学内演習、生活支援看護学実習はサテライト・デイの活動時間の短縮と活動内容の工夫が求められたが、回答は少数ながら、どちらの実習も全般的に良好な評価であった。
矢庭　さゆり 地域ケアシステム論 保健医療福祉行政論 公衆衛生看護学概論 地域保健指導論Ⅰ（基礎） 地域保健指導論Ⅱ（応用） 公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ 卒業研究Ⅰ・Ⅱ他	主担当科目「地域ケアシステム論」「保健医療福祉行政論」ともに高評価であった。特に「自身の到達目標の達成」「教材の適切性」「到達目標の明確さ」「教員の質問・相談に応じる姿勢」「教員の意欲的取り組み」「総合的授業への満足」が高かった。「保健医療福祉行政論」は、改正を含めた法律に基づく制度理解が必要である。随時小テストを行い知識の記憶強化を目指した。全体的に授業評価への回答数が少ないことが課題であり、時間内に回答時間をとる工夫が必要である。今後も学生の到達度・理解度を確認し、主体的に学べるよう取り組みたい。
栗本　一美 在宅看護論 在宅看護援助論 在宅看護実習 継続看護論 訪問看護展開論Ⅰ・Ⅱ 卒業研究Ⅰ・Ⅱ 基礎ゼミナール	全体的に回答数が少なかったが、いずれの科目においても概ね肯定的評価を得た。「現場の人の話が聞けてよりイメージがついた」など、講義の工夫への成果に対する肯定的評価も得た。一方、「事前・事後学修」において、30 分未満の学生もおり、引き続き学修を促していきたい。 在宅看護実習においては、感染状況に応じて学内演習に切り替えながら行ったが、概ね「目標達成ができた」の肯定的評価であった。 今後も学生の理解度を確認しながら主体的に学べるように取り組んでいきたい。
郷木　義子 学校保健 養護概説 健康相談活動 学校救急処置	授業者に対する評価はおおむね良好であったが、事前・事後学修の時間が少なかった。今後はこの点を改善し、保健師、養護教諭に共通する子どもの健康問題の解決のために課題を提示していきたい 養護教諭課程の専門科目で受講生が 8 名である。授業評価回答者も少なく、講義の全体像を把握したものとはいいがたいが、学生からの評価は高いものであった。これは学生の養護教諭に対する意識の高さと関連していると考える。今後はより専門性が追求できる講義を目指していきたい。 学生から評価は高いものであったが、担当している他の専門科目と同様の分析ができると考える。今後は科目の特性としてカウンセリング能力を合わせて学修できる事例を多く取り入れていきたい。 学生からの評価は高いものであった。担当している他の専門科目と同様の分析ができると考える。他の養護専門科目も同様であるが、時に本科目は学校現場を意識し、看護学での学びをつなげていくことを特に意識して講義を展開していきたい。

山田　雅夫 基礎ゼミナール 人体構造学 人体機能学 医学概論 健康科学Ⅱ 英文論文購読 研究特論	人体構造学では総合評価 3.7 点、学生達が粘り強く学修してくれた印象が強い。人体機能学では総合評価 3.6 点、今回から構造学と機能学を両方担当することになった。医学概論は総合評価 3.5 点であった。秋に予定されていた解剖実習見学が、新型コロナ感染症の影響で 2 年続けて中止となったことは残念であった。健康科学Ⅱは 3.4 点、共通科目として概ね十分な成果をあげた。看護学科の学生にとっては、人体構造学・機能学と重複があり、やや退屈な部分があるかもしれない。共通科目選択について、年度初めに説明したい。
礒本　暁子 成人看護学概論、卒業研究ⅠⅡ 成人看護学援助論 A（慢性期） 成人看護学援助論 B（急性期） 成人看護学援助論 C（緩和ケア） 成人看護学実習 A（慢性期） 成人看護学実習 B（急性期） 成人看護支援特論	概論は対面講義で、評価は概ね肯定的であった。小テストの実施によって学修時間、授業内容の理解に一定の効果があった。GW は会場分散し密を避けて実施できた。援助論 B は課題レポートにより学修時間に効果があった。援助論 C は全て対面講義であった。授業内の少人数討議を継続し、理解促進につなげたい。質問感想票への教員コメントが不十分だったため、コメントを丁寧に返すよう留意する。成人看護学実習は感染状況に応じて、学内代替演習と臨地実習を柔軟に組み合わせ実施した。臨地と連携し引き続き実習での学修の保障に努めたい。
矢嶋　裕樹 疫学 医療情報 統計学 保健医療統計学Ⅰ・Ⅱ 疫学調査・疫学演習 卒業研究Ⅱ（実践編） 卒業研究Ⅰ（基礎編）	疫学、医療情報、保健医療統計学Ⅰ・Ⅱの授業に対しては回答者の約 9 割が高い満足度を示すなど、高評価が得られた。その一方、スライド資料とは別に、授業内で取り上げた演習問題のみを集約した資料を作成してほしいとの意見・要望があり、これについては可能な範囲で対応していきたい。また、学生の理解度を促進し、この分野への興味が深まるように、学生が興味を惹くような身近な事例を取り上げるとともに、演習課題に取り組む時間を定期的に設け、学生の到達度・理解度を確認しながら授業を進める。
塩見　和子 成人看護学援助論 A・B・C 成人看護学実習 A 看護生涯教育論/基礎ゼミナール/卒業研究Ⅰ・Ⅱ 成人看護支援特論 療養支援看護学課題演習 特別研究Ⅰ・Ⅱ	担当科目の授業評価は概ね良好であった。主担当科目の講義における小テストは、前回の授業内容の要点について学生自身が理解でき、また、自己学修の取り組み方を振り返る動機づけとなっていたことから今後も継続していきたい。コロナ禍の臨地実習は学内演習に切り替えた時期もあったが、できるだけ臨床を想定した事例展開に取り組めるよう配慮した。今後はさらに、グループワークおよび教員とのディスカッションにより、疾患理解とともに看護展開が深められるよう工夫し、看護観の深化につながる学修支援をしていきたい。
山本　智恵子 健康生活援助技術論 療養生活援助技術論 健康障害援助技術論 看護過程論 救命救急医療論 基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ 卒業研究Ⅰ・Ⅱ他	いずれの科目も学生からの授業評価は、概ね良好であった。援助技術論ではコロナ禍であったが 3 密を避けながら対面の演習を工夫しながら行った。デモストは大学外でも視聴できるように教務システムにアップし、演習前に繰り返し視聴してもらうことで演習時間を有効に活用できた。今年度は技術の振り返りの時間を多くとり、学生同士、意見交換をする時間を組み込み、リフレクションを取り入れるなどより効果的な学修につながったと考える。今後も状況に合わせ、工夫しながら学生の看護技術の向上につながる授業展開の改善を行いたい。

山野井　尚美 精神看護学概論 精神看護学援助論 精神看護学実習 卒業研究Ⅰ・Ⅱ 基礎ゼミナール 保健医療福祉行政論 地域保健指導論	学生からの授業評価は概ね良好で「授業の到達目標の達成や今後の学習活動や人生に生きる」「体験談の紹介なで精神科看護に興味がもてた。」等の肯定的な評価コメントもあった。その反面、「事前・事後学修」の指示が不足しており、課題としたい。 今後は、小テストの導入やグループワークを通じ、精神科を取り巻く課題等について学生が主体的に事前・事後学修に取り組めるよう演習についての工夫を行いたい。また、実習では患者の全体像を捉え、学生自身が自己の課題の明確化に繋がるような内容を強化したい。
真壁　五月 成人看護学援助論A（慢性期） 成人看護学援助論B（急性期） 成人看護学援助論C（がん看護） 成人看護学実習A（慢性期） 成人看護学実習B（急性期） 看護管理，卒業研究Ⅰ・Ⅱ，救急救命医療論，基礎ゼミナール	いずれの教科も肯定的な評価を得た。授業の授業最初にFormsを活用した小テストを行った科目については、授業前・後の学修時間数も１時間以上の者が多く、自己学修を促す効果があったと評価する。また、遅刻・欠席者も公欠以外はほとんどみられなかった。今後は他の教科についてもできるだけ小テストを行い、学修を促していきたい。授業後休憩時間に個別に質問に来る学生が多いため、リアクションペーパーに質問を記載してもらい、次の授業でスライドを準備して説明した。コロナ感染状況に注意し授業内のグループワークを再開したい。
赤田　いづみ 健康生活援助技術論 療養生活援助技術論 健康障害援助技術論 看護過程論 基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ 卒業研究Ⅰ・Ⅱ	すべての科目において学生評価は概ね良好であった。担当する授業では、毎回目標を明確に提示した。援助技術論では技術演習時に学生の疑問やよりよい援助にするための意見を出し合い、共有する時間を設けた。看護過程では、記録用紙の見直しをした。また、カンファレンスや報告の仕方なども入れて、実習にあわせた組み立てにした。次年度は、さらにICTを活用した授業やグループワーク、シミュレーション演習を増やし、学生の理解を促進する授業へと改善していきたい。
丸山　純子 在宅看護援助論 在宅看護実習 救命救急医療論 卒業研究Ⅰ・Ⅱ 基礎ゼミナール	在宅看護援助論の「授業への取り組み」「内容理解」「興味･関心」など概ね肯定的評価であった。本年度、看護過程の講義はオンデマンドでの実施となったため、振り返りの演習を設定し、療養者の生活や家族看護、多職種連携等の在宅看護に必要な視点の強化を図った。在宅看護実習では、感染状況に応じ、学内演習での対応もあったが、動画教材の活用やグループ内での振り返りにて学びを共有することができた。次年度は教材の見直しを行い、より充実した内容に改善していく。
吉田　美穂 健康生活援助技術論 療養生活援助技術論 健康障害援助技術論 看護過程論 訪問看護展開論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ 卒業研究Ⅰ・Ⅱ	すべての科目において、学生評価はおおむね良好であった。技術演習では事前学修が定着し、演習中は学生間で主体的に話し合う時間を設けることができた。さらに、演習後、結果をノートにまとめることで、学生は援助行動の意味付けができたと考える。しかし、振り返り方法の習得には差がみられた。学生が主体的に取り組むためには、自己の技術の振り返りが重要であるため、リフレクション技術の習得に向けた授業内容の改善に取り組みたいと考える。

中川　彩見 地域保健指導論（基礎） 公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ 卒業研究Ⅰ・Ⅱ 救命救急医療論 基礎看護学実習Ⅱ 子ども家庭支援の心理学 子どもの健康と安全　他	地域保健指導論、公衆衛生看護学実習、健康保育学科の科目において概ね高評価を得た。公衆衛生看護学実習Ⅱ(学内実習)は、教員のデモンストレーション、学生同士のロールプレイ、グループワーク等を取り入れた事例演習を行い、適宜視聴覚教材を活用した。学生は、保健活動を具体的に理解することができ、満足度に繋がったと考える。また、他の科目についても、事例演習等を取り入れたことが同様の評価に繋がったと考える。ただし、学修時間が少ない科目もあるため、事前・事後学修の提示など主体的な学修の定着、促進に繋げていきたい。
平田　知子 母性看護学援助論 母性看護学実習 医療情報 救命救急医療論 基礎ゼミナール 卒業研究Ⅰ・Ⅱ	どの科目も授業評価は概ね良好であった。母性看護学援助論では、看護過程と技術演習とに分け、どちらも学べるように時間を確保した。技術演習ではさらに細かいグループに学生を分け、ローテーションを組むことで、どの学生も経験できるように工夫した。短い時間内でも母性看護学特有の技術が体験できるように、演習用の動画を作成して演習開始時に技術や留意点を確認するようにした。授業時間内に終了できなかったことがあり、次年度は演習項目や内容、時間配分について精査しなおし、ICT を活用して授業の質を上げていきたい。
宮武　一江 成人看護学援助論Ａ 成人看護学援助論Ｂ 成人看護学援助論Ｃ 成人看護学実習Ａ・Ｂ 基礎ゼミナール 卒業研究Ⅰ・Ⅱ 救命救急医療論	成人看護学援助論Ａでは授業評価は概ね肯定的であった。授業は対面式で、写真や図表を多く用いイメージしやすい講義資料とした。質問には次回講義時に全体へ提示し対応した。成人看護学実習Ａは学内代替演習と臨地実習を受ける学生がいたことで、学内代替実習の学生へは実際の患者をイメージできるよう日々、患者への援助場面を取り入れ、学生や教員が患者看護師役となり実践に近い形で演習を行った。救命救急医療論では、今年度より救命救急士の講師を招き、急変時の対応について実践的に演習を行った。災害看護では領域毎に災害サイクルに応じた看護が理解できるよう、グループワークを中心とした演習を取り入れた。今後も学生主体とした演習方法を検討したい。
井上　弘子 成人看護学援助論Ｂ・Ｃ 成人看護学実習Ａ・Ｂ 救命救急医療論 卒業研究Ⅰ・Ⅱ 基礎ゼミナール	成人看護学援助論は概ね肯定的評価であった。看護の実際をイメージでき、実践を考えられるように、事例を多く導入した。改善が必要な意見には随時、対応した。救命救急医療論では視覚教材を使用し、緊急の場での対応を段階的な学修とすることで、到達目標を達成できた。コロナ禍での実習となったため、一部は学内での視覚教材を用いた演習を導入した。学生より臨地実習期間の短縮に伴う焦りを感じる意見があったが、到達度を明確にしながら進めた。今後は、学生自身が達成度を意識しながら進めていく方法を考えていく。
多田　めぐみ 健康生活援助技術論 療養生活援助技術論 健康障害援助技術論 看護過程論 臨床看護技術演習 基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ 卒業研究Ⅰ・Ⅱ	すべての科目において「非常にあてはまる」「まあまあてはまる」の回答が多く学生評価は概ね良好であった。コロナ感染症の状況をみながら、対面での授業や演習を行った。オンラインで Teams を活用しグループワープを行うなど工夫した。援助技術論での患者を設定したシミュレーションでは、学生が実践場面を振り返り、学生同士で意見を述べることができていた。学生からは、他者の意見を聞くことで考えを深めることができたとのコメントがあった。さらに学生が主体的に学修できるように環境を整える。

安藤　亮 老年看護学援助論 老年看護学実習 生活支援看護学実習 救命救急医療論 基礎ゼミナール	回答者は少なかったものの、授業評価は概ね肯定的な結果であった。老年看護学実習については現場での実習が困難であり、今年度も様々なメニューを組み合わせた学内演習を実施した。生活支援看護学実習では、時間を短縮しているが十分な準備の下、地域に在住する高齢者とコミュニケーションを図りながら実践を行うことができたと考えられる。今後の課題としては、老年看護学実習の演習内容について、認知症の方への対応等、より実践に即した内容となるよう検討していくことが必要であると考えられる。
西川　由貴子 母性看護学援助論 母性看護学実習 卒業研究Ⅰ・Ⅱ 救命救急医療論 基礎ゼミナール	学生からの授業評価は概ね良好であった。コロナ感染症の状況を拒みながら、母性看護学援助論の授業は対面授業を続け、出席カードに書かれていた学生から質問には、丁寧に応え、次回の授業に繋げた。また、演習のグループ編成を細かくし、看護過程の展開をペーパーペイシェントの事例から実習での看護実践に繋げていけるように、配布資料の工夫をした。病棟実習や学内実習において、授業で学んだこともいかしながら、学べる環境を整えた。今後は、理解が出来ていない学生が、主体的に学修できるように、工夫する必要がある。
長崎　恵美子 精神看護学援助論 精神看護学実習 救命救急医療論 基礎ゼミナール	授業評価は概ね良好であった。援助論ではグループ演習・発表を通して疾患に対する理解が深まっていた。事例から患者の全体像を捉えることで、実習への繋がりができた。実習は日程短縮となったが、実際に患者と関わることで、全人的理解につながった。今後の課題は、事前学修を継続できるような課題提供が必要と考える。
小林　匡美 成人看護学援助論Ｂ 成人看護学援助論Ｃ 成人看護学実習Ａ 成人看護学実習Ｂ 基礎看護実習Ⅱ 基礎ゼミナール 卒業研究Ⅰ	成人看護学援助論Ｂでは授業評価は概ね肯定的であった。写真や動画を活用し、学生がイメージできるように授業を行った。授業後、学生に質問の有無や感想を書いてもらい、質問に対する回答、また授業への改善点があれば改善し、次の授業を行った。成人看護学実習 A,B ともに授業評価は概ね肯定的であった。感染状況により、成人看護学実習 A,B ともに学内演習を取り入れながらの臨地実習、またはすべて学内演習に代替し実施した。成人看護学実習 B の学内代替演習では、実際の患者をイメージできるよう日々患者の情報提示をし、学生や教員が患者・看護師役となり実践に近い形で演習を行った。学生が臨地では取り組むことが難しい実技も学内で経験することができていた。手術室看護についても学内演習にて実践し経験した。今後も授業、実習ともに学生が理解しイメージしやすい内容となるよう取り組みたい。

健康科学部　地域福祉学科

氏　　名 担当科目	評価・結果とコメント・改善点
松本　百合美 認知症の理解Ⅰ 生活支援技術Ⅲ 介護福祉実習Ⅰ 介護総合演習Ⅰ アクティビティ活動 援助法Ⅰ・Ⅱ 基礎ゼミナールC 介護福祉論	全体的にあてはまるの評価が多い。自己学修については時間が短いまたは全くしていないという回答があった。 介護福祉実習Ⅰについては、コロナ禍において感染予防のための行動制限や体調管理・報告を行わせていたが、今後の人生に活かせる・満足度・達成への姿勢など全員が「非常に当てはまる」という回答だった。毎年工夫しつつ修正しつつ作成している教材（事例を作成して配布）についても全員が「非常に当てはまる」という回答であった。
岡　京子 介護福祉論 福祉サービス入門実習 障がいの理解 介護過程総論 介護福祉実習Ⅱ・Ⅲ 介護総合演習Ⅱ・Ⅲ他	今年度は対面授業を実施することができた一方で、学外実習では制約が多く、介護福祉現場での見学・実習が十分できないところを、いかに学内講義・演習で補うかといった課題があった。また、授業において学生の授業参画を期待し、グループワークを多く取り入れているが、複数科目で授業評価「事前学修・事後学修」の項目において、平均学修時間のばらつきが大きい。授業時間にまとめきれず、時間外で集まっている様子を見るが、授業が多い中でどれほどの負担が学生にかかっているのか疑問に感じることもある。一層注意してみたい。
山内　圭 英語Ⅰ（福・看） 英語Ⅱ（保/福･看） 英語論文講読（共通） 国際交流活動（看） 国際ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ（共通） 健康科学英語（共通）	前年度は英語科目のほとんどがオンラインとなったが、本年度は基本的に対面授業ができた。しかしながら発音練習、会話練習や英語での意見交換の討論等は控えるか消極的に行うのみとなった。海外研修が実施できず、国際交流活動、国際コミュニケーションが低調であるが、2022年３月卒業の看護学科の学生たちはコロナ前に積極的に海外に行った学年だったので多くの者が卒業時に単位修得を果たした。海外研修再開の目途は立たないが、海外に行ける時に備えて国内で鍛錬しておくことの大切さを唱えつつ、引き続きよりよい英語教育を目指したい。
山本　浩史 社会福祉の原理と政策Ⅰ・高齢者福祉・共生社会実践演習Ⅰ・Ⅱ・ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・ソーシャルワーク演習Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ・災害ソーシャルワーク・地域防災論・地域防災演習など	概ね学生の満足度、理解度、教材の適切さ等については、特に問題のない評価を受けた。ただし、「教員は、この授業の事前・事後学修をするように具体的に指示した」については、あまりあてはまらない、全くあてはまらないの回答が見られたので、工夫を考えたい。また自由記述に「簡単なテストを作って欲しいですお願いします！」とのコメントもあったが、引き続き適正な試験問題作成に取り組みたいと考える。

和田　美智代 社会保障Ⅰ・Ⅱ/民法概論Ⅰ・Ⅱ/行政書士概論Ⅰ・Ⅱ/社会保険労務概論Ⅰ・Ⅱ/権利擁護と成年後見制度/医療福祉関係法規/基礎ゼミ/入門ゼミ/専門ゼミ	学生の満足度、理解度、教員評価、教材の適切さ等について、概ね満足しており無難な評価を受けた。多くの科目で、配当されている時間数に対する授業内容の多さに困窮する声があった。内容の難易度により、自学自習に頼らざるを得ない部分と丁寧な説明を要する部分を分けるなどの工夫を考えている。一方で、国家試験に対応した標準的テキストを使用しているにもかかわらず、レジュメ・プリントの要求が複数あった。大部の記述から、エッセンスをうまく読み取ることができないと思われる。補助教材の配布を考える。
高杉　公人 地域福祉の理論と方法Ⅰ・Ⅱ，ソーシャルワーク演習Ⅳ・Ⅴ，相談援助の理論と方法Ⅳ，ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ，ソーシャルキャピタルとコミュニティデザイン等	地域福祉の理論と方法や相談援助の理論と方法等の講義科目であっても、グループワークを積極的に取り入れて事例分析やアセスメントを実施した。学生からはグループワークに対して高評価であったが、中には「グループワークが多くてしんどかった」や「模造紙が多すぎる」等の指摘があった。今後は、グループワークが苦手な学生への配慮を行い、模造紙も発表が無い時にはワークシート等の作成に置き換えて資料として整理し易くする配慮を行う。また、グループワークを行う際にはスケジュール管理を徹底する。
八重樫　牧子 ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅲ 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度 子育て支援論 専門ゼミナール	学生の満足度、理解度、教材の適切さ等の評価は概ね良好であった。ソーシャルワーク演習Ⅰ・Ⅲは、コロナ禍ではあったが、少人数のクラス単位でグループワークを実施することができた。特に、演習Ⅲでは 4 つの事例を各クラスで取り上げたが、次年度は 1 事例を取り上げる回数を増やし、事例検討ができるように配慮したい。児童家庭福祉については内容が多いので、重要語句を記入するサブノートを作成し、予習として語句を記入してくるように指導し、理解を深めることができるように工夫した。子育て支援論は施設見学を取り入れ、体験的な理解を深めるようにしたが、次年度も体験学修を重視したい。
小山　正善 行政法Ⅰ 行政法Ⅱ	行政法Ⅰ・Ⅱは、法学教育の上でも専門性の高い科目であり、本学部の地域福祉学科所属学生が学ぶことは、当初から困難が予想された。というのは、他の法学科目で習得する基本的知識がカリキュラム上制約されているからである。そうした基本的知識を補いながら専門教育を進めて行くには、時間が不足しがちで、講義のより効率的・効果的改善を進める必要を痛感した。また、開講の都合から、行政法Ⅰ、Ⅱを後期にまとめて開講したため、受講生にとっては負担が過重となった面があるが、次年度では改めることになった。
井上　信次 社会学 倫理学 入門ゼミナール 医療と福祉の社会学 社会調査演習 社会調査論Ⅱ 社会調査論Ⅴ　等	全体として概ね大きな改善を要するような指摘はなかった。特に社会学、倫理学では、具体例や映像教材を適宜使用した点について評価が得られた。一方、授業目標について明確でなかったという指摘も若干あることから、今後、講義前にその点を強調するようにしたい。また、スライドについて色覚の障害がある学生から、赤字が見にくかったという指摘があった。今後、資料やスライド等について適宜、確認することにより、学生の履修がスムーズに行くように改善をしていきたい。

三上　ゆみ 福祉サービス入門実習、生活支援技術Ⅵ、介護の基本Ⅴ、医療的ケアⅠ、介護福祉論、疾患・障害がある人への生活支援・連携Ⅰ、認知症がある人への生活支援・連携、介護総合演習Ⅲ 介護福祉実習Ⅲ、基礎ゼミナールC、入門ゼミナール 専門ゼミナール	今年度は、対面を基本とした授業が行えた。しかし、授業内の外部講師の償還について一部 WEB を使用しての開講になった。また事業所による介護実習についても 4 週間中残り 1 週間が、コロナの影響により、学内演習に急遽変更となった。「私はわからないことを質問したりして、その解消に努めた」は介護福祉論で、昨年はコロナ禍で個人ワークを中心に行ったものを今年はグループワークに変更した結果、「あまり当てはまらない」が 20%見られたものが今年度は 2%まで改善し、満足度が高かった。
鄭　丞媛 保健医療サービス 国際保健医療福祉政策 中山間地域の保健医療福祉政策 福祉行財政と福祉計画 福祉サービスの組織と経営 社会調査の基礎 社会調査論 1 基礎ゼミナール C 入門ゼミナール 専門ゼミナール	授業満足度、理解度、教材の適切さ等の評価は、概ね良好であった。学生から提出されたコメントや質問に対しては次の授業の冒頭で回答した。重要な点については繰り返し伝えた。実務をイメージしやすいように、保健医療サービスでは在宅医療に従事する医師、中山間地域の保健医療福祉政策では地域づくりを行う自治体職員、社会調査の基礎では地域診断を行う研究者、福祉サービスの組織と経営では会計学を専門とする研究者をゲスト講師として招いた。社会福祉士の指定科目では国家試験対策として過去問題に触れる機会をつくった。受講者数が 20 名程度の少人数の科目ではアクティブラーニングを導入し、授業内でディスカッションや発表の場を設けた。次年度以降も一方的に知識を教授するだけでなく、学生の能動的な学修を促すアクティブラーニングを意識した授業を展開したい。
小松尾　京子 相談援助の基盤と専門職Ⅰ・Ⅱ ｿｰｼｬﾙﾜｰｸの理論と方法Ⅰ 相談援助の理論と方法Ⅱ・Ⅲ ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ演習Ⅲ・Ⅴ ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	学生の満足度、理解度、教材の適切さ等については、特に問題のない評価を受けた。前期の講義科目については、2 コマ連続の授業であり、学生の興味関心を継続するためにも、今後教材の工夫が必要である。事前・事後学修の時間の短い学生が散見されたため、事前・事後学修の内容を明示し、理解を深めるためのポイントや国家試験の問題の活用などを取り入れたい。演習・実習科目では、グループ討論を中心に行うことで、徐々に積極的な発言が見られるようになった。学生の能動的な学修を促す授業展開に努めたい。
松田　実樹 障がいの理解Ⅱ コミュニケーション技術Ⅰ，Ⅱ 生活支援技術Ⅰ 介護総合演習Ⅲ 介護福祉実習Ⅲ ほか	学生からの授業評価は「非常にあてはまる」「まぁまぁあてはまる」がほとんどであり、概ね良好であった。 担当科目全体としては昨年度同様、事前、事後学修の時間が 30 分未満の学生が散見されたが、学修の復習ポイントや理解を深めるための学びのポイントを講義中に伝えたこともあり、やや改善できたように感じる。しかしながら、学生自らが学修を深めるための振り返りや事前の調べ学修等をすることができるよう今後、教授内容と連動させながら取り組める課題も取り入れていきたい。

泉　宗孝 ソーシャルワーク演習Ⅰ～Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ～Ⅲ コミュニティ・ソーシャルワーク実習 障害者に対する支援と 障害者自立支援制度 にいみ地域協働演習 基礎ゼミナールC	学生の満足度、理解度、教材の適切さ等については、問題がなかった。演習については複数教員で担当することによって、事前のミーティング、教材の共有、振り返りなどにより、授業の共通理解に努めたが、演習内容の改善に関するコメントから見ても、今後も学生がわかりやすく演習等に取り組めるように、内容等の改善をしていく必要がある。また、演習に関しては、実習内容との連動を意識した演習内容にする必要性がある。また、演習を苦手とする学生もいるため、導入から身近な事例を用いるなどイメージしやすい教材づくりが必要である。
柳廼　三寛 保健医療サービス ソーシャルワーク演習Ⅰ～Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ～Ⅲ コミュニティ・ソーシャルワーク実習 基礎ゼミナールC	学生からの授業満足度、理解度、教材の適切さ等の評価について、いずれの科目も概ね良好であった。学生のホームワークに関する取り組みについて、学生が意欲的に取り組めるよう具体的な指示と共になぜ必要なのかが伝わるように工夫をしていきたい。また、演習科目については、より実践的な技術習得につながるよう、学生の主体的な参加ができるよう改善を図るとともに、演習への取組が苦手な学生も見えたので、より参加しやすいよう工夫をしていく必要があると考える。
岸本　由梨枝 ソーシャルワーク演習Ⅰ～Ⅴ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ～Ⅲ コミュニティ・ソーシャルワーク実習 共生社会実践演習Ⅰ・Ⅱ ソーシャルキャピタルと コミュニティデザイン 地域防災論・演習	学生からの授業満足度、理解度、教材の適切さ等の評価について、概ね良好との回答であった。学生の学修の取組状況は、科目によりばらつきがみられ、今後は分かりやすく具体的な説明により、学生が主体的に取り組むことができる工夫が必要であると考える。演習科目については、学生が意欲的に参加できる環境づくりや、ソーシャルワークの価値・知識・技術の習得に繋がるよう研鑽に努めたい。その他、授業評価を行った学生が少ない科目がみられた。最終講義の際には、学生へのアナウンスを行い、授業評価者が増えるように促したい。
合田　衣里 福祉サービス入門実習 介護総合演習Ⅰ・Ⅱ 介護過程演習Ⅱ 生活支援技術Ⅱ・Ⅳ アクティビティ活動援助法Ⅰ・Ⅱ 介護福祉実習Ⅰ・Ⅱ 介護の基本Ⅲ 基礎ゼミナールC	前年度にコロナウイルス感染症対応により、実習日程の変更を行った為一部関連の授業は今年度に学年をまたいでの実施となったが、学生からの授業評価は概ね良好であった。また、グループワークを多く取り入れた科目では「意見交換ができて充実していた」とのコメントが見られた。一方で最終日が学外演習となった授業では、授業評価実施者が少なかったため、今後増加するように学生へのアナウンスを積極的に行っていきたい。
長宗　武司 経済学 共生社会実践演習Ⅰ 共生社会実践演習Ⅱ 公共政策論 地方行政インターンシップ 基礎ゼミナールC	授業満足度、理解度等、全般にわたり概ね良好であった。経済学の授業では、スマートフォンアプリやFormsを用いて受講者とのコミュニケーションを積極的に行った。当初は経済学や数学、データ分析に苦手意識を持つ学生も多かったが「経済学のイメージが変わった」といったコメントをいただき、一定の成果があった。共生社会実践演習をはじめ、学外にてフィールドワークを行う科目については、コロナによる影響もあったが、地域の方々のご協力により概ね予定通りに授業を実施でき、次年度はより内容の充実化を図っていきたい。

2）満足度調査

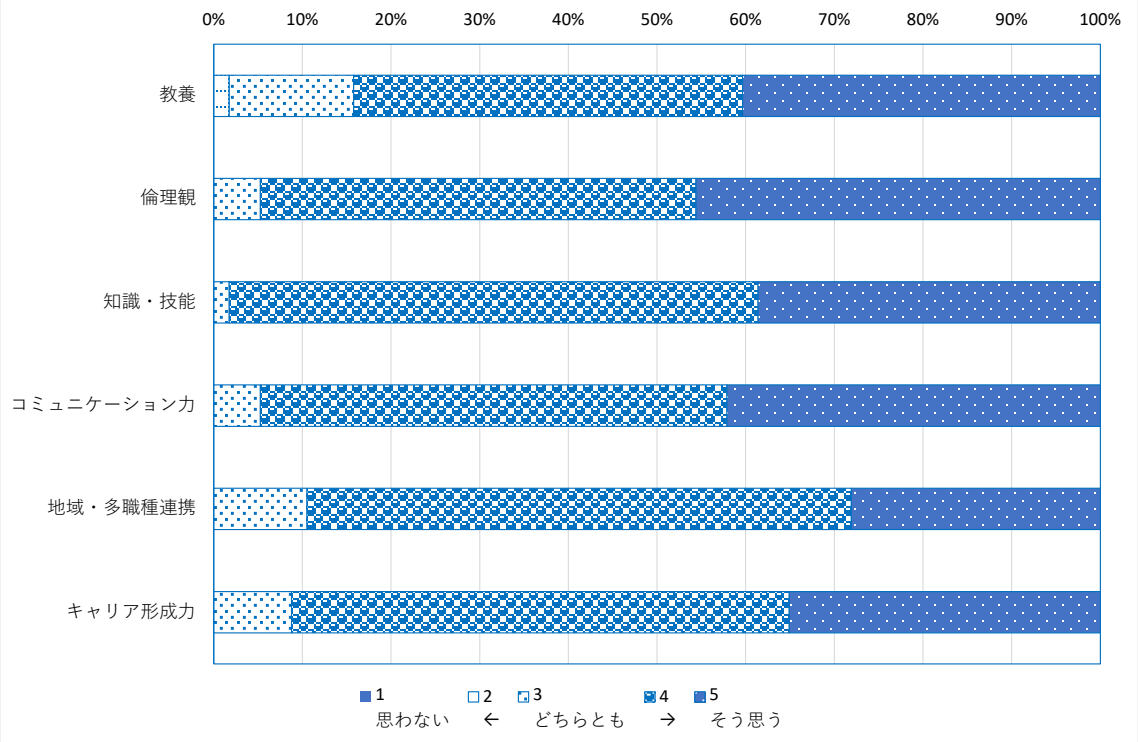
卒業予定者アンケート調査　　健康科学部看護学科　（回答者 57 人）

A　学修成果の自己評価

本学ディプローマポリシー（DP）を示して、項目ごとの学習成果を（1-5）の 5 段階で自己評価を依頼。

中間の 3 を排して、4 と 5 を学修成果達成として達成率を算定。

DP項目	1 思わない	2 ←	3 どちらとも	4 →	5 そう思う	平均	±	標準 偏差	達成率 （４＋５）
教養	0%	2%	14%	44%	40%	4.3	±	0.7	84%
倫理観	0%	0%	5%	49%	46%	4.4	±	0.6	95%
知識・技能	0%	0%	2%	60%	39%	4.4	±	0.6	98%
コミュニケーション力	0%	0%	5%	53%	42%	4.4	±	0.6	95%
地域・多職種連携	0%	0%	11%	61%	28%	4.2	±	0.7	89%
キャリア形成力	0%	0%	9%	56%	35%	4.3	±	0.6	91%



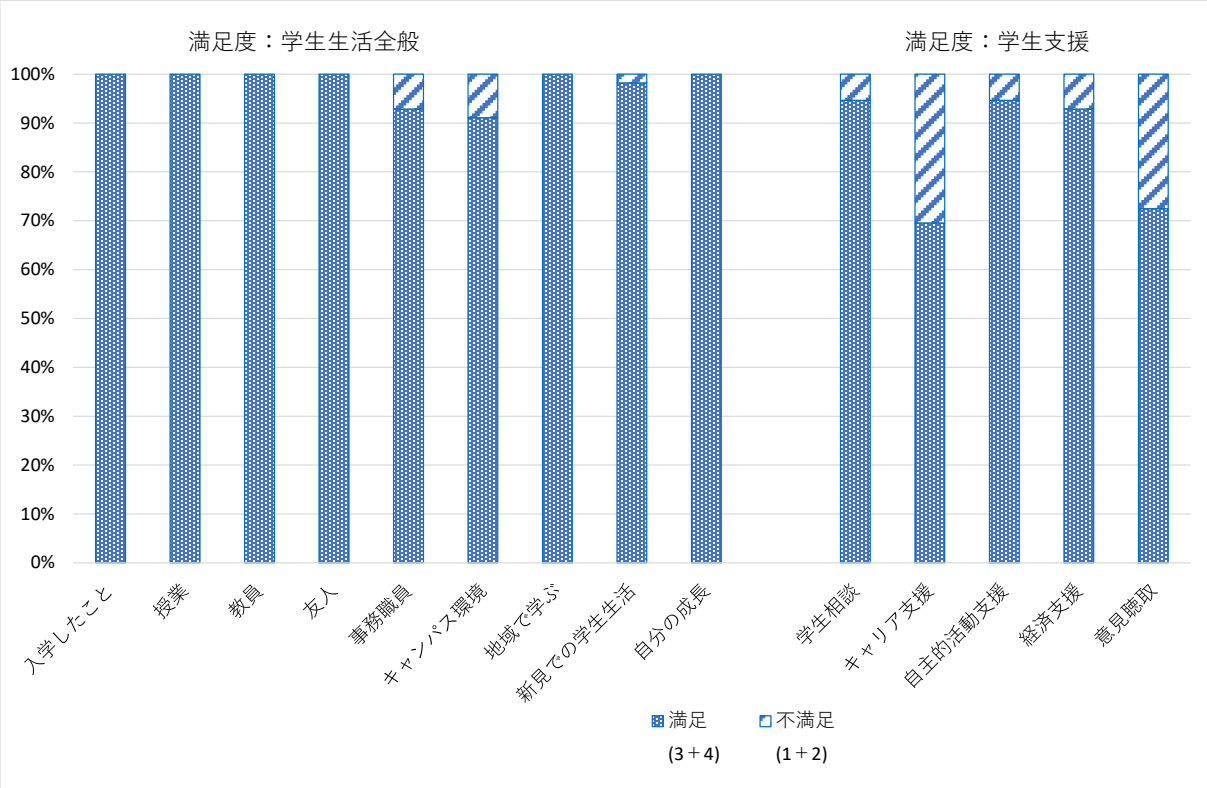
B 満足度：学生成果全般

昨年度までと同様の方法で実施

項目	1 全く不満足	2 あまり不満足	3 まあ満足	4 非常に満足	平均	±	標準 偏差	満足 (3+4)	不満足 (1+2)
入学したこと	0%	0%	21%	79%	3.9	±	0.4	100%	0%
授業	0%	0%	35%	65%	3.6	±	0.5	100%	0%
教員	0%	0%	19%	81%	3.8	±	0.4	100%	0%
友人	0%	0%	12%	88%	3.9	±	0.4	100%	0%
事務職員	0%	7%	14%	79%	3.7	±	0.6	93%	7%
キャンパス環境	0%	9%	50%	41%	3.4	±	0.6	91%	9%
地域で学ぶ	0%	0%	38%	63%	3.6	±	0.5	100%	0%
新見での学生生活	0%	2%	43%	55%	3.6	±	0.5	98%	2%
自分の成長	0%	0%	25%	75%	3.8	±	0.4	100%	0%

C 満足度：学生生活　昨年度から新規実施

項目	1 全く不満足	2 あまり不満足	3 まあ満足	4 非常に満足	平均	±	標準 偏差	満足 (3＋4)	不満足 (1＋2)
学生相談	0%	5%	38%	57%	3.5	±	0.6	95%	5%
キャリア支援	25%	13%	25%	61%	3.5	±	0.8	86%	38%
自主的活動支援	0%	5%	48%	46%	3.5	±	0.6	95%	5%
経済支援	0%	7%	36%	57%	3.5	±	0.6	93%	7%
意見聴取	25%	9%	38%	52%	3.4	±	0.8	89%	34%

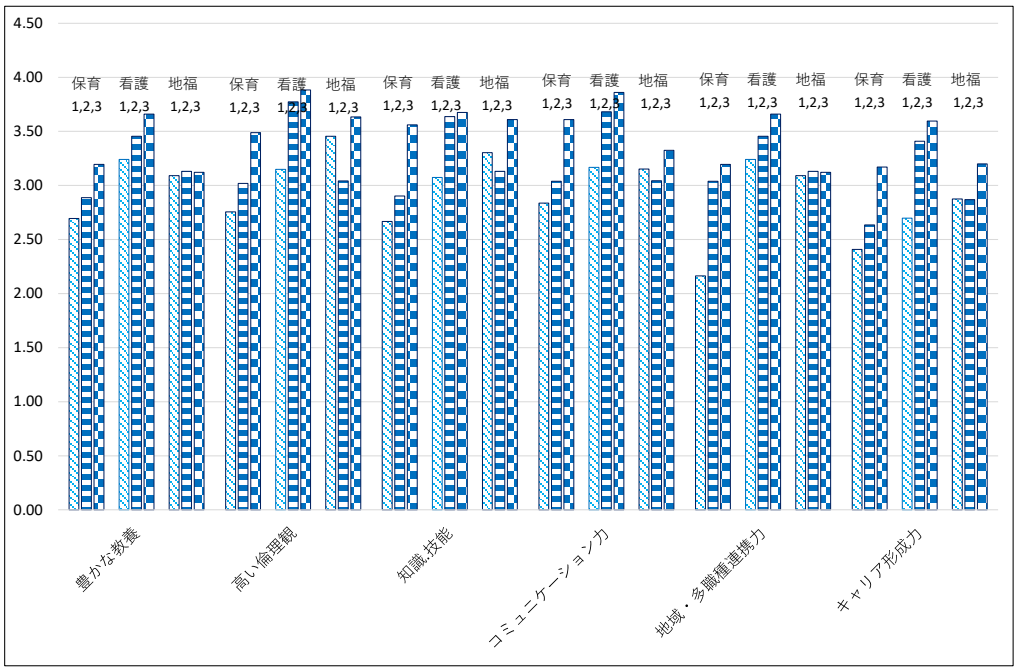


年度末アンケート

A　本学学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー:DP）の達成度（卒業時のレベルを５とした場合）

DP 項目ごとの達成度の平均スコアを達成度スコアとして比較

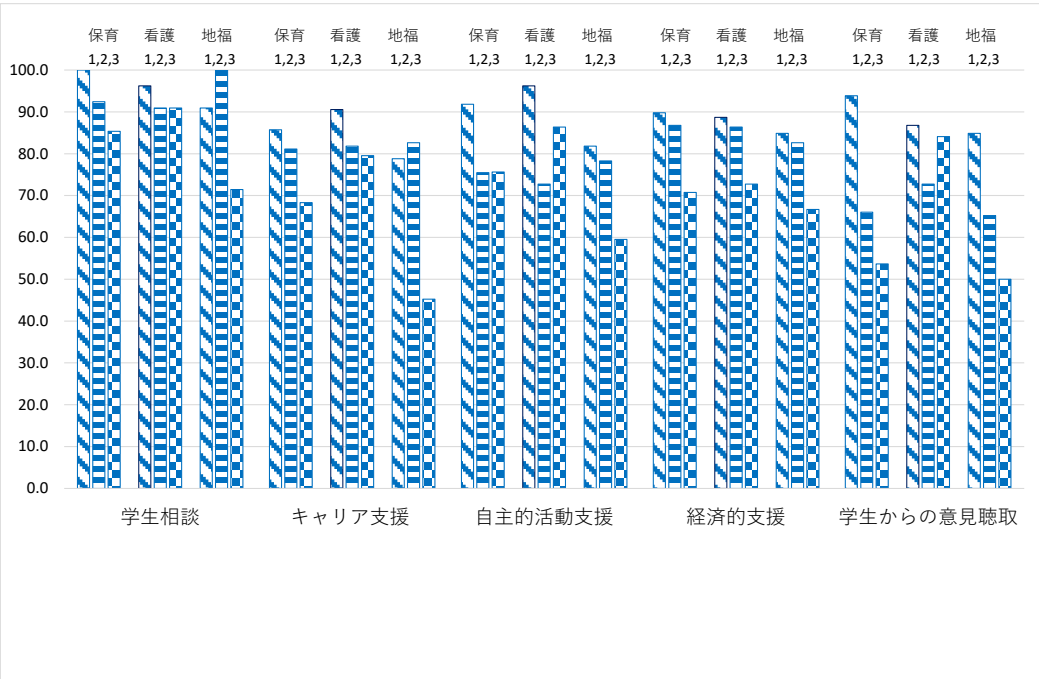
DP項目	保育			看護			地福		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
豊かな教養	2.69	2.89	3.20	3.24	3.45	3.66	3.09	3.13	3.12
高い倫理観	2.76	3.02	3.49	3.15	3.77	3.88	3.45	3.04	3.63
知識.技能	2.67	2.90	3.56	3.07	3.64	3.67	3.30	3.13	3.61
コミュニケーション	2.84	3.04	3.61	3.17	3.68	3.86	3.15	3.04	3.33
地域・多職種連携力	2.16	3.04	3.20	3.24	3.45	3.66	3.09	3.13	3.12
キャリア形成力	2.41	2.63	3.17	2.70	3.41	3.60	2.88	2.87	3.20



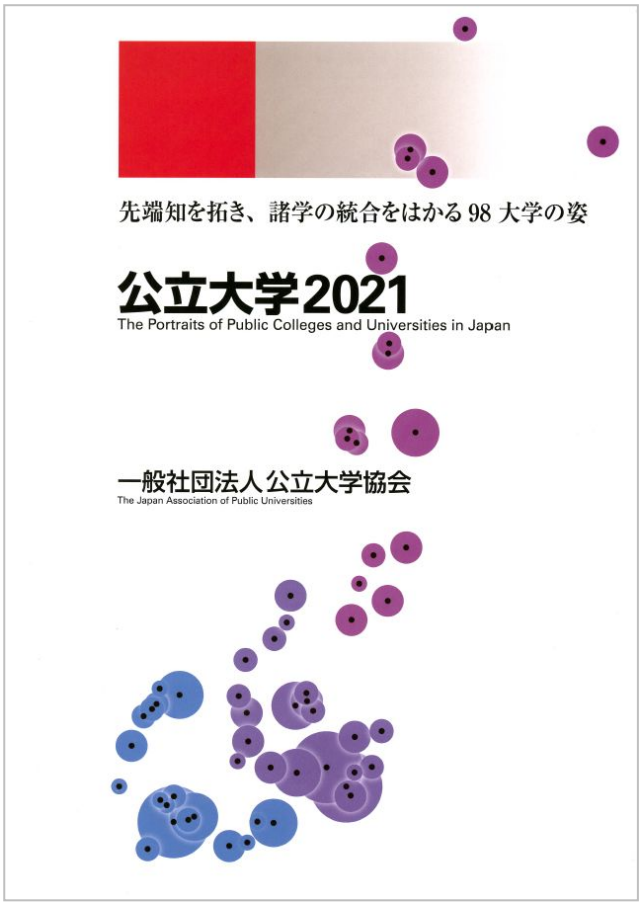
B　学生支援への満足度

各項目４段階で（「3 まあ満足」＋「4 非常に満足」）の合計を満足度%として比較

学生支援項目	保育			看護			地福		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
学生相談	100.0	92.5	85.4	96.2	90.9	90.9	90.9	100.0	71.4
キャリア支援	85.7	81.1	68.3	90.6	81.8	79.5	78.8	82.6	45.2
自主的活動支援	91.8	75.5	75.6	96.2	72.7	86.4	81.8	78.3	59.5
経済的支援	89.8	86.8	70.7	88.7	86.4	72.7	84.8	82.6	66.7
学生からの意見聴取	93.9	66.0	53.7	86.8	72.7	84.1	84.8	65.2	50.0



3）公立大学協会関係


先端知を拓き、諸学の統合をはかる98大学の姿
公立大学2021
The Portraits of Public Colleges and Universities in Japan
一般社団法人公立大学協会
The Japan Association of Public Universities

健康科学部
新見公立大学 Niimi University
所在地 〒718-8585 岡山県新見市西方1263番地2
交通 JR新見駅から徒歩25分
TEL 0867-72-0634 FAX 0867-72-1492
設置者 公立大学法人新見公立大学(新見市)
開学年 2010年 (法人設立年 2008年)
学生定員 735名 教員数 75名 職員数 14名
地域を拓く保育、看護、介護、福祉の高度専門職の育成
学長：公文裕巳
KUMON Hiromi
医学
任期:2016.4～2024.3
HISTORY & MISSION
新見公立大学は、新見公立短期大学（1980年開学）を母体として2010年に開学、看護学部看護学科を設置しました。2017年に看護学部を健康科学部に名称変更し、2019年より新・健康科学部として、看護学科に加えて健康保育学科、地域福祉学科（短期大学の2学科を改組）を新設し、1学部3学科体制としました。人口3万人弱の課題先進地域・新見市にあることを地の利として、日本の中山間地域における持続可能なまち創りとして共生社会構築に求められる各学科の役割と多職種連携を実践的に研究、教育する特色のある公立大学を目指しています。
PROFILE
●専門職として知識、技能の修得とともに、建学の精神である「誠実、夢、人間愛」を基盤に人間力の向上に努めています。
●「健やかな子どもの発達、心の豊かさの向上、高齢者の健康寿命の延伸」を目標として、「地域を拓く健康科学」の体系化を目指しています。
●新見市全域をキャンパスとして、「地域ぐるみで支えあう保育」、「心と体の健康を支える看護」、「共生社会の基盤を創る福祉」を基本に、地域住民、行政と大学が協働して「人に優しい地域共生社会」の構築を検証していきます。
TOPICS
2020年9月に竣工した新棟・地域共生推進センター棟には、西日本随一の規模で充実した看護実習室のほかに、最先端シミュレータによる多職種連携ラボ、400人収容の講堂（音楽、イベントホール兼用）などがあり、地域交流・産官学民連携・生涯教育拠点となっています。

4）行事のポスター・ちらし

主催：新見公立大学キャリア支援センター

【3年生対象】セミナーのご案内

4月21日(水)

自己分析(SPI)講座

■時間・場所■
13:20～14:50
地域共生推進センター棟１階講堂

■準備物■
スマートフォン(講座内で使用)、筆記用具

■内容■
様々な仕事の筆記選考において近年多く導入される、SPIの性格検査が自己分析用にカスタマイズされた『リクナビ性格検査』を活用し、客観的に見た自身の特徴や強みの把握を深めます。
また、性格検査結果から導かれた働きやすい組織の特徴等、ここでしか聞けない内容をお伝えします。
その他、自己分析方法なども併せてご紹介します。

■話者■
株式会社リクルート　高本夏翠

新見公立大学
修学・キャリア支援センター

3年生対象　キャリアガイダンス

2021 4/21 (水) 13:20-16:30
場 所：地域共生推進センター　講堂

15:00-16:30
【キャリア形成講座(3)】
演題:「社会の接点を考えてみる！
知ってお得な5つの真実！」
講師: おかやま新卒ハローワーク
就職支援ナビゲーター
松井　克　先生

【主催】修学・キャリア支援センター

２０２１年度「学科合同学び報告会」のご案内

「学科合同学び報告会」は、３学科の学生さんたちの「学び」をお互いに「学びあう」ことを目的として開催されます。１年次生は必ず全員参加して下さい。２年次生は担当者のみの参加となります。

教育推進委員会

開催日時：２０２１年４月２１日（水）３限（１３：２０～１４：２０）

開催場所：体育館（３学科１年次生全員；２年次生担当者）

１３：１５　集合（１年次生全員、２年次生担当者）

１３：２０　開会

１３：２０～１３：２５　学長挨拶
趣旨説明（教育推進委員会委員長）

１３：２５～１３：４０　地域福祉学科の学び
進行係：生原温人　タイムキーパー：松本優太
報　告：「地域福祉学科１年間の学びの振り返り～基礎ゼミの活動を通して～」
松本優太、深谷大輝、生原温人、久山晴大、岡本純菜

１３：４０～１３：５５　健康保育学科の学び
進行係：三川和紗　タイムキーパー：立石紗也
報　告：「健康保育学科の学び」
江角彩花、上條友香、河上樹博、下山千晴

１３：５５～１４：１０　看護学科の学び
進行係：竹内優奈　タイムキーパー：齋藤美咲
報　告：「学生生活」岡澤歩美、岡本春愛
「実習について」木村美咲、横田里奈
「講義について」森崎莉菜、山本美桜

１４：１０～１４：２０　学び報告のアンケート記入

◆注意事項（重要）◆
＊会場は体育館（３学科１年次生全員；２年次生担当者）です。
＊会場では各学科ごとに間隔を開けて順に座ってください。
＊必ずマスクをつけて座って下さい。
＊筆記用具・防寒具(必要な人)を持参して下さい。

主催：新見公立大学キャリア支援センター

【3年生対象】セミナーのご案内

4月28日(水)

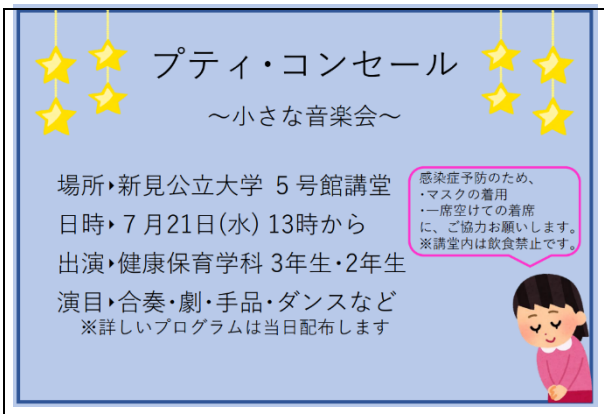
就職先分析講座

■時間・場所■
13:20～14:50
地域共生推進センター棟１階講堂

■準備物■
筆記用具、スマートフォン(講座内での調べ物で使います)

■内容■
就活準備において最も重要な自己分析と就職先分析。
どちらか片方に偏っても就活準備は成り立ちません。
前週は自己分析についてお伝えしましたが、今回は就職先分析についてお伝えします。
就職先を調べる方法・自身に合った組織に出会う為の観点などについて、ご紹介をさせて頂きます。

■話者■
株式会社リクルート　高本夏翠



山陽新聞社と公立大学法人新見公立大学との包括的連携協力による特別講演会

特別講演会

演題

「新聞の読み方、生かし方」

講師：山本直樹先生

（山陽新聞社読者局NIE推進部長）

対象：看護学科全１年

健康保育学科全１年

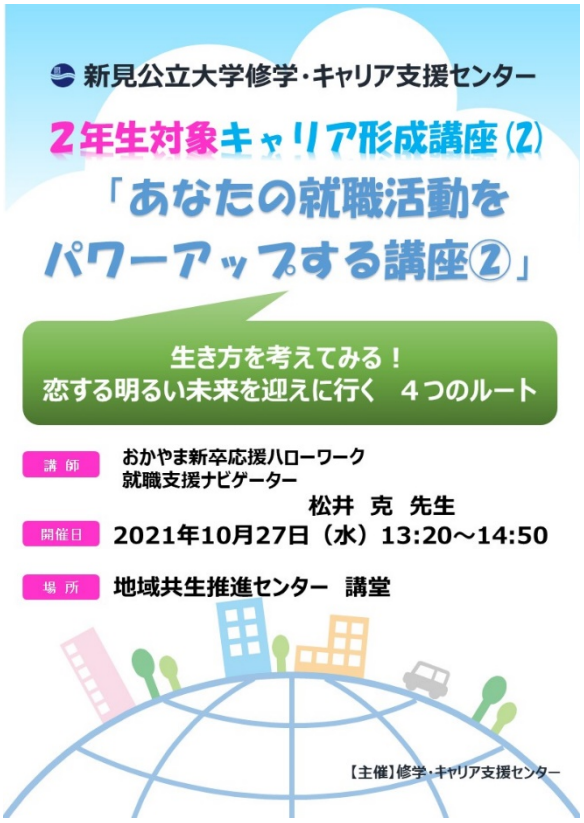
地域福祉学科全１年

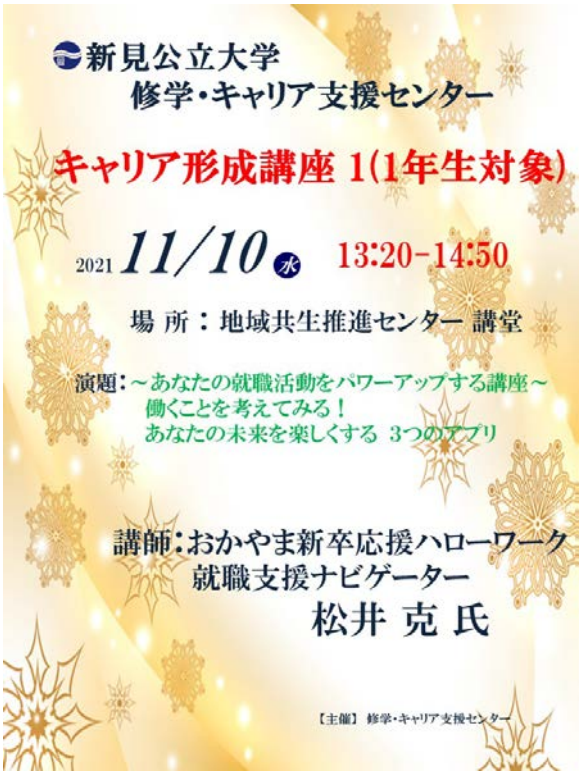
月日：令和３年１０月２０日（水）

時間：３限（13:20－14:50）

場所：地域共生推進センター棟 講堂

教育推進委員会


新見公立大学修学・キャリア支援センター
2年生対象キャリア形成講座(2)
「あなたの就職活動を
パワーアップする講座②」
生き方を考えてみる！
恋する明るい未来を迎えに行く　4つのルート
講師
おかやま新卒応援ハローワーク
就職支援ナビゲーター
松井　克　先生
開催日
2021年10月27日（水）13:20～14:50
場所
地域共生推進センター　講堂
【主催】修学・キャリア支援センター


新見公立大学
修学・キャリア支援センター
キャリア形成講座 1(1年生対象)
2021 11/10 水 13:20-14:50
場 所：地域共生推進センター 講堂
演題：～あなたの就職活動をパワーアップする講座～
働くことを考えてみる！
あなたの未来を楽しくする 3つのアプリ
講師：おかやま新卒応援ハローワーク
就職支援ナビゲーター
松井 克 氏
【主催】 修学・キャリア支援センター

第12回 新見公立大学看護学セミナー
現場の声から学ぶ看護職の魅力
【日時】令和３年11月17日（水）13：20～14：50
【場所】新見公立大学 地域共生推進センター棟　講堂
【講師】医療法人 緑隆会 太田病院　師長 清水尚子先生
医療法人 国際貢献大学校医療機構
国際貢献大学校メディカルクリニック 師長 竹田洋子先生
医療法人社団 淳和会 長谷川紀念病院　外来師長 土井直己 先生
【主催】公立大学法人 新見公立大学 健康科学部看護学科

新見公立大学
修学・キャリア支援センター
就活マナー・
合同企業説明会
の周り方講座（3年生対象）
2021 12/8（水） 13:20-14:50
場 所：地域共生推進センター 講堂
講師：マイナビ
米村 多恵 氏
【主催】 修学・キャリア支援センター

新見公立大学　健康保育学科　第30回表現発表会

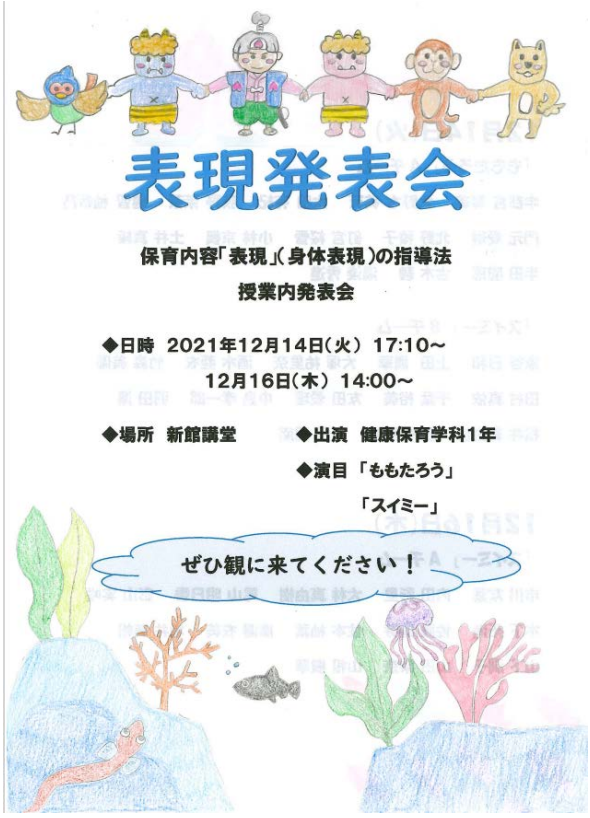
にいみ ももたろっと 2021

2021年 12月11日(土)
10:30-12:30 (10:00開場)
新見公立大学 地域共生推進センター棟

☆舞台演目
合奏「森のパレード」
音楽劇「ももたろう」
手品「ワクワクドキドキ！！
　ふしぎなマジックショー！」
ダンス「にいみのヒーローはキミさ！」
演劇「白雪姫」

☆遊びコーナー
造形遊び「かいて！つくって！わくわく工房！」
おはなし「ステキなおはなしをプレゼント！」
伝承遊び「昔ながらの遊びを楽しもう！」
科学遊び「身近な科学で不思議発見！」
ダンボール迷路「くぐって！とんで！
　ゴーゴーゴール！」

入場無料　要予約（先着200名）
※新見市在住の方のみとさせていただきます。
QRコードから事前申し込みをお願いします。
お問い合わせ先　新見公立大学　0867-72-0634



2021年度 先輩と語る会

■ 日時　令和４年２月２日（水）　11：00～12：30
■ 場所　学術交流センター　交流ホール　他
■ 講演　１月17日（月）頃よりオンデマンド配信予定
　看護師・訪問看護師・保健師・養護教諭・助産師の先輩方に就職・進学や国家試験対策、それぞれの仕事内容について講演していただきます。
■ 内容　パネルディスカッション・交流会

先輩方の話を聞かせていただき、就職・進学や国家試験対策、それぞれの仕事内容についての疑問や不安を少しでも解消しましょう。
今年度は先輩方の講演をオンデマンドで誰でも視聴することが可能です。
3年生は当日、先輩方との交流会で質問することができます。先輩方と直接お話できる貴重な機会です。積極的な質疑応答にして有意義な時間にしましょう。
動画視聴後、1.2年生は下記のQRコードから質問内容を送ることができます。
1.2年生の皆さんも様々な場で活躍する先輩方のお話を伺い、コース選択をはじめ、進路の幅を広げるきっかけにしてください。

1.2年生質問アンケート
QRコード↓

【動画視聴方法】
①ユニパ(メール)送付のURLからログイン
②Office365からログイン
Office365 ログイン➡Stream➡探索➡2021 年度先輩と語る会

新見公立大学　地域福祉学科　2021年度

第13回 地域文化実習発表会

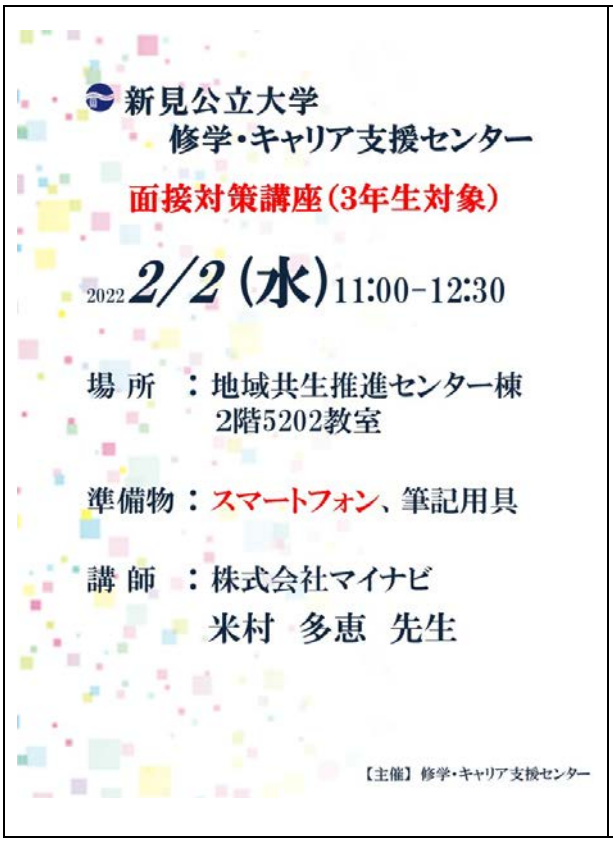
日時：2022年1月22日（土）13：00～15：00
場所：新見公立大学 地域共生推進センター棟 講堂

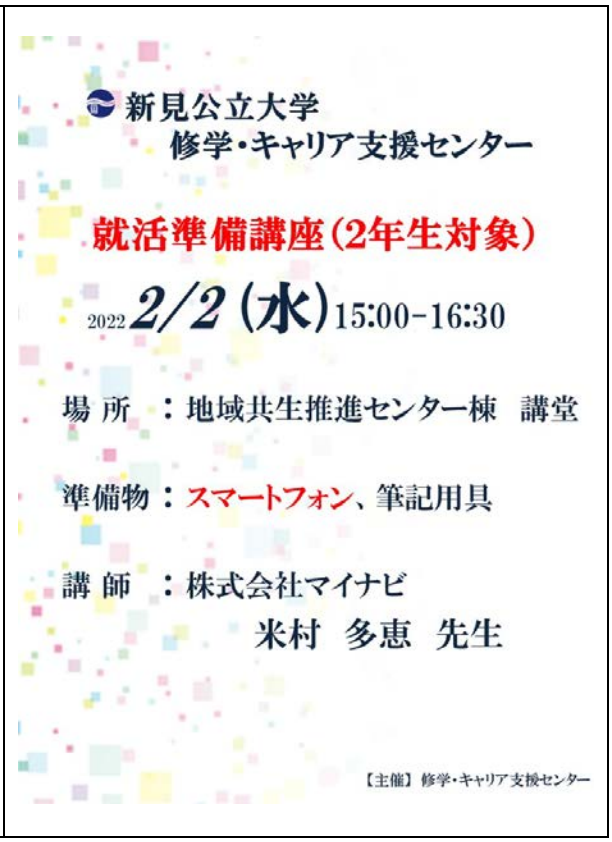
新見公立大学地域福祉学科では、学生達が地域に伝わる文化を知るため、「地域文化実習」という授業を開設し、地域文化を学んでいます。
本発表会では、授業で学んだお囃子や、備中神楽の公演を行います。

12：30～　開場・受付開始
13：00～　開会・お囃子演奏
13：45～　神楽公演
　（榊舞、猿田彦命舞、大国主命舞、事代主命舞、大蛇退治）
15：00　閉会

お問い合わせ：新見公立大学 地域福祉学科
岡山県新見市西方1263-2　電話 0867-72-0634

＊新見市内在住の方に限って観覧していただくことができます。
＊観覧希望の方は事前に電話申し込みをお願いします。
＊観覧に際しては、感染予防のためマスクを着用してください。
＊当日、ご自宅で熱を測ってきてください。
＊ご本人や同居家族に発熱や咳等の症状がある方、新型コロナウイルス感染者が多発している地域や場所に2週間以内に行ったことがある方は観覧をお控えください。


新見公立大学
修学・キャリア支援センター
面接対策講座（3年生対象）
2022 2/2 (水) 11:00-12:30
場 所 ：地域共生推進センター棟
2階5202教室
準備物：スマートフォン、筆記用具
講 師 ：株式会社マイナビ
米村 多恵 先生
【主催】修学・キャリア支援センター


新見公立大学
修学・キャリア支援センター
就活準備講座（2年生対象）
2022 2/2 (水) 15:00-16:30
場 所 ：地域共生推進センター棟 講堂
準備物：スマートフォン、筆記用具
講 師 ：株式会社マイナビ
米村 多恵 先生
【主催】修学・キャリア支援センター

編集後記

本年報は、本学における１年間の活動をつぶさに収録し、本学の将来の方向性を考える上で必要なデータを集約することを主な目的として作成しております。本年報が記録した１年間の確かな歩みが、これからの新見公立大学・大学院の将来に生かされていけばと思います。

本年報をご高覧いただき、忌憚のないご意見、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

教育推進委員会年報部

教育推進委員

委員長	原田　信之
看護学科	平田　知子
看護学科	小林　匡美
看護学科	西村美紗希
健康保育学科	松本　好生
健康保育学科	竹下可奈子
健康保育学科	松島　英恵
地域福祉学科	和田美智代
地域福祉学科	朴　蕙彬
地域福祉学科	岸本由梨枝
総務課	梶原　基典
教務課	古屋　祐樹
学生課	安原　知章
図書館	中西　智子

新 見 公 立 大 学
令和３(2021)年度年報

令和４(2022)年７月発行
編集　新見公立大学　教育推進委員会年報部
発行　新見公立大学
〒718－8585　岡山県新見市西方 1263－2
℡　0867－72－0634　　FAX　0867－72－1492